

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 1

1	事業名	感染症まん延防止事業	コード	01	04	01	02	01	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	予防接種法及び感染症法上の対象者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の予防が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 感染症予防事業 広報等で新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、正しい手洗い方法や相談先を広報等で周知しました。
		2 定期予防接種事業（法律に基づいたワクチン接種） (1) 乳幼児予防接種 ア BCG 327人 イ 四種混合 1,227人 ウ 二種混合 355人 エ 麻しん風しん 733人（1期 326人 2期 407人） オ 日本脳炎 1,998人 カ Hib感染症 1,236人 キ 小児用肺炎球菌 1,237人 ク 子宮頸がん 182人 ケ 水痘（水ぼうそう） 635人 コ B型肝炎 915人 サ ロタウイルス感染症 611人 ア～サ 計9,456人…①（内町外接種者 1,655人） (2) 成人を対象とした予防接種 昭和37年4月2日生から昭和54年4月1日までの男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行いました。（平成31年4月1日から令和7年3月31日までの時限措置） ア インフルエンザ 6,161人 イ 高齢者肺炎球菌 278人 ウ 男性の風しん予防接種 24人 ア～ウ 計6,463人…②（内町外接種者1,213人） エ 男性の風しん抗体検査 150人 3 任意予防接種事業 (1) 風しん対策事業として、妊娠を希望する女性（経産婦を含む）で風しんの抗体のない人に風しんワクチン接種費用の半額助成を実施しました。助成人数 9人 (2) 15歳・18歳の人を対象にインフルエンザワクチン接種費用の全額助成を実施しました。助成人数 284人 3(1)～(2) 計293人…③  ①+②+③=16,212人

5	活動指標	指標名	予防接種延べ人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 15,464.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	予防接種、任意予防接種の延べ人数	令和2年度	人 16,757.00	人	
				令和3年度	人 15,119.00	人	
				令和4年度	人 16,212.00	人	
6	成果指標	指標名	麻しん風しん1期接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 接種率100%を目標とします。
				令和元年度	% 96.52	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	(麻しん風しん1期接種者) ÷ (対象者) × 100	令和2年度	% 91.00	% 100.00	
				令和3年度	% 91.60	% 100.00	
				令和4年度	% 95.60	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	120,668,690 円	決算額	137,100,370 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 1
	直接事業費①(②+③+④)	120,668,690	137,100,370	113.6 %	135,209,000	評価の符号
	一般財源②	116,250,690	128,290,958	110.4 %	133,920,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	4,418,000	8,809,412	199.4 %	1,289,000	
	概算人件費⑤	3,981,017	6,139,224	154.2 %		
	総合計(①+⑤)	124,649,707	143,239,594	114.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	120,231,707	134,430,182	111.8 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,952	8,292	104.3 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,312,573	1,406,173	107.1 %		

### III. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	愛知県が高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種の自己負担の無料化事業を実施したこと、15歳・18歳を対象としたインフルエンザ予防接種の自己負担分に対する全額助成を開始したこと及び日本脳炎予防接種のワクチン供給が安定し2期対象者2学年分に接種勧奨を行なったことで接種者が増加し、活動指標が向上しました。	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	7.2 %		○
	②成果指標の実績向上度	4.4 %		○
	③成果指標の目標達成度	-4.4 %	△	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	11.8 %	×	
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	国の方針に基づき、日本脳炎2期対象者への接種勧奨を実施しました。 子宮頸がんワクチン接種の再開にあたり、定期接種対象者及び積極的勧奨を見合わせた時期の対象者(キャッチアップ対象者)への接種案内を実施しました。 15歳・18歳を対象に、インフルエンザ予防接種の自己負担分に対する全額助成を実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価 コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月から5類感染症になることから、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく対応から、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースにした対応に変えていく必要があります。 感染症対策が緩和されたことに伴い、近年流行が見られなかった感染症が今後増加すると考えられることから、予防接種の勧奨や感染症に関する情報を広く周知する必要があります。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### IV. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	乳幼児健診や各種教室を通して、感染症に関する情報を広く周知する他、広報紙や町ホームページ等で海外への渡航によりかかりやすい感染症や海外から持ち込まれる感染症についての情報を周知します。 また、厚生労働省において、任意ワクチンのおたふく風邪ワクチン、帯状疱疹ワクチン(50歳以上)予防接種の定期予防接種化が検討されているため、今後の動向について情報収集に努めます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	厚生労働省において、任意ワクチンのおたふく風邪ワクチン、帯状疱疹ワクチン(50歳以上)予防接種の定期予防接種化が検討されているため、今後の動向について情報収集に努めます。 また、近隣市町で帯状疱疹ワクチン接種費用の助成が実施されていることから、接種費用の助成について検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	日本脳炎ワクチンの供給体制が整うことから国の方針に基づき、2期対象児への接種勧奨を実施します。 子宮頸がんワクチン接種の再開にあたり、定期接種対象者及び積極的勧奨を見合わせた時期の対象者(キャッチアップ対象者)への接種案内について実施します。 15歳・18歳を対象に、インフルエンザ予防接種の自己負担分に対する全額助成を実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 2

1	事業名	成人保健健康診査事業	コード	01	04	01	02	02	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	健康診査等受診者
2	働きかける相手(対象)	健康診査等を職場などで受ける機会のない人、医療機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	検診及び健康診査に対する受診意識の向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>成人保健健康診査事業                  各種がん検診、女性特有のがん検診推進事業、肝炎ウイルス検診、結核検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診及び20～39歳の方のための健診を行いました。                  また、保健事業年間スケジュールを作成し、保健事業の啓発を行うとともに、令和3年度の保健活動のまとめと評価を行い「東郷の保健活動」を作成しました。</p> <p>(1) 各種がん検診 合計 7,673人                  ア 胃がん 40歳以上 1,265人 (内胃内視鏡検査149人)                  イ 大腸がん 40歳以上 2,589人                  ウ 子宮頸がん 20歳以上 838人                  (妊婦健診と同時に実施した分は母子健康診査事業に記載あり。)                  エ 乳がん 40歳以上 758人                  オ 肺がん 40歳以上 1,304人 (内喀痰検査を合わせて受診 50人)                  カ 前立腺がん 50歳以上 919人</p> <p>(2) 女性特有のがん検診推進事業                  ※実績数値は(1)の各種がん検診の数字に含まれます。                  ア 子宮頸がん 20歳 11人 (対象者 258人)                  イ 乳がん 40歳 79人 (対象者 310人)</p> <p>(3) 肝炎ウイルス検診 24人                  (4) 歯周病検診 30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳 476人                  (5) 骨粗しょう症検診 222人                  (6) 20～39歳の方のための健診 196人                  (7) 結核検診 65歳以上 3,523人 (肺がん検診としての実施分は除く。)                  (8) 8020運動表彰 表彰者 100人                  (9) 8820運動表彰 表彰者 16人</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	がん検診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 8,651.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん受診者数	令和2年度	人 5,906.00	人	
				令和3年度	人 7,701.00	人	
				令和4年度	人 7,673.00	人	
6	成果指標	指標名	胃がん検診受診率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度の愛知県内の平均値を目標値とします。
				令和元年度	% 13.11	% 9.50	
		指標の説明 (指標式)	40歳以上の胃がん検診受診率	令和2年度	% 10.00	% 8.00	
				令和3年度	% 10.48	% 5.70	
				令和4年度	% 11.65	% 5.90	
7	直接事業費計	前年度決算額	49,716,246 円	決算額	48,771,494 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 2
	直接事業費①(②+③+④)	49,716,246	48,771,494	98.1 %	52,357,000	評価の符号
	一般財源②	45,184,346	44,326,994	98.1 %	47,467,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	4,531,900	4,444,500	98.1 %	4,890,000	
	概算人件費⑤	5,210,076	6,756,585	129.7 %		
	総合計(①+⑤)	54,926,322	55,528,079	101.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	50,394,422	51,083,579	101.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,544	6,658	101.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,808,628	4,384,857	91.2 %		

### III. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 子宮がん検診及び乳がん検診の受診者が減少したため、活動指標が低下しました。 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、胃がん検診の受診者が増加したため成果指標が向上しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.4 %	△
	②成果指標の実績向上度	11.2 %	○
	③成果指標の目標達成度	97.5 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	1.4 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 いきいき東郷21(第3次)策定のためのアンケート調査を実施し、がん検診受診に係る住民の意向を把握しました。 女性のがん検診の実施医療機関が町内に少ないため、近隣市で実施できる体制を整えました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	がん検診受診率は徐々に上がってきているものの、がんによる死亡率が高いことから、早期発見・早期治療につなげるため、がん検診の受診勧奨や啓発を行う必要があります。 検診受診率が低い子育て世代や働き盛り世代に向けて、健診を受けやすい環境づくりを進め、青壮年期から生活習慣病の発症予防に取り組む必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### IV. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	がん検診の受診率向上のため広報紙に特集記事を掲載するほか、がん検診の申込時期に合わせインスタグラムに記事を掲載し、窓口にごん検診周知コーナーを設けます。 また、乳幼児を持つ保護者に対し、乳幼児健診等の機会を捉えて検診受診の勧奨を行います。 令和5年度から国によるがん検診の受診勧奨策等実行支援事業が開始されることから、本町の特徴に即した受診勧奨の方法や、受診にかかる自己負担金の助成についても検討を進めます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	がん検診を受診しやすい環境を整えるため、がん検診の自己負担金を見直します。 また、がんなどの疾患を既に抱えている人も含め、がん患者の生活を支える取組を推進します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	いきいき東郷21(第3次)策定のためのアンケート調査を実施します。アンケート調査では、町の健診以外の受診機会の有無や受診しない理由等を調査し、効果的な実施方法や周知方法について再度見直しを行います。 女性のがん検診の実施医療機関が町内において少ないため、近隣市にて実施できる体制をさらに整備していきます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 3

1	事業名	成人保健健康教育事業	コード	01	04	01	02	03	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	健康講座等で健康教育を受ける人等、町民（40歳から64歳までの町民）
3	どのような状態にしたいのか(意図)	健康的な生活を送ることができるよう健康に関する意識を高め、正しい知識を持って健康づくりに取り組むことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健健康教育事業	
		(1) 健康講演会（きらめきエクササイズ） 町民を対象に、健康づくりに取り組むきっかけの場として、ストレッチ体操を始めとする教室をオンラインにて実施しました。 開催回数6回（2クール） 参加者 98人 (2) 骨粗しょう症予防教室 骨粗しょう症検診受診者の内要精密検査等と判定された方を対象に講座を実施しました。 開催回数6回（2クール） 参加者 102人 (3) とうごう体操普及推進事業 とうごう体操出前講座 地区等からの依頼により、とうごう体操の実演や講習会を開催しました。 開催回数2回 参加者170人 (4) 文化産業まつり健康コーナー 町民を対象に、健康に対する意識の向上を図るために健康コーナーを設けました。 1回 832人 (5) あいち健康マイレージ 愛知県と東郷町の協働事業としてチャレンジシートを作成し、6月1日から開始しました。日々の健康づくりができる環境の整備や動機付けを行いました。 100ポイント達成者 275人（内「まいか」取得者 200人） (1)~(5)の合計 15回 1,477人	

5	活動指標	指標名 成人保健健康教育の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	42.00	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	13.00	
			令和3年度	7.00	
			令和4年度	15.00	

6	成果指標	指標名 成人保健健康教育の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	2,647.00	3,044.00	前年度実績
			令和2年度	177.00	2,647.00	
			令和3年度	381.00	177.00	
			令和4年度	1,477.00	381.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,205,651 円	決算額	1,456,081 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 3
	直接事業費①(②+③+④)	1,205,651	1,456,081	120.8 %	1,535,000	評価の符号
	一般財源②	732,651	926,081	126.4 %	973,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	473,000	530,000	112.1 %	562,000	
	概算人件費⑤	3,727,765	3,253,679	87.3 %		
	総合計(①+⑤)	4,933,416	4,709,760	95.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	4,460,416	4,179,760	93.7 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	637,202	278,651	43.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	11,707	2,830	24.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための行動制限が緩和されたことにより、各種イベント及び教室の参加者が増加し、成果指標が向上しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	114.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	287.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	287.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-6.3 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  骨粗しょう症検診で要指導となった人向けの教室を開催しました。骨量を維持するための栄養指導や転倒防止の運動を指導することにより、骨折予防に向けた意識及び生活の改善を図りました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための行動制限が求められていたことから、多くの市民の生活に外出機会や運動機会の減少等の影響が及んでいると考えられます。いきいき東郷21(第2次)の最終評価において、高齢期の女性の運動習慣の指標が低下していたことから、健康講座等の機会を捉えてフレイル予防等について周知していく必要があります。 また、ICTの活用により、身近な健康づくりに関する情報発信を行っていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	子育て世代や働き盛り世代がより多くマイレージ事業に参加できるように、LINEを活用したマイレージ事業を開始します。 また、きらめきエクササイズ等の事業の申込みを、LINEで行えるようにします。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	いきいき東郷21(第2次)最終評価において、ウェアラブル端末等を利用して日頃の運動量のセルフチェックを行う人は3割を下回っているため、ウェアラブル端末などのデジタル技術を活用した運動管理について広く周知し、利用を推進します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	骨粗しょう症検診で要指導となった方向けの教室を開催します。骨量を維持するための栄養指導や転倒防止の運動を指導することにより、骨折予防を図ります。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 4

1	事業名	成人保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	02	04	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	相談(訪問)が必要な人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	相談者が心身の健康に関する相談、指導及び助言を受けることができ、家庭における健康管理が促進されるようになります。また、心身機能の低下の防止と健康の保持増進が図られるようになります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健相談・訪問指導事業
		(1) 健康相談 994人 ア みんなの栄養相談(毎週月～金曜日、ただし祝日は除く。) 4人 内容 栄養相談、食生活に関する相談、離乳食の相談など イ からだ・こころの健康相談(毎週月曜日、ただし祝日は除く。) 7人 内容 からだやこころに関する相談 ウ 20～39歳の方のための健診結果説明・相談会 142人 (内、重点健康相談を受けた人数 114人) エ 文化産業まつり健康コーナー 延べ832名 実365名 薬剤師コーナー 239名 内容:薬分包体験、くすり相談、栄養サロン 保健師コーナー 267名 内容:健康なぞ解き、いきいきとうごう健康マイレージ 藤田医科大学コーナー 326名 内容:血圧・握力SP02測定、立ち上がりテスト、健康相談、白衣撮影 オ 若年者向け保健指導 20～39歳の方のための健診においてメタボリックシンドロームに該当した方に対してトレーニングジムを利用した個別支援を行いました。 2人 延べ10回 (2) 成人訪問指導 訪問相談 0件 (3) 在宅ケアを考える会(多職種カンファレンス)への参加 3回 (4) 「こころの体温計」 内容 携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度が分かるメンタルチェックシステム アクセス数 町内 5,793件、町外 2,507件

5	活動指標	指標名	20～39歳の方のための健診結果説明・相談を受けた人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 202.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	人 0.00	人	
				令和3年度	人 222.00	人	
令和4年度	人 142.00	人					
6	成果指標	指標名	20～39歳の方のための健診後説明・相談にて、重点健康相談を受けた人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 79.00	人 89.00	前年度の実績値
				令和2年度	人 0.00	人 79.00	
				令和3年度	人 126.00	人 0.00	
令和4年度	人 114.00	人 126.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	480,825 円	決算額	332,008 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 4
	直接事業費①(②+③+④)	480,825	332,008	69.0 %	944,000	評価の符号
	一般財源②	326,825	162,008	49.6 %	674,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	154,000	170,000	110.4 %	270,000	
	概算人件費⑤	3,711,937	1,748,772	47.1 %		
	総合計(①+⑤)	4,192,762	2,080,780	49.6 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,038,762	1,910,780	47.3 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	18,193	13,456	74.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	32,054	16,761	52.3 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  20~39歳の健診受診者が減少したため、保健指導を受ける人が減り、成果指標及び活動指標が低下しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-36.0 %		×
	②成果指標の実績向上度	-9.5 %		△
	③成果指標の目標達成度	-9.5 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-52.7 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  20歳~39歳の健診において、メタボリックシンドロームに該当した人への保健指導をトレーニングジムを利用して行いました。早期から生活習慣病予防対策をすることにより、将来の医療費削減効果を図りました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	健康寿命の延伸には、若い時期から自身の健康に関心を持ち、健診の重要性や生活習慣病の発症・重症化予防に対して意識が高められるように情報提供や動機づけをしていくことが必要です。いきいき東郷21(第2次)の最終評価においても中年期の男性の肥満度が高い傾向にありました。正しい生活習慣を主体的に取り入れられるように、土日や夜間に利用できるトレーニングジムを活用した保健指導等の事業の周知が必要です。 また、庁内で連携して困難ケースの対応を行う等、包括的支援を行うための協力体制が取れるようにしていく事が必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	トレーニングジムを活用した保健指導について勸奨後参加しない方に対し電話での再勧奨を行い、より多くの方の利用につながるよう改善していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	包括的支援を行うための協力体制が取れるよう庁内各課で検討を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	20~39歳の健診においてメタボリックシンドロームに該当した人への保健指導をジムを活用して行います。早期から生活習慣病予防対策をすることにより、将来の医療費削減効果を図ります。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 5

1	事業名	保健衛生普及費事業	コード	03	04	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険被保険者、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	被保険者自らの健康への関心を高め、日常の健康管理や健康に関する取組により、被保険者の健康保持及び医療費の抑制が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健衛生普及費事業 疾病予防に資するため、以下の事業を実施しました。 (1) 医療費の通知(年6回) (2) 後発(ジェネリック)医薬品の差額通知(年2回)	

5	活動指標	指標名	医療費通知の通知数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	通 24,474.00	通 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	通 23,305.00	通	
				令和3年度	通 23,412.00	通	
				令和4年度	通 23,066.00	通	
6	成果指標	指標名	後発(ジェネリック)医薬品の利用割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去2か年の平均
		指標の説明 (指標式)	ジェネリック医薬品レセプト件数÷総レセプト件数×100(当該年度9月診療分)	令和元年度	% 70.90	% 69.40	
				令和2年度	% 74.20	% 71.68	
				令和3年度	% 76.10	% 72.55	
				令和4年度	% 76.70	% 75.15	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,999,668 円	決算額	2,066,146 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 5
	直接事業費①(②+③+④)	1,999,668	2,066,146	103.3 %	2,132,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,999,668	2,066,146	103.3 %	2,132,000	
	概算人件費⑤	475,047	1,508,188	317.5 %		
	総合計(①+⑤)	2,474,715	3,574,334	144.4 %		
町費投入額(②+③+⑤)	475,047	1,508,188	317.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	20	65	325.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,242	19,663	315.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  「ジェネリック医薬品希望シール」の配布や後発医薬品の差額通知を送付することで、後発医薬品の普及啓発をしたため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-1.5 %		△
	②成果指標の実績向上度	0.8 %	○	
	③成果指標の目標達成度	2.1 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	217.5 %	×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	後発医薬品の普及啓発により、医療費適正化へ取り組む必要があります。 また、自分自身の健康を意識し、健康維持・増進に取り組んでもらえるよう推進する必要があります。		
	一部見直し <input type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	後発医薬品の普及啓発を継続し、医療費適正化を推進します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 6

1	事業名	疾病予防事業	コード	03	04	01	02	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険被保険者、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	被保険者自らの健康への関心を高め、日常の健康管理や健康に関する取組により、被保険者の健康保持及び医療費の抑制が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	疾病予防事業 疾病予防に資するため、以下の事業を実施しました。 (1) 糖尿病重症化予防の保健指導 ア 健診結果により糖代謝異常が疑われ服薬をしていない人へ、健診結果説明会や電話にて管理栄養士による受診勧奨や栄養指導を行いました。(実施者数57人) イ 過去に糖尿病で既往歴はあるが、医療機関の受診歴がない人へ手紙による受診勧奨を行いました。(実施者数29人) (2) 糖尿病性腎症重症化予防の保健指導 ア 令和3年度のレセプトを分析し、糖尿病性腎症病期2期～4期の状態にあり、主治医の協力を得た人に対し専門職による、6か月間の継続保健指導を実施しました。(実施者数9人) イ 令和3年度に当保健指導を行った人に対し専門職によるフォローアップの保健指導を実施しました。(実施者数5人)			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	糖尿病重症化予防と糖尿病性腎症重症化予防の保健指導の指導者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	78.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人	76.00	人		
			令和3年度	人	85.00	人		
令和4年度	人	100.00	人					
6	成果指標	指標名	国民健康保険の総医療に占める糖尿病の割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	5.70	%		5.50
			令和2年度	%	5.60	%		5.70
			令和3年度	%	5.70	%		5.60
令和4年度	%	5.30	%	5.70				
7	直接事業費計	前年度決算額	4,340,120 円	決算額	5,041,147 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 6
	直接事業費①(②+③+④)	4,340,120	5,041,147	116.2 %	6,074,000	評価の符号
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	4,340,120	5,041,147	116.2 %	6,074,000	
	概算人件費⑤	2,771,106	3,492,646	126.0 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	7,111,226	8,533,793	120.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,771,106	3,492,646	126.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	32,601	34,926	107.1 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	486,159	658,990	135.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	17.6 %	糖尿病性腎症等重症化予防保健指導の対象者が増加し、指導修了者が増加したため、活動指標が向上し、直接事業費は増加しました。 糖尿病にかかる医療費の減少が見られたため、成果指標が低下しました。	
	②成果指標の実績向上度	-7.0 %		△
	③成果指標の目標達成度	-7.0 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	26.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
	②受益者負担は適切ですか。	○		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	糖尿病性腎症重症化予防事業では、これまで協力医療機関でなかった町内のかかりつけ医に対して、直接事業説明を行い、協力依頼したことで、協力医療機関を増やすことができました。糖尿病性腎症等重症化予防事業に参加した人の翌年のフォローアップの申込みを保健指導期間中に受けることで、継続して予防に取り組めるような仕組みとしました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	国民健康保険被保険者が自分自身の健康状態を把握し、自身で生活習慣病リスクの管理ができるようヘルスプロモーションを推進する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	糖尿病性腎症重症化予防保健指導では、利用者を更に増やすために、事業内容の詳細を伝えることができる電話勧奨を実施します。 第3期データヘルス計画の策定を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	第3期データヘルス計画に基づき、事業を計画的に実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	前年度に糖尿病性腎症等重症化予防事業に参加した方が継続して予防に取り組めるよう、翌年度のフォローアップに参加する仕組みを構築します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 7

1	事業名	特定健康診査等事業	コード	03	04	02	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者(40歳以上)
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険被保険者(40歳以上)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	糖尿病等の生活習慣病、とりわけメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群を減少させることにより、疾病の予防・改善や健康増進を図り、将来的な医療費の抑制を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	特定健康診査等事業 (1) 特定健康診査 集団健診は、40~74歳を対象に実施しました。(実施者427人) 個別健診は、町内15医療機関において5月1日から11月30日の期間で実施しました。(実施者2,044人) 特定健診対象者数 5,731人 受診者 2,471人 受診率 43.1%(速報値) (2) 特定健診未受診者対策事業 実施者6,555人 令和4年度に新規40歳となる者及び8月時点で未受診者に対し、受診勧奨通知を送付しました。 (3) 集団健診結果説明会 実施者 421人 管理栄養士又は保健師が面談で健診の結果を説明し、健康増進を目的とした保健指導を行いました。 (4) 特定保健指導 ア 動機付け支援・・・特定健康診査の結果により「動機付け支援に該当」と判断された者に、生活習慣の改善を促すため、特定保健指導(面接による健診結果の説明に加え、生活習慣を改善するための目標設定をし、自らが行動に移せるよう保健指導を行い、3か月後を目途に取組内容の評価を行う。)を実施しました。利用者93人 対象者173人 イ 積極的支援・・・特定健康診査の結果により「積極的支援該当」と判断された者に、生活習慣の改善を促すため、特定保健指導(面接による健診結果の説明に加え、生活習慣を改善するための目標設定をし、自らが行動に移せるよう保健指導を行い、オンライン又は電話による3回の継続支援、3か月後を目途に取組内容の評価を行う。)を実施しました。利用者10人 対象者36人 (5) トレジムを利用した運動支援 (4)、(5)の者に対して、継続した運動習慣を身につけるための支援として、運動指導士によるアドバイスを受けながら行うウォーキング教室の実施(参加者延べ人数 136人)や、個人毎に作成した運動プログラムを基に実施するトレジム利用券の配布(利用者 14人)を行いました。 (6) 医療機関と連携した栄養指導 個別健診を受診した方のうち、医師から栄養指導の紹介があった者に対して、生活習慣病重症化予防を目的とした管理栄養士による栄養指導を行いました。実施者 46人 (7) 特定保健指導未利用者対策事業 65~74歳の特定保健指導未利用者に対し、専門職による電話勧奨を実施しました。実施者数 99人 40~64歳の特定保健指導未利用者に対し、対象者の携帯端末を利用したICT保健指導の利用勧奨を行いました。実施者 53人 (8) 特定健診の周知として4月に対象者へ受診券を発送し、各医療機関及び公共施設にのぼり旗を設置しました。	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	特定保健指導対象者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 287.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 180.00	人	
			令和3年度	人 235.00	人	
			令和4年度	人 209.00	人	
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	特定保健指導利用率(初回面接実施率)	年度	実績値	目標値	前年度実績値
			令和元年度	% 26.10	% 38.10	
			令和2年度	% 35.60	% 26.10	
			令和3年度	% 36.60	% 35.60	
			令和4年度	% 49.30	% 36.60	
7	直接事業費計	前年度決算額	26,164,314 円	決算額	26,528,972 円	



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 7
	直接事業費①(②+③+④)	26,164,314	26,528,972	101.4 %	26,540,000	評価の符号
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	26,164,314	26,528,972	101.4 %	26,540,000	
	概算人件費⑤	5,067,166	6,509,021	128.5 %		
	総合計(①+⑤)	31,231,480	33,037,993	105.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	5,067,166	6,509,021	128.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	21,562	31,144	144.4 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	138,447	132,029	95.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  受診者全体の健康状態の改善により特定保健指導対象者数が減少したため、活動指標が低下しました。 集団健診による特定保健指導者が増えたため成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-11.1 %	×
	②成果指標の実績向上度	34.7 %	○
	③成果指標の目標達成度	34.7 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	28.5 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  集団健診の対象者を40歳～64歳から40歳～74歳に拡大して実施しました。 令和2年度と令和3年度の未受診者に対し、受診勧奨はがきを発送しました。 ICT保健指導等の導入や医療機関との連携による栄養指導の実施により、より多くの人に保健指導を実施することができました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		東郷町国民健康保険の被保険者への特定健診や特定保健指導は、生活習慣病予防や重症化予防の対策として重要です。 そのため、特定健診の未受診の人へ向けた受診勧奨を行い、必要な保健指導に繋げる必要があります。 また、特定保健指導の未利用者への勧奨を始め、トレーニングジムを利用した運動支援やICT保健指導の利用環境を整え、特定保健指導の利用者数を増やす必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特定健診を数年間未受診の人に電話による受診勧奨を行います。 ICT保健指導の参加者を増やすためのインセンティブとして、QUOカードを初回面接時と3か月後評価時に贈呈します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	第3期データヘルス計画に基づき、事業を計画的に進めます。 特定健康診査の受診率向上に向け、集団健診の申込みに「あいち電子申請・届出システム」を利用することで、申込みを手軽に行うことができる環境を整えます。 また、働く世代の受診機会を増やすこと及び利便性を高めるために、秋の集団がん検診と同時に受検できるよう調整します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症を理由に健診未受診となっていた方に対して、受診勧奨を行います。 令和3年度は集団健診を40～64歳に絞って実施しましたが、令和4年度は対象者40～74歳に広げて実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 8

1	事業名	健康づくり地区活動支援事業	コード	01	04	01	02	05	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	② 地域ぐるみの健康づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	地区における健康づくり活動に関心がある人・関係機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生涯を通じた健康づくりを主体的に地域で取り組むことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	健康づくり地区活動支援事業 健康づくり地区活動支援（児童館、自治会、老人クラブ等からの依頼による健康に関する講座の実施や活動の支援）を実施しました。	
		(1) 健康づくり地区活動支援（地区の健康講座） 老人クラブ 2回 38人 内容：骨粗しょう症について (2) 健康づくり活動支援 26回 349人 ア 健康づくりリーダー活動支援（健康体操教室） 10回 143人 イ 食生活改善推進員活動支援（定例会、研修会、勉強会） 16回 206人	

5	活動指標	指標名	健康づくり地区活動支援の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	回	24.00	回	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回	0.00	回		
			令和3年度	回	33.00	回		
			令和4年度	回	26.00	回		
6	成果指標	指標名	健康づくり地区活動支援の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	594.00	人	1,176.00	前年度実績
			令和2年度	人	205.00	人	594.00	
			令和3年度	人	302.00	人	205.00	
			令和4年度	人	349.00	人	302.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	149,926 円	決算額	104,518 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 8
	直接事業費①(②+③+④)	149,926	104,518	69.7 %	134,000	評価の符号
	一般財源②	149,926	104,518	69.7 %	100,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	34,000	
	概算人件費⑤	1,636,503	1,796,005	109.7 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	1,786,429	1,900,523	106.4 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,786,429	1,900,523	106.4 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	54,134	73,097	135.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,915	5,446	92.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-21.2 %	食生活改善推進員養成講座を3年に1回開催しており、令和4年度は開催する年ではなかったため活動指標が低下しました。健康づくりリーダー及び食生活改善推進員の活動が昨年度より多く実施できたことから、成果指標が向上しました。
	②成果指標の実績向上度	15.6 %	
	③成果指標の目標達成度	15.6 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.4 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら地区の健康講座等の周知を行いました。 いきいき東郷21(第3次)策定に向け、ボランティア、各種団体、企業等の意見を書面で聴取し、取りまとめました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		健康づくりは個人だけでなく、地域や所属する団体等様々な場面で取り組むことができる環境が大切です。そのために、ボランティアや各種団体、企業等、多様な主体によって健康づくりに関する事業が行われるような体制づくりを進めていきます。 ボランティアや各種団体と地域の健康課題を共有し、対応を検討していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	令和4年度に実施した書面によるヒアリングの結果、住民向けの健康情報の発信について希望があったことから、在宅栄養士会による健康レシピ紹介コーナーを年3回広報紙に掲載します。また、いきいき東郷21(第3次)策定にあたり、ボランティアや各種団体、企業等に対してグループインタビューを実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	いきいき東郷21(第3次)に基づき、企業や各種ボランティア団体等、多様な主体によって健康づくりに関する事業が行われるような体制づくりを進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極め、地区の健康講座等の周知を行います。また、いきいき東郷21(第3次)策定のためのアンケートを実施するため、ボランティアや各種団体、企業等の意見を聴取し、意見を反映したものにします。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 9

1	事業名	保育園給食事業	コード	01	03	02	06	02	-
2	担当部課	教育部	給食センター						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③ 食育の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	保育園児、保護者
2	働きかける相手(対象)	保育園児、保育士、父母の会、食材
3	どのような状態にしたいのか(意図)	園児の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保育園給食賄材料費		
		(1)	園児の心身の健全な発達に資するため、栄養のバランスに配慮した献立内容で調理し、給食を実施しました。 (町内5保育園等で171,513食)	
		(2)	各園の代表、栄養士による保育園給食献立委員会を11回開催しました。(書面2回)	
		(3)	給食物資選定委員会(10名)を11回開催しました。	
		(4)	保育園父母の会の給食試食会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	
		(5)	園児向けの食育指導を実施しました。(和合・中部・南部・たかね・音貝 計40回)	
		(6)	入園説明会において栄養士が行っていた給食の概要とアレルギー対応の説明は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	
		(7)	東郷町産の食材を使用した給食を実施しました。(使用食材17品目)	
			主な食材名 使用月	使用した献立名
			米 年中	白飯、ちらし寿司
			トマト 4~8月	東郷町産トマト、米粉のカレーライス
	ナス 7~8月	なすのみそ汁、なすのミンチカレー		
	ローゼル 6月	ローゼルトルト		
	さつまいも 10~2月	さつまいものみそ汁、さつまいもの米粉かき揚げ、鬼まんじゅう		
	かぼちゃ 12月	東郷町産かぼちゃコロッケ		
	米粉 6~3月	東郷町産米粉のナポリタン、東郷町産お米のタルト他		
	たまねぎ 5~6月	豚肉のしょうが炒め、焼きそば、チキンライス		
(8)	有機野菜を使用した給食を実施しました。(使用食材8品目)			
	主な食材名 使用月	使用した献立名		
	小松菜 4~3月	小松菜のしらすあえ、もずくスープ		
	きゅうり 6~10月	きゅうりとしらすのごま酢あえ、三食あえ		
	ピーマン 7、8月	夏野菜の米粉カレーライス、酢どり、豚肉とピーマンの細切り炒め		
	たまねぎ 5月	春のみそ汁、ミート丼、春野菜のポトフ		
	にんじん 12~1月	金平サラダ、キャロットピラフ、キャロットポタージュ		
	ほうれんそう 4月	干草あえ、ほうれんそうの土佐あえ		
	オクラ 8月	オクラととりのあえ物、ひじきとオクラの和風サラダ		
(9)	無農薬にんじんの皮を使ったベジブロスを活用した献立を提供しました。			
(10)	園児の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を8回実施しました。			
(11)	卒園児対象のリクエスト献立を実施しました。			

5	活動指標	指標名	保育園用給食の年間総給食数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	198,413.00 食	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	189,677.00 食		
				令和3年度	164,778.00 食		
				令和4年度	171,513.00 食		
	指標の説明(指標式)	5保育園、ハーモニー、小規模保育室ひよこルームの乳児・幼児・職員及び給食センターでの総給食数(保存食は含めない)					
6	成果指標	指標名	東郷町産の食材を提供した給食回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	93.00 回	61.00 回	
				令和2年度	109.00 回	93.00 回	
				令和3年度	108.00 回	109.00 回	
				令和4年度	139.00 回	108.00 回	
	指標の説明(指標式)	米飯を除いた提供数					
7	直接事業費計	前年度決算額	46,979,528 円	決算額	45,157,272 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 9
	直接事業費①(②+③+④)	46,979,528	45,157,272	96.1 %	41,564,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	15,188,330	13,609,495	89.6 %		
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	31,791,198	31,547,777	99.2 %		
	概算人件費⑤	9,606,812	10,820,039	112.6 %		
	総合計(①+⑤)	56,586,340	55,977,311	98.9 %		
町費投入額(②+③+⑤)	24,795,142	24,429,534	98.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	150	142	94.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	229,585	175,752	76.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  園児数が増加したこと、新型コロナウイルス感染症による食数減が、ある程度解消されたため活動指標が向上しました。東郷町産の食材を積極的に提供したため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	4.1 %		○
	②成果指標の実績向上度	28.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	28.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-1.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	にここに給食の実施回数を1学期当たり3回に増やしました。 JAあいち尾東及び産業振興課と協力し、地産地消及び有機食材の安定して供給できる量の拡大に努めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	保育園給食は、園児の健全な発達に欠かせないものであり、継続して安定的に提供していく必要があります。 今後も生産者や納入業者と意見交換をしながら、アレルギーに配慮した、安全で安心できる給食物資を取り入れた保育園給食を提供していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東郷町産の有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東の協力のもと、生産者の圃場を訪問して、農作物の生産状況による給食献立への採用について情報交換をします。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	「にここに給食」の実施回数のさらなる拡大に取り組みます。 東郷町産の有機米及び有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東、生産者、産業振興課と連携協力して取り組みます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	みんなで食べる給食「にここに給食」の実施回数の拡大と、有機野菜を使った新しいメニューの開発に取り組みます。 農業部門と協力しながら、地産地消及び有機食材の拡大や米粉の給食食材への活用をさらに検討します。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 10

1	事業名	給食センター管理運営事業	コード	01	10	05	05	02	-
2	担当部課	教育部	給食センター						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③ 食育の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	保育園児、小中学生
2	働きかける相手(対象)	給食センター施設・設備、調理関係者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	給食センター施設・設備等の適正な維持管理を行い、常に安定稼働させるとともに、衛生的で安全な給食が提供できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	給食センター運営費	
		(1) 魅力あるおいしい給食づくり ア 献立委員会や物資選定委員会より出された意見やこれまでの反省等を元に旬の食材や地元食材を活用した給食を提供しました。 イ 運営委員会を開催し、センターの運営について審議しました。 (ア) 開催日 令和4年6月30日 (イ) 主な内容 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、学校及び保育園の栄養指導計画、給食費の定額制、給食用物資納入登録業者の登録 (ウ) 運営委員 教育部長、こども健康部長、各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表 (2) 食に関する指導の推進 小学校1、3、5年生と中学校3年生に対して、栄養教諭による食に関する指導を行いました。 小学校低学年には栄養素や食習慣等を、中学生には「お弁当を作ろう」をテーマに指導を行いました。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食の推進 ア 食育日より「いただきまーす」を献立表の裏面に掲載し、食育及び給食の歴史について啓発しました。 イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。 (4) 衛生管理の徹底、食中毒防止 ・センター内の職員全員(委託業者含む)の検便検査(サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス)を月2回実施しました。 ・食材の検収業務が円滑に行われるように、業者が納品に来たことを知らせるチャイムを本館検収室前のプラットフォームに設置しました。 (5) その他 ・給食調理配送等業務について事業者と契約を行いました。 ・食物アレルギーに対応しやすくするために、加工品等に含まれる食材を献立表に明記しました。 ・老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機及び高速度ミキサーを更新しました。	

5	活動指標	指標名	給食センターでの年間調理食数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)		令和元年度	食 960,547.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	食 946,301.00		
				令和3年度	食 987,075.00		
				令和4年度	食 979,326.00		
6	成果指標	指標名	給食安定提供率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明(指標式)	(年間給食実施回数-配送遅延回数) / 年間給食実施回数	令和元年度	% 100.00	% 100.00	設備の適切な維持管理を行うことで、常に確実に安全な給食を提供しなければならないため、目標値は100%としました。		
		令和2年度	% 100.00	% 100.00			
		令和3年度	% 100.00	% 100.00			
		令和4年度	% 100.00	% 100.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	207,726,677 円	決算額	203,820,238 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 10
	直接事業費①(②+③+④)	207,726,677	203,820,238	98.1 %	233,178,000	評価の符号
	一般財源②	207,726,677	203,820,238	98.1 %	233,178,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	9,914,230	8,037,743	81.1 %		
	総合計(①+⑤)	217,640,907	211,857,981	97.3 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	217,640,907	211,857,981	97.3 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	220	216	98.2 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,176,409	2,118,580	97.3 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症に伴う学校閉鎖や学級閉鎖が令和3年度に比べて減少したことから、活動指標は低下しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.8 %	
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-2.7 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機及び高速度ミキサーを更新しました。 食材の検収業務が円滑に行われるように、業者が納品に来たことを知らせるチャイムを本館検収室前のプラットフォームに設置しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	給食センターは、本館と別館が安定稼働し、給食の調理及び配送を安全かつ適切に実施できるよう努める必要があります。 本館は、平成4年度の閉館から30年が経過し、修理や交換が必要な設備もあるため、計画的に更新、修繕等を実施していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機を更新します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	安心・安全な給食の提供を行うため、調理場内の衛生環境の向上に取り組めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機及びミキサーを更新します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 11

1	事業名	小学校給食事業	コード	01	10	05	05	03	-
2	担当部課	教育部	給食センター						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③ 食育の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	小学生、保護者
2	働きかける相手(対象)	児童、教員、保護者、食材
3	どのような状態にしたいのか(意図)	児童の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校分賄材料費 (1) 提供食数 554,731食 (2) 献立作成の重点 ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に★マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。 イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。 ウ 年中行事等にちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。 エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを啓発しました。 オ 児童の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を6回実施しました。 (3) 応募献立 児童に給食への関心を高めてもらうため、献立を募集しました。受賞献立は、給食として提供しました。 ア テーマ「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立 (4) 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。(使用食材20品目) また、地産地消推進事業として東郷町産食材10品目について公費により給食を提供しました。 食材名 使用月 使用した献立名 さつまいも(※) 2月 鬼まんじゅう 米(※) 4~2月 東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、自然農法米他 かぼちゃ(※) 12月 東郷町産かぼちゃコロッケ など (※)は地産地消推進事業対象 (5) 有機野菜を使用した給食を実施しました。(使用食材8品目) 主な食材名 使用月 使用した献立名 小松菜 4~3月 小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他 にんじん 9~3月 五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他 (6) 残菜量(かっこ内は前年度分) 給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。 残菜量:合計7,089kg(6,086kg) 12.92g/食(10.8g/食) (7) 公費負担 学校給食費の定額制を採用しました。(児童3,400円/月、教員等4,200円/月) (8) 県産水産物学校給食提供推進事業により県から無償提供された県産食材を提供しました。
---	-----------------------	--

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	小学校用給食の年間総給食数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	523,845.00食	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	522,589.00食		
			令和3年度	564,866.00食		
	令和4年度	554,731.00食				
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	小学校給食満足度(給食が大好きと好きな児童の割合)	年度	実績値	目標値	過去3年間の平均値
			令和元年度	76.30%	79.30%	
			令和2年度	77.00%	78.00%	
			令和3年度	82.60%	77.30%	
			令和4年度	81.50%	78.60%	
7	直接事業費計	前年度決算額	147,035,948 円	決算額	146,617,959 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 11
	直接事業費①(②+③+④)	147,035,948	146,617,959	99.7 %	152,163,000	評価の符号
	一般財源②	32,496,148	32,782,529	100.9 %	36,747,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	114,539,800	113,835,430	99.4 %	115,416,000	
	概算人件費⑤	4,841,833	5,255,448	108.5 %		
	総合計(①+⑤)	151,877,781	151,873,407	100.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	37,337,981	38,037,977	101.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	66	69	104.5 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	452,034	466,724	103.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症に伴う学校閉鎖や学級閉鎖が令和3年度に比べて減少したことから、活動指標は低下しました。令和3年度に比べてアンケートの集計結果が減少したことから、成果指標が低下しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-1.8 %	△
	②成果指標の実績向上度	-1.3 %	△
	③成果指標の目標達成度	3.7 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	1.9 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  にここに給食の実施回数を1学期当たり2回に増やしました。 JAあいち尾東及び産業振興課と協力し、地産地消及び有機食材の安定して供給できる量の拡大に努めました。 本館事務室内に賄材料の納品完了を明示するための表示看板を設置したことで、納品の適切な管理につながりました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	学校給食は、児童の健全な発達に欠かせないものであり、継続して安定的に提供していく必要があります。 今後も生産者や納入業者と意見交換をしながら、アレルギーに配慮した、安全で安心できる給食物資を取り入れた学校給食を提供していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東郷町産の有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東の協力のもと、生産者の圃場を訪問して、農作物の生産状況による給食献立への採用について情報交換をします。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	「にここに給食」の実施回数のさらなる拡大に取り組みます。 東郷町産の有機米及び有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東、生産者、産業振興課と連携協力して取り組みます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	みんなで食べる給食「にここに給食」の実施回数の拡大と、有機野菜を使った新しいメニューの開発に取り組みます。 農業部門と協力しながら、地産地消及び有機食材の拡大や米粉の給食食材への活用をさらに検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 12

1	事業名	中学校給食事業	コード	01	10	05	05	04	-
2	担当部課	教育部	給食センター						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③ 食育の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	中学生、保護者
2	働きかける相手(対象)	生徒、教員、保護者、食材
3	どのような状態にしたいのか(意図)	生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校分賄材料費 (1) 提供食数 253,082食 (2) 献立作成の重点 ア 家庭の食事でも不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に★マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。 イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。 ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。 エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを周知しました。 オ 生徒の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を6回実施しました。 カ 卒業生対象にタブレットを用いたアンケートを行い、卒業生全員のリクエストを献立に取り入れました。 (3) 応募献立 生徒に給食への関心を高めてもらうため、献立を募集しました。受賞献立は、給食として提供しました。 ア テーマ「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立 (4) 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。(使用食材20品目) また、地産地消推進事業として東郷町産食材10品目について公費により給食を提供しました。 食材名 使用月 使用した献立名 ローゼル(※) 6月 東郷町産ローゼルトルト 米(※) 4~2月 東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、自然農法米他 かぼちゃ(※) 12月 東郷町産かぼちゃコロッケ など (※)は地産地消推進事業対象 (5) 有機野菜を使用した給食を実施しました。(使用食材8品目) 主な食材名 使用月 使用した献立名 小松菜 4~3月 小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他 にんじん 9~3月 五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他 (6) 残菜量(かっこ内は前年度分) 給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。 残菜量:合計2,940kg(2,702kg) 11.6g/食(10.5g/食) (7) 公費負担 学校給食費の定額制を採用しました。(生徒3,600円/月、教員等4,500円/月) (8) 県産水産物学校給食提供推進事業により県から無償提供された県産食材を提供しました。
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	中学校用給食の年間総給食数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	3中学校の生徒・教員等の総給食数(保存食は含めない)	令和元年度	238,289.00食	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	234,035.00食		
				令和3年度	257,431.00食		
				令和4年度	253,082.00食		
6	成果指標	指標名	中学校給食満足度(食が大好きと好きな生徒の割合)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	給食に関するアンケートにおけるアンケート項目「学校給食は好きですか?」の集計結果	令和元年度	71.60%	67.50%	
				令和2年度	75.00%	69.00%	
				令和3年度	79.60%	71.60%	
				令和4年度	75.30%	75.40%	
7	直接事業費計	前年度決算額	78,222,211 円	決算額	78,860,922 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 12
	直接事業費①(②+③+④)	78,222,211	78,860,922	100.8 %	83,526,000	評価の符号
	一般財源②	18,753,874	20,098,942	107.2 %	19,504,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	59,468,337	58,761,980	98.8 %	64,022,000	
	概算人件費⑤	4,841,833	5,255,448	108.5 %		
	総合計(①+⑤)	83,064,044	84,116,370	101.3 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	23,595,707	25,354,390	107.5 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	92	100	108.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	296,428	336,712	113.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症に伴う学校閉鎖や学級閉鎖が令和3年度に比べて減少したことから、活動指標は低下しました。令和3年度に比べてアンケートの集計結果が減少したことから、成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-1.7 %	△
	②成果指標の実績向上度	-5.4 %	△
	③成果指標の目標達成度	-0.1 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	7.5 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  にここに給食の実施回数を1学期あたり2回に増やしました。 JAあいち尾東及び産業振興課と協力し、地産地消及び有機食材の安定して供給できる量の拡大に努めました。 本館事務室内に賄材料の納品完了を明示するための表示看板を設置したことで、納品の適切管理につながりました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	学校給食は、生徒の健全な発達に欠かせないものであり、継続して安定的に提供していく必要があります。 今後も生産者や納入業者と意見交換をしながら、アレルギーに配慮した、安全で安心できる給食物資を取り入れた学校給食を提供していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東郷町産の有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東の協力のもと、生産者の圃場を訪問して、農作物の生産状況による給食献立への採用について情報交換をします。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	「にここに給食」の実施回数のさらなる拡大に取り組みます。 東郷町産の有機米及び有機野菜の給食食材への活用拡大に向け、JAあいち尾東、生産者、産業振興課と連携協力して取り組みます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	みんなで食べる給食「にここに給食」の実施回数の拡大と、有機野菜を使った新しいメニューの開発に取り組みます。 農業部門と協力しながら、地産地消及び有機食材の拡大や米粉の給食食材への活用をさらに検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 13

1	事業名	子ども医療費事業	コード	01	03	01	03	03	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	子ども医療費の受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	子どもの健全な育成を支援するとともに、子ども世帯における医療費負担を緩和し、安心して医療を受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	子ども医療費事業 0歳から18歳の年度末までの子どもを対象に、子どもの保険診療に係る自己負担額を現物給付（受給者証を提示することで無料で受診ができる方法）で助成しました。（平成24年1月から助成対象者を拡大）	

5	活動指標	指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 8,284.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	各月末の受給者数の総数/12月	令和2年度	人 8,150.00	人	
				令和3年度	人 8,020.00	人	
		令和4年度	人 7,889.00	人			
6	成果指標	指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	円/人 39,009.00	円/人 36,720.00	
		指標の説明 (指標式)	年間医療費/年間平均受給者数	令和2年度	円/人 34,313.00	円/人 39,009.00	
				令和3年度	円/人 38,499.00	円/人 34,313.00	
		令和4年度	円/人 39,082.00	円/人 38,499.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	308,761,439 円	決算額	308,315,550 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 13
	直接事業費①(②+③+④)	308,761,439	308,315,550	99.9 %	318,444,000	評価の符号
	一般財源②	241,093,825	249,128,065	103.3 %	312,163,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	67,667,614	59,187,485	87.5 %	6,281,000	
	概算人件費⑤	2,771,106	2,540,106	91.7 %	/	
	総合計(①+⑤)	311,532,545	310,855,656	99.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	243,864,931	251,668,171	103.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	30,407	31,901	104.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,334	6,439	101.7 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 高額療養費返還額が減少したため一般財源額が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-1.6 %	△
	②成果指標の実績向上度	1.5 %	○
	③成果指標の目標達成度	1.5 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.2 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 子ども医療費の対象者に社会人と婚姻者を含め、さらに19歳に達する年度の4月1日から24歳年度末までの大学生等に対する入院医療費を助成するために新条例を制定しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	子どもの医療費に加えて学生医療費を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもや学生が安心して医療を受けられる体制を整えていく必要があります。 また、令和6年秋に保険証が廃止される予定であるため、手続においてマイナンバーによる情報連携が図れるよう準備を進める必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、子ども医療を始めとする各福祉医療における手続について、マイナンバーによる情報連携が図れるよう環境の整備を進めていきます。 また、全国健康保険協会愛知支部の高額療養費受領委任制度廃止について、県及び県内他市町村と制度の継続を要望していきます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、子ども医療を始めとする各福祉医療における手続について、マイナンバーによる情報連携が図れるよう環境の整備を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	学生の入院医療費助成制度について、先進市の実施内容を踏まえて制度の内容を検討・構築を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 14

1	事業名	障がい者医療費事業	コード	01	03	01	03	04	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	障がい者医療の受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	心身障がい者の福祉の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者医療費事業 (1) 障がい者医療費（精神障がい者及び後期高齢者医療制度加入者を除く） 下記に該当する者に対して受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。 ア 身体障害者手帳1～3級の人（65歳未満） イ 4級の腎臓機能障がいの人 ウ 4～6級の進行性筋萎縮症の人 エ 療育手帳A・B判定の人（A判定のみ65歳未満） オ 自閉症状群と診断された人 (2) 精神障がい者医療費（後期高齢者医療制度加入者を除く） ア 精神障がい者自立支援医療受給者に対して受給者証を交付し、精神疾患通院分の医療費の自己負担額を助成しました。 イ 精神障がい者自立支援医療受給者等に対し、精神疾患の入院医療費の自己負担額の2分の1を助成しました。 ウ 精神障害者保健福祉手帳（65歳未満）の1・2級の人に対し、通院・入院についても全疾病で医療費の自己負担額を現物給付で助成しました。（平成26年8月から助成対象者拡大）		
---	-----------------------	--	--	--

5	活動指標	指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	各月末の受給者数の総数/12月	令和元年度	人 1,054.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	人 1,108.00	人	
				令和3年度	人 1,103.00	人	
令和4年度	人 1,131.00			人			
6	成果指標	指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
		指標の説明 (指標式)	年間医療費/年間平均受給者数	令和元年度	円/人 95,279.00	円/人 87,662.00	
				令和2年度	円/人 93,386.00	円/人 95,279.00	
				令和3年度	円/人 95,813.00	円/人 93,386.00	
令和4年度	円/人 96,187.00			円/人 95,813.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	105,682,184 円	決算額	108,787,833 円		

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 14
	直接事業費①(②+③+④)	105,682,184	108,787,833	102.9 %	112,218,000	評価の符号
	一般財源②	58,575,921	62,239,566	106.3 %	64,730,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	47,106,263	46,548,267	98.8 %	47,488,000	
	概算人件費⑤	3,562,851	3,333,889	93.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	109,245,035	112,121,722	102.6 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	62,138,772	65,573,455	105.5 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	56,336	57,978	102.9 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	649	682	105.1 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 年間医療費が増加したため、一般財源額が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	2.5 % ○	
	②成果指標の実績向上度	0.4 % ○	
	③成果指標の目標達成度	0.4 % ○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.5 % △	
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	心身障がい者が安心して医療を受けられるよう、制度内容を周知し、経済的な負担の軽減を図る必要があります。 また、令和6年秋に保険証が廃止される予定であるため、手続においてマイナンバーによる情報連携が図れるよう準備を進める必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。 また、全国健康保険協会愛知支部の高額療養費受領委任制度廃止について、県及び県内他市町村と制度の継続を要望していきます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 15

1	事業名	母子・父子家庭医療費事業	コード	01	03	01	03	05	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	母子・父子家庭医療の受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態に したいのか(意図)	母子・父子家庭の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子・父子家庭医療費事業 母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童及びその保護者等となる父母に対して受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。 また、1年ごとに資格確認を行い、受給者証を更新しました。	

5	活動指標	指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
			令和元年度	人	514.00	人	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明 (指標式)	各月末の受給者数の総数/12月	令和2年度	人	504.00		人	
			令和3年度	人	513.00	人			
令和4年度	人	524.00	人						
6	成果指標	指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値		
			令和元年度	円/人	49,153.00	円/人		39,594.00	
		指標の説明 (指標式)	年間医療費/年間平均受給者数	令和2年度	円/人	47,432.00		円/人	49,153.00
			令和3年度	円/人	48,839.00	円/人		47,432.00	
令和4年度	円/人	46,590.00	円/人	48,839.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	25,054,639 円	決算額	24,413,356 円				

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 15
	直接事業費①(②+③+④)	25,054,639	24,413,356	97.4 %	26,650,000	評価の符号
	一般財源②	11,185,927	11,936,475	106.7 %	13,275,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	13,868,712	12,476,881	90.0 %	13,375,000	
	概算人件費⑤	2,137,711	2,063,836	96.5 %		
	総合計(①+⑤)	27,192,350	26,477,192	97.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	13,323,638	14,000,311	105.1 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	25,972	26,718	102.9 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	273	301	110.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 高額療養費の返還額が減少したため一般財源額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	2.1 %		○
	②成果指標の実績向上度	-4.6 %		△
	③成果指標の目標達成度	-4.6 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.1 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		母子・父子家庭の方が安心して医療を受けられるよう、制度内容を周知し、経済的な負担の軽減を図る必要があります。 また、令和6年秋に保険証が廃止される予定であるため、手続においてマイナンバーによる情報連携が図れるよう準備を進める必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。 また、全国健康保険協会愛知支部の高額療養費受領委任制度廃止について、県及び県内他市町村と制度の継続を要望していきます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 16

1	事業名	後期高齢者福祉医療費給付事業	コード	01	03	01	03	06	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	後期高齢者福祉医療の受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	受給対象者の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	後期高齢者福祉医療費給付事業 後期高齢者医療保険に加入する次の要件に該当する方に対して、受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。 (1) 障がい者医療該当者 (2) 準母子・父子家庭の祖父母 (3) 精神保健福祉法第29条の措置入院患者 (4) 結核予防法第29条の命令入所者 (5) 寝たきり高齢者及び認知症高齢者（要介護度4又は5）で町民税非課税世帯の人 (6) 精神障がい者医療該当者	

5	活動指標	指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 597.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	各月末の受給者数の総数/12月	令和2年度	人 585.00	人	
				令和3年度	人 594.00	人	
				令和4年度	人 597.00	人	
6	成果指標	指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	円/人 102,862.00	円/人 94,172.00	
		指標の説明 (指標式)	年間医療費/年間平均受給者数	令和2年度	円/人 100,523.00	円/人 102,862.00	
				令和3年度	円/人 101,407.00	円/人 100,523.00	
				令和4年度	円/人 98,409.00	円/人 101,407.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	60,236,041 円	決算額	58,750,158 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 16
	直接事業費①(②+③+④)	60,236,041	58,750,158	97.5 %	67,120,000	評価の符号
	一般財源②	30,560,041	29,710,142	97.2 %	33,980,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	29,676,000	29,040,016	97.9 %	33,140,000	
	概算人件費⑤	2,296,059	2,540,106	110.6 %		
	総合計(①+⑤)	62,532,100	61,290,264	98.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	32,856,100	32,250,248	98.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	55,313	54,021	97.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	324	328	101.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 年間医療費が減少したため、直接事業費が減少しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.5 %	
	②成果指標の実績向上度	-3.0 %	△
	③成果指標の目標達成度	-3.0 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-1.8 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		後期高齢者福祉医療に該当する人が、安心して医療を受けられるよう、制度内容を周知し、経済的な負担の軽減を図る必要があります。 また、令和6年秋に保険証が廃止される予定であるため、手続においてマイナンバーによる情報連携が図れるよう準備を進める必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	令和6年秋に予定されている保険証廃止に伴い、各福祉医療における手続についてマイナンバーによる情報連携が図れるよう、環境の整備を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 17

1	事業名	救急医療対策事業	コード	01	04	01	02	06	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	救急医療を必要とする人
2	働きかける相手(対象)	休日急病診療所、救急病院
3	どのような状態にしたいのか(意図)	早急に医療行為が必要な人が、安心して治療ができるよう医療機関が確保され、その体制が維持できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	救急医療対策事業 愛知県の救急医療体制が構築されているなか、尾張東部医療圏に属する本町は、第1次救急医療施設の休日急病診療所と第2次救急医療施設の尾張東部地域救急医療対策連絡協議会(5市1町)の救急病院に運営費を支出しました。 (1) 第1次救急医療施設 日進市休日急病診療所(日進市) 令和4年度休日急病診療所利用状況 ア 東郷町 537人 16.1% イ 日進市 1,868人 55.8% ウ 長久手市 720人 21.5% エ その他 222人 6.6% 計 3,347人 (2) 第2次救急医療施設 日進おりど病院(日進市)、旭労災病院(尾張旭市) 日進おりど病院と旭労災指定病院です。また、陶生病院が、第3次救急医療施設(第2次救急医療機関の後方病院として脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門(熱傷、小児、中毒等)における重篤救急患者の救命医療を担当する。)に指定されています。  ※第1次救急医療施設とは、救急医療体制下において、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第2次救急医療施設への選別機能を持つ医療機関をいう。 ※第2次救急医療施設とは、第1次救急医療施設の後方病院として、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当する医療機関をいう。	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	日進市休日急病診療所(名古屋医師会運営)受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)	令和元年度	人 3,598.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 4,017.00	人		
			令和3年度	人 1,520.00	人		
			令和4年度	人 3,347.00	人		
6	成果指標	指標名	日進市休日急病診療所(名古屋医師会運営)を受診した東郷町民の数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明(指標式)	令和元年度	人 557.00	人 614.00	過去3年間の実績値の平均	
			令和2年度	人 610.00	人 605.00		
			令和3年度	人 238.00	人 592.00		
			令和4年度	人 537.00	人 468.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	3,989,716 円	決算額	3,287,678 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 17
	直接事業費①(②+③+④)	3,989,716	3,287,678	82.4 %	3,134,000	評価の符号
	一般財源②	3,989,716	3,287,678	82.4 %	3,134,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	383,363	308,451	80.5 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	4,373,079	3,596,129	82.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,373,079	3,596,129	82.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,877	1,074	37.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	18,374	6,697	36.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の抗原検査が休日急病診療所で実施できるようになった結果、受診者が増加し、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	120.2 %		○
	②成果指標の実績向上度	125.6 %		○
	③成果指標の目標達成度	14.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-17.8 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  令和5年度の休日急病診療所運営に係る基本合意書・協定等の更新に向けて、合意書・協定書の内容を医師会及び3市町で協議しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	広域(日進市、長久手市、東郷町)で医師会立の休日急病診療所を運営することにより十分に救急医療体制がとれています。 また、第3次救急医療の公立陶生病院、第2次救急医療の日進おりど病院とともにそれぞれの役割が十分に発揮できるよう、町民への啓発を行っていきます。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東名古屋医師会休日急病診療所運営に係る基本合意書・協定書の更新を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	第1次救急医療の確保は市町村の役割とされていることから、引き続き運営費を負担していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和5年度が休日急病診療所運営に係る基本合意書・協定書等の更新の年となるため、今後も休日急病診療所が持続的に運営できるように合意書・協定書の内容を医師会及び3市町で協議します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 18

1	事業名	国民健康保険徴税事業	コード	03	01	02	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険納税義務者(世帯主)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険税の適正で公正な賦課徴収を行い、国民健康保険財政の財源を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民健康保険徴税事業 国民健康保険税の賦課徴収事務について、主に次の事務を行いました。 (1) 収納事務について収納課と連携し、滞納に係る収納事務の効率化を図りました。 (2) 収納課において愛知尾三地区滞納整理機構の共同実施により、国民健康保険税滞納繰越分の徴収強化を図りました。 (3) 督促状・催告状の通知、口座振替・コンビニ収納、滞納整理等を行いました。 (4) 保険税未納者に対して短期保険証を活用し、3か月ごとの更新時に収納課と連携し、納税相談を行いました。 (5) 夜間・休日納税窓口相談を5月、7月、11月、2月の年4回実施しました。 (6) 非自発的失業者に対する軽減を適用し、失業者に対する保険税の負担軽減を図りました。 (7) 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入金額が3割以上減少した被保険者の保険税の減免を実施しました。			

5	活動指標	指標名	国民健康保険被保険者数 (年度平均)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 7,759.00	人	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	人 7,564.00	人	
				令和3年度	人 7,409.00	人	
				令和4年度	人 7,124.00	人	
6	成果指標	指標名	現年課税分収納率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 愛知県が示す保険者規模別目標収納率を参考に設定しました。
		指標の説明 (指標式)	収入済額÷調定額×100	令和元年度	% 96.07	% 95.50	
				令和2年度	% 96.32	% 96.00	
				令和3年度	% 96.12	% 96.00	
				令和4年度	% 96.44	% 96.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,836,816 円	決算額	1,770,804 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 18
	直接事業費①(②+③+④)	1,836,816	1,770,804	96.4 %	1,983,000	評価の符号
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,836,816	1,770,804	96.4 %	1,983,000	
	概算人件費⑤	8,392,494	9,922,288	118.2 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	10,229,310	11,693,092	114.3 %		
町費投入額(②+③+⑤)	8,392,494	9,922,288	118.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,133	1,393	122.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	87,313	102,886	117.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 保険税の徴収業務を収納課や愛知尾三地区滞納整理機構に移管し、徴収業務の取組強化を図ったことにより、成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-3.8 %	△
	②成果指標の実績向上度	0.3 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.5 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	18.2 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	愛知尾三地区滞納整理機構の取組には一定の効果があり、今後も引き続き収納課及び愛知尾三地区滞納整理機構と連携していく必要があります。 また、令和6年度以降は収納課において債権一元化に向けた動きがあるため、業務フローを見直す必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	債権一元化に向けた、業務フローの見直しを行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	収納課において債権一元化を目指しているため、連携を図り、業務が滞ることのないよう進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 19

1	事業名	国民健康保険趣旨普及費事業	コード	03	01	04	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険被保険者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険制度の趣旨普及を図り、被保険者の健康管理意識の向上や保険制度についての理解を促し、収納率の向上、医療費の抑制が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>国民健康保険趣旨普及費事業 国民健康保険制度を理解してもらうため、パンフレットを作成し、被保険者に配布しました。また、ホームページ、広報紙により制度等の周知を行いました。</p> <p>(1) パンフレット等の作成・配布 ア 国民健康保険納税通知書同封チラシ 12,000部</p> <p>(2) 広報紙への掲載・広報活動 ア 国民健康保険証の更新(8月号) イ 国民健康保険税率(5月号) ウ 特定健診(5月号)、(11月号) エ 夜間・休日納税相談窓口(5月号、7月号、11月号、2月号) オ 医療費の適正化にご協力ください(5月号) カ 傷病手当金(11月号) キ 高齢受給者証の更新(7月号) ク 年度中に75歳になる人の国民健康保険税(7月号) ケ 新型コロナウイルス感染症による保険税の減免(7月号) コ 整骨院・接骨院での国民健康保険の受診(11月号) ク サ 保険税納付済額(1月号) シ 国民健康保険の届け出(3月号)</p> <p>(3) 窓口のチラシ等 ア 国民健康保険税等の納期一覧表 イ 国民健康保険税の決め方 ウ 特定健診のご案内 エ 非自発的失業者軽減制度のお知らせ オ 国民健康保険チラシ カ 国民健康保険パンフレット「かんたん国保」 6,500部</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名 パンフレット作成冊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	冊 6,000.00	冊 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	冊 12,500.00	冊	
			令和3年度	冊 12,000.00	冊	
			令和4年度	冊 18,500.00	冊	
6	成果指標	指標名 趣旨普及活動件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			令和元年度	件 17.00	件 23.00	
			令和2年度	件 21.00	件 17.00	
			令和3年度	件 19.00	件 21.00	
			令和4年度	件 19.00	件 19.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	316,195 円	決算額	620,950 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 19
	直接事業費①(②+③+④)	316,195	620,950	196.4 %	0	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	316,195	620,950	196.4 %	0	
	概算人件費⑤	1,187,617	1,508,188	127.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	1,503,812	2,129,138	141.6 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,187,617	1,508,188	127.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	99	82	82.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	62,506	79,378	127.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  保険証の更新年度であり、保険証同封チラシ等を購入したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	54.2 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	27.0 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		国民健康保険を適切に運営していくために、正しい制度の周知・啓発を推進していく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	国民健康保険一般管理事業へ統合します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	国民健康保険制度の理解を促すため、周知啓発に取り組んでいきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 20

1	事業名	診療所運営事業	コード	05	02	01	01	01	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	診療の必要がある人、町民
2	働きかける相手(対象)	診療の必要がある人、町民、職員等、東郷町診療所施設設備
3	どのような状態に したいのか(意図)	安心して受診できる診療体制を確立するとともに、疾病の早期発見や適切な治療を提供します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>診療所運営事業 令和4年度における外来患者及び往診等を行った患者の合計は12,058人でした。 町民の健康維持を図るため、特定健診やがん検診、安心人間ドックなどの健診等を1,656人実施しました。また、予防接種を2,933人実施しました。</p> <p>(1) 医療機器等 ア 視力計の修繕を行いました。 イ 安定した医療を提供するためX線撮影装置読取システム機器（1式）、内視鏡（胃カメラ）システム（1式）を更新しました。</p> <p>(2) 医薬材料 治療及び予防のために処方する医薬材料を購入しました。</p> <p>(3) 臨床検査 受診者の状態を把握するための病理学的検査や各種臨床検査について、検査精度を確保するため専門業者に委託しました。</p> <p>(4) 臨時医師等雇用 ア 藤田医科大学病院から専門医（循環器内科、消化器内科）を派遣いただき、毎週金曜日と土曜日に診療を行いました。 イ 診療、看護業務の円滑な遂行を図るため、看護師（5人）放射線技師（1人）を任用しました。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症対応 ア 発熱等により感染の疑いのある患者用の診察スペースを屋外に設置し、新型コロナウイルス感染症に感染の疑いのある患者（風邪症状、発熱、味覚異常など）の診察を実施しました。</p>			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	指標名	検査人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 1,570.00	人 個別計画による目標値はありません。	
活動指標	指標の説明 (指標式)	検査を行った人の人数(特定健康診査、各種がん検診、結核検診、人間ドック、自費健診など)	令和2年度	人 1,639.00	人	
			令和3年度	人 1,728.00	人	
			令和4年度	人 1,656.00	人	

  

6	指標名	診療患者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	人 12,928.00	人 13,181.00	
成果指標	指標の説明 (指標式)	患者の延べ人数	令和2年度	人 12,294.00	人 12,928.00	
			令和3年度	人 14,333.00	人 12,294.00	
			令和4年度	人 12,058.00	人 14,333.00	

  

7	直接事業費計	前年度決算額	51,087,332 円	決算額	45,805,737 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 20
	直接事業費①(②+③+④)	51,087,332	45,805,737	89.7 %	50,399,000	評価の符号
	一般財源②	44,028,914	31,989,883	72.7 %	49,883,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	7,058,418	13,815,854	195.7 %	516,000	
	概算人件費⑤	17,751,807	15,059,461	84.8 %		
	総合計(①+⑤)	68,839,139	60,865,198	88.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	61,780,721	47,049,344	76.2 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	35,753	28,411	79.5 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,310	3,902	90.5 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-4.2 %	新型コロナウイルス感染症の影響による、長期処方の実施により一般患者数は329人減少しました。訪問診療者は83人減少し、愛厚ホーム住診者は138人減少しました。全体の人数が、2,054人減少したことで、成果指標が低下しました。	
	②成果指標の実績向上度	-15.9 %		×
	③成果指標の目標達成度	-15.9 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-23.8 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
	②受益者負担は適切ですか。	○		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	町ホームページやSNSを活用し、インフルエンザの予防接種の最新の情報提供及び人間ドックや動脈硬化検診の受検を勧奨しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	質の高い診療に資するため、医療検査機器の計画的な維持管理を行っていきます。また、公立医療機関として、疾病の治療のほか、予防に視点を置いた健康診査、がん検診、予防接種を行うとともに、訪問診察等の在宅医療にも引き続き力を入れていきます。今後も身近なかかりつけ医として安心につながる医療を提供する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに合わせ、診療所内の感染対策を適切に行っていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	情報提供するものは、より目に留まりやすく、健康診査、予防接種についてはわかりやすい内容のものを検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	ホームページの内容を整理し、SNSを活用することで町民の皆様が必要とする情報をわかりやすく提供していきます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 21

1	事業名	訪問看護事業	コード	05	04	01	01	02	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町内の家庭内における療養上の看護が必要な人及びその家族
2	働きかける相手(対象)	町内の家庭内における療養上の看護が必要な人及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	要介護者及び要医療者の精神及び身体の現状の維持・回復を図り、安心して在宅で暮らすことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	訪問看護事業 主治医の指示のもと訪問看護師が利用者の自宅を訪問し、在宅医療を延べ862回実施しました。また、訪問看護に関する研修会、学術書、専門機関のホームページ等を通じ情報収集や専門知識の習得に努めました。 (1) 在宅療養 ア 診療上の世話として病状の観察、食事・排泄・衛生の管理及び援助、精神面の支援を行いました。 イ 診療の補助とし褥創(じょくそう)の処置、カテーテルの管理、点滴注射などの医療処置等を行いました。 ウ 機能回復のための訓練(リハビリテーション)の援助を行いました。 エ 家族への支援として療養上の指導、健康管理、精神的支援等を行いました。 (2) 訪問車両の管理 訪問看護業務に使用する軽自動車の法定点検、継続検査等の維持管理を行いました。 (3) 医療機関院内感染防止対策事業 ア 使用物品・手指消毒の徹底し、防護具を着用のうえ訪問看護業務を実施しました。 イ 地域の訪問看護事業所間において、陽性者(濃厚接触者)発生時の対応・体制について検討しました。			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	延べ訪問回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	1,115.00回	回	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	1,174.00回	回	
				令和3年度	902.00回	回	
				令和4年度	862.00回	回	
指標名	1回当たりの訪問時間	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法		
成果指標	指標の説明 (指標式)	年間患者宅滞在時間÷年間利用件数(令和4年度42,945分÷862回)	令和元年度	43.78分	40.74分	前年度実績	
			令和2年度	47.00分	43.78分		
			令和3年度	50.57分	47.00分		
			令和4年度	49.82分	50.57分		
7	直接事業費計	前年度決算額	3,006,890 円	決算額	2,980,425 円		

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 21
	直接事業費①(②+③+④)	3,006,890	2,980,425	99.1 %	3,198,000	評価の符号
	一般財源②	-6,210,859	-6,464,984	104.1 %	-6,275,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	9,217,749	9,445,409	102.5 %	9,473,000	
	概算人件費⑤	18,850,731	18,657,003	99.0 %		
	総合計(①+⑤)	21,857,621	21,637,428	99.0 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	12,639,872	12,192,019	96.5 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	14,013	14,144	100.9 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	249,948	244,721	97.9 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  訪問看護利用者の施設入所や死亡により、介護保険分の訪問回数が減少したため、活動指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-4.4 %		△
	②成果指標の実績向上度	-1.5 %		△
	③成果指標の目標達成度	-1.5 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-3.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  近隣医療機関、地域包括支援センターの他、精神疾患に特化した地域活動支援センター(柏葉)とも連携を強化し、利用者への訪問体制(看護師2名での訪問)や訪問時間の調整等を図りながら、在宅療養の継続ができました。 経営戦略の素案を基に、現状の分析と近隣地域(訪問看護ステーションを中心に10km圏内)の施設等の状況確認を行いました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	今後の高齢化社会の進展に伴い、在宅ケアの充実はますます重要なものとなっています。在宅療養者への支援を行っていくうえでも公的な訪問看護ステーションの役割は重要で、精神疾患やターミナル期の患者からのニーズも高く、今後も継続的な在宅支援が求められています。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	要介護者及び要医療者が、安心して在宅で暮らすことができますようにします。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 22

1	事業名	更生保護事業	コード	01	03	01	01	04	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	② 地域福祉推進体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、罪を犯した人
2	働きかける相手(対象)	町民、保護司会、更生保護女性会、小中学校児童生徒、事業所
3	どのような状態にしたいのか(意図)	犯罪や非行の防止、また、罪を犯した人の更生(再犯防止や社会復帰など)についての町民の理解を深め、犯罪のない明るい社会を築きます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 更生保護事業 (1) 町更生保護女性会及び愛知保護区保護司会東郷部会に補助金を交付しました。 (2) 愛知保護区保護司会に負担金を交付しました。
		2 社会を明るくする運動事業 7月を「社会を明るくする運動」の強調月間とし、推進委員会を中心に各種活動を実施しました。 (1) 広報紙への掲載、のぼり・黄色いハンカチの設置、ポスターの掲示、紙人形劇披露等による広報活動 (2) 啓発資材の配布 (場 所) 町内の保育園・幼稚園、小中学校及び高等学校、金融機関、コンビニ、パチンコ店、町施設等 106か所 (3) 記念講演会への参加(令和4年7月7日(木)東郷町民会館ホール) (4) ミニ集会の開催 ア 日 時 令和4年9月29日(木)午前10時から正午まで イ 場 所 東郷町民会館 大会議室 ウ 講 師 マナーコンサルタント 正門 律子氏 演題:新たな一歩をふみだそう エ 参加者 113名(自治会、少年補導委員、民生委員児童委員、保護司、更生保護女性会、PTA等) (5) 社会を明るくする運動に関する作文の募集 ア 対象校 兵庫小学校、東郷小学校、春木中学校 イ 応募数 54件

5	活動指標	指標名	啓発活動数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	箇所 108.00	箇所 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	啓発資材配布や街頭活動等の啓発活動を実施した箇所数	令和2年度	箇所 103.00	箇所	
				令和3年度	箇所 107.00	箇所	
				令和4年度	箇所 106.00	箇所	
6	成果指標	指標名	ミニ集会の参加者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	人 124.00	人 106.00	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 0.00	人 124.00	
				令和3年度	人 73.00	人 0.00	
				令和4年度	人 113.00	人 73.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	882,516 円	決 算 額	940,237 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 22
	直接事業費①(②+③+④)	882,516	940,237	106.5 %	976,000	評価の符号
	一般財源②	882,516	940,237	106.5 %	976,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,764,859	3,882,772	103.1 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	4,647,375	4,823,009	103.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,647,375	4,823,009	103.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	43,433	45,500	104.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	63,663	42,681	67.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症に配慮して、人数制限をしながらもミニ集会を開催したため成果指標が向上しました。ミニ集会や活動団体の研修を実施したことで直接事業費が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.9 %	△
	②成果指標の実績向上度	54.8 %	○
	③成果指標の目標達成度	54.8 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.8 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  令和2年度に実施した保護司及び更生保護女性会のアンケート調査を基に、社会を明るくする運動の啓発として、街頭活動を廃止し、黄色いハンカチを各地区や役場庁舎に掲示しました。また、更生保護女性会による町立保育園の年長児に向けた紙人形劇を新たに実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	社会を明るくする運動は犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。本町でも広報活動、紙人形劇、講演会等を開催し、広く町民に働きかけていく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	犯罪や非行の防止、また、罪を犯した人の更生(再犯防止や社会復帰など)についての町民の理解を深めるために啓発をしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	活動内容の見直しの結果、街頭活動を廃止し、新たに黄色いハンカチの掲示を役場庁舎、いこまい館、一部自治会で試行的に始めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 23

1	事業名	社会福祉協議会補助事業	コード	01	03	01	01	05	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	② 地域福祉推進体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	福祉サービスの受給者
2	働きかける相手(対象)	社会福祉協議会
3	どのような状態に したいのか(意図)	地域を主体とする福祉活動の中心的な担い手である社会福祉協議会の安定的な事業運営を確保し、町民福祉の増進のため積極的な福祉活動が展開されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会福祉協議会補助事業 社会福祉法人として活動するための理事会、監査、評議員会等の開催、経理、職員の福利厚生等の基盤整備を行う法人運営への補助を行いました。	
		(1) 普通会员	5,712 □
		(2) 賛助会員	43 □
		(3) 法人会員	295 □
		(4) その他の会員	354 □
		会員計	6,404 □

5	活動指標	指標名	社会福祉協議会(法人運営事業)の決算額に占める補助金の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	運営費補助金÷法人運営事業費	令和元年度	68.65 %	%	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	79.00 %	%	
				令和3年度	74.44 %	%	
				令和4年度	78.51 %	%	
6	成果指標	指標名	社会福祉協議会会員率(普通会员)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	普通会员口数÷年度末総世帯数	令和元年度	34.71 %	38.90 %	
				令和2年度	34.00 %	37.00 %	
				令和3年度	33.40 %	35.22 %	
				令和4年度	31.22 %	34.04 %	
7	直接事業費計	前年度決算額	33,542,000 円	決算額	35,870,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 23
	直接事業費①(②+③+④)	33,542,000	35,870,000	106.9 %	39,049,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	33,542,000	35,870,000	106.9 %	39,049,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,176,518	1,617,822	137.5 %		
	総合計(①+⑤)	34,718,518	37,487,822	108.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	34,718,518	37,487,822	108.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	466,396	477,491	102.4 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,039,477	1,200,763	115.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症に配慮しながらの活動になったことで、普通会员数が減少したため、成果指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	5.5 %		△
	②成果指標の実績向上度	-6.5 %		△
	③成果指標の目標達成度	-8.3 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	8.0 %		△
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	社会福祉協議会が担うべき業務は、多岐にわたっており、必ずしも採算がとれる事業ばかりではありません。今後も行政が補助すべき社会福祉協議会の法人運営事業等の内容を捉え、支援していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	老朽化する施設の補修に関する財政援助について、社会福祉協議会と協議します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町民、社会福祉協議会、町が連携して地域福祉の増進に向けた取組を推進し、福祉の向上につなげます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	社会福祉協議会の運営事業等について、地域福祉の増進に繋がるよう、社会福祉協議会と協議します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 24

1	事業名	成年後見制度利用支援事業	コード	01	03	01	01	07	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	③ 包括的な支援体制の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	ひとり暮らし等で判断能力の不十分な知的障がい者及び精神障がい者
2	働きかける相手(対象)	知的障がい者及び精神障がい者、尾張東部権利擁護支援センター、家庭裁判所
3	どのような状態にしたいのか(意図)	成年後見人を選任し、本人の支援及び権利の擁護ができますようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成年後見制度利用支援事業	
		<p>(1) 尾張東部権利擁護支援センター（瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市及び東郷町の5市1町で設置）に、成年後見に関する業務を委託しました。</p> <p>ア 尾張東部権利擁護支援センター運営協議会開催回数 2回</p> <p>イ 尾張東部権利擁護支援センター適正運営委員会開催回数 6回</p> <p>(2) 成年後見制度に関する相談事業を尾張東部権利擁護支援センターで実施し、町民からの相談に対応しました。</p> <p>ア 相談人数 40人（延べ相談件数 602件）</p> <p>イ 相談者の種別 認知症20人、高齢者5人、障がい者14人、その他1人</p> <p>(3) 専門職による個人受任が困難な場合に尾張東部権利擁護支援センターが後見人等になり、後見実務を行いました。</p> <p>法人受任人数 7人（高齢者 4人、精神障がい者 3人）</p> <p>(4) 親族等による申立てができない人に対して行う、町長による成年後見審判申立ては2件ありました。</p> <p>(5) 尾張東部権利擁護支援センターにおいて、市民後見人を養成しました。</p> <p>市民後見人バンク登録者数（構成市町全体） 55人</p> <p>(6) 成年後見制度に関する研修事業</p> <p>成年後見制度勉強会を尾張東部圏域の住民及び専門職に対して行いました。</p> <p>ア 住民向け研修会 11回</p> <p>イ 専門職向け研修会 18回</p> <p>(7) 周知啓発事業</p> <p>成年後見制度、尾張東部権利擁護支援センターの周知を図るため、住民の方を対象に講演会を開催しました。</p> <p>ア 開催日 令和4年6月10日（金）</p> <p>イ 場所 長久手市文化の家</p> <p>ウ 参加人数 133人</p>	

5	活動指標	指標名	成年後見制度相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	件 341.00	件 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	尾張東部成年後見センターが受け付けた東郷町の相談件数	令和2年度	件 632.00	件	
				令和3年度	件 811.00	件	
				令和4年度	件 602.00	件	
6	成果指標	指標名	法人受任件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度の実績値
				令和元年度	件 5.00	件 5.00	
		指標の説明 (指標式)	尾張東部権利擁護支援センターが受任した東郷町の件数（前年度からの継続を含む。）	令和2年度	件 5.00	件 5.00	
				令和3年度	件 6.00	件 5.00	
				令和4年度	件 7.00	件 6.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	2,400,557 円	決算額	2,558,345 円		

項 目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 24
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	2,400,557	2,558,345	106.6 %	2,764,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	2,222,780	2,369,292	106.6 %	2,610,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	177,777	189,053	106.3 %	154,000	
	概算人件費⑤	2,039,298	1,456,040	71.4 %		
	総合計(①+⑤)	4,439,855	4,014,385	90.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,262,078	3,825,332	89.8 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,255	6,354	120.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	710,346	546,476	76.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  電話や来所等による相談件数が減少したため、活動指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-25.8 %		×
	②成果指標の実績向上度	16.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	16.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-10.2 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	尾張東部権利擁護支援センター及び構成市町で策定された「尾張東部圏域成年後見制度利用促進計画」に基づき、制度の啓発、制度利用を支援するほか、市民後見人の養成を行い、成年後見制度の利用促進に引き続き取り組んでいく必要があります。 また、障がいのある人を擁護している親の高齢化に伴い、成年後見が必要なケースの増加が想定されるため、相談支援事業所や尾張東部権利擁護支援センターと連携しながら、必要な人が成年後見制度を利用できるように支援していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休 廃 止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本 年 度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来 年 度 2 (令和6年度) 以降の方向性	障がい者本人の支援及び権利の擁護ができるようにしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 25

1	事業名	権利擁護事業	コード	08	05	02	02	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	③ 包括的な支援体制の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及びその家族
2	働きかける相手(対象)	高齢者及びその家族、尾張東部権利擁護支援センター、家庭裁判所
3	どのような状態にしたいのか(意図)	判断能力が不十分な高齢者の財産や権利を守ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	権利擁護事業 親族等による申し立てが出来ない人に対して成年後見制度に係る手続きを実施しました。 成年後見制度利用支援事業 (1) 成年後見審判申し立てに係る診断書作成 1件 (2) 成年後見審判町長申し立て件数 0件 (3) 成年後見事件審判申し立てに係る鑑定 0件	

5	指標名	診断書作成件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	1.00	件	件	個別計画による目標値はありません。
活動指標	指標の説明 (指標式)	成年後見審判申し立てに係る診断	令和2年度	4.00	件	件	
			令和3年度	1.00	件	件	
			令和4年度	1.00	件	件	
6	指標名	鑑定件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			令和元年度	1.00	件		1.00
	指標の説明 (指標式)	成年後見事件審判申し立てに係る鑑定	令和2年度	1.00	件	1.00	
			令和3年度	0.00	件	1.00	
			令和4年度	0.00	件	1.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,610,680 円	決算額	1,356,500 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 25
	直接事業費①(②+③+④)	1,610,680	1,356,500	84.2 %	2,485,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	309,038	261,126	84.5 %	384,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,301,642	1,095,374	84.2 %	2,101,000	
	概算人件費⑤	3,266,050	3,553,227	108.8 %		
	総合計(①+⑤)	4,876,730	4,909,727	100.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	3,575,088	3,814,353	106.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,575,088	3,814,353	106.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  診断書作成件数が前年度と同数であったため、活動指標に変化はありません。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	今後も、判断能力が十分でない高齢者について適切に対応できるように、随時、尾張東部権利擁護支援センター等関連期間との協議を続けていく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	尾張東部権利擁護支援センター等関連機関との協議を続け、判断能力が不十分な高齢者への対応を充実させていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 26

1	事業名	障がい者扶助事業	コード	01	03	01	01	08	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	身体障がい・知的障がい・精神障がいの各手帳所持者及びその家族
2	働きかける相手(対象)	各障がい者手帳所持者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各障がい者手帳所持者が日常生活を営む上での経済的負担が軽減されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者扶助料支給事業 障がい者手帳所持者に扶助料を支給しました。(年2回:9月及び3月)	
		(1) 支給実績 ア 9月期支給: 身体705人、知的253人、精神397人 計 1,335人 イ 3月期支給: 身体687人、知的260人、精神420人 計 1,367人 (2) 障がい者手帳交付状況(令和5年3月31日現在) ア 身体障害者手帳 1,058人(対前年度比0.4%減) (ア) 1級 317人 (イ) 2級 141人 (ウ) 3級 221人 (エ) 4級 246人 (オ) 5級 76人 (カ) 6級 57人 イ 療育手帳 302人(対前年度比4.1%増) (ア) A判定 110人 (イ) B判定 63人 (ウ) C判定 129人 ウ 精神障害者保健福祉手帳 494人(対前年度比8.3%増) (ア) 1級 53人 (イ) 2級 316人 (ウ) 3級 125人	

5	活動指標	指標名	手当受給資格者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 1,325.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	3月期の障がい者扶助料支給人数	令和2年度	人 1,319.00	人	
				令和3年度	人 1,347.00	人	
			令和4年度	人 1,367.00	人		
6	成果指標	指標名	手当受給率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 手当受給有資格者全員に手当を支給することを目標としました。
				令和元年度	% 100.00	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	手当受給者÷手当受給有資格者×100(%)	令和2年度	% 100.00	% 100.00	
				令和3年度	% 100.00	% 100.00	
			令和4年度	% 100.00	% 100.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	48,570,500 円	決算額	49,722,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 26
	直接事業費①(②+③+④)	48,570,500	49,722,000	102.4 %	50,180,000	評価の符号
	一般財源②	48,570,500	49,722,000	102.4 %	50,180,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,196,168	2,264,951	103.1 %		
	総合計(①+⑤)	50,766,668	51,986,951	102.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	50,766,668	51,986,951	102.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	37,689	38,030	100.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	507,667	519,870	102.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 障害者手帳の交付や転入の手続きの際に、手当受給有資格者に対し、漏れなく扶助料の申請案内をすることで、成果指標を100%に維持できました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	1.5 %	○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	2.4 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		新たに障害者手帳を取得した際などに、扶助料の支給に関する案内を引き続き行っていく必要があります。有効期限がある療育手帳や精神障害者保健福祉手帳では、期限切れにより扶助料が支払い停止とならないように、今後も手帳更新の案内を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	日常生活を営む上で経済的負担が軽減されるよう、対象となる人へ扶助料を適正に支給します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 27

1	事業名	障がい者(児)支援サービス事業	コード	01	03	01	01	09	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	在宅生活を送る身体障がい児者、知的障がい児者、精神障がい児者及び家族
2	働きかける相手(対象)	在宅生活を送る身体障がい児者、知的障がい児者、精神障がい児者及び家族、社会福祉団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	日常生活を営むことに支障のある障がい者等の外出が促進されるようにするとともに、在宅における経済負担を軽減し、安心して生活できるようにします。また、障がい者の加入する社会福祉団体の活動が活発に行われるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者(児)支援サービス事業 (1) 障がい者タクシー料金助成事業 在宅で生活する身体障がい者(1級~3級)、知的障がい者(A判定・B判定)及び精神障がい者(1級・2級)に対し、タクシー利用券(1枚当たり200円、年間90枚まで)を交付しました。 年間利用枚数 25,188枚 (2) 社会福祉団体育成事業 町身体障害者福祉協議会、町知的障害児・者連絡協議会、町精神障がい者連絡協議会及び障がい者団体連絡会に補助金を交付しました。 (3) 家庭介護支援事業 在宅の重度の身体障がい者(下肢又は体幹機能障がい1級・2級)及び知的障がい者(A判定)に対し、介護用品(主におむつ)の購入費の助成をしました。 延べ利用人数 272人 (4) 障がい者共同生活援助費 共同生活援助を実施する事業所の経営の安定化及び参入促進を図るため補助金を交付しました。 補助金交付事業所: 4事業所			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	タクシー利用券交付人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 430.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	人 464.00	人	
				令和3年度	人 511.00	人	
				令和4年度	人 544.00	人	
6	成果指標	指標名	タクシー助成利用率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
		指標の説明 (指標式)	年間利用枚数÷年間交付枚数(平成30年度までは500円/回の利用制限あり、令和元年度からは1回あたりの利用制限なし。)	令和元年度	% 47.15	% 23.77	
				令和2年度	% 45.29	% 47.15	
				令和3年度	% 49.19	% 45.29	
				令和4年度	% 51.45	% 49.19	
7	直接事業費計	前年度決算額	6,280,321 円	決算額	7,192,931 円		



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 27
	直接事業費①(②+③+④)	6,280,321	7,192,931	114.5 %	9,307,000	評価の符号
	一般財源②	6,241,739	7,042,206	112.8 %	9,307,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	38,582	150,725	390.7 %	0	
	概算人件費⑤	3,372,686	3,073,862	91.1 %		
	総合計(①+⑤)	9,653,007	10,266,793	106.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	9,614,425	10,116,068	105.2 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	18,815	18,596	98.8 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	195,455	196,619	100.6 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の所持者の増加により、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	6.5 %		○
	②成果指標の実績向上度	4.6 %		○
	③成果指標の目標達成度	4.6 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.2 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  デマンドタクシーとタクシー料金助成の利用状況の聞き取り結果をもとに公共交通のあり方などについて関係各課と共有しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	障がいのある人が社会参加しやすい地域になるよう多様な交通手段の提供や支援を行っていく必要があります。また、重度の身体障がい者の在宅における家族支援や経済的支援を行っていく必要があります。 障がい者が加入する社会福祉団体においては、会員の高齢化や減少が課題になっています。地域支援マップや福祉のしおりに各団体の案内を掲載するとともに、障害者手帳を交付する際に団体の周知をしていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	障害者手帳を交付する際に各障がい者団体についての周知をしていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	重度の障がい者が安心して生活できるように外出時の支援や在宅における経済的支援を行っていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	タクシー料金助成の交付申請窓口で、デマンドタクシーとタクシー料金助成の利用状況の聞き取りをし、公共交通のあり方などについて関係各課と共に検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 28

1	事業名	障がい者自立支援給付費事業	コード	01	03	01	01	11	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児
2	働きかける相手(対象)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	障害者総合支援法に基づく介護給付費等を適正に給付することにより、障がいのある人が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者自立支援給付費事業	
		(1) 介護給付費 居宅介護等の介護給付費を給付しました。 ア 居宅介護 延べ 5,716時間 イ 行動援護 延べ 43時間 ウ 同行援護 延べ 410時間 エ 生活介護 延べ 14,987日 オ 福祉型短期入所 延べ 561日 カ 療養介護 延べ 31人 キ 施設入所支援 延べ 123人 (2) 訓練等給付費 訓練等給付費を給付しました。 ア 自立訓練 延べ 635日 イ 就労移行支援 延べ 1,998日 ウ 就労継続支援 延べ 21,425日 エ 就労定着支援 延べ 74日 オ 共同生活援助 延べ 453人 カ 宿泊型自立訓練 延べ 659日 (3) 指定相談支援 支給決定を受けた障がいのある人が対象となるサービスを適切に利用できるよう、心身の状況やその他の事情等を勘案し、サービス等利用計画を作成しました。支給決定後は、利用状況の検証を行いました。 計画相談支援 819件 (4) 地域移行支援 入所施設や精神科病院等から退所や退院をする人に地域移行に向けた支援を行いました。地域移行支援 0件 (5) 地域定着支援 入所施設や精神科病院等から退所や退院した人に緊急時の相談や支援を行いました。地域定着支援 7件 (6) 補装具給付費 各種補装具の給付・修理を決定しました。 義肢2件、装具8件、座位保持装置2件、視覚障がい者安全つえ4件、眼鏡2件、補聴器20件、車いす6件、歩行補助つえ1件 (合計45件)	

5	活動指標	指標名	介護給付費利用実人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	介護給付費を利用した障がいのある人の毎月の実人数の平均値(各年度3月~翌年2月)をサービスごとに算出し、合計としました。	令和元年度	人 217.24	人 個別計画による目標値はありません。		
				令和2年度	人 231.00	人		
				令和3年度	人 275.16	人		
令和4年度	人 367.66	人						
6	成果指標	指標名	障がい福祉計画における障害福祉サービス等見込量の実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
		指標の説明 (指標式)	障がい福祉計画に計上した障害福祉サービス等見込量の実施率(実績値の合計÷見込量の合計)	令和元年度	% 123.81	% 100.00		見込量を目標としました。
				令和2年度	% 108.00	% 100.00		
				令和3年度	% 98.86	% 100.00		
令和4年度	% 102.48	% 100.00						
7	直接事業費計	前年度決算額	489,402,749 円	決算額	553,467,865 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 28
	直接事業費①(②+③+④)	489,402,749	553,467,865	113.1 %	653,597,000	評価の符号
	一般財源②	131,233,534	133,311,342	101.6 %	168,740,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	358,169,215	420,156,523	117.3 %	484,857,000	
	概算人件費⑤	5,255,115	4,691,684	89.3 %		
	総合計(①+⑤)	494,657,864	558,159,549	112.8 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	136,488,649	138,003,026	101.1 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	496,034	375,355	75.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,380,626	1,346,634	97.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 障害福祉サービスの利用者数の増加に伴い活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	33.6 %		○
	②成果指標の実績向上度	3.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	2.5 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	1.1 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	障害福祉サービスの利用者は増加傾向にあり、今後の障がいのある人の動向に留意し、必要とされるサービスを提供していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるように必要なサービスを適正に提供します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 29

1	事業名	地域生活支援事業	コード	01	03	01	01	13	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、発達障がい児者
2	働きかける相手(対象)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、発達障がい児者及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の支給を適正に行うことにより、障がいのある人が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地域生活支援事業 (1) 日常生活用具給付事業 対象者の身体の状況、介護の状況、住宅環境等を調査し、用具給付等の決定を行いました。736件の申請を受け、次の用具を給付しました。 入浴補助用具1件、ネブライザー(吸引器)1件、電気式たん吸引器6件、視覚障がい者用血圧計1件、視覚障がい者用デジ対応ラジオ1件、動脈血中酸素飽和度測定器(パルスオキシメーター)2件、情報・通信支援用具1件、視覚障がい者ポータブルレコーダー1件、視覚障がい者用時計1件、ストーマ装具656件、紙おむつ等65件 (2) 相談支援事業 障がい者に係る個別の困難事例の対応を検討する個別支援会議に出席しました。(参加回数38回) (3) コミュニケーション支援事業 聴覚、言語機能、音声機能その他の障がいのため、意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者を派遣しました。養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、入門編のみ開催しました。 ア 手話通訳者派遣 派遣回数 延べ30回、派遣時間 延べ55.5時間 イ 手話奉仕員養成講座(基礎) 4人受講修了 ウ 手話通訳者配置 週2回(月曜日午前・木曜日午後) (4) 移動支援事業 屋外での移動が困難な障がい者に、外出を支援するためヘルパーを派遣しました。 移動支援実績 延べ1,445.5時間 (5) 地域活動支援事業 障がい者の自立、地域活動を支援するため、各種のサービスを提供しました。 ア 地域活動支援センター 延べ 327日 イ 日中一時支援 延べ2,091日 ウ 訪問入浴サービス 延べ 260回 (6) 自立支援協議会 地域における支援体制の課題等について関係機関等が情報を共有し、連携の緊密化を図るために自立支援協議会を開催しました。 ア 全体会議 2回 イ 専門部会 9回(くらし部会5回、就労部会4回)
---	-----------------------	---

5	活動指標 (指標式)	地域生活支援事業(受給者証発行分)利用実人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人 64.25	人 個別計画による目標値はありません。		
			令和2年度	人 37.00	人		
			令和3年度	人 40.50	人		
			令和4年度	人 50.67	人		
6	成果指標 (指標式)	障がい福祉計画における地域生活支援事業見込量の実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			令和元年度	% 40.75	% 100.00		見込量を目標としました。
			令和2年度	% 27.00	% 100.00		
			令和3年度	% 49.44	% 100.00		
			令和4年度	% 64.68	% 100.00		
指標の説明(指標式)	障がい福祉計画に計上した地域生活支援事業(受給者証発行分)の実施率(実績数値の合計÷見込量の合計)						
7	直接事業費計	前年度決算額	39,198,868 円	決算額	43,342,396 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 29
	直接事業費①(②+③+④)	39,198,868	43,342,396	110.6 %	50,212,000	評価の符号
	一般財源②	21,531,002	27,100,449	125.9 %	33,597,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	17,667,866	16,241,947	91.9 %	16,615,000	
	概算人件費⑤	4,313,901	3,640,099	84.4 %		
	総合計(①+⑤)	43,512,769	46,982,495	108.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	25,844,903	30,740,548	118.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	638,146	606,681	95.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	522,753	475,271	90.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 日中一時支援、移動支援及び訪問入浴サービスの利用者が増加したため、活動指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	25.1 %	○
	②成果指標の実績向上度	30.8 %	○
	③成果指標の目標達成度	-35.3 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	18.9 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 自立支援協議会では、居室確保事業の利用の流れを確認やBCP作成について意見交換、障がいのある方の就労について、企業訪問や協議を重ね、一般就労説明会を初めて開催しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	自立支援協議会において、事例検討や地域のサービス状況の評価を行い、必要な支援やサービスについて検討していく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	障がい者自立支援給付費事業のほか、利用者にとってサービスの選択の幅を広げるために必要な事業です。今後も必要なサービスを適正に提供します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	障がいのある人が安心して生活できる地域になるよう地域のサービス状況の評価を行います。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 30

1	事業名	障がい者相談支援事業	コード	01	03	01	01	14	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児
2	働きかける相手(対象)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	障がいのある人及びその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を行うことで、障がいのある人が安心して暮らせる体制をつくります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者相談支援事業 障がい者相談支援センター「ローゼル」（身体障がい・知的障がい）及び精神障がい者地域活動支援センター「柏葉」（精神障がい）に委託し、福祉サービスの利用や就労、日常生活に関する相談業務等を実施しました。 (1) 障がい者相談支援センター「ローゼル」 ア 相談件数 1,054件 イ 相談方法 来所132件、電話887件、訪問35件 (2) 精神障がい者地域活動支援センター「柏葉」 ア 相談件数 1,832件 イ 相談方法 来所393件、電話1,083件、訪問356件	

5	活動指標	指標名	町内における相談支援事業所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	箇所 2.00	箇所 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	箇所 2.00	箇所	
				令和3年度	箇所 2.00	箇所	
				令和4年度	箇所 2.00	箇所	
6	成果指標	指標名	相談支援事業所における相談件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
		指標の説明 (指標式)	相談支援事業所で実施した1年間の相談件数	令和元年度	件 3,765.00	件 4,312.00	
				令和2年度	件 2,389.00	件 3,765.00	
				令和3年度	件 2,957.00	件 2,389.00	
				令和4年度	件 2,886.00	件 2,957.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	17,546,000 円	決算額	16,904,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 30
	直接事業費①(②+③+④)	17,546,000	16,904,000	96.3 %	25,341,000	評価の符号
	一般財源②	13,682,965	13,688,121	100.0 %	20,948,000	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	3,863,035	3,215,879	83.2 %	4,393,000	
	概算人件費⑤	1,882,429	970,693	51.6 %		
	総合計(①+⑤)	19,428,429	17,874,693	92.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	15,565,394	14,658,814	94.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,782,697	7,329,407	94.2 %			
(参考) 成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,264	5,079	96.5 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  ローゼル、柏葉共に相談件数が減少したため、成果指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-2.4 %		△
	③成果指標の目標達成度	-2.4 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-5.8 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  精神障がいのある人が安心して生活していける地域づくりを目指して、関係者と共に検討する会を開催しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	地域課題として入院患者の地域移行、ひきこもり支援等について意見交換を行いました。 障がいの者の高齢化、重度化、8050問題、ひきこもり等、多様化する相談に対応するため、相談支援センターだけでなく、高齢者部門やこども部門等とも連携していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	基幹相談支援センター及び自立支援協議会において、サービス未利用者の実態把握訪問やケース検討から抽出された地域課題を解決していくための検討を進め、必要な支援体制の構築をしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	精神障がいのある人が安心して生活していける地域づくりを目指して、関係者と共に検討する会を開催します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 31

1	事業名	障がい児支援事業	コード	01	03	02	01	10	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	障がい児
2	働きかける相手(対象)	障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	児童福祉法に基づく障がい児通所給付費を適正に給付することにより、障がいのある児童が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい児支援事業	
		(1) 放課後等デイサービス等の障がい児通所給付費を給付しました。 ア 放課後等デイサービス 延べ18,763日 イ 児童発達支援 延べ5,934日 ウ 保育所等訪問支援 延べ184日 エ 障がい児相談支援 延べ382人 (2) 軽度・中等度の難聴児に対する補聴器購入費補助金を交付しました。 交付件数:2件 (3) 巡回支援専門員整備事業にて保育園等に巡回し、相談を実施しました。 相談件数 延べ310件 (4) ペアレントトレーニングを実施しました。 参加者実人数5人	

5	指標名	通所給付費利用実人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 145.00	人	個別計画による目標値はありません。
活動指標	指標の説明 (指標式)	年度末時点における障害児通所給付費の給付決定実人数	令和2年度	人 147.00	人	
			令和3年度	人 153.00	人	
			令和4年度	人 181.00	人	

  

6	指標名	障がい児全体におけるサービス利用率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	% 95.40	% 85.99	
令和2年度	% 97.00	% 95.40				
令和3年度	% 89.47	% 97.00				
令和4年度	% 95.26	% 89.47				

  

7	直接事業費計	前年度決算額	201,208,869 円	決算額	248,028,808 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 31 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	201,208,869	248,028,808	123.3 %	238,954,000	
	一般財源②	40,198,097	78,299,914	194.8 %	64,018,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	161,010,772	169,728,894	105.4 %	174,936,000	
	概算人件費⑤	5,022,825	6,448,450	128.4 %		
	総合計(①+⑤)	206,231,694	254,477,258	123.4 %		
町費投入額(②+③+⑤)	45,220,922	84,748,364	187.4 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	295,562	468,223	158.4 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	505,431	889,653	176.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 事業所の開所とともに利用者が増加し、活動指標が向上しました。また、3障がいの手帳を保持する人の利用が増加し、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	18.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	6.5 %	○	
	③成果指標の目標達成度	6.5 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	87.4 %	×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 巡回支援専門員整備事業にて公認心理師による発達相談や保育園等の巡回相談を実施しました。
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	障がい児通所支援の適切な利用により、障がい児の発達を促し、適切な支援につなげる必要があります。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	乳幼児期からの継続した相談ができるよう障がい児に関する相談窓口を一元化します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	関係部署と連携し、適切に障がい児通所支援が利用できるよう支援を行います。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	巡回支援専門員として心理士を配置します。

一般事業評価表（ 令和4年度 ）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 32

1	事業名	障がい者(児)交流事業	コード	01	03	01	01	10	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 障がいのある方の社会参加の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	交流事業に参加した障がい者・児及びその家族
2	働きかける相手(対象)	障がい者・児とその家族、ボランティア、健常者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	日頃の行動範囲に制限を受けてしまう障がい者等に外出の機会の提供及び健康の維持増進を図るとともに、障がい者と健常者が交流することにより互いに理解し、助け合える関係づくりを構築します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 障がい者スポーツ、レクリエーション事業 障がい者・児とその家族、一般参加者、障がい福祉サービス事業所及びボランティア等が交流できるよう、障がい者レクリエーション交流会「ワイワイ交流会2022」を開催しました。また、生涯学習課主催のイベント「TOGO春のらららスポーツまつり」に障がい者・児が参加しやすいように町内の障害福祉サービス事業所に周知をしました。	
		(1) ワイワイ交流会 ア 実施日 令和4年10月2日(日) イ 参加人数 36人 ウ 実施場所 いこまい館多目的室 (2) TOGO春のらららスポーツまつり ア 実施日 令和4年5月15日(日) イ 参加人数 21人 ウ 実施場所 東郷小ウォーキングコース	
		2 障がい者芸術促進事業 障がい者の芸術文化活動を振興し、障がい者・児の社会参加を促進するため、障がい者・児を対象とした出張絵画教室を、町内の障害福祉サービス等事業所にて開催しました。制作された絵画については、文化産業まつりおよび役場ロビーにて展示を行いました。	
		(1) 出張絵画教室 ア 実施日 令和4年10月4日(火)、10月8日(土) イ 参加人数 合計10名 ウ 実施場所 ほかほか、コスモスの家 (2) 絵画展示 ア 文化産業まつり 令和4年11月13日(日) イ 役場ロビー 令和4年12月12日(月)から12月28日(水)	

5	活動指標	指標名	レクリエーション交流会と絵画教室の参加者(児)数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 55.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明(指標式)	参加障がい者(児)数	令和2年度	人 0.00	人	
				令和3年度	人 28.00	人	
			令和4年度	人 19.00	人		
6	成果指標	指標名	参加満足度	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	% 98.18	% 100.00	
		指標の説明(指標式)	参加者に実施したアンケートで「よかった」「普通」と回答した参加者の割合	令和2年度	% 0.00	% 98.00	
				令和3年度	% 100.00	% 0.00	
			令和4年度	% 100.00	% 100.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	90,643 円	決算額	53,084 円		



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 32
	直接事業費①(②+③+④)	90,643	53,084	58.6 %	93,000	評価の符号
	一般財源②	48,808	31,493	64.5 %	61,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	41,835	21,591	51.6 %	32,000	
	概算人件費⑤	1,960,864	2,022,277	103.1 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	総合計(①+⑤)	2,051,507	2,075,361	101.2 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,009,672	2,053,770	102.2 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	71,774	108,093	150.6 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	20,097	20,538	102.2 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  すでに絵画教室に取り組んでいる事業所もあり、実施事業所数が3か所から2か所に、開催日数も6日間から2日間となったため、活動指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-32.1 %	×
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	2.2 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  障がい者団体と協力しながらワイワイ交流会を開催しました。絵画教室で作成された作品は、文化産業まつりや役場での障がい者週間の啓発ブースで展示しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	障がい者が社会参加できる機会を増やし、障がいの有無に関わらず交流できる場を広げ、障がいへの理解を深めてもらうため、関係各課との連携を図りながらイベントの内容の見直しをする必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	障がい者団体、民生委員など関係者と協働し、障がい者の交流イベントを開催します。交流事業では、身体を動かす機会の一つと捉え、楽しんでウォーキングやミニゲームに参加できるよう引き続き努めます。芸術促進事業では、より多くの人に参加できるよう、開催する事業所を大人の通う事業所に加え障がい児の通う事業所に広げていきます。絵画教室での作品の他、障がいのある人の作品募集を行い、文化産業まつり等にて展示を行っていきます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、障がい者等に外出や健康の維持増進、交流の機会を提供します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	障がい者団体、民生委員など関係者と協働し、障がい者の交流イベントを開催します。芸術促進事業では、より多くの人に参加できるよう、絵画教室参加者以外からも作品募集をし、アート作品展を開催します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 33

1	事業名	老人福祉一般管理事業	コード	01	03	01	04	02	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者
2	働きかける相手(対象)	高齢者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	高齢者が健康で生きがいを持って生活できるようにするとともに、老人福祉事務が円滑かつ効率的に実施できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	老人福祉一般管理事業	
		(1) 諸輪・白土地区のゲートボール場及び駐車場用地を借地しました。 ア 諸輪ゲートボール場 1,337㎡ イ 白土ゲートボール場 1,061㎡ ウ 白土ゲートボール場駐車場 426㎡ (2) 避難行動要支援者の登録及び救急安心カードの配布を行いました(令和5年3月末現在)。 ア 避難行動要支援者登録世帯 1,421世帯 1,924人 イ 救急安心カード配布者 115人	

5	活動指標	指標名	高齢者人口	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 9,865.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	65歳以上の高齢者人口(各年度末)	令和2年度	人 9,906.00	人	
				令和3年度	人 9,961.00	人	
			令和4年度	人 9,976.00	人		
6	成果指標	指標名	避難行動要支援者世帯登録率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	% 49.72	% 46.43	
		指標の説明 (指標式)	避難行動要支援者登録世帯数÷75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯及び75歳以上を含む高齢者(65歳以上)のみ世帯数	令和2年度	% 48.74	% 49.72	
				令和3年度	% 49.86	% 48.74	
				令和4年度	% 47.32	% 49.86	
7	直接事業費計	前年度決算額	2,923,987 円	決算額	4,627,491 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 33
	直接事業費①(②+③+④)	2,923,987	4,627,491	158.3 %	7,278,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	2,923,987	4,627,491	158.3 %	7,278,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,708,427	3,237,382	119.5 %		
	総合計(①+⑤)	5,632,414	7,864,873	139.6 %		
町費投入額(②+③+⑤)	5,632,414	7,864,873	139.6 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	565	788	139.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	112,965	166,206	147.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新たに会計年度任用職員を雇用したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.2 %		○
	②成果指標の実績向上度	-5.1 %		△
	③成果指標の目標達成度	-5.1 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	39.6 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	高齢者がより安心して健康に暮らすことができるまちづくりについて検討していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	災害の際により多くの方の避難支援ができるよう、避難行動要支援者名簿の活用による共助体制の構築を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 34

1	事業名	地域包括支援センター運営事業	コード	08	05	02	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及びその家族、介護サービス事業所
2	働きかける相手(対象)	高齢者及びその家族、介護サービス事業所
3	どのような状態にしたいのか(意図)	高齢者が要介護状態にならないようにするとともに、高齢者の多様な相談を受け、尊厳ある生活を送れるようにします。また、地域のサービス事業所等が交流や情報交換を行う場が提供され、事業を円滑に実施できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地域包括支援センター運営事業 高齢者の総合的な相談や支援の充実を図るため、東郷町社会福祉協議会と愛知県厚生事業団（愛厚ホーム東郷苑）に地域包括支援センター業務を委託しました。 (1) 年間相談延受付件数 計7,660件（北部 4,014件、南部 3,646件） 新規相談者相談内容 合計 北部 南部 ア 介護保険関連 619件 409件 210件 イ 生活関連 140件 107件 33件 ウ 医療関連 16件 12件 4件 エ 高齢福祉関連 15件 13件 2件 オ 権利擁護（成年後見等） 6件 5件 1件 カ 虐待・消費者被害関連 14件 10件 4件 キ 認知症関連 46件 28件 18件 ク その他 56件 42件 14件 (2) 介護予防に資する実態調査 年間 計595件（北部 81件、南部 514件） (3) 権利擁護延取扱件数 合計 北部 南部 ア 成年後見 142件 135件 7件 イ 虐待・消費者被害関連 238件 179件 59件 (4) ケース会議 合計 17回（延べ参加者 110人） ア 北部 16回（延べ参加者 100人） イ 南部 1回（延べ参加者 10人） (5) ケアプラン作成件数 計2,734件（要支援1 822件、要支援2 1,912件） ア 北部 計1,477件（要支援1 476件、要支援2 1,001件） イ 南部 計1,257件（要支援1 346件、要支援2 911件） (6) 介護予防ケアマネジメント作成件数 計1,706件（事業対象者 268件、要支援者 1,438件） ア 北部 計 941件（事業対象者 78件、要支援者 863件） イ 南部 計 765件（事業対象者 190件、要支援者 575件） (7) 居宅介護支援専門員研修会・連絡会 計5回（延べ参加者 90人）		
---	-----------------------	--	--	--

5	活動指標	指標名	第1号被保険者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	実績値は各年度9月末数値 (中間値)	令和元年度	人 9,771.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	人 9,866.00	人	
				令和3年度	人 9,893.00	人	
令和4年度	人 9,929.00	人					
6	成果指標	指標名	地域包括支援センターの相談受付件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	件 4,641.00	件 3,751.00	前年度実績値
				令和2年度	件 5,368.00	件 4,641.00	
				令和3年度	件 5,598.00	件 5,368.00	
令和4年度	件 7,660.00	件 5,598.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	40,913,882 円	決算額	44,402,204 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 34
	直接事業費①(②+③+④)	40,913,882	44,402,204	108.5 %	59,358,000	評価の符号
	一般財源②	7,837,422	8,547,424	109.1 %	11,426,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	33,076,460	35,854,780	108.4 %	47,932,000	
	概算人件費⑤	3,186,391	5,606,203	175.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	44,100,273	50,008,407	113.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	11,023,813	14,153,627	128.4 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,114	1,425	127.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,969	1,848	93.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛による体力低下や後期高齢者の増加に伴い、相談受付件数が増加したため成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.4 %		○
	②成果指標の実績向上度	36.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	36.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	28.4 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  地域包括支援センター定例会を月1回開催し、課題を共有しました。主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の3職種の出席を求め、各職種の視点から意見交換を行い、情報を共有しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	住民に向けて、引き続き地域包括支援センターの周知を図ることが必要です。また、地域包括支援センター定例会を開催し、課題を共有し、地域包括支援センター職員の専門性や能力向上を図る必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	地域包括支援センターの運営が効果的に行なわれるよう、包括定例会の場を活用し、運営方針や事業計画について擦り合わせの場を持ち、共通認識を図れるような体制を整えます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、地域包括支援センターの周知啓発を行うとともに、地域包括支援センター職員の専門性や能力向上を図ります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	よりきめ細やかな支援を行うため、地域包括支援センター定例会などを通じて、互いに参考となる事例及び課題を共有し、課題の検討を行い、地域包括支援センター職員の専門性や能力の向上を図ります。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 35

1	事業名	高齢者生きがい対策事業	コード	01	03	01	07	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及び老人クラブ会員
2	働きかける相手(対象)	高齢者及び老人クラブ会員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	いつまでも生きがいをもって生活が送れるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 敬老訪問事業 (1) 敬老訪問 町内の満88歳・99歳、最高齢の方を対象に長年社会に貢献されたことに対し感謝の意を表し、その長寿をお祝いしました(年1回9月)。 祝い品支給者 162人(満88歳149人、満99歳12人、最高齢(102歳)1人) (2) 長寿番付表の作成 番付表に掲載されることを励みとしていただくため、93歳以上の高齢者98人の長寿番付表を作成しました。	
		2 老人クラブ運営費補助事業 (1) 老人クラブ助成事業 地区老人クラブごとに60歳以上の会員数に応じて補助金を交付しました。 ア 交付金額 3,393,600円(60,000円×単位クラブ数+60歳以上会員数×800円) イ 会員数 2,367人 (2) 花壇管理事業 各地区の花壇管理面積に応じて補助金を交付しました。 交付金額 1,037,500円(花壇面積1㎡当たり1,550円以内)	
		3 老人クラブスポーツ事業 気軽に参加できる老人クラブ対抗のスポーツ大会を老人クラブ連合会と共催し、心身の健康保持及び会員相互の親睦を図りました。 (1) ゲートボール大会 令和4年5月25日(水) 48人参加(8チーム) (2) グラウンドゴルフ大会 令和4年10月26日(水) 186人参加(62チーム) (3) 輪投げ大会 令和5年2月1日(水) 65人参加(11チーム)	
		4 高齢者福祉大会開催事業 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点から高齢者福祉大会の開催を中止しました。例年高齢者福祉大会で行っている金婚者の祝賀会のみ実施しました。 金婚式祝賀会 令和4年10月7日(金)14組参加	
		5 後期高齢者保健事業 (1) 栄養パトロール事業 健康不明層(令和2年及び3年度医療・健診未受診かつ介護給付なし)の者に健康アンケートを送付しました。健康アンケートは実態把握と合わせて訪問にて回収を行いました。対象者 104人、アンケート回収92人 (2) 理学療法士による体操教室 転倒リスクの者に対して教室を開催しました。全24回、延参加者376人	

5	活動指標	指標名	老人クラブ会員数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 2,611.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	東郷町各単位老人クラブ会員数の合計	令和2年度	人 2,513.00	人	
				令和3年度	人 2,442.00	人	
				令和4年度	人 2,367.00	人	
6	成果指標	指標名	老人クラブ加入率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	% 22.35	% 22.89	
		指標の説明 (指標式)	老人クラブ会員数÷60歳以上人口×100	令和2年度	% 21.34	% 22.35	
				令和3年度	% 20.41	% 21.34	
				令和4年度	% 19.69	% 20.41	
7	直接事業費計	前年度決算額	6,233,849 円	決算額	7,829,277 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 35
	直接事業費①(②+③+④)	6,233,849	7,829,277	125.6 %	9,048,000	評価の符号
	一般財源②	6,233,849	7,829,277	125.6 %	9,048,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	637,278	3,395,305	532.8 %		
	総合計(①+⑤)	6,871,127	11,224,582	163.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	6,871,127	11,224,582	163.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,814	4,742	168.5 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	336,655	570,065	169.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  全国的に老人クラブへの加入者が減少する傾向にあることから、活動指標及び成果指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-3.1 %		△
	②成果指標の実績向上度	-3.5 %		△
	③成果指標の目標達成度	-3.5 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	63.4 %		×
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 老人クラブの会員を対象にしたスマホ教室を実施しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	老人クラブ活動は、高齢者の社会参加、健康維持に寄与するために必要な事業であり、継続していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	高齢者の社会参加と介護予防を推進するため、旧和合保育園を活用して老人クラブの新たな活動拠点を整備します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、加入率を維持する方法について検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 36

1	事業名	一般介護予防事業	コード	08	05	01	03	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	全ての高齢者
2	働きかける相手(対象)	全ての高齢者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	高齢者の方が、介護予防に関する知識を持つことで自ら地域活動に参加し、運動などを実践することで要介護状態になることを防げるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	一般介護予防事業 (1) 把握事業 新型コロナウイルス感染症の影響による活動量の減少による体力低下や社会参加による効果を把握するためのフレイル質問票やシニアリーダーに活動意志の意向調査のための質問票を388人に送付し身体状況等把握しました。 (2) 普及啓発事業 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発令時に教室を中止しました。教室の代替えとしてケーブルテレビ用の体操番組を放映、オンデマンド型運動プログラムの提供や、教室再開のお知らせなど、教室の普及啓発のため1,648通案内チラシを送付しました。 ア 元気アップ教室 実施回数 73回 参加延人数 1,032人 イ 低栄養予防料理教室(65歳~74歳の低栄養ハイリスク者及び男性向け) 全6回 参加延人数 54人 ウ 健康づくりリーダーによる介護予防体操教室 全21回 参加延人数 573人 エ シニアリーダー養成講座 全17回 参加延人数 94人 シニアリーダー認定者 8人 (3) 地域介護予防活動支援事業 新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、介護保険施設等で実施する地域介護予防教室は中止しました。地域のつながりと介護予防の強化のため、地区と協働した地域の教室を拡充しました。 ア お元気サロン 実施回数 19回 参加延人数 180人 イ 民間型地域介護予防教室 町内2会場 実施回数 29回 参加延人数 189人 エ 65歳の方のための出張講座(5種類) 随時 実施回数 71回 参加延人数 1,188人 オ 地域リハビリテーション活動支援事業 町内5会場 実施回数 15回 参加延人数 297人 カ 地域で健康・介護予防教室 町内3地区 実施回数 22回 参加延人数 355人 キ TOGOまちかど運動教室 町内6地区 実施回数 122回 参加延人数 3,368人 ク 地域包括支援センターいきいき出前講座 実施回数 39回 参加延人数 852人 (4) ボランティアポイント制度 ア 参加登録者数 132人 イ 参加事業者数 28事業所 ウ ポイント還元 2,210ポイント (5) 社会参加ポイント制度 ア 申請人数 延 815人 イ クオカード発行枚数 2,537枚(内訳 令和3年度交換分:651枚、令和4年度交換分:1,886枚)
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	介護予防教室の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			指標の説明(指標式)	令和元年度	回	回	当初予算計上の予定回数	
				令和2年度	421.00	718.00		
				令和3年度	159.00	690.00		
				令和4年度	345.00	774.00		
令和4年度	434.00	667.00						
6	成果指標	指標名	介護予防教室の延べ参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			指標の説明(指標式)	令和元年度	人	人		前年度実績値
				令和2年度	7,901.00	6,432.00		
				令和3年度	2,081.00	7,901.00		
				令和4年度	5,095.00	2,801.00		
令和4年度	8,182.00	5,095.00						
7	直接事業費計	前年度決算額	17,538,973 円	決算額	21,139,099 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 36
	直接事業費①(②+③+④)	17,538,973	21,139,099	120.5 %	33,772,000	評価の符号
	一般財源②	2,181,122	2,634,863	120.8 %	4,151,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	15,357,851	18,504,236	120.5 %	29,621,000	
	概算人件費⑤	5,576,184	6,395,808	114.7 %		
	総合計(①+⑤)	23,115,157	27,534,907	119.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	7,757,306	9,030,671	116.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	22,485	20,808	92.5 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,523	1,104	72.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことから、一般介護予防教室を実施したことに伴い、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	25.8 %		○
	②成果指標の実績向上度	60.6 %		○
	③成果指標の目標達成度	60.6 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	16.4 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  自治会や民生委員等の地区の理解の元、住民に身近な公民館やコミュニティセンターにおいて一般介護予防教室の継続及び立上げ支援を行いました。教室参加者に体力測定やフレイル質問票を実施し、結果をフィードバックすることで、要介護状態にならないように努めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	住民に身近な公民館やコミュニティセンターにおいて一般介護予防教室を行うことで、住民同士誘い合いながら参加し、参加者同士の交流が活発となり、社会参加の促進に繋がることから、引き続き、高齢者の社会参加の機会の確保と地域のつながりを強化するために、住民に身近な公民館やコミュニティセンターでの開催の継続及び拡充をすることが必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	住民に身近な公民館やコミュニティセンターで一般介護予防教室が開催できるよう、自治会や民生委員等と連携を図り進めていきます。 また、住民主体で介護予防に取り組む通いの場が増えるよう、立上げ支援や体操指導者及び運営ボランティアの養成及び育成を併せて行います。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	各地区の特性や活動状況にあわせながら、1つでも多くの地区で一般介護予防教室や住民主体の活動が増えるよう自治会や民生委員等と検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	自宅から近くの公民館やコミュニティセンターなどの地域の身近な場所での一般介護予防教室を新規地区で開催できるよう、自治会や老人クラブと連携を図り進めていきます。また、住民主体で介護予防に取り組む通いの場が増えるよう、立上げ支援や指導者の育成を行います。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 37

1	事業名	生活支援体制整備事業	コード	08	05	02	06	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	② 地域で安心して暮らせる環境の構築						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者
2	働きかける相手(対象)	高齢者、高齢者を取巻く全ての関係者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	高齢者が様々な生活資源やサービスを利用しながら、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>生活支援体制整備事業                  いつまでも住み慣れた地域で生活するため「住民の互助」を基本とした住民同士の支え合いの生活支援体制を整備するため、地域支え合い協議体を設置し、地域との協働やボランティア等、社会福祉事業を担っている東郷町社会福祉協議会に事業の運営を委託しました。</p> <p>(1) 4月から第2層協議体を北部及び南部に1つずつ設置し、原則月1回定期的に開催しました。構成員は、自治会長、民生委員、サロン運営者などの多様な住民で、互助活動に意欲のある方で構成されています。                  北部圏域第2層協議体 9回、延べ63人、南部圏域第2層協議体 9回、延べ61人 合計18回</p> <p>(2) 第2層協議体構成員が協議体についての疑問解消や、構成員同士の情報交換及び交流を図るため、年2回（7月と2月）に第2層協議体交流会を開催しました。</p> <p>(3) 町、地域包括支援センター、社会福祉協議会をコアメンバーとして、第2層協議体の進捗状況を共有し、共通認識を持つためのコアメンバー会議を月1回（12回/年）開催しました。</p> <p>(4) その他、住民主体で運営するサロンや一般介護予防教室など高齢者の社会参加の場をまとめた冊子と介護保険外サービスをまとめた暮らしのおうえんガイドブックの作成及び発行を行いました。</p>			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	協議体開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 16.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 4.00	回	
				令和3年度	回 5.00	回	
				令和4年度	回 18.00	回	
6	成果指標	指標名	地域支え合いコーディネーターの配置数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	人 2.00	人 2.00	日常生活圏域数に対して1名配置
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 2.00	人 2.00	
				令和3年度	人 2.00	人 2.00	
				令和4年度	人 2.00	人 2.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	3,717,270 円	決算額	5,771,579 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 37
	直接事業費①(②+③+④)	3,717,270	5,771,579	155.3 %	6,434,000	評価の符号
	一般財源②	715,574	1,111,029	155.3 %	1,238,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	3,001,696	4,660,550	155.3 %	5,196,000	
	概算人件費⑤	1,354,216	5,685,162	419.8 %		
	総合計(①+⑤)	5,071,486	11,456,741	225.9 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,069,790	6,796,191	328.4 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	413,958	377,566	91.2 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,034,895	3,398,096	328.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  第2層協議体を北部及び南部圏域に1箇所ずつ立ち上げ、本格始動する体制を整えたことから、町費投入費及び活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	260.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	228.4 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  多様な住民で構成される第2層協議体を北部及び南部圏域に1箇所ずつ本格的に開始しました。住民が主体的に原則月1回開催し、互助について地域の情報交換を中心に行いました。また、半年に1回、協議体交流会を開催し、第2層協議体の目的の再確認、活動状況の共有を行いました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	互助の活動創出を目指して、引き続き原則月1回の第2層協議体と半年に1回の協議体交流会を開催します。 また、北部及び南部圏域で出た情報を共有し、町全体の課題を捉え互助活動の創出をするために、第1層協議体の再編成について検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	第1層協議体の再編成に向けて、愛知県の助言者派遣事業を活用し検討を進めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	第2層協議体が今後も継続できるよう、協議体交流会を半年に1回継続して開催し互助の活動創出を目指します。第1層協議体の再編成を行い、生活支援体制整備事業の体制を整えます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	第2層協議体を円滑に進めるために、第2層協議体の目的の再確認、活動状況を共有、協議体構成員のモチベーションの向上を図るために協議体交流会を半年に1回開催します。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 38

1	事業名	高齢者在宅支援サービス事業	コード	01	03	01	04	04	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及びその家族
2	働きかける相手(対象)	高齢者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	在宅支援サービスを提供することで、住み慣れた居宅で安心して生活が送れるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 緊急通報システム関係事業 急病や事故等の緊急時に、尾三消防本部と利用者が直接連絡ができる緊急通報装置を申請者宅に設置しました。 (1) 新規設置台数 2台 (2) 年度末設置済台数 108台 (3) 緊急通報システムによる救急隊出動件数 15件（令和4年1月1日～令和4年12月31日）
		2 高齢者タクシー料金助成事業 ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の75歳以上の高齢者のうち、非課税世帯で自家用車などの交通手段のない方の通院や買い物などの外出を支援するため、タクシー利用券（1枚当たり200円、年間60枚まで、1回当たりの利用制限なし）を交付しました。 (1) 利用券交付冊数（60枚綴） 267冊 (2) 年間利用枚数（200円/枚） 11,800枚
		3 理髪サービス事業 心身の障がいや傷病等の理由により、一般的な理髪が困難である高齢者や障がい者に対して、店舗又は居宅で理髪サービスを受けられる理髪券を交付しました。 (1) 利用者数 23人 (2) 延べ利用者数 34人（年3回：5～6月、8月、11月）
		4 高齢者等ヘルパー派遣事業 (1) シルバーハウジング入居者への生活援助 シルバーハウジングにヘルパー有資格者を派遣し、入居者の安否確認や軽易な日常生活の援助を行いました。 ア 利用者数 1人 イ 延べ派遣時間 146時間 (2) 車いす利用者への外出支援 ヘルパー有資格者が乗務する福祉車両により、外出が困難な車いす利用者の通院等を支援しました。 ア 利用者数 2人 イ 延べ利用者数 26回
		5 介護用品購入費助成事業 在宅生活でおむつを常時必要としている要介護1～5の方に、介護用品の購入費を一部助成しました。 (1) 助成額 介護負担割合 1割4,500円/月 2割4,000円/月 3割3,500円/月 (2) 助成対象者数（申請者数） 312人 (3) 延べ利用者数 2,554人

5	活動指標	指標名	タクシー利用券交付冊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	冊 199.00	冊 180.00	東郷町高齢者福祉計画による実施目標数値
		指標の説明 (指標式)	タクシー利用券交付冊数	令和2年度	冊 220.00	冊 190.00	
				令和3年度	冊 252.00	冊 240.00	
				令和4年度	冊 267.00	冊 250.00	

6	成果指標	指標名	タクシー利用券利用率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	% 73.95	% 48.11	
		指標の説明 (指標式)	年間利用枚数÷年間交付枚数 (平成30年度までは500円/回の利用制限有、令和元年度は1回当たりの利用制限なし)	令和2年度	% 70.64	% 73.95	
				令和3年度	% 70.67	% 70.64	
				令和4年度	% 73.66	% 70.67	

7	直接事業費計	前年度決算額	14,291,204 円	決算額	14,552,003 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 38
	直接事業費①(②+③+④)	14,291,204	14,552,003	101.8 %	16,444,000	評価の符号
	一般財源②	14,291,204	14,552,003	101.8 %	16,444,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	557,619	1,658,173	297.4 %		
	総合計(①+⑤)	14,848,823	16,210,176	109.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	14,848,823	16,210,176	109.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	58,924	60,712	103.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	210,115	220,068	104.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和したため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	6.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	4.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	4.2 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.2 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		今後も居室で安心した生活が送れるよう事業を継続していきます。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、事業を継続していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 39

1	事業名	介護保険料賦課徴収事業	コード	08	01	02	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	要介護(要支援)者
2	働きかける相手(対象)	65歳以上の高齢者(第1号被保険者)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	介護保険の基本理念である高齢者の「自立支援」と「尊厳の保持」に基づき実施する介護保険サービスの提供に必要な財源が確保されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護保険料賦課徴収事業	
		(1) 賦課 65歳以上の高齢者(第1号被保険者)に対し、所得段階別に保険料の賦課徴収事務を行うとともに、普通徴収対象者には決定通知書兼納入通知書を、特別徴収対象者には特別徴収決定通知書を送付しました。 《当初賦課金額及び件数》 (所得段階) (特別徴収当初賦課金額) (普通徴収当初賦課金額) 第1段階 16,549,900円 2,554,600円 第2段階 15,719,400円 650,100円 第3段階 24,162,500円 769,600円 第4段階 72,206,000円 5,648,500円 第5段階 100,879,400円 921,600円 第6段階 108,566,900円 6,175,000円 第7段階 128,629,700円 5,181,100円 第8段階 71,974,700円 5,149,300円 第9段階 28,411,000円 2,804,500円 第10段階 19,064,700円 2,535,700円 第11段階 15,548,800円 2,453,800円 第12段階 10,419,000円 1,912,600円 第13段階 9,900,200円 1,845,800円 第14段階 13,520,500円 3,380,000円 合計 635,552,700円 (9,064件) 41,982,200円 (937件) (2) 督促 普通徴収のうち、納期までに徴収できなかった保険料について、督促を実施しました。 818件(1期から9期、随期) (3) 催告 督促状を送付しても、納付のなかった方に対し、数期分ずつまとめて催告を実施しました。 161件(5月、11月、2月の年3回)	

5	活動指標	指標名	第1号被保険者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 9,771.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	実績値は各年度9月末数値 (中間値)	令和2年度	人 9,866.00	人	
				令和3年度	人 9,893.00	人	
			令和4年度	人 9,929.00	人		
6	成果指標	指標名	第1号被保険者収納率(収納実績表 現年度分)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				令和元年度	% 99.50	% 99.40	
		指標の説明 (指標式)	実績値の割合(収納率)は、分子の還付未処理額(還付未済額)を除いた場合で計算しています。	令和2年度	% 99.60	% 99.50	
				令和3年度	% 99.60	% 99.60	
		令和4年度	% 99.70	% 99.60			
7	直接事業費計	前年度決算額	2,145,495 円	決算額	2,137,224 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 39
	直接事業費①(②+③+④)	2,145,495	2,137,224	99.6 %	2,644,000	評価の符号
	一般財源②	2,145,495	2,137,224	99.6 %	2,644,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	4,620,266	4,579,715	99.1 %		
	総合計(①+⑤)	6,765,761	6,716,939	99.3 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	6,765,761	6,716,939	99.3 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	684	676	98.8 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	67,929	67,372	99.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  65歳以上の被保険者数が増加していますが、町税の徴収部署と連携して納付折衝を行うことで効率的に滞納事務を行い、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.4 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.1 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.1 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.7 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  介護独自システムから税と共通の住基システムへ移行することで、他課と情報共有を図り、効果的な納付折衝を行いました。また、より効果的な債権の徴収のため、関係部署と債権一元化の検討を進めました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	滞納整理を継続して行き、公平公正な保険料の負担を図っていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	債権管理委員会において、関係部署間で徴収に関する事務量や予算に関する調整、今後の検討事項の精査などを行い、債権の一元化を進めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、適正な賦課徴収を行っていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	介護保険料の管理について、介護独自システムから税と共通の住基システムへ移行することで、債権一元化を進めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 40

1	事業名	介護保険趣旨普及事業	コード	08	01	04	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	被保険者
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	保険料の負担や介護サービスの利用手順など、介護保険制度の趣旨や仕組みが理解されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護保険趣旨普及事業 (1) 介護保険制度を周知するため、広報とうごう7月号に特集記事を掲載して趣旨普及に努め、介護保険被保険者証を発送する際に制度を案内するためのパンフレットを同封するとともに、福祉のしおりにサービス案内を掲載し周知を図りました。 (2) パンフレット等の購入冊数 ア 65歳到達者向け制度周知用パンフレット 500部 イ 介護保険制度の窓口説明用パンフレット 500部			

5	活動指標	指標名	パンフレット購入冊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	部 1,050.00	部	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	部 550.00	部	
				令和3年度	部 500.00	部	
				令和4年度	部 1,000.00	部	
6	成果指標	指標名	パンフレット配布率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 65歳年齢到達者(全員)への周知啓発率
		指標の説明 (指標式)	65歳年齢到達者へのパンフレット配布件数÷65歳年齢到達者	令和元年度	% 100.00	% 100.00	
				令和2年度	% 100.00	% 100.00	
				令和3年度	% 100.00	% 100.00	
				令和4年度	% 100.00	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	74,632 円	決算額	158,290 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 40
	直接事業費①(②+③+④)	74,632	158,290	212.1 %	152,000	評価の符号
	一般財源②	74,632	158,290	212.1 %	152,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,035,577	868,566	83.9 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	1,110,209	1,026,856	92.5 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,110,209	1,026,856	92.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,220	1,027	46.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	11,102	10,269	92.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 被保険者は増加傾向にあり、介護認定の申請も増加したことに伴い、パンフレットの配布機会が増えたため直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	100.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○	
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-7.5 %	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 来庁者に対してパンフレットを使用し説明をすることで、介護保険の制度を周知し、適正な介護サービスの利用を促進しています。
	②受益者負担は適切ですか。	○		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	パンフレットを効果的に使い介護制度の周知啓発を行うことで、介護保険料の納付や介護サービスの適正利用に繋げていく必要があります。		
	一部見直し <input type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、広報紙やパンフレット等を通して、介護保険制度の周知啓発を行います。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 41

1	事業名	介護予防・生活支援サービス事業	コード	08	05	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	介護予防・日常生活支援総合事業対象者（総合事業対象者）
2	働きかける相手(対象)	総合事業対象者、介護者、国民健康保険団体連合会、地域包括支援センター、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	総合事業対象者が必要とするサービスを受けながら住み慣れた地域で生活を続けられるよう、適正にサービスが利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護予防・生活支援サービス事業 総合事業対象者（要支援1・2及び事業対象者）が、心身の状態に応じて介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス、通所型サービス）を利用した場合に、指定事業者に対して介護負担割合に応じた介護予防・生活支援サービス費を愛知県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。 また、委託事業者に対しては委託費の全額を委託事業者に直接支払い、本人負担分を町が徴収しました。 (1) 訪問型サービス 給付相当サービスでは身体介護や生活支援に関するサービスを提供し、基準緩和訪問型サービスAでは生活支援に関するサービスを提供しました。 ア 給付相当サービス 554人 2,995件 イ 基準緩和訪問型サービスA 530人 2,232件（うち委託分 740件） (2) 通所型サービス 給付相当サービスと基準緩和通所型サービスAでは通所のデイサービスを提供しました。 ア 給付相当サービス 1,469人 7,955件 イ 基準緩和通所型サービスA 858人 3,475件 (3) 自立支援リハビリサービス 訪問型サービスと通所型サービスを組み合わせ利用者本人の状態に合わせた3～6か月の個別支援サービスを提供しました。 56人 238件 (4) 審査支払手数料 総合事業対象者の給付管理について、愛知県国民健康保険団体連合会が審査を行ったものについて、手数料を支払いました。 3,269件			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	サービス利用者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 3,470.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	訪問型、通所型のサービス利用者数	令和2年度	人 3,236.00	人	
				令和3年度	人 3,363.00	人	
				令和4年度	人 3,467.00	人	
6	成果指標	指標名	自立支援リハビリサービス利用者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	人 15.00	人 11.00	前年度実績
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 29.00	人 15.00	
				令和3年度	人 42.00	人 29.00	
				令和4年度	人 56.00	人 42.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	54,204,850 円	決算額	58,149,314 円		



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 41
	直接事業費①(②+③+④)	54,204,850	58,149,314	107.3 %	59,575,000	評価の符号
	一般財源②	6,715,118	7,212,681	107.4 %	7,425,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	47,489,732	50,936,633	107.3 %	52,150,000	
	概算人件費⑤	2,310,133	2,684,661	116.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	56,514,983	60,833,975	107.6 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	9,025,251	9,897,342	109.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,684	2,855	106.4 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	214,887	176,738	82.2 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	3.1 %	新型コロナウイルス感染症の影響で当初はサービスの利用の控えが見られていましたが、感染予防対策に関する知識が世間一般に浸透し、感染予防対策を行った上でのサービス提供が行われたことにより、昨年度と比較して利用者数が回復し、活動指標が向上しました。
	②成果指標の実績向上度	33.3 %	
	③成果指標の目標達成度	33.3 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.7 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	要支援の認定を受けられた方に対して自立支援リハビリサービスのチラシを送付し、介護サービスについての周知を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		住民ニーズを把握し、要支援状態の維持及び改善を推進するために、総合事業の充実を図っていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	総合事業の推進のためニーズ把握に努め、制度を適正に運用していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 42

1	事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	コード	08	05	02	03	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及びその家族、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
2	働きかける相手(対象)	高齢者及びその家族、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
3	どのような状態にしたいのか(意図)	医療や介護の専門職に対して多職種連携のための情報共有ツールを提供することで、医療や介護サービスの必要な高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 電子@連絡帳「レガッタネットとうごう」を運用しました。	
		(1) 事業者数 96機関 (2) 利用者数 151人 (3) 患者数 101人 (4) 登録記事数 4,180件	

5	活動指標	指標名	第1号被保険者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
			令和元年度	人	9,771.00	人	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明 (指標式)	実績値は各年度9月末数値 (中間値)	令和2年度	人	9,866.00		人	
			令和3年度	人	9,893.00	人			
6	成果指標	指標名	電子@連絡帳患者登録数	年度	実績値	目標値		目標値の設定方法 高齢者福祉計画による実施目標値	
			令和元年度	人	71.00	人	60.00		
		指標の説明 (指標式)	電子連絡帳を利用し、地域において専門職が連携を取り支えた年度末時点の住民数	令和2年度	人	80.00	人		80.00
			令和3年度	人	90.00	人	110.00		
令和4年度	人	101.00	人	130.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	1,320,000 円	決算額	1,329,702 円				

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 42
	直接事業費①(②+③+④)	1,320,000	1,329,702	100.7 %	1,330,000	評価の符号
	一般財源②	254,100	255,967	100.7 %	256,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	1,065,900	1,073,735	100.7 %	1,074,000	
	概算人件費⑤	1,035,577	78,961	7.6 %		
	総合計(①+⑤)	2,355,577	1,408,663	59.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	1,289,677	334,928	26.0 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	130	34	26.2 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	14,330	3,316	23.1 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 医療・介護専門職に電子@連絡帳の積極的な活用を多職種カンファレンス等でPRした結果、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.4 %		○
	②成果指標の実績向上度	12.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	-22.3 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-74.0 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 電子@連絡帳を用いて積極的に専門職の参加を求める研修や講座の情報発信を行いました。 ビデオ会議システムを導入し、個別性の高い会議にも対応できる体制を整えました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	電子@連絡帳を積極的な活用するためには、電子@連絡帳の普及啓発のみならず在宅医療・介護連携の体制の推進が必要です。 医師とケアマネ等介護職との連携、顔の見える関係性づくりや、入退院支援・在宅ケアにおける連携上の課題・問題点の検討し、電子@連絡帳を積極的に活用できる体制を整える必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	在宅医療・介護連携の課題を整理し、電子@連絡帳を積極的に活用する方法について検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	患者情報の共有の他、災害時連携、救急連携及び見守り支援等に幅広く活用できるよう、他市町の活動状況を踏まえ電子@連絡帳の活用方法について検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	コロナ禍においてケース会議が滞りなく行えるよう、ビデオ会議システムを導入し、個別性の高い会議にも対応できる体制を整えます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 43

1	事業名	任意事業	コード	08	05	02	04	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者及びその家族
2	働きかける相手(対象)	高齢者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	任意事業 (1) 任意事業 ア 介護サービス事業所へ介護相談員を派遣して利用者や家族から相談を受け、介護サービスの向上を図りました。 派遣施設数 23事業所 派遣回数 276回 対応者数 295人 イ 食生活に関する支援を希望する相談者に対し、適切な支援が行えるように、家庭訪問を通じて現状の把握と必要なアドバイスを行う「食のアセスメント」を実施しました。 訪問件数 251件(新規アセスメント 76件、継続アセスメント 175件) ウ 食の支援が必要な高齢者宅へ安否確認を兼ねて、給食サービスを委託し、夕食の配達を行いました。 延べ 36,295食 (2) 家族介護支援事業 ア 認知症の理解を深め、応援者を増やすため認知症サポーター養成講座を18回開催しました。町内の民間企業職員や町職員向けにも開催しました。 小中学生 232人、一般住民(民生委員含む) 202人、民間企業職員(町職員含む) 63人、介護職員 30人 述べ人数 527人 イ ひとり歩き高齢者が行方不明時にひとり歩き高齢者見守りネットワークを活用するために、情報配信システム登録者を増やしました。 (ア) 登録者数 メール 279人 FAX 45人 計324人 (イ) 認知症見守りネットワーク活用回数 10回(防災行政無線を利用した検索依頼 なし) (3) 介護給付費適正化事業 ア 介護給付費通知書を介護サービス利用者へ送付し、介護サービスの適正利用について啓発しました。 通知回数 3回(延べ 4,366人) イ 理学療法士の資格を持つ会計年度任用職員を雇用し、住宅改修や福祉用具購入後に利用者宅を訪問し、適正な給付であるかの確認を行いました。 (ア) 詳細チェック(面談、ヒアリングシート) 20件 (イ) 予防給付相当サービスチェック 125件 (ウ) 住宅改修事前又は事後確認 219件 (エ) 福祉用具事後確認 35件 (オ) 適正化帳票チェック 毎月
---	-----------------------	---

5	活動指標 指標名	認知症見守りネットワーク 周知回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	回 11.00	回 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回 3.00	回	
			令和3年度	回 7.00	回	
令和4年度	回 17.00		回			
6	成果指標 指標名	ひとり歩き高齢者見守り ネットワーク登録者数(累計)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 250.00	人	高齢者福祉計画による実施目標数値
			令和2年度	人 262.00	人	
			令和3年度	人 288.00	人 264.00	
令和4年度	人 324.00		人			
7	直接事業費計	前年度決算額	16,744,062 円	決算額	18,436,742 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 43
	直接事業費①(②+③+④)	16,744,062	18,436,742	110.1 %	18,961,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	2,521,822	2,560,490	101.5 %	353,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	14,222,240	15,876,252	111.6 %	18,608,000	
	概算人件費⑤	5,974,482	7,896,059	132.2 %		
	総合計(①+⑤)	22,718,544	26,332,801	115.9 %		
町費投入額(②+③+⑤)	8,496,304	10,456,549	123.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,213,758	615,091	50.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	29,501	32,273	109.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  認知症サポーター養成講座の対象者を広げたこと、実施回数が増加したことに伴い、周知回数が増えたことから活動指標及び成果指標は向上しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	142.9 %		○
	②成果指標の実績向上度	12.5 %		○
	③成果指標の目標達成度	%		—
3 効率性	①町費投入額の伸び率	23.1 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  一般介護予防教室や通いの場に積極的に出向いて認知症サポーター養成講座を行いました。高齢者等にやさしいお店登録事業を開始したことにより、企業向けの認知症サポーター養成講座を実施しました。 GPS(位置情報提供サービス)の小型端末機購入費助成の要綱を制定しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	認知症に対する地域の理解者を増やすため、知識の普及や対応方法について、通いの場や地区、企業等へ積極的に出向いて認知症サポーター養成講座を実施する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	引き続き、地域包括支援センターと協力し、通いの場や地区、企業等へ出向いて、認知症サポーター養成講座の普及啓発に努めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	認知症サポーター養成講座を各地区や活動団体ごと、企業向けに定期的開催し、認知症高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられる体制を整えます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	認知症サポーター養成講座を積極的に開催できるよう、認知症地域支援推進員をはじめとする関係者と実施方法及び内容について検討し実施します。 GPS(位置情報提供サービス)の小型端末機購入費助成の要綱を制定し、GPSの小型端末機購入助成を行います。 ひとり歩き高齢者見守りネットワークの登録を促し、登録情報を警察署と共有できる体制を整えます。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 44

1	事業名	在宅医療・介護連携推進事業	コード	08	05	02	05	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者
2	働きかける相手(対象)	町民、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
3	どのような状態にしたいのか(意図)	医療や介護サービスの必要な高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるようになります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>在宅医療・介護連携推進事業 東郷町内の地域課題についての検討及び在宅医療と介護を連携する事業を実施しました。</p> <p>(1) 地域ケア推進会議を5回開催しました。 ア 第1回 令和4年度新規(見直し)事業について、東郷町の地域課題について、第9期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール(案)について イ 第2回 東郷町の地域課題のまとめ、第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査及び団体調査について ウ 第3回 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査票について エ 第4回 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査票について及び団体調査結果報告について オ 第5回 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画(案)について、第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果について、第8期東郷町高齢者福祉計画現行計画の取組の振り返り</p> <p>(2) 地域ケア推進会議在宅医療・介護連携推進部会を3回開催し、医療・介護をフェアを年1回開催しました。 ア 第1回 令和3年度の活動報告について、東郷町在宅医療・介護マップ(仮)の進捗確認、令和4年度及び令和5年度医療・介護フェアについて イ 第2回 第9期東郷町高齢者福祉計画アンケートについて、東郷町在宅医療・介護マップ(仮)の進捗確認、令和4年度医療・介護フェアについて、令和5年度住民向け啓発活動(出張講座)について ウ 第3回 電子@連絡帳「このはネット」連携について、令和4年度医療・介護フェア最終確認、東郷町在宅医療・介護マップ(仮)の進捗確認、令和5年度住民向け啓発活動(出張講座)について エ 医療・介護フェア 映画「ピア」上映及びトークセッション、各職能団体によるアトラクション及び展示</p> <p>(3) 在宅医療・介護連携推進事業を北部地域包括支援センターに委託し、多職種カンファレンス及び多職種ミーティングを開催しました。 ア 多職種カンファレンス参加者数 211人 イ 多職種ミーティング参加者数 172人</p> <p>(4) 在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会 東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこの実施する広域会議が2回開催され、出席しました。</p> <p>(5) 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし ア 豊明東郷医療介護サポートセンター運営協議会が2回開催され、出席しました。 イ 相談支援実績 710件 ウ 医療福祉介護関係者の人材育成及び連携強化を目的とした研修会を2回開催しました。 エ 介護支援専門員、地域包括支援センター職員、医療関係職種等に対し、専門技術の移転や視点の共有を目的とした研修会を5回開催しました。</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	地域ケア推進会議及び在宅医療介護連携推進部会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	9.00	回	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	7.00	回		
			令和3年度	7.00	回		
			令和4年度	9.00	回		
6	成果指標	指標名	多職種カンファレンス及び多職種ミーティング参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	241.00	人	高齢者福祉計画による実施目標数値	
			令和2年度	276.00	人		
			令和3年度	356.00	人		
			令和4年度	383.00	人		
7	直接事業費計	前年度決算額	7,345,037 円	決算額	7,703,007 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 44
	直接事業費①(②+③+④)	7,345,037	7,703,007	104.9 %	9,009,000	評価の符号
	一般財源②	1,413,920	1,482,829	104.9 %	1,734,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	5,931,117	6,220,178	104.9 %	7,275,000	
	概算人件費⑤	5,337,204	5,527,242	103.6 %		
	総合計(①+⑤)	12,682,241	13,230,249	104.3 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	6,751,124	7,010,071	103.8 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	964,446	778,897	80.8 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	18,964	18,303	96.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 多職種に周知啓発をしたことにより、多職種ミーティング及びカンファレンスの参加者が増加したため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	28.6 %		○
	②成果指標の実績向上度	7.6 %		○
	③成果指標の目標達成度	%		ー
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.8 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 地域ケア会議のマニュアルを制定し、多職種カンファレンスの実施方法について検討しました。 医療・介護フェアを開催し、在宅医療・介護の普及啓発を行いました。 また、在宅医療・介護に関する冊子の作成方法及び掲載内容を検討しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	地域ケア会議のマニュアルを活用し、引き続き地域ケア会議を始め、多職種カンファレンスを継続し、多職種との交流や他の職種の視点について学べる機会とします。 在宅医療・介護連携の課題を整理し、在宅医療・介護連携の体制を整える必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	より自立支援の視点を強化することを目的に、多職種カンファレンスの実施方法を変更します。事例の検討をした後、その事例から考える地域に共通する課題や地域資源について検討する時間を設けるとともに、各々の職種から見た意見を出し合い、他職種の視点を学べる体制を整えます。 在宅医療・介護連携推進部会の構成員で検討した在宅医療・介護に関する冊子を作成し、在宅での介護保険サービス利用者及び要介護認定新規申請者に配布します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	多職種カンファレンスの実施方法の見直しや地域課題を積み上げながら、在宅医療・介護連携の課題を整理し、在宅医療・介護連携の体制を整えます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	多職種ミーティング及びカンファレンスで、多職種との交流や他の職種の視点について学べる機会となるよう、グループワークの手法を取り入れるなど工夫し実施します。 在宅医療・介護連携推進部会の構成員で、在宅の療養生活を支える地域の医療機関、介護サービス、専門職等の社会資源を紹介した分かりやすい在宅医療・介護に関する冊子を作成するための掲載内容を検討します。また、コロナ禍でも実施可能な医療・介護フェアの周知啓発を行います。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 45

1	事業名	認知症総合支援体制整備事業	コード	08	05	02	07	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	認知症の方及びその家族
2	働きかける相手(対象)	認知症の方及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	認知症の方が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	認知症総合支援体制整備事業		
		(1) 認知症カフェ 認知症の人やその家族の交流や相談の場として、地域のカフェや介護保険事業所にて平日及び休日に認知症カフェを開催しました。また、認知症についての知識の普及のため、拡大版認知症カフェを開催しました。(新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言発令時の認知症カフェを中止しました。)認知症の当事者向けのカフェを月4回開催しました。 ア 平日開催 NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年16回 参加延人数153人 イ 休日開催 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑に委託 実施回数 年19回 参加延人数468人 ウ 拡大版 NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年3回 参加延人数63人 エ 当事者向け NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年37回 参加延人数328人 (2) いきいき家族教室 認知症と診断を受けて戸惑うご家族や本人を対象に、今後の暮らしや介護方法についての知識を習得してもらうとともに、当事者同士がお互いに支え合える関係を築くことをねらいとした講座を実施しました。 年間6回 参加延人数59人 (3) 認知症地域支援推進員 ア 町内に計2名を配置し、活動しました。 イ 認知症支援に特化した相談等の支援や家庭訪問を実施しました。 相談件数 589件(新規50件、継続539件) ウ 周知啓発 108回 エ 家族支援事業の支援(秋桜の会、認知症カフェ等)70回 (4) 認知症初期集中支援チーム活動 認知症が疑われる高齢者に対して早期に関わり、支援につなげるための活動を行いました。 ア 対応件数 2件 イ チーム員会議回数 4回 ウ 訪問回数 延べ12回		

5	活動指標	指標名	認知症地域支援推進員として対応した相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)	令和元年度	2,713.00	件	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	918.00	件		
			令和3年度	216.00	件		
			令和4年度	589.00	件		
6	成果指標	指標名	認知症カフェの実施回数(当事者向けを除く)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
		指標の説明(指標式)	令和元年度	51.00	回	53.00	
			令和2年度	25.00	回	51.00	
			令和3年度	26.00	回	25.00	
			令和4年度	38.00	回	26.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	7,915,950 円	決算額	9,826,527 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 45
	直接事業費①(②+③+④)	7,915,950	9,826,527	124.1 %	14,208,000	評価の符号
	一般財源②	1,523,820	1,891,606	124.1 %	2,735,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	6,392,130	7,934,921	124.1 %	11,473,000	
	概算人件費⑤	2,469,453	3,237,384	131.1 %		
	総合計(①+⑤)	10,385,403	13,063,911	125.8 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	3,993,273	5,128,990	128.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	18,487	8,708	47.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	153,587	134,973	87.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	172.7 %	認知症支援に特化した相談の支援や家庭訪問の件数が大幅に増加したため活動指標が向上しました。認知症カフェは新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催回数を減らしましたが、昨年度と比較し成果指標が向上しました。
	②成果指標の実績向上度	46.2 %	
	③成果指標の目標達成度	46.2 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	28.4 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	認知症地域支援推進員が地域に出向いて認知症について普及啓発や相談に対応しました。 認知症サポーター養成講座と併せてステップアップ講座を開催し、更なる認知症についての理解を深めました。認知症当事者を支援するチーム「チームオレンジ」も新たに2か所立上げをしました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	今後も認知症の高齢者は増えることが予測されていることから、認知症支援に特化した相談支援を充実させていくことが必要です。認知症カフェも継続して行い、認知症に関する初期の相談の受付や認知症当事者が気兼ねなく参加できる場として継続していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	本人と家族の一体的支援プログラムを開始し、認知症当事者と家族と一緒に参加をしてもらうことで、認知症当事者のやりたいことを叶え、認知症当事者の楽しむ姿を家族が垣間見ながら、新たな側面の発見をしたり、お互いを理解し合い良好な関係性の構築を目指します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	認知症当事者を始め、地域に住む誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域での認知症サポーター養成講座及び認知症支援チーム「チームオレンジ」の取組を各地区で定期的に展開できるよう検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	認知症サポーター養成講座を一般介護予防教室実施地区をはじめとし、既存の地区の通いの場などで順次開催します。認知症サポーター養成講座終了後は、地域での認知症支援チーム「チームオレンジ」の立上げを行います。認知症当事者やその家族が安心して通える場や相談できる場として実施している各認知症カフェについて、認知症地域支援推進員をはじめとする関係者で振り返りを行い検討をします。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 46

1	事業名	シルバー人材センター運営事業	コード	01	05	01	01	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	④ 高齢者の就労・社会貢献の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者
2	働きかける相手(対象)	公益社団法人東郷町シルバー人材センター
3	どのような状態にしたいのか(意図)	長年の職業経験や技能を活かしたいと望む高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や生活の安定、地域社会の維持・発展を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	シルバー人材センター運営事業 (1) 公益社団法人東郷町シルバー人材センターの令和4年度事業報告 ア 会員数 256人(月平均250人) イ 事務局職員数 4人 ウ 就業延人数 2,268人(月平均189人) エ 就業率(月平均) 75.6% オ 受託事業収入 93,604,479円 カ 派遣事業支出 12,960,372円 キ シルバー生活応援隊事業実績 34件 (2) シルバー人材センターに対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 給料手当 18,326,375円 法定福利費 2,922,348円 イ 補助金額 16,936,000円			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	受託事業収入		個別計画、指針等による目標値	
			年度	実績値		
			令和元年度	千円 100,099.00	千円 110,500.00	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	千円 87,322.00	千円 112,000.00	
			令和3年度	千円 86,592.00	千円 100,116.00	
			令和4年度	千円 93,604.00	千円 103,464.00	
6	成果指標	指標名	会員就業率		目標値	目標値の設定方法 公益社団法人東郷町シルバー人材センター中期計画
			年度	実績値		
			令和元年度	% 73.30	% 84.70	
			令和2年度	% 70.00	% 86.90	
			令和3年度	% 72.50	% 88.90	
	令和4年度	% 75.60	% 90.60			
7	直接事業費計	前年度決算額	13,408,000 円	決算額	16,936,000 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 46
	直接事業費①(②+③+④)	13,408,000	16,936,000	126.3 %	17,622,000	評価の符号
	一般財源②	13,408,000	16,936,000	126.3 %	17,622,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,224,101	1,513,485	123.6 %		
	総合計(①+⑤)	14,632,101	18,449,485	126.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	14,632,101	18,449,485	126.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	169	197	116.6 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	201,822	244,041	120.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  涼松緑道清掃及び文化産業まつり運営補助事業を新規で受託事業としたため、就業人数が増加し、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	8.1 %		○
	②成果指標の実績向上度	4.3 %		○
	③成果指標の目標達成度	-16.6 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	26.1 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  町内企業の訪問時にシルバー人材センターの事業内容を紹介し、就業機会の確保に努めました。 また、インボイス制度に関わる支援制度について、近隣市に調査を実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町内の高齢者の就労支援の一つとして、シルバー人材センターの事業は重要であるため、引き続き当センターの事業内容、財務状況等を注視しながら新たな就業機会の確保及び補助制度により適切に支援していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	シルバー人材センターが実施可能な事業内容等の情報収集及び情報提供を行い、当センターの受託事業及び受託事業収入の増加を目指します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	消費税請求書保存方式(インボイス制度)について、当センターへの影響等をヒアリングするとともに、必要な支援を研究します。 また、諸輪東部地区で新たに創業する製造業者やセントラル地区で整備が進む宿泊事業者などの情報を当センターと町で共有を図り、新たな受託事業の確保に取り組んでいきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和5年10月に導入予定の消費税請求書等保存方式(インボイス制度)について、近隣市におけるシルバー人材センターへの支援状況を調査し、必要な支援を研究します。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 47

1	事業名	スポーツ団体育成事業	コード	01	10	05	02	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	スポーツ団体等の加入者
2	働きかける相手(対象)	東郷町スポーツ協会、少年少女スポーツクラブ、東郷町ボート協会、愛知東郷ボートクラブ
3	どのような状態にしたいのか(意図)	スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	スポーツ団体育成事業 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。 (1) 東郷町スポーツ協会 ア 加盟団体数 17団体（内、1団体は休部中） イ 各部の自主大会及び行事開催回数（合計67回） 野球部 0回 少年野球部 9回 弓道部 5回 バレーボール部 5回 卓球部 2回 ソフトボール部 12回 空手道部 4回 柔道部 1回 剣道部 4回 バドミントン部 4回 ゲートボール部 3回 インディアカ部 4回 テニス部 4回 ショートテニス部 5回 ビーチボール部 3回 陸上部（休部中） 0回 ソフトテニス部 2回 (2) 東郷町ボート協会 ア 高嶺小学校ボート体験会に講師を派遣しました。（6月23日（木）、11月2日（水）参加児童84人） イ 町ボート体験会に講師を派遣しました。（4月23日（土）、5月14日（土）、6月25日（土）参加者数39人） (3) TOGOSスポーツクラブ（9回開催） 各小学校において毎月第3日曜日に家族体力つくりの日を実施しました。（参加者計1,478人）						
---	-----------------------	---	--	--	--	--	--	--

5	活動指標	指標名 補助団体数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	団体 3.00	団体	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	団体 3.00	団体		
			令和3年度	団体 3.00	団体		
令和4年度	団体 3.00	団体					
6	成果指標	指標名 補助団体大会の開催数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績	
			令和元年度	回 74.00	回 89.00		
			令和2年度	回 18.00	回 74.00		
			令和3年度	回 35.00	回 18.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	3,130,882 円	決算額	3,332,757 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 47
	直接事業費①(②+③+④)	3,130,882	3,332,757	106.4 %	3,350,000	評価の符号
	一般財源②	3,130,882	3,332,757	106.4 %	3,350,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,399,535	1,457,048	104.1 %	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー	
	総合計(①+⑤)	4,530,417	4,789,805	105.7 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,530,417	4,789,805	105.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,510,139	1,596,602	105.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	129,440	59,133	45.7 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) コロナ禍で縮小していたスポーツ団体の活動が、再開されてきたため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	131.4 %		○
	③成果指標の目標達成度	131.4 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 安全に開催できるよう新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒や検温機の設置、換気等の感染症対策を徹底しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、コロナ禍でスポーツイベントへの参加を控えていた人にも参加してもらえるよう周知に努める必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、スポーツ団体が実施するイベントに多くの人に参加してもらえるよう、イベントの周知に努めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	各種スポーツ団体が行事等を開催する際、安心して参加いただけるよう感染症対策を徹底する必要があります。そのため、町と各種スポーツ団体との間で連絡調整を適切に行っていきます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 48

1	事業名	学校体育施設開放事業	コード	01	10	05	02	03	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	① 運動・スポーツの習慣化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	スポーツをする人
2	働きかける相手(対象)	体育施設利用者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域に身近な学校体育施設を利用して、地域住民のスポーツ活動の充実が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	学校体育施設開放事業 地域住民に身近なスポーツの場としての学校体育施設を開放しました。 (1) 学校体育施設開放 ア 運動場 小学校計 711件 (23,519人) 中学校計 155件 ( 5,520人) ※内、ナイター(東中)144件 東郷高校 0件 ( 0人) イ 体育館 小学校計 1,226件 (21,800人) 中学校計 594件 ( 9,699人) ウ 武道場 中学校計 378件 ( 8,024人) エ 合計 3,064件 (68,562人) (2) プール開放(兵庫小学校) ア 実施期間 令和4年8月1日から8月10日まで(内、土曜日及び日曜日を除く8日間) イ 利用者数 合計680人 (3) 利用調整会(年4回) 6月・9月・12月・3月 (4) 利用責任者資格取得講習会(年4回) 6月・9月・12月・3月	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	学校体育施設開放箇所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	か所 10.00	か所	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	か所 10.00	か所	
				令和3年度	か所 10.00	か所	
				令和4年度	か所 10.00	か所	

6	成果指標	指標名	各施設の利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 75,037.00	人 87,511.00	前年度実績
				令和2年度	人 31,179.00	人 75,037.00	
				令和3年度	人 46,531.00	人 31,179.00	
				令和4年度	人 69,242.00	人 46,531.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,557,592 円	決算額	4,270,082 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 48
	直接事業費①(②+③+④)	3,557,592	4,270,082	120.0 %	5,253,000	評価の符号
	一般財源②	1,373,142	892,792	65.0 %	1,407,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	2,184,450	3,377,290	154.6 %	3,846,000	
	概算人件費⑤	1,564,187	1,799,883	115.1 %		
	総合計(①+⑤)	5,121,779	6,069,965	118.5 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,937,329	2,692,675	91.7 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	293,733	269,268	91.7 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	63	39	61.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用休止が減少したため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	48.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	48.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.3 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを見直し、利用者に対して周知を図った上で学校体育施設を開放しました。 また、兵庫小学校プール開放を利用者の多い時期に絞って実施しました。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	学校体育施設は、地域住民が気軽にスポーツに親しむことができる重要な施設であるため、安心して利用できるよう設備の維持管理が重要です。 また、兵庫小学校プール開放については、より多くの人に利用してもらえるような方法を検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	安全安心にスポーツを楽しめるよう学校体育施設の設備の維持管理に努めます。 また、兵庫小学校プール開放においては、利用者の増加を図るための取組の導入を検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	学校体育施設は、地域住民が気軽にスポーツに親しむことができる重要な施設であるため、引き続き、その有効活用について研究していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	今後も新型コロナウイルス感染症の特性や感染状況、国県からの指示や要請等に合わせて、ガイドラインを見直します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 49

1	事業名	スポーツ事業開催事業	コード	01	10	05	02	04	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	① 運動・スポーツの習慣化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	参加する人、スポーツをしたいと思っている人
2	働きかける相手(対象)	町民、参加する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 町民ハイキング (1) 日 時 令和4年10月30日(日) (2) 場 所 あいち海上の森(瀬戸市) (3) 参加者数 56人
		2 TOGO春のらららスポーツまつり 誰でも気軽に楽しめるスポーツを実施することで、定期的な運動習慣を身につけるきっかけづくりを支援し、町民の体力向上と心身の健康保持・増進を図るためにTOGO春のらららスポーツまつりの開催を開催しました。 (1) ウォーキング ア 日 時 令和4年5月15日(日) イ 場 所 各小学校区 ウ 内 容 各小学校区に分かれてウォーキング エ 参加者数 合計165人 (2) ファミリーバドミントン ア 日 時 令和5年3月19日(日) イ 場 所 町総合体育館アリーナ ウ 内 容 ファミリーバドミンントンの体験会及び交流会 エ 参加者数 合計107人

5	活動指標	指標名	スポーツ事業開催数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 1.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 0.00	回	
				令和3年度	回 0.00	回	
				令和4年度	回 3.00	回	
6	成果指標	指標名	延べ参加者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	人 119.00	人 200.00	
		指標の説明 (指標式)	各種事業に参加した人数の合計	令和2年度	人 0.00	人 119.00	
				令和3年度	人 0.00	人 0.00	
				令和4年度	人 328.00	人 0.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	159,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 49
	直接事業費①(②+③+④)	0	159,000	0.0 %	476,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	一般財源②	0	49,000	0.0 %	245,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	110,000	0.0 %	231,000	
	概算人件費⑤	905,581	2,914,097	321.8 %	/	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	905,581	3,073,097	339.4 %		
町費投入額(②+③+⑤)	905,581	2,963,097	327.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	987,699	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	9,034	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の行動規制の緩和により、町民ハイキング事業を実施したため、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	227.2 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の対策として、町民ハイキングの行き先を近場の県内に設定し、バスでの移動時間を短縮して実施しました。 コロナ禍でも安心して楽しめるウォーキングをテーマとしたイベント「TOGO春のらららスポーツまつり」を開催しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の行動規制の緩和に伴い、今後は、これまで活動への参加を控えていた人たちが多く参加してもらえるよう感染対策に留意しつつ、活動の周知に努めていく必要があります。 また、近年取り組む人が増えてきているウォーキングなどニーズに適した種目を取り入れたイベントの開催を引き続き検討していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	各種媒体を活用した行事開催の周知を図ります。 また、ウォーキングなどニーズに適した種目を取り入れたイベントの開催に向けて、スポーツ推進委員や体力づくり推進委員と連携して検討を進めます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	各種媒体を活用した行事開催の周知を図ります。 また、ウォーキングなどニーズに適した種目を取り入れたイベントの開催に向けて、スポーツ推進委員や体力づくり推進委員と連携して検討を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	町民ハイキング及びTOGOらららスポーツまつりについて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全安心なイベントの開催に努めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 50

1	事業名	各種スポーツ教室開催事業	コード	01	10	05	02	05	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	① 運動・スポーツの習慣化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	教室参加者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	幼児から高齢者及び初心者から上級者までの各レベルにあった指導により、町民の体力の保持・増進とスポーツの普及・振興を図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	各種スポーツ教室開催事業	
		(1) ボート体験会（ナックルフォア） ア 開催日 4月23日(土)、5月14日(土)、6月25日(土) イ 参加者数 計39名 (2) 日本トップレベル選手が教えるボート教室 株式会社デンソーのボート選手を講師として開催しました。(日進市との共催事業) ア 開催日 8月2日(火)、4日(木)、9日(火)、16日(火)、18日(木)、23日(火)(計6日間) イ 参加者数 計16名 (3) 高嶺小学校 ボート体験学習 高嶺小学校の総合的な学習の時間において、6年生児童を対象にボート体験学習を実施しました。 ア 開催日 6月23日(木)、11月2日(水) イ 参加人数 84人	

5	活動指標	指標名	ボート教室開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	日	14.00	日	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	ボート体験会及びボート教室の開催日数	令和2年度	日	3.00		日
			令和3年度	日	2.00	日		
令和4年度	日		11.00	日				
6	成果指標	指標名	スポーツ教室参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年の平均値	
			令和元年度	人	163.00	人		35.00
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人	96.00	人		82.00
			令和3年度	人	96.00	人		103.00
令和4年度	人		139.00	人	118.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	71,675 円	決算額	178,524 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 50
	直接事業費①(②+③+④)	71,675	178,524	249.1 %	327,000	評価の符号
	一般財源②	65,875	170,924	259.5 %	304,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	5,800	7,600	131.0 %	23,000	
	概算人件費⑤	1,564,187	2,485,552	158.9 %		
	総合計(①+⑤)	1,635,862	2,664,076	162.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	1,630,062	2,656,476	163.0 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	815,031	241,498	29.6 %			
(参考) 成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	16,980	19,111	112.6 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、前年度に中止とした事業を再開したことに伴い、活動指標、成果指標及び町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	450.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	44.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	17.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	63.0 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  ボート体験学習を実施するに当たり、実施校を増やすため校長会で呼びかけ、日程調整等行いましたが、都合が合わず高嶺小学校のみの実施となりました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	今後も引き続き、町民の体力の保持・増進、スポーツの普及振興に向け、スポーツを体験できる機会を増やしていく必要があります。その取組の一つとして、現在実施している小学校でのボートの体験学習の実施校を増やしていき、町民スポーツであるボートに愛着を持ってもらいボートのまちを全国に発信していけるよう働きかけていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	高嶺小学校以外の小学校においても、ボートの体験学習を実施できるよう町内の小学校に働きかけます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、より多くの小学校でボートの体験を実施できるよう働きかけていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	高嶺小学校以外の小学校においてもボートの体験学習を実施できるよう町内の小学校に働きかけます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 51

1	事業名	レガッタ振興事業	コード	01	10	05	02	06	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	① 運動・スポーツの習慣化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	レガッタに参加する人、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町民レガッタ開催事業 新型コロナウイルス感染症対策として、大会規模を縮小して開催しました。 (1) 開催日 令和4年9月18日(日) (2) 開催場所 愛知池漕艇場 東郷コース (3) 開催種目 ナックルフォア500m (4) 参加クルー数 40クルー(参加者数249人) (5) 実施した新型コロナウイルス感染症対策 無観客、レース数の制限(1本タイムレース)、半日開催、手指消毒のためのアルコール消毒の設置等	

5	活動指標	指標名	町民レガッタ参加クルー数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	クルー 139.00	クルー	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	クルー 0.00	クルー	
				令和3年度	クルー 0.00	クルー	
				令和4年度	クルー 40.00	クルー	
6	成果指標	指標名	町民レガッタ参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 865.00	人 887.00	前年度実績
				令和2年度	人 0.00	人 865.00	
				令和3年度	人 0.00	人 0.00	
				令和4年度	人 249.00	人 0.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	149,800 円	決算額	2,213,110 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 51
	直接事業費①(②+③+④)	149,800	2,213,110	1,477.4 %	5,607,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	149,800	2,009,810	1,341.7 %	5,072,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	203,300	0.0 %	535,000	
	概算人件費⑤	1,317,210	3,342,640	253.8 %		
	総合計(①+⑤)	1,467,010	5,555,750	378.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,467,010	5,352,450	364.9 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	133,811	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	21,496	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、町民レガッタ大会を開催したため、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	264.9 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症対策として、無観客開催とし、レース時間を短縮し町内のみの参加として大会を開催しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	コロナ禍でこれまでスポーツイベントへの参加を控えていた人たちにも多く参加してもらえるよう町民レガッタの周知を推進していく必要があります。 また、ボート競技に関心を持ってもらい、すそ野を広げるために、レガッタに参加する選手だけではなく、観戦のために来場した人にも楽しんでもらえるような取組を検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	ボートを見る機会を増やしボートに関心を持つきっかけをつくるため、町民レガッタに来場する人を増やすことを目的に町民レガッタ会場にキッチンカー等を設置することを検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	30回目の町民レガッタ大会であるため、記念大会として広く周知し、啓発品やキッチンカー等のイベントを実施することで参加者の増加を図ります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	町内の参加クルー増加のため、幅広い方々が楽しめるような種目やイベントを検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 52

1	事業名	スポーツ交流事業	コード	01	10	05	02	07	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	① 運動・スポーツの習慣化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	スポーツ・レクリエーションスポーツ等に参加する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	スポーツ交流事業 (1) 愛知県市町村対抗駅伝事業 東郷町代表選手(監督、コーチ含め計20名)が愛知県市町村対抗駅伝大会に参加しました。 ア 日時 令和5年1月14日(土) イ 場所 愛・地球博記念公園(モリコロパーク) ウ 結果 町村の部 第4位 エ 東郷町代表選手選考会 (ア) 日時 令和4年10月10日(月) 午前9時から (イ) 場所 愛知池周回路 (ウ) 参加者数 21人	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	愛知県市町村対抗駅伝の選手選考会の実施回数	令和2年度	回 0.00	回	
			令和3年度	回 0.00	回	
			令和4年度	回 1.00	回	

  

6	成果指標	指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	人 32.00	人 25.00	
令和2年度	人 0.00	人 32.00				
令和3年度	人 0.00	人 0.00				
令和4年度	人 21.00	人 0.00				

  

7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	126,475 円
---	--------	--------	-----	-----	-----------

項 目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 52
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	126,475	0.0 %	146,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—
	一般財源②	0	126,475	0.0 %	146,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	823,256	1,971,300	239.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	823,256	2,097,775	254.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	823,256	2,097,775	254.8 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	2,097,775	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	99,894	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、愛知駅伝大会へ参加したため、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	154.8 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施した上で、愛知駅伝の本町選手選考会、選手強化のための練習会、愛知駅伝大会への参加を行いました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	本年度は、町村の部で4位に入ることができましたが、来年度は、更に順位を上げるため、選手選考会の周知を推進し参加する選手の数を増やす必要があります。加えて、選手の強化とチームの一体感を醸成する取組を検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休 廃 止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本 年 度 1 (令和5年度) の改善内容	愛知駅伝の本町代表選手選考会に多くの人に参加してもらえよう早い段階から周知を行います。 また、選手強化のための練習会を開催する時期を早くし、より長い期間の中で選手を強化できるよう努めていきます。
来 年 度 2 (令和6年度) 以降の方向性	より多くの方が代表選手選考会に参加してもらえよう愛知駅伝の周知に努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	愛知駅伝の選手選考会における新型コロナウイルス感染症対策について検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 53

1	事業名	スポーツ等指導者育成事業	コード	01	10	05	01	03	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	② 指導者の育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	スポーツをする人、スポーツ推進委員及び体力づくり推進委員
2	働きかける相手(対象)	スポーツ推進委員及び体力づくり推進委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 スポーツ推進委員事業                      スポーツ推進委員23人が、本町のスポーツ振興のために、家族体力づくりの日などの事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行いました。                      (1) スポーツ推進委員定例会 10回開催                      (2) 豊明日進長久手東郷スポーツ推進委員連絡協議会                          ア 役員会 年3回開催                          イ 総会 1回開催(書面会議)</p> <p>2 体力づくり推進委員事業                      体力づくり推進委員48人が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修会を実施しました。                      (1) 体力づくり推進委員前期研修                          ア 日時 令和4年7月17日(日)                          イ 場所 愛知池漕艇場東郷コース及びトーゴーボートハウス                          ウ 内容 ナックルフォア艇の乗艇体験及び救命救急講習                      (2) 体力づくり推進委員後期研修                          ア 日時 令和5年2月19日(日)                          イ 場所 町総合体育館アリーナ                          ウ 内容 ファミリーバドミントンのルール及び実技の習得</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	スポーツ推進委員の年間活動日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	日	43.00	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明(指標式)	スポーツ推進委員の行事、定例会などの活動日数	令和2年度	日	16.00	日	
			令和3年度	日	19.00	日		
			令和4年度	日	41.00	日		
6	成果指標	指標名	ニュースポーツ指導日数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績	
			令和元年度	日	21.00	23.00		
		指標の説明(指標式)	スポーツ推進委員、体力づくり推進委員が主体となって町民にニュースポーツを指導した日数	令和2年度	日	5.00		21.00
			令和3年度	日	5.00	5.00		
			令和4年度	日	9.00	5.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	4,014,883 円	決算額	3,857,242 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 53
	直接事業費①(②+③+④)	4,014,883	3,857,242	96.1 %	3,784,000	評価の符号
	一般財源②	4,014,883	3,857,242	96.1 %	3,784,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,975,814	2,314,135	117.1 %		
	総合計(①+⑤)	5,990,697	6,171,377	103.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	5,990,697	6,171,377	103.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	315,300	150,521	47.7 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,198,139	685,709	57.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施した上で徐々に運動・スポーツ活動が再開できるようになってきたため、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	115.8 %		○
	②成果指標の実績向上度	80.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	80.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.0 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  コロナ禍においても安心して実施できるウォーキングのイベントを開催しました。 また、近隣市での取組を参考に新たなレクスポーツの種目を導入しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	近年の猛暑においても安全安心にスポーツを楽しんでもらえるよう、地域のスポーツの現場で指導を行うスポーツ推進委員及び体力づくり推進委員が、熱中症対策や怪我の応急処置の知識を深めることが重要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	熱中症対策や怪我の応急処置をテーマとした研修会を開催し、地域のスポーツ現場で指導を行うスポーツ推進委員及び体力づくり推進委員の資質向上に努め、安心して参加できるスポーツ環境づくりを進めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	運動・スポーツの指導者に対する研修機会や実践できる機会の充実を図り、スポーツ指導者の資質向上を図ります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	コロナ禍においても安心して楽しめる運動種目としてウォーキングをテーマとしたイベントの開催に向けて、感染症対策等を検討していきます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 54

1	事業名	体力づくり推進事業	コード	01	10	05	02	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	スポーツ活動をする人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	体力づくり推進事業	
		(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放してTOGOスポーツクラブが主体となって家族体力づくりの日事業を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッチビー、グラウンドゴルフ等を行いました。(令和4年度は計9回開催) (2) 「家族体力づくりの日」参加状況 ア 東郷小学校区 331人 イ 春木台小学校区 147人 ウ 諸輪小学校区 346人 エ 音貝小学校区 161人 オ 高嶺小学校区 237人 カ 兵庫小学校区 256人 合計 1,478人	

5	活動指標	指標名	「家族体力づくりの日」実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	各小学校区で「家族体力づくりの日」を実施した回数	令和元年度	60.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	12.00		
				令和3年度	42.00		
				令和4年度	54.00		
6	成果指標	指標名	「家族体力づくりの日」の平均参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	1回当たりの平均参加人数	令和元年度	212.00	212.00	
				令和2年度	243.00	211.00	
				令和3年度	150.00	222.00	
				令和4年度	164.00	201.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	25,600 円	決算額	45,600 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 54
	直接事業費①(②+③+④)	25,600	45,600	178.1 %	78,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	25,600	45,600	178.1 %	78,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,811,163	1,628,466	89.9 %		
	総合計(①+⑤)	1,836,763	1,674,066	91.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,836,763	1,674,066	91.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	43,732	31,001	70.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	12,245	10,208	83.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和3年度と比較し新型コロナウイルス感染症による活動中止が減少したため、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	28.6 %		○
	②成果指標の実績向上度	9.3 %		○
	③成果指標の目標達成度	-18.4 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.9 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  コロナ禍においても安心して実施できるウォーキングの取組を取り入れました。また、新たなレクスポーツの種目を導入しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	「家族体力つくりの日」に多くの人に参加してもらえるよう周知活動を強化するとともに、実施種目等の充実を進める必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	「家族体力つくりの日」に多くの人に参加してもらえるよう、周知活動の強化及びファミバドやラダーゲッター等、実施種目の充実に向けて検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	「家族体力つくりの日」に多くの人に参加してもらえるよう、引き続き、周知活動の強化及び実施種目等の充実に向けて検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	「家族体力つくりの日」に多くの方に参加してもらえるよう周知を図るとともに、実施内容の充実についても併せて検討していきます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 55

1	事業名	体育施設管理事業	コード	01	10	05	03	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	施設を利用する人
2	働きかける相手(対象)	施設を利用する人及び町内体育施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 体育施設一般管理事業 町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。 (1) 指定管理者制度 ア 平成30年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。 (7) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (4) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで イ 令和5年度からの指定管理者を公募しました。 (7) 評価委員会 1回開催 (4) 候補者選定委員会 1回開催 (9) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (5) 指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (2) 町民運動広場フェンス修繕等を実施しました。 (3) 愛知池運動公園駐車場用地(7,039㎡)、町民運動広場用地(16,705㎡)及び境川緑地公園用地(982㎡)の借地料を支払いました。 (4) 施設の利用状況 ア 町民運動広場 560件(利用者数 6,623人) イ 愛知池運動公園運動場 398件(利用者数 6,697人) ウ 愛知池運動公園野球場 615件(利用者数 6,246人) ※内、ナイター 36件 783人 エ 愛知池運動公園テニスコート 2,118件(利用者数 6,915人) オ 愛知池運動公園(キャンプ利用) 76件(利用者数 4,241人) カ 境川緑地公園第1多目的広場 320件(利用者数 1,734人) キ 境川緑地公園第2多目的広場 217件(利用者数 2,029人) ク ふれあい広場ゲートボール場 260件(利用者数 4,063人) 合計 4,564件(利用者数 38,548人)
		2 愛知池漕艇場維持管理事業 (1) ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員3名を雇用しました。 (2) 施設の利用状況 ボート・施設利用 155件(利用者数 5,283人)、大会開催数 13回 3 ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業 ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。

5	活動指標	指標名	指定管理者制度の導入施設数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	件	5.00	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明(指標式)	町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場	令和2年度	件		5.00	
			令和3年度	件	5.00			
			令和4年度	件	5.00			
6	成果指標	指標名	町体育施設の利用延べ人数	年度	実績値	目標値	前年度実績	
			令和元年度	人	50,211.00	54,058.00		
		指標の説明(指標式)	各施設の年間の利用人数の合計	令和2年度	人	23,901.00		50,211.00
			令和3年度	人	39,583.00	23,901.00		
			令和4年度	人	38,548.00	39,583.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	36,822,360 円	決算額	35,271,106 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 55
	直接事業費①(②+③+④)	36,822,360	35,271,106	95.8 %	42,424,000	評価の符号
	一般財源②	36,400,511	34,470,109	94.7 %	41,462,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	421,849	800,997	189.9 %	962,000	
	概算人件費⑤	1,975,814	2,914,097	147.5 %		
	総合計(①+⑤)	38,798,174	38,185,203	98.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	38,376,325	37,384,206	97.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,675,265	7,476,841	97.4 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	970	970	100.0 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 令和3年度に実施した町民運動広場駐車場拡張工事に伴い、直接事業費が減少しました。 また、新型コロナウイルス感染症の行動規制の緩和により、町体育施設の利用が増加したため、その他収入が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 ガイドラインを見直し、現在の指定管理者の評価及び新たな指定管理者の選定を公募により行いました。 また、町民運動広場のフェンスの修繕を行いました。
	②成果指標の実績向上度	-2.6 %	
	③成果指標の目標達成度	-2.6 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-2.6 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 ガイドラインを見直し、現在の指定管理者の評価及び新たな指定管理者の選定を公募により行いました。 また、町民運動広場のフェンスの修繕を行いました。
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 ガイドラインを見直し、現在の指定管理者の評価及び新たな指定管理者の選定を公募により行いました。 また、町民運動広場のフェンスの修繕を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		東郷町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、計画的な施設の改修を進めていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東郷町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕を行っていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	東郷町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕を行っていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の特性や感染状況、国県からの指示や要請等に合わせて、ガイドラインを見直します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 56

1	事業名	地区設置運動広場運営事業	コード	01	10	05	03	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	スポーツをする人
2	働きかける相手(対象)	自治会、運動広場
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地区が設置している運動広場を利用する人が、安全・快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地区設置運動広場運営事業 和合地区、祐福寺地区、部田地区、諸輪住宅地区が設置している運動広場の運営事業に補助しました。	

5	活動指標	指標名 補助地区数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	地区 4.00	地区 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	地区 4.00	地区
			令和3年度	地区 4.00	地区
			令和4年度	地区 4.00	地区

6	成果指標	指標名 地区の運動場設置数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 当初補助予定地区数
			令和元年度	地区 4.00	地区 4.00	
			令和2年度	地区 4.00	地区 4.00	
			令和3年度	地区 4.00	地区 4.00	
			令和4年度	地区 4.00	地区 4.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,104,000 円	決算額	2,104,000 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 56
	直接事業費①(②+③+④)	2,104,000	2,104,000	100.0 %	2,104,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	2,104,000	2,104,000	100.0 %	2,104,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	823,256	1,285,631	156.2 %		
	総合計(①+⑤)	2,927,256	3,389,631	115.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,927,256	3,389,631	115.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	731,814	847,408	115.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	731,814	847,408	115.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 特にありません。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	15.8 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	地域住民が気軽にスポーツを楽しめる施設として維持できるよう、今後も補助事業を継続していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	今後も地区の運動広場を利用する人が、安全・快適に利用できるような環境を整備していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 57

1	事業名	総合体育館管理事業	コード	01	10	05	04	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	総合体育館を利用する人
2	働きかける相手(対象)	総合体育館を利用する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	総合体育館管理事業 総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。																											
		<p>(1) 指定管理者制度</p> <p>ア 平成30年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。</p> <p>(ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(イ) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>イ 令和5年度からの指定管理者を公募しました。</p> <p>(ア) 評価委員会 1回開催</p> <p>(イ) 候補者選定委員会 1回開催</p> <p>(ウ) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(エ) 指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで</p> <p>(2) 多目的運動室の空調をリースにより更新しました。</p> <p>(3) スタジオ照明経年劣化等の修繕を行いました。</p> <p>(4) 総合体育館駐車場用地(1,389㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>(5) 総合体育館利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>アリーナ</td> <td>3,865件</td> <td>利用者数</td> <td>40,484人</td> </tr> <tr> <td>多目的運動室</td> <td>1,196件</td> <td>利用者数</td> <td>13,894人</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>1,022件</td> <td>利用者数</td> <td>12,190人</td> </tr> <tr> <td>弓道場</td> <td>4,364件</td> <td>利用者数</td> <td>4,733人</td> </tr> <tr> <td>スタジオ</td> <td>2,881件</td> <td>利用者数</td> <td>4,936人</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>403件</td> <td>利用者数</td> <td>2,375人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,731件</td> <td></td> <td>78,612人</td> </tr> </table>		アリーナ	3,865件	利用者数	40,484人	多目的運動室	1,196件	利用者数	13,894人	武道場	1,022件	利用者数	12,190人	弓道場	4,364件	利用者数	4,733人	スタジオ	2,881件	利用者数	4,936人	会議室	403件	利用者数	2,375人	合計	13,731件
アリーナ	3,865件	利用者数	40,484人																										
多目的運動室	1,196件	利用者数	13,894人																										
武道場	1,022件	利用者数	12,190人																										
弓道場	4,364件	利用者数	4,733人																										
スタジオ	2,881件	利用者数	4,936人																										
会議室	403件	利用者数	2,375人																										
合計	13,731件		78,612人																										

5	活動指標	指標名	アリーナ利用件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	2,825.00 件	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	2,531.00 件		
				令和3年度	3,658.00 件		
令和4年度	3,865.00 件						
6	成果指標	指標名	総利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	総合体育館を利用した年間の延べ人数	令和元年度	107,446.00 人	116,834.00 人	前年度実績
				令和2年度	46,730.00 人	107,446.00 人	
				令和3年度	70,084.00 人	46,730.00 人	
令和4年度	78,612.00 人	70,084.00 人					
7	直接事業費計	前年度決算額	42,292,131 円	決算額	50,442,513 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 57
	直接事業費①(②+③+④)	42,292,131	50,442,513	119.3 %	80,266,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	40,130,691	48,264,623	120.3 %	80,266,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	2,161,440	2,177,890	100.8 %	0	
	概算人件費⑤	3,293,024	4,285,435	130.1 %		
	総合計(①+⑤)	45,585,155	54,727,948	120.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	43,423,715	52,550,058	121.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	11,871	13,596	114.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	620	668	107.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、総合体育館の利用が増加したため、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	5.7 %		○
	②成果指標の実績向上度	12.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	12.2 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	21.0 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  総合体育館の指定管理におけるガイドラインを見直しました。 また、総合体育館の多目的運動室の空調が老朽化していたため、更新しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、計画的に施設改修を進めていく必要があります。 また、設備についても計画的に修繕・更新を進めていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	総合体育館アリーナの天井改修に向け、設計業務に着手します。 また、スタジオの空調が老朽化しているため、更新を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	東郷町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、施設の改修を進めていくとともに、設備についても計画的に更新を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の特性や感染状況、国県からの指示や要請等に合わせて、ガイドラインを見直します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 58

1	事業名	母子父子・遺児福祉支援事業	コード	01	03	02	01	03	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	母子・父子家庭
2	働きかける相手(対象)	母子・父子家庭及び町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	母子・父子家庭となった児童が心身ともに健やかに成長するように、家庭における経済的負担・精神的負担が軽減されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子父子・遺児福祉支援事業	
		(1) 遺児手当の支給 母子・父子家庭の支援要件該当者（延べ児童数6,191人）に、遺児1人当たり月額2,000円の手当を支給しました。 (2) 相談業務 母子家庭の自立に向けた相談業務（母子家庭等自立・就業支援相談）を12回実施しました。（月1回）	

5	活動指標	指標名	遺児手当支給延べ児童数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	5,507.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人	5,696.00	人		
			令和3年度	人	6,002.00	人		
			令和4年度	人	6,191.00	人		
6	成果指標	指標名	母子自立支援員相談日数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	日	12.00	日		12.00
			令和2年度	日	12.00	日		12.00
			令和3年度	日	12.00	日		12.00
			令和4年度	日	12.00	日		12.00
7	直接事業費計	前年度決算額	12,044,734 円	決算額	12,420,590 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 58
	直接事業費①(②+③+④)	12,044,734	12,420,590	103.1 %	12,489,000	評価の符号
	一般財源②	12,044,734	12,420,590	103.1 %	12,489,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,391,821	2,909,666	121.7 %		
	総合計(①+⑤)	14,436,555	15,330,256	106.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	14,436,555	15,330,256	106.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,405	2,476	103.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,203,046	1,277,521	106.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) ひとり親世帯が増加傾向にあるため、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	3.1 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.2 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		ひとり親等の経済的支援が必要な家庭に対し、手当を支給することにより経済的負担を軽減する必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	ひとり親家庭の自立支援を図るため、引き続き就労支援や相談事業などを実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 59

1	事業名	こどもまつり開催事業	コード	01	03	02	01	04	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町内の子どもと保護者及び子どもの育成者
2	働きかける相手(対象)	町内の子どもと保護者及び子どもの育成者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	子どもが異年齢で楽しく遊べ、大人にあっては互いに子育てを支え合い、子どもが健やかに生まれ育つ社会を築くとともに、多くの子育て関係者の情報交換が促進されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	こどもまつり開催事業 令和元年度(第16回)以来3年ぶりに対面開催により第19回じどうかんこどもまつりを開催しました。 (1) 運営 児童館で募集した子どもスタッフが主体となって企画・運営しました。 (2) 開催日時 令和4年6月5日(日)午後1から午後4時まで (3) 会場 イーストプラザいこまい館芝生広場 (4) 内容 ア オープニング(開会宣言、子ども宣言) イ ブース出展 (ア) 北部児童館 (イ) 西部児童館 (ウ) 中部児童館 (エ) 東部児童館 (オ) 南部児童館 (カ) 兵庫児童館 ウ フィナーレ (5) その他 新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にある時期であったため、検温・手指消毒の徹底、オンラインによる事前申込制、会場内でのリストバンド着用等感染拡大防止対策を図りました。			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	スタッフとして運営に携わった子どもの人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人	52.00	人	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明(指標式)	ジュニアリーダーと児童館の子どもスタッフの人数	令和2年度	人	0.00		人
			令和3年度	人	31.00	人		
令和4年度	人	40.00	人					

  

6	成果指標	指標名	こどもまつりの来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績 令和3年度はオンライン (YouTube)開催のため、各児童館100再生回数を目標値と設定しています。 令和4年度は令和元年度の実績を目標値と設定しています。		
			令和元年度	人	2,500.00	人		2,400.00	
		指標の説明(指標式)	令和3年度はYouTube再生回数	令和2年度	人	0.00		人	2,500.00
			令和3年度	人	1,148.00	人		600.00	
令和4年度	人	1,000.00	人	2,500.00					

7	直接事業費計	前年度決算額	94,600 円	決算額	308,842 円
---	--------	--------	----------	-----	-----------



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 59
	直接事業費①(②+③+④)	94,600	308,842	326.5 %	739,000	評価の符号
	一般財源②	94,600	308,842	326.5 %	739,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,152,639	3,302,864	153.4 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	2,247,239	3,611,706	160.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,247,239	3,611,706	160.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	72,492	90,293	124.6 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,958	3,612	184.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	29.0 %	コロナ禍を経て3年ぶりに会場での対面開催ができたことにより、活動指標及び町費投入額が増加しました。 ただし、開催時期が新型コロナウイルス感染症の拡大傾向にあったことから、前回の対面開催にあたる令和元年度の実績人数までは来場者が戻らなかったため、成果指標が低下しました。	
	②成果指標の実績向上度	-12.9 %		×
	③成果指標の目標達成度	-60.0 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	60.7 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
	②受益者負担は適切ですか。	○		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	コロナ禍においてもまつりを安全・安心に開催するため、検温・手指消毒の徹底、オンラインによる事前申込制の導入、会場内でのリストバンド着用による入場者の特定等感染拡大防止対策を実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、3年ぶりに対面でのまつり開催ができました。 一方で、内容のマンネリ化の課題は残っているため、抜本的な見直しについても検討する必要があります。 また、現在、町の主要施策として、小学生向けに英語・プログラミングなどの学習支援事業を展開しているため、こどもまつり内での実施についても検討します。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	事業の効率化を図るため、こどもエコぱんぱくと統合する形で一体的に開催します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	現在、町が取り組んでいる学習支援事業も含めた形での新たな開催方法を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	コロナ禍でも安全・安心に対面開催できる方法を検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 60

1	事業名	子育て支援事業	コード	01	03	02	01	08	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	子ども及びその養育者
2	働きかける相手(対象)	子どもを養育している人及び子どもとの関わりに興味のある人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	子どもを養育する人に対して多くの子育ての相談や相互の情報交換の場が提供され、安心して子どもを産み育てることができる環境とします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 子育て支援関係事業																		
		<p>(1) 子育てに悩みを抱えている養育者の相談を受け助言・指導を実施しました。相談対応件数 852件</p> <p>(2) 要保護児童地域対策協議会を開催し、要保護児童の把握等に関する窓口の一元化に努めました。(計13回開催)</p> <p>(3) 多胎児サポーター派遣事業、養育支援訪問事業を実施しました。多胎児サポーター派遣事業申請件数 5件</p> <p>(4) 地域子育て支援拠点事業で3か所の運営を委託しました。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>利用者数</td> <td>育児講座等の参加人数</td> <td>育児相談</td> <td>委託先</td> </tr> <tr> <td>西部子育て支援センター</td> <td>5,068人</td> <td>1,201人</td> <td>127件</td> <td>社会福祉法人明生会</td> </tr> <tr> <td>つどいの広場</td> <td>4,730人</td> <td>3,140人</td> <td>71件</td> <td>東郷町施設サービス㈱</td> </tr> <tr> <td>あやめ子育て支援センター</td> <td>3,561人</td> <td>1,345人</td> <td>15件</td> <td>社会福祉法人真人舎</td> </tr> </table> <p>(5) 東郷町子どもの権利を考える月間(11月)に東郷町子ども条例の周知のため、小中学校で講義を実施しました。</p> <p>(6) 子ども・子育て会議を開催しました。</p> <p>ア 子ども・子育て会議 1回</p> <p>イ 子ども・子育て会議委員 10人(学識経験者、子育て支援サービス利用者代表等)</p> <p>(7) 子育て支援LINE「子育てYELL」で子育て支援センターや子育て世帯向けイベントなどの情報を発信しました。</p> <p>(8) 夏、冬及び春休みに中学生を対象に各中学校で大学生を学習サポーターとした学習支援教室を実施しました。</p> <p>開催日数及び参加人数 夏:10日(60人)、冬:5日(60人)、春:3日(36人)</p> <p>(9) 夏休みに小学生(1~3年生)を対象に各小学校で小学生アクティビティ・プログラム(体験型学習支援講座)を開催しました。</p> <p>参加児童数:延べ358人</p> <p>内容:プログラミング、英語</p> <p>(10) 愛知県公立高校の新入試制度をテーマとした学習講演会をいこまい館で開催しました。</p> <p>開催日時:令和4年11月3日(木・祝)</p> <p>対象:中学生及び保護者</p> <p>参加者数:82人</p> <p>2 ファミリー・サポート事業</p> <p>(1) アドバイザーが依頼会員と援助会員を結びつけ、相互援助活動を行いました。</p> <p>ア 会員数(令和5年3月31日現在)依頼会員 215人、援助会員 35人、両方会員 21人、計271人</p> <p>イ 依頼件数 520件</p> <p>(2) 説明会等の実施状況</p> <p>依頼会員となるための利用説明会や会員期間3年を経過する援助会員のための講習会等を延べ19回開催し、延べ229名の会員等が参加しました。</p>		利用者数	育児講座等の参加人数	育児相談	委託先	西部子育て支援センター	5,068人	1,201人	127件	社会福祉法人明生会	つどいの広場	4,730人	3,140人	71件	東郷町施設サービス㈱	あやめ子育て支援センター	3,561人	1,345人
	利用者数	育児講座等の参加人数	育児相談	委託先																
西部子育て支援センター	5,068人	1,201人	127件	社会福祉法人明生会																
つどいの広場	4,730人	3,140人	71件	東郷町施設サービス㈱																
あやめ子育て支援センター	3,561人	1,345人	15件	社会福祉法人真人舎																

5	活動指標	指標名	子育てに関する相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 871.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 858.00	回	
				令和3年度	回 880.00	回	
				令和4年度	回 852.00	回	
6	成果指標	指標名	ファミリー・サポート会員数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	人 312.00	人 297.00	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 310.00	人 312.00	
				令和3年度	人 279.00	人 310.00	
				令和4年度	人 271.00	人 279.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	22,042,518 円	決算額	29,234,493 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 60
	直接事業費①(②+③+④)	22,042,518	29,234,493	132.6 %	41,319,000	評価の符号
	一般財源②	9,426,518	13,787,093	146.3 %	25,049,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	12,616,000	15,447,400	122.4 %	16,270,000	
	概算人件費⑤	20,968,302	22,255,016	106.1 %		
	総合計(①+⑤)	43,010,820	51,489,509	119.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	30,394,820	36,042,109	118.6 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	34,540	42,303	122.5 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	108,942	132,997	122.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	ファミリー・サポート会員の家庭の事情等により会員数が減少し、成果指標が低下しました。 また、小学生向け夏休み体験型プログラム事業の対象を拡大したことにより、町費投入額が増加しました。
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-3.2 % △	
	②成果指標の実績向上度	-2.9 % △	
	③成果指標の目標達成度	-2.9 % △	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	18.6 % ×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	小学生向け夏休み体験型プログラム事業について、参加対象を放課後児童クラブ又はきらきら子ども登録者に限定せず、町立小学校に在籍する全児童に拡大しました。 また、町と名進研の連携協定に基づき、中学生及びその保護者向けに県立高校新入試制度をテーマとした学習講演会を実施し、教育に対する知識・意識の向上を図りました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	子育て支援関係事業については、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する必要があります。 また、学習支援につながる事業を実施し、子どもたちの学習習慣の定着や学習意欲・学力の向上を図る必要があります。 ファミリー・サポート事業については、援助会員の新規入会が少ない状況にあるため、援助会員の加入促進を図る必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	中学生を対象に、子どもたちの学習機会を確保し、学習習慣の定着を図るとともに、基礎学力の定着・向上を図る学習支援事業を実施します。 また、令和7年度を初年度とする第3期東郷町子ども・子育て支援事業計画の策定のためのニーズ調査(アンケート)を実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種施策を実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	小学生向けの夏休み体験型プログラム事業について、参加対象を拡大します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 61

1	事業名	幼稚園教育振興事業	コード	01	03	02	01	09	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	私立幼稚園に就園する園児の保護者、私立幼稚園
2	働きかける相手(対象)	私立幼稚園に就園する園児の保護者、私立幼稚園運営者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	私立幼稚園に通園する子どもの保護者の経済的負担を軽減します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	幼稚園教育振興事業 (1) 教育・保育給付費(1号認定) 子ども・子育て支援法に基づき、保育の必要性のない3歳以上の教育認定を受けた園児が通う子ども・子育て新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に給付費を支出しました。 園児数 51人、施設数 6園、支給額 46,832,684円 (2) 施設等利用給付費(幼児教育・保育の無償化) 子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て新制度に移行していない幼稚園に通う子どもの保護者に対し、国の定める給付額を支給しました(令和元年10月以降、上限25,700円/月・人)。 園児数 512人、施設数 24園、支給額 152,846,095円 (3) 施設等利用給付費(預かり保育)(幼児教育・保育の無償化) 子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園が教育課程以外の時間で実施する預かり事業を利用する保育の必要性が認められる保護者に対し、国の定める給付額を支給しました(令和元年10月以降、上限11,300円/月・人、満3歳児の場合は、上限16,300円/月・人)。 園児数 98人、支給額 2,144,540円 (4) 実費徴収補給付事業補助金(幼児教育・保育の無償化) 子ども・子育て新制度に移行していない幼稚園に通う子どもの保護者で、住民税非課税世帯や第3子以降の子どもの副食費相当額を助成しました(令和元年10月以降、上限4,500円/月・人)。 園児数 25人、補助金額 973,407円 (5) 私立幼稚園経常費補助 町内の私立幼稚園に対し、東郷町在住園児1人当たり5,000円を補助しました。 園児数 156人、施設数 1園、補助金額 780,000円
---	-----------------------	---

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	施設等利用給付費(未移行幼稚園)の支給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成30年度までは、私立幼稚園就園奨励費支給者数。令和元年度からは、施設等利用給付費(未移行)の支給者数。	令和元年度	人 532.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 506.00	人	
			令和3年度	人 511.00	人	
令和4年度	人 512.00		人			
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	私立幼稚園就園率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3か年実績値の平均値
		(町内在住の私立幼稚園児 ÷ 3・4・5歳児数) × 100 R4: 563人 ÷ 1,297人 × 100	令和元年度	% 42.16	% 43.70	
			令和2年度	% 42.00	% 44.00	
			令和3年度	% 43.96	% 42.89	
			令和4年度	% 43.40	% 42.71	
7	直接事業費計	前年度決算額	185,557,189 円	決算額	204,677,241 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 61
	直接事業費①(②+③+④)	185,557,189	204,677,241	110.3 %	289,082,000	評価の符号
	一般財源②	45,503,342	56,523,049	124.2 %	61,479,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	140,053,847	148,154,192	105.8 %	227,603,000	
	概算人件費⑤	6,275,578	7,104,991	113.2 %		
	総合計(①+⑤)	191,832,767	211,782,232	110.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	51,778,920	63,628,040	122.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	101,329	124,274	122.6 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,177,864	1,466,084	124.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新制度に移行していない幼稚園の就園時数が増えたため、活動指標が向上しました。 私立幼稚園の就園児数が増えたことで、町費投入額が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.2 %	○
	②成果指標の実績向上度	-1.3 %	△
	③成果指標の目標達成度	1.6 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	22.9 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 東郷旭丘幼稚園の新制度への移行及び東郷せいぶこども園の認定こども園への移行に関する支援を実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	今後も、幼稚園等と連携を図りながら、利用者の負担軽減につながる事務の効率化を検討していきます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	教育・保育給付費の加算認定業務について、繁忙期から閑散期に実施時期を見直すことで、人件費の削減を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	幼児教育・保育の無償化による給付について、制度改革に対応し適正に実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	幼稚園の認定申請書の登録処理業務の効率化をRPAの手法を使い関係部署と調整し、進めていきます。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 62

1	事業名	放課後子ども教室推進事業	コード	01	03	02	01	11	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	小学校に在籍する児童
2	働きかける相手(対象)	小学校に在籍する児童及び保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学年の異なる子ども同士や地域の大人との交流を図り、学習の支援を始めとした様々な体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	放課後子ども教室推進事業																																							
		(1) 内容 ア 学びの場：自主学習の支援、読書等 イ 遊びの場：将棋・囲碁、サッカー教室、体育館スポーツ、屋外での遊び等 ウ 体験の場：工作、昔遊び等																																							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	(2) 開所日等 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで 月曜日から金曜日まで(土日・祝日、お盆の期間(8/10~19)、年末年始(12/28~1/6)、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。) 授業のある日：各学年授業終了後から午後5時30分まで 授業のない日：午前9時から午後5時まで																																							
		(3) 場所 兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校																																							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	(4) 開所日数、登録児童数及び1日平均参加児童数																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開所日数</th> <th>登録児童数</th> <th>平均参加児童数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>兵庫</td> <td>213日</td> <td>108人</td> <td>約12人/日</td> <td>2,480人</td> </tr> <tr> <td>高嶺</td> <td>218日</td> <td>107人</td> <td>約17人/日</td> <td>3,800人</td> </tr> <tr> <td>東郷</td> <td>207日</td> <td>119人</td> <td>約23人/日</td> <td>4,830人</td> </tr> <tr> <td>音貝</td> <td>217日</td> <td>103人</td> <td>約17人/日</td> <td>3,624人</td> </tr> <tr> <td>諸輪</td> <td>217日</td> <td>116人</td> <td>約34人/日</td> <td>7,355人</td> </tr> <tr> <td>春木台</td> <td>221日</td> <td>93人</td> <td>約16人/日</td> <td>3,583人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計25,672人</td> </tr> </tbody> </table>			開所日数	登録児童数	平均参加児童数	延べ参加者数	兵庫	213日	108人	約12人/日	2,480人	高嶺	218日	107人	約17人/日	3,800人	東郷	207日	119人	約23人/日	4,830人	音貝	217日	103人	約17人/日	3,624人	諸輪	217日	116人	約34人/日	7,355人	春木台	221日	93人	約16人/日	3,583人			
	開所日数	登録児童数	平均参加児童数	延べ参加者数																																					
兵庫	213日	108人	約12人/日	2,480人																																					
高嶺	218日	107人	約17人/日	3,800人																																					
東郷	207日	119人	約23人/日	4,830人																																					
音貝	217日	103人	約17人/日	3,624人																																					
諸輪	217日	116人	約34人/日	7,355人																																					
春木台	221日	93人	約16人/日	3,583人																																					
				計25,672人																																					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	(5) 参加費 無料(別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の自己負担)																																							
		(6) 主な供給物品 加湿器、デジタルカメラ、カーテン、座卓																																							

5	活動指標	指標名	放課後子ども教室開所日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	1,282.00	日	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	1,153.00	日		
				令和3年度	1,279.00	日		
				令和4年度	1,293.00	日		
6	成果指標	指標名	1日平均参加児童数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 1校平均25人	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	158.00	人		150.00
				令和2年度	104.00	人		150.00
				令和3年度	101.00	人		150.00
				令和4年度	119.00	人		150.00
7	直接事業費計	前年度決算額	28,692,404 円	決算額	34,610,634 円			



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 62
	直接事業費①(②+③+④)	28,692,404	34,610,634	120.6 %	43,972,000	評価の符号
	一般財源②	13,548,404	17,060,034	125.9 %	28,506,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	15,144,000	17,550,600	115.9 %	15,466,000	
	概算人件費⑤	6,776,828	8,257,161	121.8 %		
	総合計(①+⑤)	35,469,232	42,867,795	120.9 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	20,325,232	25,317,195	124.6 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	15,892	19,580	123.2 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	201,240	212,750	105.7 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	新型コロナウイルス感染症による臨時休所が減少し、通常どおり開所ができたため、活動指標が向上しました。それに伴い、参加児童数が増加したため、成果指標も向上しました。 また、会計年度任用職員の報酬等の増加等により、町費投入額が増加しました。
2 有効性	①活動指標の実績向上度	1.1 % ○	
	②成果指標の実績向上度	17.8 % ○	
	③成果指標の目標達成度	-20.7 % ×	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	24.6 % ×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	新型コロナウイルス感染症の感染対策に十分気を付けながら、体験活動を再開しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	本事業は、家庭、地域等との連携のもと、子どもたちの居場所づくりを行うとともに、遊びや体験活動などを通して子どもたちの自主性、社会性及び創造性の向上や、生活習慣の確立などを図り、もって児童の健全育成を行うことを目的としています。 近年、国においても、放課後の子どもたちの居場所の確保が大きな課題とされており、本事業に求められる役割も高まっています。 事業の実施に当たっては、体験活動等の一層の多様化、充実を図るため、運営の民間活用を進めていく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	保護者への情報発信を町公式LINEに変更し、利用者の利便性向上を図ります。 また、毎月発行しているお便りについても電子化し、LINEメッセージ配信により行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、放課後児童クラブとの事業の一体化を検討するとともに、教室の運営体制の見直しについても検討する必要があります。 また、事業運営全体の民間活用についても進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	コロナ禍においても体験活動を継続して実施できるよう、感染対策を徹底するとともに、新たな体験教室についても研究します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 63

1	事業名	児童館管理運営事業(一般来館者)	コード	01	03	02	03	02	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町内の子ども及びその保護者
2	働きかける相手(対象)	児童館を利用する子ども及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	安心して楽しく児童館を利用してもらうとともに、保護者に子育て情報が提供されるようにします。児童館施設・設備を適正に維持管理し、子どもやその保護者等が児童館を安全で快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 児童館運営事業(一般来館者)	
		(1) 来館人数(開館日数) ア 北部児童館 3,999人(269日) イ 西部児童館 4,135人(274日) ウ 中部児童館 3,439人(275日) エ 東部児童館 2,786人(274日) オ 南部児童館 2,737人(279日) カ 兵庫児童館 13,641人(263日) (2) 主な活動内容 ア 子どもが自由に遊ぶことができる場所の提供 イ 子育てに関する相談 ウ 新1年生を迎える会、夏のお楽しみ会、クリスマス会等の行事の実施 エ 親子行事 (3) 新型コロナウイルス感染症感染防止対策 ア 活動については、時間や利用人数を制限し、また、利用場所を限定するなどして実施しました。 イ 施設や備品等について、定期的に消毒を行いました。 ウ 利用者には、利用者名簿の記入をお願いするとともに来館時に検温、消毒などを行いました。 (4) その他 兵庫児童館は、指定管理者(ハマダスポーツ企画㈱)が運営	
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	2 児童館管理事業(一般来館者、放課後児童クラブ共通)	
		(1) 主な物品供給 シューズロッカー、デジタルカメラ、冷蔵庫、日除けシート、座卓、掃除機 (2) 主な業務委託 浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、事業系一般廃棄物収集運搬業務、遊具体育用具保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、児童福祉施設清掃業務、植栽維持管理業務、粗大ごみ処理業務 (3) 主な工事 消防設備修繕工事、照明LED工事	

5	活動指標	指標名	全児童館の一般来館人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明(指標式)	令和元年度	人 44,535.00	人	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	人 13,305.00	人	
				令和3年度	人 28,098.00	人	
令和4年度	人 30,737.00	人					
6	成果指標	指標名	1日当たりの児童館平均利用者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			指標の説明(指標式)	令和元年度	人 28.12	人 27.71	
				令和2年度	人 12.05	人 28.12	
				令和3年度	人 16.78	人 12.05	
令和4年度	人 18.83	人 16.78					
7	直接事業費計	前年度決算額	35,936,462 円	決算額	37,304,175 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 63
	直接事業費①(②+③+④)	35,936,462	37,304,175	103.8 %	46,409,300	評価の符号
	一般財源②	35,936,462	37,304,175	103.8 %	46,409,300	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	30,695,044	29,096,664	94.8 %		
	総合計(①+⑤)	66,631,506	66,400,839	99.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	66,631,506	66,400,839	99.7 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,371	2,160	91.1 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,970,888	3,526,332	88.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館が減少し、利用者も以前の状況に戻りつつあることから、活動指標及び成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	9.4 %	○
	②成果指標の実績向上度	12.2 %	○
	③成果指標の目標達成度	12.2 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.3 %	○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 児童館の活動の周知を図るため、児童館職員によるPR動画を作成し、YouTubeによる配信を開始しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	児童館は、18歳未満の全ての児童を対象とした児童の健全な遊びの場の確保、健康増進、情操を高めることを目的とした施設で、子育て支援の充実を図る上で重要な役割を担う施設です。 児童館で実施する行事等の更なる充実を図るとともに、乳幼児親子や小学生に限らず、中高生にも幅広く利用していただけるよう、運営体制や方法を検討する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	児童館は、小学生が中心の施設となってしまうため、中高生の利用促進を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	全ての児童館において、民間活用も含めた管理運営方法を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	児童館の活動のPRを行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により児童館に来られない方にも遊びなどを紹介できるよう、動画配信を行います。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 64

1	事業名	児童館管理運営事業(放課後児童クラブ)	コード	01	03	02	03	03	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	放課後児童クラブ申込児童及びその保護者
2	働きかける相手(対象)	放課後児童クラブ申込児童及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	共働き家庭の児童が、放課後を安全・安心に過ごし、多様な遊びや活動ができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 児童館運営事業(放課後児童クラブ)																																	
		(1) 放課後児童クラブ利用者延人数(開所日数) ア 北部児童館 9,426人(242日) イ 西部児童館 8,618人(243日) ウ 中部児童館 9,171人(289日) エ 東部児童館 7,495人(242日) オ 南部児童館 8,118人(244日) カ 兵庫児童館 14,573人(244日) (2) 開所時間 ア 月曜日～金曜日 下校後～午後7時 イ 土曜日 午前8時～午後6時(中部児童館で合同開所) ウ 長期休暇期間 午前7時30分～午後7時 (3) 定員、登録児童及び待機児童 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>定員</td> <td>登録児童</td> <td>待機児童</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>北部児童館 68</td> <td>66</td> <td>6</td> <td rowspan="6">注1) 定員は、別に各館2人ずつの緊急定員枠あり 2) 登録児童及び待機児童は、5月1日現在</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>西部児童館 68</td> <td>66</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>中部児童館 68</td> <td>69</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>東部児童館 68</td> <td>54</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>南部児童館 68</td> <td>71</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>兵庫児童館 98</td> <td>102</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 438</td> <td>428</td> <td>46</td> <td></td> </tr> </table> (4) 利用料金 ア 通年利用: 月額5,000円 ただし、4・12・1・3月は6,500円、7月は7,000円、8月は9,000円 イ 学校のある日のみ利用: 月額5,000円(8月は利用対象外) ウ 長期休暇のみ利用: 月額6,500円 ただし、7月は7,000円、8月は9,000円(5、6、9～11、2月は利用対象外) (5) おやつ 児童の不足しがちな栄養素を補給するため、児童にカルシウムや鉄分の入ったウエハースやビスケット、果汁100%のゼリー等のおやつを提供しました。 (6) 待機児童対策事業 ア タクシー児童移送事業 利用児童: 2人 イ 夏休みサテライト教室事業(兵庫小) 利用児童: 11人 2 児童館管理事業(一般来館者、放課後児童クラブ共通) 児童館管理運営事業(一般来館者)の「2 児童館管理事業(一般来館者、放課後児童クラブ共通)」参照		定員	登録児童	待機児童		ア	北部児童館 68	66	6	注1) 定員は、別に各館2人ずつの緊急定員枠あり 2) 登録児童及び待機児童は、5月1日現在	イ	西部児童館 68	66	4	ウ	中部児童館 68	69	3	エ	東部児童館 68	54	0	オ	南部児童館 68	71	0	カ	兵庫児童館 98	102	33		計 438	428
	定員	登録児童	待機児童																																
ア	北部児童館 68	66	6	注1) 定員は、別に各館2人ずつの緊急定員枠あり 2) 登録児童及び待機児童は、5月1日現在																															
イ	西部児童館 68	66	4																																
ウ	中部児童館 68	69	3																																
エ	東部児童館 68	54	0																																
オ	南部児童館 68	71	0																																
カ	兵庫児童館 98	102	33																																
	計 438	428	46																																

5	活動指標	指標名 放課後児童クラブ延べ利用者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 61,489.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 55,129.00	人	
			令和3年度	人 51,722.00	人	
6	成果指標	指標名 放課後児童クラブ入所率(5/1現在)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 申込者全員の入所
			令和元年度	% 98.32	% 100.00	
			令和2年度	% 97.00	% 100.00	
			令和3年度	% 92.54	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	66,739,144 円	決算額	69,279,182 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 64
	直接事業費①(②+③+④)	66,739,144	69,279,182	103.8 %	86,188,700	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	35,160,644	16,846,972	47.9 %	23,683,700	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	31,578,500	52,432,210	166.0 %	62,505,000	
	概算人件費⑤	61,390,087	60,316,594	98.3 %		
	総合計(①+⑤)	128,129,231	129,595,776	101.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	96,550,731	77,163,566	79.9 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,867	1,344	72.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,043,341	854,525	81.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休所が減少し、利用人数が増加したことから活動指標が向上しました。 また、待機児童の増加により成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	11.0 %	○
	②成果指標の実績向上度	-2.4 %	△
	③成果指標の目標達成度	-9.7 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-20.1 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  待機児童対策として、夏休みに小学校施設等を活用した放課後児童クラブを実施するとともに、学校のある平日において、利用定員に空きのあるクラブへの児童のタクシー移送事業を実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	女性の社会進出による共働き世帯、核家族の増加、保護者の就労形態の変化などにより、放課後児童クラブの利用ニーズが高まり、一部の放課後児童クラブでは待機児童が発生しています。 引き続き、待機児童対策に取り組むとともに、放課後子ども教室との一体的な実施についても検討する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	放課後児童クラブの待機児童対策として実施する小学校施設等を活用した放課後児童クラブの実施箇所を増やすとともに、夏休みに加え春休みも実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	児童館業務と合わせて民間活用も含めた運営を検討します。 放課後児童クラブと放課後子ども教室との一体化についても検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	待機児童の解消を図るため、夏季休業期間中の小学校施設を活用した放課後児童クラブの実施や、利用定員に空きのあるクラブへの児童のタクシー移送事業を実施します。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 65

1	事業名	母子保健健康診査事業	コード	01	04	01	03	01	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	妊婦・乳幼児が健康診査並びに保健指導を受けることができ、健康保持、育児上の不安解消及び母子の疾病予防が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健健康診査事業 (1) 健康診査の状況 (1)ア～ク 合計6,058人 妊産婦及び乳幼児を対象とした健診(妊婦健診(14回)、産婦健診、乳児健診(2回)、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診)を実施しました。 ア 妊婦健診・子宮頸がん健診 一般 3,551人(内県外・助産所受診 延べ88人) 子宮頸がん 258人 イ 産婦健診 283人(内県外受診 延べ13人) ウ 乳児健診(県外受診含む) 539人(内県外受診 延べ12人) エ 妊産婦歯科健診 100人 オ 4か月児健診 323人(対象者325人、受診率99.4%、要精密検査3人) カ 1歳6か月児健診 342人(対象者361人、受診率94.7%、要精密検査5人) キ 2歳児歯科健診 297人(対象者359人、受診率82.7%) ク 3歳児健診 365人(対象者364人、受診率100.3%、要精密検査31人) (2) むし歯予防の取り組み 1歳6か月児健診及び2歳児歯科健診で個別指導を行いました。 (3) 健診未受診者対策 受診のない児には、電話で受診勧奨し、受診できない児へは家庭訪問や面接、入園状況の確認等で児の所在及び発達確認を行いました。 (4) 健診での他機関との協働 3歳児健診において町保育士が同席し、就園に向けた支援のため児の発達等の情報共有を行いました。 (5) 妊産婦タクシー助成 妊娠中から安全安心に移動できる手段として、妊婦1人当たり10,000円分のタクシー助成券を配付しました。 ア タクシー券申請者数 324人 イ 利用者人数及び利用率 延べ263人(実人数148人) 45.7%
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	健診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 7,521.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	妊婦健診、子宮頸がん健診、産婦健診、乳児健診、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診の合計受診者数	令和2年度	人 6,288.00	人	
				令和3年度	人 6,071.00	人	
				令和4年度	人 6,058.00	人	
6	成果指標	指標名	1歳6か月児健診受診率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 いきいき東郷21計画の目標値100%を目標とした。
				令和元年度	% 97.90	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	健診受診者÷健診対象者×100	令和2年度	% 94.00	% 100.00	
				令和3年度	% 101.10	% 100.00	
				令和4年度	% 94.74	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	46,775,871 円	決算額	41,551,634 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 65
	直接事業費①(②+③+④)	46,775,871	41,551,634	88.8 %	47,376,000	評価の符号
	一般財源②	45,196,271	39,357,264	87.1 %	46,355,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	1,579,600	2,194,370	138.9 %	1,021,000	
	概算人件費⑤	9,221,297	8,624,264	93.5 %		
	総合計(①+⑤)	55,997,168	50,175,898	89.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	54,417,568	47,981,528	88.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	8,964	7,920	88.4 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	538,255	506,455	94.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  4 か月児健診及び1歳6か月児健診の対象者は増加しましたが、母子健康手帳の交付が減少し妊婦健診の受診数が減少したことから、活動指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.2 % △	
	②成果指標の実績向上度	-6.3 % △	
	③成果指標の目標達成度	-5.3 % △	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-11.8 % ○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  健康づくりセンターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となったことから、健診会場を変更し、乳幼児健康診査を適切に実施しました。 多胎妊婦に対して通常交付している受診券分(14回)を超える健診費用について、5回を上限とした助成を開始しました。
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	妊娠期から自身の健康管理を意識しセルフケア能力を高めていけるよう、引き続き支援する必要があります。妊婦健診や乳幼児健診等において、未受診者や支援が必要な人を把握し支援することが育児不安の軽減や虐待の予防となるため、今後も対象者の把握や支援を充実させていく必要があります。 多胎妊婦に対する健診費用の助成事業を令和4年度から開始しましたが、申請はありませんでした。多胎妊娠では受診回数が増える傾向にあり、経済的負担を軽減するために引き続き、事業を継続していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた虫歯予防DAY(無料フッ素塗布、愛豊歯科医師会事業)の再開にあたり、保育園、児童館への協力依頼や対象者への個別通知を実施します。 中止していた乳幼児健診での集団指導を再開し、子育てに必要な情報を提供するとともに参加者同士の交流ができるように支援します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	新生児聴覚検査費用に対する負担の軽減について検討していきます。 また、今後も健診未受診者への訪問指導等の対応を充実・強化していきます。1歳6か月児健診において、子どもの歯の手入れの方法が分からない保護者が多い状況から、離乳食教室(後期編)の内容を見直し、生後10か月頃の児を持つ保護者に対する相談・教育の機会を充実させます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	多胎妊婦に対して通常交付している受診券分(14回)を超える健診費用について、5回を上限とした助成を実施します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 66

1	事業名	母子保健教育事業	コード	01	04	01	03	02	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	離乳食教室、パパママ教室等の保健教育について、乳幼児及び保護者の健康が保持され、子育てに関する正しい知識の習得や仲間づくりの機会を設けます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健教育事業 新型コロナウイルス感染症対策のもと、教室を開催しました。			
		(1) 離乳食教室 ア 内容 離乳食の基本の習得を目的に離乳食についての講話を実施しました。 イ スタッフ 管理栄養士、保健師 ウ 実施回数及び実績 12回 実人数 初産婦68人、経産婦3人 合計71人 (2) マタニティクラス(初期編) ア 内容 妊娠期における食生活及び体と心の変化について イ スタッフ 管理栄養士、保健師 ウ 実施回数及び実績 6回 実人数 妊婦15人、パートナー等10人 (3) マタニティクラス(後期編) ア 内容 沐浴指導、出産時の心得及び陣痛緩和マッサージについての講話を実施しました。 イ 講師 助産師 ウ 実施回数及び実績 4回 実人数 妊婦17人、パートナー15人 (4) なかよし教室(集団クラス) ア 内容 遊びを通して子どもとの関わり方や声かけの方法を学ぶ機会としました イ 講師 臨床心理士 スタッフ 保育士、保健師 ウ 実施回数及び実績 12回 実人数(児)24人、延べ人数(児)48人 (5) 双子交流会 ア 多胎児を育児している保護者の交流会を実施しました。多胎児を妊娠した妊婦にも教室の案内をし、妊娠期からの参加を促しました。 イ 実施回数 3回 ウ 実績 参加延べ8組(うち多胎妊婦2組)			

5	活動指標	指標名 なかよし教室参加人数(実人数)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 46.00	人 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 30.00	人	
			令和3年度	人 48.00	人	
			令和4年度	人 24.00	人	
6	成果指標	指標名 1歳6か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人の割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 1歳6か月児健診において「親・家庭の要因で継続支援等が必要」と判断された人がいないことを目標とします。
			令和元年度	% 93.20	% 100.00	
			令和2年度	% 90.00	% 100.00	
			令和3年度	% 92.20	% 100.00	
			令和4年度	% 96.49	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	316,735 円	決算額	248,141 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 66
	直接事業費①(②+③+④)	316,735	248,141	78.3 %	582,000	評価の符号
	一般財源②	316,735	248,141	78.3 %	582,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	6,001,391	5,527,302	92.1 %		
	総合計(①+⑤)	6,318,126	5,775,443	91.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	6,318,126	5,775,443	91.4 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	131,628	240,643	182.8 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	68,526	59,855	87.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) なかよし教室の開催について、新型コロナウイルス感染症の状況から集団クラスの回数を減らし個別相談として実施していたものを、母子保健相談・訪問事業へ組み替えたことで、活動指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-50.0 %	×
	②成果指標の実績向上度	4.7 %	○
	③成果指標の目標達成度	-3.5 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.6 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、マタニティクラスの開催をオンラインから対面での開催に戻しました。多胎児家庭の支援の充実に向け、双子交流会の開催回数を増やし、参加者に内容についての希望調査を実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、日々の支援内容から集団での支援、個別支援、他機関による支援等の方法を検討し育児不安の軽減となるよう子育て支援を充実させていく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	新型コロナウイルス感染症の状況から中止していたマタニティクラスの体験メニュー(沐浴体験、妊婦体験)を再開し、妊婦及びパートナーへの支援を充実させます。 双子交流会は、参加者への希望調査の内容を参考に開催内容を検討し、参加者同士の交流が深まるよう地域のボランティア団体とも協力しながら開催します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、子育て支援に関する機関と連携し、包括的に支援できる方法を検討します。 離乳食教室については、育児が初めての第1子の保護者支援を充実させるため内容の見直しを検討します。 マタニティクラスについて、父親の育児参加の推進や家族の健康づくりにつながる内容への変更を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	感染症対策を講じつつ、離乳食教室では参加者への試食の提供を再開します。 多胎児交流会では、講師による講話や参加者同士の情報交換、交流の場となるよう定期開催を実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 67

1	事業名	母子保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	03	03	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	適切な保健指導・育児相談が受けられるようにし、妊産婦・乳幼児の健康が保持され、育児上の不安が解消されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 母子健康包括支援センター (1) 母子健康手帳交付時の面接、マタニティコール及びハッピーコール 276人（うち多胎妊娠4人） 母子健康手帳交付数 280冊 (2) 要支援妊婦の把握及び支援カンファレンス 12回 (3) 支援プラン作成数 7件					
		2 母子保健相談 健康づくりセンターにおいて下記の相談を実施しました。 (1) 育児相談（就学前児童対象） ア 内容 保健師・管理栄養士による育児相談を実施しました。 イ 実施回数 育児相談・栄養相談 12回 ウ 実績 乳児（実人数 61人、延べ人数 132人）幼児（実人数 40人、延べ人数 85人） (2) 離乳食相談・栄養相談 ア 内容 育児相談時に管理栄養士による栄養相談を実施しました。 イ 実績 延べ36人 (3) なかよし教室（個別相談） ア 内容 臨床心理士による相談を実施し、遊びを通した子どもとの関わり方等についての助言を行いました。 イ 講師 臨床心理士 ウ 実施回数及び実績 20回 実人数（児）48人、延べ人数（児）51人					
5	活動指標	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人 615.00	人	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人 311.00	人		
			令和3年度	人 171.00	人		
			令和4年度	人 217.00	人		
			令和4年度	人 217.00	人		
		指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
令和元年度	% 99.20		% 100.00	前年度実績の10%増。ただし、平成25年度からは100%とする。			
指標の説明 (指標式)	令和2年度	% 98.00	% 100.00				
	令和3年度	% 99.07	% 100.00				
	令和4年度	% 99.31	% 100.00				
	令和4年度	% 99.31	% 100.00				

6	成果指標	新生児家庭訪問実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
6	成果指標	委託助産師・町保健師・保健所保健師による訪問者率 (赤ちゃん訪問実人数) ÷ (訪問対象者) × 100	令和元年度	% 99.20	% 100.00	前年度実績の10%増。ただし、平成25年度からは100%とする。
			令和2年度	% 98.00	% 100.00	
			令和3年度	% 99.07	% 100.00	
			令和4年度	% 99.31	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	9,941,626 円	決算額	9,201,531 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 67
	直接事業費①(②+③+④)	9,941,626	9,201,531	92.6 %	8,704,000	評価の符号
	一般財源②	9,941,626	9,153,201	92.1 %	271,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	48,330	0.0 %	25,000	
	概算人件費⑤	6,167,587	5,751,246	93.2 %		
	総合計(①+⑤)	16,109,213	14,952,777	92.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	16,109,213	14,904,447	92.5 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	94,206	68,684	72.9 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	162,604	150,080	92.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度から育児相談事業を月1回としました。必要な対象者に周知し、相談件数が増加し、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	26.9 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	-0.7 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-7.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  感染症対策を踏まえ、母子保健相談事業を実施しました。オンラインでの育児相談を終了し、全て対面で行いました。ことばの相談となかよし教室(個別相談)が類似の事業だったため、なかよし教室(個別相談)に一本化しました。産後ケア事業の内容に、ニーズの多い乳房ケアを追加したところ、利用者が増加しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	健康推進課内に母子健康包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施していますが、さらなる支援の充実のため他課に所属する専門職との連携を図る必要があります。 産後ケアについては、養育者の育児困難さの軽減を図る支援の一つとして今後も必要な家庭への周知を行っていきます。また、産後うつや育児支援が得られないなど、様々な育児困難があるなかで妊娠期から産後を安心して過ごせるよう、支援体制を整備する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	妊婦の支援カンファレンスを母子保健係と家庭相談係が一緒に行い、支援の必要性や支援方針を様々な視点で検討する体制をつくりまします。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	産前・産後の不安が強く、家族から十分な支援が受けられない母子などに対する支援体制の充実について検討していきます。 誰もが安心して子育てができるよう、子育て中の保護者に対する経済的支援および見守り支援の充実を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	産後ケア事業の内容について、乳房マッサージの実施を追加することで、産後に発生する乳房トラブルに関する支援の充実を図ります。 妊娠期から安全安心に過ごせるよう、妊婦への支援プランの作成を行います。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 68

1	事業名	発達障がい早期総合支援事業	コード	01	04	01	03	04	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
2	働きかける相手(対象)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する正しい支援方法を、保護者や支援者が理解し、発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童が生活しやすい環境を整えます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	早期総合支援体制 (1) 4歳5歳児発達相談 ア 内容 臨床心理士による発達検査及び保健指導を実施しました。 イ 実施状況 実施回数10回、実人数14人…① (2) すくすく発達相談(5歳児スクリーニング)事業 発達障がいの早期発見と、保護者及び保育士に対し支援方法の指導を実施するため、町内保育園・幼稚園のうち5園を対象に巡回し、保護者アンケート等を参考に、発達障がいの特徴のある児童への園での対応について助言等を行いました。また、必要な園児、希望する園児には後日発達検査、発達相談を実施しました。 アンケート回収: 151人 発達検査、発達相談の実施 9人 (3) 小学校等巡回相談 発達障がい傾向にある児童の支援方法を現場支援者(教員等)と検討しました。 実施状況 町内小学校 4回(相談児童4人)、町内中学校 1回(相談生徒1人) 合計5回 (4) 発達障がい早期総合支援連絡協議会 発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する支援体制の充実を図るための協議を実施しました。 (5) 発達障がい早期総合支援研修会 発達障がい傾向のある児童や生徒にかかわる職員(保育士、小中学校の介助員、放課後子ども教室担当者、相談員、保健師等)に対しオンライン研修(一部来場)を実施しました。参加者46人 講演会 「お子さんの行動から考えるポジティブ行動支援」 講師 岐阜大学大学院教育学研究科教授 平澤 紀子 氏 (2)~(3)合計 165人…② ①+②=合計179人			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	発達検査、発達相談、すくすく発達相談、小学校等巡回相談における相談児童・生徒数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)	令和元年度	人 365.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人 341.00	人		
			令和3年度	人 192.00	人		
			令和4年度	人 179.00	人		
6	成果指標	指標名	小学校等巡回相談実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 小学校等巡回相談を全小中学校にて実施します。
		指標の説明(指標式)	令和元年度	回 11.00	回 9.00		
			令和2年度	回 6.00	回 9.00		
			令和3年度	回 5.00	回 9.00		
			令和4年度	回 5.00	回 9.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	402,500 円	決算額	463,938 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 68
	直接事業費①(②+③+④)	402,500	463,938	115.3 %	556,000	評価の符号
	一般財源②	402,500	463,938	115.3 %	556,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,328,575	2,238,762	67.3 %		
	総合計(①+⑤)	3,731,075	2,702,700	72.4 %		
町費投入額(②+③+⑤)	3,731,075	2,702,700	72.4 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	19,433	15,099	77.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	746,215	540,540	72.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  4 歳5歳発達相談の人数が減少したため、活動指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-6.8 %		△
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	-44.4 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-27.6 %	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、発達障がい早期総合支援講演会ではオンライン方式による支援者向け研修会を実施しました。
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	発達障がいは、周囲の理解や適切な支援により、生活上の困難さが軽減され、その子らしく成長や発達していくことができます。ライフステージに合わせた切れ目のない支援や環境が提供できるよう、保護者や保育士、教員等が連携し相談支援体制を充実させていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	児童発達に関する相談窓口を集約し、切れ目ない支援が提供できるよう連携体制を整備します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	保育園や学校、障害福祉サービス等との連携を強化し、相談支援体制を整備します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	臨床心理士による発達相談事業について、前年度の相談実績を踏まえて実施します。発達障がい理解に向け、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた方式での支援者向け研修を実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 69

1	事業名	不妊治療費事業	コード	01	04	01	03	05	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	不妊症や不育症に悩む夫婦
2	働きかける相手(対象)	不妊症や不育症に悩む夫婦
3	どのような状態に したいのか(意図)	不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に係る経済的な負担の軽減を図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	不妊治療費事業 (1) 不妊治療 (不妊治療に要する費用の一部を助成しました。) 合計68件 ア 一般不妊治療 32件 イ 特定不妊治療 36件 (2) 不育症治療 (不育症治療に要する費用の一部を助成しました。) 不育症治療 0件	

5	活動指標	指標名	不妊治療・不育症治療費申請延べ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件	103.00	件	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	件	111.00	件	
			令和3年度	件	86.00	件	
			令和4年度	件	68.00	件	

6	成果指標	指標名	不妊治療費助成金支給額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	円	7,235,916.00	円	5,965,100.00	前年度実績
			令和2年度	円	7,615,566.00	円	7,235,916.00	
			令和3年度	円	6,016,685.00	円	7,615,566.00	
			令和4年度	円	4,262,694.00	円	6,016,685.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	6,016,685 円	決算額	4,262,694 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 69
	直接事業費①(②+③+④)	6,016,685	4,262,694	70.8 %	5,800,000	評価の符号
	一般財源②	5,757,685	4,250,694	73.8 %	5,800,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	259,000	12,000	4.6 %	0	
	概算人件費⑤	4,782,545	2,171,610	45.4 %		
	総合計(①+⑤)	10,799,230	6,434,304	59.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	10,540,230	6,422,304	60.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	122,561	94,446	77.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2	2	100.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 不妊治療に要する費用などを申請した夫婦が減少したため、成果指標も低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-20.9 %		×
	②成果指標の実績向上度	-29.2 %		×
	③成果指標の目標達成度	-29.2 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-39.1 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 不妊治療費が保険適用となることに伴い、助成制度の内容について検討をした結果、先進医療については保険適用とならない治療もあるため、継続実施とすることとしました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	不妊治療が保険適用になりましたが、妊娠を望む人が安心して治療を受けられるよう引き続き制度を適切に運用していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	助成制度のあり方について近隣市町の動向も確認しながら検討していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	助成制度のあり方について近隣市町の動向も確認しながら検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	国及び愛知県において、不妊治療費が保険適用となることに伴い年度途中で支援制度が終了します。そのため、助成制度について近隣市町の動向を確認しながら検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 70

1	事業名	出産・子育て応援事業	コード	01	04	01	03	06	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊婦、児童を養育する保護者
2	働きかける相手(対象)	妊婦、児童を養育する保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	妊婦・子育て家庭に対して、妊娠届出時5万円、出生届出時5万円を支給することで経済的な負担の軽減が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	出産・子育て応援事業 遡及対象者（令和4年4月1日から令和5年2月28日までに出生した児童の母及び養育者）に対し令和5年3月にアンケート及び申請案内を発送しました。アンケートの回答内容から、必要に応じて電話や面談を実施しました。令和5年3月1日以降で妊娠の届出をした妊婦、出生した児童を養育する人及び転入者には、随時、相談支援を実施し、申請の案内をしました。 (1) 出産応援給付金（妊婦に対して1人5万円を給付） 給付者数 271人 (2) 子育て応援給付金（児童を養育する保護者に対し、児童1人につき5万円を給付） 給付者数 178人 (1)(2)合計 449人（給付対象者数 729人）	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	出産・子育て応援給付金の給付者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人	人	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	出産応援給付金、子育て応援給付金の給付者数	令和2年度	人		人
			令和3年度	人	人		
令和4年度	人 449.00	人					
6	成果指標	指標名	出産・子育て応援給付金の給付率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			令和元年度	%	%		
		指標の説明 (指標式)	出産応援給付金、子育て応援給付金の給付率	令和2年度	%	%	
			(給付者数) ÷ (給付対象者数) × 100	令和3年度	%	%	
令和4年度	% 61.59	%					
7	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	22,676,402 円		

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 70
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)		22,676,402	%	34,355,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②		636,113	%	5,727,000	
	起債③		0	0.0 %	0	
	その他④		22,040,289	%	28,628,000	
	概算人件費⑤		5,798,479	%		
	総合計(①+⑤)		28,474,881	%		
	町費投入額(②+③+⑤)		6,434,592	%		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		14,331	%		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)		104,475	%		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	対象者への申請案内を送付したのが令和5年3月であり、開始からの期間が短いため3月末での給付率は6割にとどまっています。
2 有効性	①活動指標の実績向上度	%	
	②成果指標の実績向上度	%	
	③成果指標の目標達成度	%	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	%	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。		給付金の申請案内と一緒にアンケートを送付し、アンケート内容から必要な人には保健師が電話や面接をし、妊婦や産婦に対する相談を充実させました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
	継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、対象者に正しく給付するとともに寄り添った相談支援が実施できるよう体制を整備していく必要があります。	
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
	休廃止 <input type="checkbox"/>		

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	給付対象のうち申請していない人に対して再通知を送り、対象者が漏れることなく給付が受けられるようにします。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	対象者に適切に給付できるよう実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 71

1	事業名	児童発達支援事業所運営事業	コード	01	03	02	01	07	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	療育を必要とする子ども及びその保護者、保育園児
2	働きかける相手(対象)	療育を必要とする子ども及びその保護者、保育園児
3	どのような状態にしたいのか(意図)	乳幼児健診(1歳6か月健診)で要観察児と判定された子どもとその保護者に対して、保健担当部署と連携を図り、子どもの発達に関する援助方法の習得や生活習慣の自立を促進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	児童発達支援事業所運営事業 ハーモニー及びらっこ教室を運営しました。 (1) ハーモニー 心身の発達が緩やかな児童を対象に、親子通園及び単独通園による療育を行いました。 児童への接し方、関わり方などについて、保護者の支援を行いました。 児童の発達に関し、作業療法士等による訪問指導、作業療法等を行いました。 ア 出席延人数 2,366人(親子通園548人、単独通園1,818人) イ 実通園児数 18人 ウ 年間開設日数 227日 エ 概要 (ア) 開設日等 平成27年4月1日(中部保育園2階) (イ) 対象児童 2歳から就学前までの児童 (ウ) 親子通園 月、水、木、金曜日(午前9時30分から午後3時まで) (エ) 単独通園 月、火、水、木、金曜日(午前9時30分から午後3時まで) (2) らっこ教室 ハーモニーの施設で心身の発達が緩やかな児童のうち、比較的軽度の児童を対象に、親子通園による療育を行いました。 また、乳幼児健診時に心身の発達が緩やかと認められる児童とその保護者を対象として、児童の観察と保護者の相談及び指導を行いました。 ア 参加延人数 234人 イ 実通園児数 11人 ウ 年間開設日数 43日 エ 概要 (ア) 開設日等 平成13年7月1日(中部保育園2階では平成27年4月1日) (イ) 対象児童 主に2歳児 (ウ) 通園日等 火曜日(午前9時30分から午前11時45分まで) オ 連携事業 「なかよし教室」…乳幼児健診後に保健師が行う事後指導(健康推進課所管)
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	年間延人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 2,591.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	ハーモニー、らっこ教室の参加延人数	令和2年度	人 2,452.00	人	
				令和3年度	人 2,497.00	人	
		令和4年度	人 2,600.00	人			
6	成果指標	指標名	通園児在籍数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 ハーモニーの定員数
				令和元年度	人 26.00	人 30.00	
		指標の説明 (指標式)	ハーモニーの実通園児数(最多月の在籍人数)	令和2年度	人 22.00	人 30.00	
				令和3年度	人 23.00	人 30.00	
		令和4年度	人 18.00	人 30.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	22,060,250 円	決算額	22,788,435 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 71
	直接事業費①(②+③+④)	22,060,250	22,788,435	103.3 %	25,292,000	評価の符号
	一般財源②	12,333,857	12,655,496	102.6 %	17,801,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	9,726,393	10,132,939	104.2 %	7,491,000	
	概算人件費⑤	41,026,586	46,735,049	113.9 %		
	総合計(①+⑤)	63,086,836	69,523,484	110.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	53,360,443	59,390,545	111.3 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	21,370	22,843	106.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,320,019	3,299,475	142.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  園児の受入れ人数が増加したことに伴い、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	4.1 %		○
	②成果指標の実績向上度	-21.7 %		×
	③成果指標の目標達成度	-40.0 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	11.3 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  児童の発達に合わせた療育や保護者支援を実施するため、保護者との懇談や研修を実施しました。 併設する中部保育園との並行通園を行いながら、就労家庭が就労を継続しながら療育を受けられるよう支援しました。 加算項目等を見直し、利用者負担額を改定しました。 児童発達支援センターの設置に関し、関係部署と検討しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7	総合評価	8 総合評価コメント		
	継続実施 <input type="checkbox"/>	児童発達支援事業所の利用を希望する発達の緩やかな児童が増加しているため、事業は今後も継続する必要があるとともに、就労家庭が就労を継続しながら療育を受けられるよう、保育園との連携を積極的に実施することも必要です。 また、発達の緩やかな児童の保護者が子育てに関する助言・相談が必要とするケースも多いことから、子育てに関する専門的な視点を含めた支援や相談の充実が必要です。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	こども健康課と連携し、相談事業の調整や児童に応じたケース会議等を実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	多様化する子育て家庭のニーズに合わせた柔軟な療育支援を実現するため、受入れ枠の拡大や中部保育園・ひよこルームとの連携した運営について検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	適切な加算項目に基づき利用者負担額等を設定します。 「児童発達支援センター」の設置に関し、関係部署と調整します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 72

1	事業名	民間保育所運営支援事業	コード	01	03	02	04	03	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	保育園入所希望者
2	働きかける相手(対象)	民間保育園、民間保育所
3	どのような状態にしたいのか(意図)	民間保育所が適正に運営されるよう指導するとともに、待機児童が発生する乳児の入所施設を支援します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	民間保育所運営支援事業	
		(1) 保育給付 子ども・子育て支援法に基づき、給付を行いました。	
		ア 私立保育所委託費 支給対象 5施設、支給額 336,909,800円	
		イ 地域型保育給付費 支給対象 5施設、支給額 110,752,100円	
		ウ 教育・保育給付費 支給対象 2施設、支給額 153,062,000円	
		(2) 延長保育事業補助金 支給対象 2施設、助成額 3,898,000円	
		(3) 通常の保育時間を超えて保育を実施した事業者に対し、費用の一部を助成しました。	
		(4) 低年齢児途中入所円滑化事業 支給対象 4施設、助成額 5,520,000円	
		(5) 低年齢児の途中入所に対応する保育士を配置した保育所に、費用の一部を助成しました。	
		(6) 保育所整備費補助金 支給対象 (社福)若葉会 補助金額 241,628,000円	
		(7) 和合地区に新設認定こども園を整備する法人に対し、工事費等の一部を助成しました。	
		(8) 認可外保育所運営費補助金 支給対象 子ども数 8人、補助金額 1,959,200円	
		(9) 3歳未満児を受け入れる認可外保育施設に対し、運営費を助成し、利用者の保育料の一部を助成しました。(施設運営費 14,800円/月・人、利用者助成 10,000円)	
(10) 施設等利用給付費(認可外保育施設) 子ども数 11人、支給額 2,176,233円			
(11) 認可外保育施設を利用した保育の必要性が認められる保護者に対し、給付費を支給しました。(上限37,000円/月・人、子どもが3歳未満児で住民税非課税世帯の場合は、上限42,000円/月・人)			
(12) 保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 支給対象 3施設、補助額 1,531,000円			
(13) 消毒液、空気清浄機等の購入費や感染症対策に係る時間外勤務手当に対し、その費用の一部を助成しました。			
(14) 一時預かり事業 東郷せいぶ保育園で延べ748人、東郷あやめこども園で延べ258人、あずまよりらら保育園愛知東郷で延べ112人の一時預かりを実施しました。			
(15) 祝日保育 東郷あやめこども園で祝日保育を実施しました。子ども数 延べ54人、実施日数 11日			
(16) 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 支給対象 8施設 助成額 9,482,039円			
(17) 令和4年2月から保育士等の処遇改善のため収入を3%程度引き上げた施設に、費用の一部を助成しました。			
(18) 保育士宿舎借り上げ支援事業費補助金 支給対象 1施設 補助額 396,000円			
(19) 保育士不足を解消するために宿舎借り上げを実施している保育所等に対して費用の一部を助成しました。			
(20) 保育所等給食費負担軽減交付金 支給対象 8施設 補助額 5,589,160円			
(21) 物価高騰に係る給食費を負担している保育所等に対して、費用の一部を助成しました。			

5	活動指標	指標名	民間保育所等の延長保育実 利用児童数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人	88.00	人	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人	66.00	人		
			令和3年度	人	170.00	人		
			令和4年度	人	184.00	人		
6	成果指標	指標名	民間保育所延長保育延べ利 用児童数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度実績5%の増 H29.10から2園 R3.4から3園	
			令和元年度	人	6,776.00	人		8,327.55
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人	5,004.00	人		7,114.80
			令和3年度	人	4,791.00	人		5,254.20
			令和4年度	人	4,084.00	人		5,030.55
7	直接事業費計	前年度決算額	776,835,120 円	決 算 額	908,909,212 円			

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 72
	直接事業費①(②+③+④)	776,835,120	908,909,212	117.0 %	786,575,000	評価の符号
	一般財源②	170,954,318	136,411,103	79.8 %	228,696,000	
	起債③	44,400,000	66,700,000	150.2 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	561,480,802	705,798,109	125.7 %	557,879,000	
	概算人件費⑤	12,943,378	8,525,990	65.9 %		
	総合計(①+⑤)	789,778,498	917,435,202	116.2 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	228,297,696	211,637,093	92.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,342,928	1,150,202	85.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	47,651	51,821	108.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 保護者の就労時間の増加により、延長保育の実利用児童数が増加したため、活動指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	8.2 %	○
	②成果指標の実績向上度	-14.8 %	×
	③成果指標の目標達成度	-18.8 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-7.3 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 和合保育園の民営化に向け、事業者に対して整備費補助金の交付等の支援を行いました。 私立保育所の人材確保を支援するため、保育士宿舍借上げ支援事業補助金制度を実施しました。 特色ある幼児教育・保育の充実を図るため、東郷せいぶ保育園の認定こども園への移行を支援しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	平成29年度から4月1日現在の待機児童ゼロを達成していますが、3歳未満児については、年度途中に待機児童が発生しています。これらの解消のため、適正な事業コストで、3歳未満児の枠を拡大する等の事業拡大を検討する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	医療的ケア児について、民間保育所等での受入れができるよう、体制の整備について協議を進めていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	民間保育所等の運営を支援するため、必要な補助について適正に実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	保育委託費の給付割合が近隣市に比較して低い水準にあることから、私立保育所の人材確保を支援するため、保育士宿舍借上げ支援事業補助金制度を実施します。 特色ある幼児教育・保育の充実を図るため、東郷せいぶ保育園の認定こども園への移行を支援します。 医療的ケア児の受入れについて、私立保育所等でもできるよう、体制の整備について協議を進めていきます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 73

1	事業名	病児保育事業	コード	01	03	02	04	04	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	病気及び病気回復期の児童及びその保護者
2	働きかける相手(対象)	病気及び病気回復期の児童及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	病気及び病気回復期の児童に対し、適切な保育が実施され、保護者が安心して就労できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	病児保育事業 生後6か月から小学校3年生までの病気の子どもや病気から回復期の子どもを、専用施設（日進おりど病院 病児病後児保育センター）で有料で預かる事業を実施しました。 (1) 契約者 医療法人大医会（日進おりど病院） (2) 開設日 月曜日から土曜日まで（祝日及び年末年始を除く。） (3) 登録者数等 ア 登録者数 332人（令和4年度新規登録者 24人） イ 予約件数 106件 ウ 利用者延人数 71人	

5	活動指標	指標名	病児・病後児保育室利用者数		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人	185.00	人	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人	52.00	人			
			令和3年度	人	64.00	人			
			令和4年度	人	71.00	人			
			令和4年度	人	71.00	人			
6	成果指標	指標名	病児・病後児保育室登録者数(累計)		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 小学校3年生までの子どもの数の15% R4:3,564×0.15	
			令和元年度	人	437.00	人	559.00		
		指標の説明 (指標式)	年度末現在の病児・病後児保育室登録者数	令和2年度	人	402.00	人		572.00
			令和3年度	人	376.00	人	544.00		
			令和4年度	人	332.00	人	534.60		
7	直接事業費計	前年度決算額	5,078,000 円	決算額	5,493,000 円				

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 73
	直接事業費①(②+③+④)	5,078,000	5,493,000	108.2 %	5,493,000	評価の符号
	一般財源②	1,694,000	1,831,000	108.1 %	1,831,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	3,384,000	3,662,000	108.2 %	3,662,000	
	概算人件費⑤	392,223	394,722	100.6 %		
	総合計(①+⑤)	5,470,223	5,887,722	107.6 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,086,223	2,225,722	106.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	32,597	31,348	96.2 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,548	6,704	120.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の規制が緩和されたため、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	10.9 %		○
	②成果指標の実績向上度	-11.7 %		×
	③成果指標の目標達成度	-37.9 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  日進市と協議し、今後の委託事業者に対する費用負担について方向性を決めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数が少し回復しましたが、引き続き保護者に対し事業に関する情報提供を行う必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	病児保育事業の情報提供について、チラシの配布対象や時期について検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	病児保育を必要とする人が利用できるよう、継続して事業内容をお知らせしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	病児保育は、小学校3年生まで利用できることから、放課後児童クラブの利用申し込みの際に制度の周知を依頼します。 日進市と協議し、今後の委託事業者に対する費用負担について方向性を決めます。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 74

1	事業名	保育園運営事業	コード	01	03	02	05	04	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	保護者の就労等で保育が必要な乳幼児及びその家庭、地域住民
2	働きかける相手(対象)	保護者の就労等で保育が必要な乳幼児及びその家庭、地域住民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	保育メニューの充実を図り保育の必要性が認められる乳幼児の保育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立を図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 保育園運営事業</p> <p>(1) 町立町営保育園5園(和合、中部、南部、音貝及びたかね保育園)で582人の子どもの保育を実施しました。(令和5年3月1日現在)</p> <p>(2) 障がい児保育、延長保育、1・2歳児保育を全園で、0歳児保育を2園(中部・南部保育園)で実施しました。</p> <p>(3) 南部保育園で、土曜保育の時間を午後2時までから午後6時までまで延長しました。</p> <p>(4) 第三子以降の保育料無料化事業を対象者26人に実施しました。</p> <p>(5) 保育園でおやつを提供しました。(フルーツをおおむね週1回提供しました。)</p> <p>(6) 人形劇公演を実施しました。</p> <p>(7) 幼児期運動指針実践プログラムを基にした運動あそびを町立保育園(全園)で実施しました。</p> <p>(8) 作業療法士などの専門家が、全保育園を訪問し、保育の支援を実施しました。</p> <p>(9) 生活発表会及び運動会は、感染対策を実施した上で、保護者の参加人数を限定して実施しました。</p> <p>(10) 外国人講師を町内公立園に派遣し、園児が体験的に英語に慣れ親しむ機会を提供しました。</p> <p>事業者 一般社団法人 アップビートインターナショナルスクール、活動実績 延べ408日</p> <p>(11) 人材派遣の保育士を活用しました。</p>	
		<p>2 ふれあい交流事業</p> <p>例年実施している地域住民(未入園児とその保護者、お年寄り、小中学生など)に参加を募り、保育園園庭開放やクリスマス会などの交流事業は、感染対策を実施した上で、新型コロナウイルス感染症の感染者数が少ない時期に限り、参加者を限定して実施しました。</p>	
		<p>3 小規模保育運営事業</p> <p>中部保育園内のプレハブの建物内で、待機児童対策として3歳未満児を保育する小規模保育ひよこルーム(定員19名)を開設し、2人の子どもの保育を実施しました。</p>	

5	活動指標	指標名	ふれあい交流事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	平成29年度9月まで7園、10月から5園。	令和元年度	回 54.00	回 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	回 0.00	回	
				令和3年度	回 25.00	回	
				令和4年度	回 17.00	回	
6	成果指標	指標名	保育所入所児童数(町立)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 認可定員数 平成29年度以降は5園。
		指標の説明 (指標式)	3月1日現在の入所児童数(町立)	令和元年度	人 620.00	人 765.00	
				令和2年度	人 622.00	人 765.00	
				令和3年度	人 597.00	人 765.00	
				令和4年度	人 582.00	人 765.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	232,701,523 円	決算額	242,973,483 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 74
	直接事業費①(②+③+④)	232,701,523	242,973,483	104.4 %	255,935,000	評価の符号
	一般財源②	198,695,870	210,197,332	105.8 %	211,734,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	34,005,653	32,776,151	96.4 %	44,201,000	
	概算人件費⑤	360,688,800	370,406,867	102.7 %		
	総合計(①+⑤)	593,390,323	613,380,350	103.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	559,384,670	580,604,199	103.8 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	22,375,387	34,153,188	152.6 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	936,993	997,602	106.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 民間保育所等の増加により、町立保育所の入所園児数が昨年と比べて減少したため、成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-32.0 %	×
	②成果指標の実績向上度	-2.5 %	△
	③成果指標の目標達成度	-23.9 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.8 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 医療的ケア児の受入れに向け、希望する保護者との面談を継続し、関係部署と連携して対応しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	子ども・子育て支援事業計画や保育所等長寿命化計画、保育の基本方針を踏まえ、民間保育所等への移行を進めるとともに、障がい児保育の充実や要保護児童の緊急避難に対応するための体制を整備する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	医療的ケア児の受入れに際し、該当園児の保護者や、こども健康課、福祉課だけでなく、訪問看護ステーションや児童発達支援事業者など外部機関とも連携することで、安心して預けられる環境整備等を進めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	保育の基本方針に沿った、保育所等運営、施設整備等を計画的に進めるとともに、現在はまだまだ十分でない障がい児保育の充実や要保護児童の緊急避難に対応できるよう検討します。 正職員の比率を上げ、「子ども主体の保育」の実践に努め、質の高い保育の提供を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	医療的ケア児の受入れに向け、希望する保護者との面談を継続し、健康推進課、子育て応援課と連携して対応します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 75

1	事業名	児童生徒指導事業	コード	01	10	01	02	04	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	全小中学生
2	働きかける相手(対象)	町内小中学校の児童生徒及び保護者、各学校区生徒指導推進協議会、地域
3	どのような状態にしたいのか(意図)	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	生徒指導事業 (1) 生徒指導推進協議会 3 中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。 (2) スクールカウンセラー ア 【小学校】6 小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。(児童等相談件数 205件 参考: R3年度376件、R2年度311件、R元年度419件、H30年度391件) 年間相談時間 407時間 イ 【中学校】3 中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。(生徒等相談件数 527件 参考: R3年度341件、R2年度594件、R元年度626件、H30年度833件) 年間相談時間 685時間 (3) 心の教室相談員 小中学校に計13名(東郷中学校2名、春木中学校3名、諸輪中学校2名、春木台小学校1名、諸輪小学校1名、音貝小学校1名、高嶺小学校2名、兵庫小学校1名)の心の教室相談員を配置し、児童生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 中学校生徒等相談件数 434件 勤務時間数 東郷中学校 221時間、春木中学校 409.5時間、諸輪中学校 439時間 小学校児童等相談件数 161件 勤務時間数 春木台小学校 73時間、諸輪小学校 138時間、音貝小学校 138時間、高嶺小学校 133時間、兵庫小学校 92時間 (4) スクールサポーター 不登校傾向又は軽度発達障がい等で集団での授業に参加できない児童生徒及びその他の教育活動に支援を必要としている児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考えている大学生を小学校に合計5名配置しました。 勤務日数 小学校30日
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名 心の教室相談員配置校	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	3.00	校	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	9.00	校		
			令和3年度	6.00	校		
			令和4年度	8.00	校		
6	成果指標	指標名 相談件数(スクールカウンセラー及び心の教室相談員)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均相談件数	
			令和元年度	1,551.00	1,507.00		
			令和2年度	1,274.00	1,560.00		
			令和3年度	1,304.00	1,376.00		
			令和4年度	1,327.00	1,031.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	2,255,500 円	決算額	2,243,500 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 75
	直接事業費①(②+③+④)	2,255,500	2,243,500	99.5 %	4,458,000	評価の符号
	一般財源②	2,255,500	2,243,500	99.5 %	4,458,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	777,155	853,203	109.8 %		
	総合計(①+⑤)	3,032,655	3,096,703	102.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	3,032,655	3,096,703	102.1 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	505,442	387,088	76.6 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,326	2,334	100.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 心の教室相談員の配置が前年度より増え、配置校が増加したため、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	33.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	1.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	28.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	2.1 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 心理学部を設置している大学を訪問し、心の教室相談員の募集案内を学生に周知していただくよう依頼しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	児童生徒が学校で起こる様々なできごとについて相談できる環境をつくるため、スクールカウンセラーの配置に加え、児童生徒の身近な立場の心の教室相談員を引き続き配置します。 また、授業支援のため、スクールサポーターを引き続き配置します。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	心の教室相談員を全校に配置できるよう人材確保のため、大学訪問を継続します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	友人関係や家庭の問題などの悩みを持つ児童生徒は多く、心の教室相談員を全校配置するとともに、活動時間を増やすための取組が必要です。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	心理学部を設置している大学を訪問し、心の教室相談員の募集案内を学生に周知していただくよう依頼するなど、配置校を増やすための周知啓発を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 76

1	事業名	高等学校等教育振興事業	コード	01	10	01	02	05	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒
2	働きかける相手(対象)	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒の保護者
3	どのような状態に したいのか(意図)	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	高等学校等教育振興事業 令和4年10月1日時点で私立高等学校等に生徒が在籍しており、かつ同日時点で町内に在住し、授業料の自己負担が10,000円を超える保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円を補助しました。 (1) 補助実施生徒数 307人 (2) 補助実施生徒在籍学校数 69校

5	活動指標	指標名	私立高等学校等授業料補助金交付者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	386.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人	383.00	人		
			令和3年度	人	338.00	人		
			令和4年度	人	307.00	人		
6	成果指標	指標名	申請率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 対象者の7割	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	79.42	%		70.00
			令和2年度	%	73.94	%		70.00
			令和3年度	%	62.25	%		70.00
			令和4年度	%	56.75	%		70.00
7	直接事業費計	前年度決算額	3,380,000 円	決算額	3,070,000 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 76
	直接事業費①(②+③+④)	3,380,000	3,070,000	90.8 %	8,175,000	評価の符号
	一般財源②	3,380,000	3,070,000	90.8 %	8,175,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	801,115	795,937	99.4 %		
	総合計(①+⑤)	4,181,115	3,865,937	92.5 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,181,115	3,865,937	92.5 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	12,370	12,593	101.8 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	67,167	68,122	101.4 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 国や県の私立高等学校助成の拡充により、助成の対象となる保護者が減少し、成果指標に影響を与えました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-9.2 %		△
	②成果指標の実績向上度	-8.8 %		△
	③成果指標の目標達成度	-18.9 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-7.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		保護者負担の軽減を図るため、事業の拡充を行う必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	1人当たりの補助額を10,000円から15,000円に引き上げ、補助対象経費を授業料以外にも拡充します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	特にありません。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 77

1	事業名	家庭教育等推進事業	コード	01	10	04	02	03	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	家庭を形成する親子・家族
2	働きかける相手(対象)	各小学校区単位の家庭教育推進委員会
3	どのような状態に したいのか(意図)	家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。 (1) 東郷小学校 開催講座数 8講座 延べ参加人数 267人 (2) 春木台小学校 開催講座数 3講座 延べ参加人数 50人 (3) 諸輪小学校 開催講座数 5講座 延べ参加人数 138人 (4) 音貝小学校 開催講座数 3講座 延べ参加人数 100人 (5) 高嶺小学校 開催講座数 3講座 延べ参加人数 103人 (6) 兵庫小学校 開催講座数 3講座 延べ参加人数 466人 合計 25講座 1,124人			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	各小学校区における講座等の実施数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	回 32.00	回 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	回 8.00	回	
				令和3年度	回 9.00	回	
令和4年度	回 25.00			回			
6	成果指標	指標名	家庭教育推進事業参加延べ人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 1,844.00	人 1,727.00	前年度実績
				令和2年度	人 804.00	人 1,844.00	
				令和3年度	人 639.00	人 804.00	
令和4年度	人 1,124.00			人 639.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	102,000 円	決算額	164,000 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 77
	直接事業費①(②+③+④)	102,000	164,000	160.8 %	240,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	102,000	164,000	160.8 %	240,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,893,488	1,885,591	99.6 %		
	総合計(①+⑤)	1,995,488	2,049,591	102.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,995,488	2,049,591	102.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	221,721	81,984	37.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,123	1,823	58.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症による行動規制の緩和により、開催できた講座が増えたため、活動指標、成果指標ともに向上しました。 講座開催回数が増えたため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	177.8 %		○
	②成果指標の実績向上度	75.9 %		○
	③成果指標の目標達成度	75.9 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	2.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	今後も講座を通して親同士の交流や家庭教育の情報交換の場を提供する必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	充実した講座を実施し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消できるよう協力していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 78

1	事業名	成人式開催事業	コード	01	10	04	02	06	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	成人式出席予定の成人(20歳)
2	働きかける相手(対象)	成人(20歳)及びその家庭
3	どのような状態にしたいのか(意図)	二十歳を迎えた成人をお祝いするとともに、成人が明るい未来への担い手としての自覚を持ち、社会人として責任ある行動がとれるよう、成人式をとおして成人の意識を高めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人式開催事業 令和5年1月8日(日)に町民会館ホールにおいて、成人式を開催しました。 (1) 成人式案内状送付数 539通 (2) 出席者数 421人 (3) 実行委員会 新成人から実行委員を公募し、実行委員会形式での式を開催しました。 ア 募集方法 広報、ホームページ、生涯学習情報誌ジョイフル等 イ 開催回数 3回 ウ 実施内容 司会、誓いの言葉、アトラクション等	

5	活動指標	指標名	成人式案内状発送件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件	587.00	件	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	件	592.00	件		
			令和3年度	件	559.00	件		
			令和4年度	件	539.00	件		
6	成果指標	指標名	成人式出席率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	75.30	%		77.60
			令和2年度	%	73.48	%		75.30
			令和3年度	%	77.30	%		73.48
			令和4年度	%	78.11	%		77.30
7	直接事業費計	前年度決算額	979,231 円	決算額	781,921 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 78
	直接事業費①(②+③+④)	979,231	781,921	79.9 %	1,025,000	評価の符号
	一般財源②	979,231	781,921	79.9 %	1,025,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,622,326	2,742,679	75.7 %		
	総合計(①+⑤)	4,601,557	3,524,600	76.6 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,601,557	3,524,600	76.6 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	8,232	6,539	79.4 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	59,529	45,124	75.8 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス検査キットの郵送料がなくなったため、直接事業費が減少しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	△	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-3.6 %	△
	②成果指標の実績向上度	1.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	1.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-23.4 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新型コロナウイルス感染症を考慮して、式典の内容を見直し、成人式の時間を30分程度に短縮して実施しました。 緊急事態宣言が発令された場合には、2部制にすることを事前に周知して実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	二十歳を迎えたお祝いをするとともに、成人が明るい未来への担い手としての自覚を持ち、社会人として責任ある行動がとれるよう、成人式を通して成人としての意識を高める必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	令和6年度以降も二十歳を対象に式典を開催します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	成人年齢が18歳に引き下げられますが、20歳を対象に成人式を開催するため、成人式の名称を検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 79

1	事業名	小学校図書館整備事業	コード	01	10	02	02	02	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町立小学校児童
2	働きかける相手(対象)	町立小学校、町立小学校児童
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校図書館整備事業 学校図書館の図書の整備を図りました。				
		(1) 蔵書状況				
		購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
	東郷小学校	296冊	196冊	10,880冊	10,760冊	101%
	春木台小学校	390冊	0冊	10,682冊	9,960冊	107%
	諸輪小学校	373冊	217冊	9,737冊	9,960冊	98%
	首貝小学校	373冊	500冊	10,690冊	9,560冊	112%
	高嶺小学校	260冊	169冊	12,100冊	10,360冊	117%
	兵庫小学校	237冊	40冊	12,422冊	11,360冊	109%
	計	1,929冊	1,122冊	66,511冊	61,960冊	
		(2) 年間貸出冊数				
	東郷小学校	8,815冊				
	春木台小学校	13,298冊				
	諸輪小学校	13,047冊				
	首貝小学校	9,792冊				
	高嶺小学校	9,615冊				
	兵庫小学校	23,036冊				
	計	77,603冊				

5	活動指標	指標名	購入後蔵書数(全小学校分)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	冊	65,419.00	冊 62,760.00	
		指標の説明 (指標式)	前年度末蔵書数+当該年度整備冊数-廃棄数	令和2年度	冊	65,637.00	冊 61,960.00
			令和3年度	冊	65,704.00	冊 62,560.00	
			令和4年度	冊	66,511.00	冊 61,960.00	
6	成果指標	指標名	児童1人当たり年間貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	冊	19.47	冊 20.57	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	冊	19.98	冊 20.57	
			令和3年度	冊	25.41	冊 20.18	
			令和4年度	冊	28.16	冊 25.41	
7	直接事業費計	前年度決算額	2,633,315 円	決算額	2,838,301 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 79
	直接事業費①(②+③+④)	2,633,315	2,838,301	107.8 %	3,259,000	評価の符号
	一般財源②	2,633,315	2,838,301	107.8 %	3,259,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	80,112	79,594	99.4 %		
	総合計(①+⑤)	2,713,427	2,917,895	107.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	2,713,427	2,917,895	107.5 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	41	44	107.3 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	106,786	103,618	97.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新刊図書をポップ表示したり、本を多く借りた児童にしおりをプレゼントするなどの活動を実施し、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	1.2 %		○
	②成果指標の実績向上度	10.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	10.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	7.5 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 学校間の格差を是正するため、学校ごとの取組を共有しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	本に親しむことは、心豊かな児童を育成するため必要な要素のため、標準冊数を維持し、図書を活用できるよう計画的な整備が必要です。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	学校図書館の充実のため、各学校の標準冊数を維持できるよう計画的に運用していきます。図書管理システム及び電子書籍の導入を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 80

1	事業名	小学校情報教育推進事業	コード	01	10	02	02	05	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町立小学校児童
2	働きかける相手(対象)	町立小学校児童、町立小学校施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	全小学校の学習用タブレット端末を効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校情報教育推進事業 GIGAスクール構想に基づき、児童1人に1台の学習用タブレット端末を利用し、ICTを効果的に活用した教育を実施しました。 (1) 学習用タブレット端末の台数 2,872台 (2) 学習用タブレット端末の効果的な利活用に向けたサポート ICT支援員 1名を配置 (3) 大型提示装置の整備 全小学校の普通教室等に設置 129台 (4) 安定した学習用タブレット端末の運用 ア インターネット接続サービスの利用 イ 各種アカウントの管理及び更新 ウ 卒業、入学等に伴う学習用タブレット端末の移動 エ 新規導入アプリの登録	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	学習用タブレット端末を活用し授業を行った学級の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	%	全学級		
			令和2年度	0.00	0.00			
			令和3年度	%	%			
			令和4年度	100.00	100.00			
6	成果指標	指標名	ICT支援員の配置人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 ICTに関する専門知識を有する支援員の必要人数	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	0.00	人		0.00
			令和2年度	人	1.00	人		1.00
			令和3年度	人	1.00	人		1.00
			令和4年度	人	1.00	人		1.00
7	直接事業費計	前年度決算額	58,335,792 円	決算額	37,693,142 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 80
	直接事業費①(②+③+④)	58,335,792	37,693,142	64.6 %	35,153,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	28,679,792	37,693,142	131.4 %	35,153,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	29,656,000	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	4,211,679	4,989,596	118.5 %		
	総合計(①+⑤)	62,547,471	42,682,738	68.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	32,891,471	42,682,738	129.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	328,915	426,827	129.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	32,891,471	42,682,738	129.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和3年度に全ての普通教室に大型提示装置の整備が終わったことから、直接事業費が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	29.8 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  デジタル教科書の導入を進め、学習効果の高いアプリケーションを導入しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	1人1台タブレットの運用が進み、機器故障による修繕費や年次更新に伴う管理コストが増加しています。 持ち帰りの活用について、学校での運用を行っていますが、教育委員会としての運用の考え方を再度整理する必要があります。 タブレットの活用に伴うトラブルや情報漏えいリスク等に対応していく体制が必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	アカウントの年次更新について、県が取りまとめる協議会に参加し運用することで、国の補助金を活用します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	児童が興味を持つことができるアプリケーションの導入をより進めていきます。 教員の事務負担が軽減できるアプリケーションについても導入を進めます。 単年度の入札で行っているICT支援員の契約を複数年度の企画提案方式で実施することで、支援内容の充実を図り、学校でのタブレットの活用を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	国の学習者用デジタル教科書の実証実験事業に参加し、学習者用デジタル教科書の有効性や活用方法について研究します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 81

1	事業名	中学校図書館整備事業	コード	01	10	03	02	02	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町立中学校生徒
2	働きかける相手(対象)	町立中学校、町立中学校生徒
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、生徒の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校図書館整備事業 学校図書館の図書の整備を図りました。 (1) 蔵書状況																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>購入</th> <th>廃棄</th> <th>蔵書数</th> <th>標準冊数</th> <th>充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東郷中学校</td> <td>576冊</td> <td>421冊</td> <td>13,160冊</td> <td>12,160冊</td> <td>108%</td> </tr> <tr> <td>春木中学校</td> <td>475冊</td> <td>0冊</td> <td>17,188冊</td> <td>15,520冊</td> <td>111%</td> </tr> <tr> <td>諸輪中学校</td> <td>343冊</td> <td>338冊</td> <td>9,611冊</td> <td>9,040冊</td> <td>106%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,394冊</td> <td>759冊</td> <td>39,959冊</td> <td>36,720冊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率	東郷中学校	576冊	421冊	13,160冊	12,160冊	108%	春木中学校	475冊	0冊	17,188冊	15,520冊	111%	諸輪中学校	343冊	338冊	9,611冊	9,040冊	106%	計	1,394冊	759冊	39,959冊	36,720冊		
	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率																												
東郷中学校	576冊	421冊	13,160冊	12,160冊	108%																												
春木中学校	475冊	0冊	17,188冊	15,520冊	111%																												
諸輪中学校	343冊	338冊	9,611冊	9,040冊	106%																												
計	1,394冊	759冊	39,959冊	36,720冊																													
		(2) 年間貸出冊数 東郷中学校 1,374冊 春木中学校 4,386冊 諸輪中学校 637冊 計 6,397冊																															

5	活動指標	指標名	購入後蔵書数(全中学校分)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)	前年度末蔵書数+当該年度整備冊数-廃棄数	令和元年度	冊 39,190.00	冊 37,120.00	学校図書館図書標準冊数(公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数)
				令和2年度	冊 38,929.00	冊 37,600.00	
				令和3年度	冊 39,324.00	冊 38,160.00	
				令和4年度	冊 39,959.00	冊 36,720.00	

6	成果指標	指標名	生徒1人当たり年間貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の最大値
		指標の説明(指標式)		令和元年度	冊 5.87	冊 5.28	
				令和2年度	冊 6.57	冊 5.87	
				令和3年度	冊 6.58	冊 6.57	
				令和4年度	冊 4.46	冊 6.58	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,133,230 円	決算額	2,014,556 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 81
	直接事業費①(②+③+④)	2,133,230	2,014,556	94.4 %	2,710,000	評価の符号
	一般財源②	2,133,230	2,014,556	94.4 %	2,710,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	80,111	79,593	99.4 %		
	総合計(①+⑤)	2,213,341	2,094,149	94.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	2,213,341	2,094,149	94.6 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	56	52	92.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	336,374	469,540	139.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等による貸出冊数の減少により、成果指標が低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	1.6 %		○
	②成果指標の実績向上度	-32.2 %		×
	③成果指標の目標達成度	-32.2 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-5.4 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新刊図書をポップ表示したり、冊数を多く借りた生徒にしおりをプレゼントするなどの活動を実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	本に親しむことは、心豊かな生徒を育成するため必要な要素なため、標準冊数を維持し、図書を活用できるよう計画的な整備が必要です。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	学校図書館の充実のため、各学校の標準冊数を維持できるよう計画的に運用していきます。図書管理システムの導入及び電子書籍の導入を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 82

1	事業名	中学校情報教育推進事業	コード	01	10	03	02	05	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町立中学校生徒
2	働きかける相手(対象)	町立中学校生徒、町立中学校施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	全中学校の学習用タブレット端末を効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で生徒がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校情報教育推進事業 GIGAスクール構想に基づき、生徒1人に1台の学習用タブレット端末を利用し、ICTを効果的に活用した教育を実施しました。 (1) 学習用タブレット端末の台数 1,512台 (2) 学習用タブレット端末の効果的な利活用に向けたサポート ICT支援員 1名を配置 (3) 大型提示装置の整備 全中学校の普通教室等に設置 65台 (4) 安定した学習用タブレット端末の運用 ア インターネット接続サービスの利用 イ 各種アカウントの管理及び更新 ウ 卒業、入学に伴う学習用タブレット端末の移動 エ 新規導入アプリの登録	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	学習用タブレット端末を活用し授業を行った学級の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	% 0.00	% 0.00	全学級	
			令和2年度	% 0.00	% 0.00		
			令和3年度	% 100.00	% 100.00		
			令和4年度	% 100.00	% 100.00		
6	成果指標	指標名	ICT支援員の配置人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 ICTに関する専門知識を有する支援員の必要人数
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 0.00	人 0.00		
			令和2年度	人 1.00	人 1.00		
			令和3年度	人 1.00	人 1.00		
			令和4年度	人 1.00	人 1.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	30,369,831 円	決算額	20,737,659 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 82
	直接事業費①(②+③+④)	30,369,831	20,737,659	68.3 %	15,063,000	
	一般財源②	10,619,831	20,737,659	195.3 %	15,063,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	19,750,000	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,250,338	3,079,348	94.7 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	33,620,169	23,817,007	70.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	13,870,169	23,817,007	171.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	138,702	238,170	171.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	13,870,169	23,817,007	171.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和3年度に全ての普通教室に大型提示装置の整備が終わったことから、直接事業費が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	71.7 %		×
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  デジタル教科書の導入を進め、学習効果の高いアプリケーションを導入しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	1人1台タブレットの運用が進み、機器故障による修繕費や年次更新に伴う管理コストが増加しています。 持ち帰りの活用について、学校での運用を行っていますが、教育委員会としての運用の考え方を再度整理する必要があります。 タブレットの活用に伴うトラブルや情報漏えいリスク等に対応していく体制が必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	アカウントの年次更新について、県が取りまとめる協議会に参加し運用することで、国の補助金を活用します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	生徒が高機能の機器で充実した情報教育ができるよう、コンピュータ教室の機器を更新します。 教員の事務負担が軽減できるアプリケーションについて導入を進めます。 単年度の入札で行っているICT支援員の契約を複数年度の企画提案方式で実施することで、支援内容の充実を図り、学校でのタブレットの活用を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	国の学習者用デジタル教科書の実証実験事業に参加し、学習者用デジタル教科書の有効性や活用方法について研究します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 83

1	事業名	適応指導事業	コード	01	10	01	02	03	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	③ いじめ・不登校対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	不登校（長期欠席）児童生徒
2	働きかける相手(対象)	不登校児童生徒及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	適応指導事業 (1) 「ハートフル東郷」を開設しました。 ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。 (ア) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。 (イ) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。 (ウ) 対人関係の広がりを支援し、集団への適応力を育成しました。 (エ) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。 イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日） ウ 通室者数 6人〔町内小中学校不登校児童生徒数150人（R4年度不登校児童生徒状況調査）〕 (2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	指標名	1人当たりの登校及び通室延べ日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	日	61.00	日	個別計画による目標値はありません。
活動指標	指標の説明 (指標式)	通室者1人当たりの登校及び通室の延べ日数	令和2年度	日	83.00	日	
			令和3年度	日	50.00	日	
			令和4年度	日	43.00	日	

  

6	指標名	学校復帰者	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	人	0.00	
成果指標	指標の説明 (指標式)	通室者のうち学校への復帰者	令和2年度	人	4.00	
		令和3年度	人	3.00		
		令和4年度	人	3.00		

  

7	直接事業費計	前年度決算額	6,442,597 円	決算額	6,911,063 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 83
	直接事業費①(②+③+④)	6,442,597	6,911,063	107.3 %	7,863,000	評価の符号
	一般財源②	6,442,597	6,911,063	107.3 %	7,863,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	543,667	544,752	100.2 %		
	総合計(①+⑤)	6,986,264	7,455,815	106.7 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	6,986,264	7,455,815	106.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	139,725	173,391	124.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,986,264	0	0.0 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 不登校児童生徒の特性の複雑化や相談先や受け皿の多様化が成果指標に影響を与えている可能性があります。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-14.0 %		×
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	全国的に増加する不登校児童生徒に対応するため、学校へ復帰する以外の方法で、社会的自立を支援することが必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	これまでの学校への復帰を目的とした事業ではなく、不登校傾向にある児童生徒に対し、個々の状況に応じて、心の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談及び指導を行うことで、学校復帰や社会的自立を支援することを目的とした教育支援センターとして事業を実施します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	不登校児童生徒の増加への対策として、多くの受け皿を確保することが必要なため、仮想空間の教室開設や町の中心地での教育支援センターの開設等についても検討を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 84

1	事業名	子ども会活動支援事業	コード	01	03	02	01	05	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	④ 青少年の健全育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	児童及びその保護者
2	働きかける相手(対象)	単子子ども会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	子どもに関わる団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、児童が仲間との協力やふれあいなどの体験を通して、たくましく創造性豊かな子どもに育つようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	子ども会活動支援事業 (1) 13単子子ども会を対象に、補助金(270円×子ども会員760人、120円×育成者97人)を交付しました。 (2) 東郷町子ども会育成会連絡協議会の活動に対して補助金を交付しました。 (3) 優良子ども会として、愛知県知事から白土第二子ども会、愛知県子ども会連絡協議会から諸輪子ども会、愛知県社会福祉協議会から御岳第二子ども会が表彰されました。			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	補助金を交付した子ども会の数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	(単子=単子子ども会)	令和元年度	単子 19.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	単子 19.00		
				令和3年度	単子 18.00		
令和4年度	単子 13.00						
6	成果指標	指標名	子ども会加入率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
		指標の説明 (指標式)	会員数/小学校児童数 H29: 1,510人/2,956人 H30: 1,384人/2,924人 R1: 1,243人/2,888人 R2: 1,105人/2,848人 R3: 998人/2,791人 R4: 760人/2,756人	令和元年度	% 43.04	% 47.33	
				令和2年度	% 39.00	% 43.04	
				令和3年度	% 35.76	% 39.00	
				令和4年度	% 27.58	% 35.76	
7	直接事業費計	前年度決算額	502,020 円	決算額	501,202 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 84
	直接事業費①(②+③+④)	502,020	501,202	99.8 %	779,000	評価の符号
	一般財源②	502,020	501,202	99.8 %	779,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,195,911	1,965,991	164.4 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	1,697,931	2,467,193	145.3 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,697,931	2,467,193	145.3 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	94,330	189,784	201.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	47,481	89,456	188.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	△	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	△		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-27.8 %	×	会員不足などにより、令和3年度末をもって廃止となった子ども会が複数あったため、活動指標が低下しました。 また、保護者の就労状況や子どもたちの生活スタイルの変化などにより、加入率が低下したため、成果指標が低下しました。 各単位子ども会の役員に対する子ども会の活動状況に関するヒアリングに対応したため、概算人件費が増加しました。
	②成果指標の実績向上度	-22.9 %		
	③成果指標の目標達成度	-22.9 %		
3 効率性	①町費投入額の伸び率	45.3 %	×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		子ども会の活動状況や要望等について、単位子ども会の役員と意見交換の場を設けて現状把握を行い、結果について情報共有しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	近年、単位子ども会の解散や子ども会の加入率の低下が続いており、子ども会そのものの在り方を考える必要があります。 検討に当たっては、現状把握に努め、課題を整理するとともに、自治会組織など地域との連携を含めて検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	各単位子ども会の活動状況等について、意見聴取を行い、町ホームページ、町公式SNS等を通じて情報発信し、単位子ども会間での情報共有を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	自治会との更なる連携協力により、自治会組織の中で子ども会の在り方を検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	子ども会の活動状況について、単位子ども会の役員と話し合いの場を設けて現状把握を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 85

1	事業名	青少年健全育成事業	コード	01	10	04	02	04	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	④ 青少年の健全育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	東郷町の青少年
2	働きかける相手(対象)	青少年健全育成団体、青少年、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	青少年健全育成事業	
		(1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。 ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（令和4年11月6日表彰式） 青少年の部 20人 青少年指導者の部 3人 青少年団体の部 該当なし イ 啓発資材作成及び掲示（11月中） のぼり、ポケットティッシュ (2) 少年補導委員事業 少年補導員8人による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。（10日程度/月） (3) 青少年全国大会等出場奨励金事業 全国大会等に出場する青少年に奨励金を交付しました。 ア 全国大会 70名 イ 国際大会 6名	

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	会議・大会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回	回		
			令和3年度	回	回		
			令和4年度	回	回		
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	各地区青少年健全育成行事参加者延べ人数	年度	実績値	目標値	前年度実績	
			令和元年度	人	16,698.00		19,486.00
			令和2年度	人	846.00		16,698.00
			令和3年度	人	936.00		846.00
			令和4年度	人	7,354.00		936.00
7	直接事業費計	前年度決算額	590,721 円	決算額	1,407,387 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 85
	直接事業費①(②+③+④)	590,721	1,407,387	238.2 %	739,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	590,721	1,407,387	238.2 %	739,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,893,488	2,057,009	108.6 %		
	総合計(①+⑤)	2,484,209	3,464,396	139.5 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,484,209	3,464,396	139.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,242,104	692,879	55.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,654	471	17.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 会議が予定どおり開催できたため、活動指標が向上しました。 青少年全国大会等出場奨励金制度を開始したため、町費投入額が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	150.0 %	○
	②成果指標の実績向上度	685.7 %	○
	③成果指標の目標達成度	685.7 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	39.5 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 青少年全国大会等出場奨励金制度を設け、文化活動やスポーツで活躍した青少年76名に対して奨励金を交付しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	社会に貢献できる青少年を地域で育むため、青少年健全育成地区会の活動を支援し、情報交換の場を提供する必要があります。 文化活動やスポーツを頑張る青少年の励みになるよう青少年全国大会等出場奨励金を引き続き交付していく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	青少年健全育成会の各地区会等と、お互いに情報共有を図り、連携を取りながら活動を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 86

1	事業名	社会教育振興事業	コード	01	10	04	02	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	東郷町の生涯学習及び社会教育に関心と参加意欲を持つ人							
2	働きかける相手(対象)	町民							
3	どのような状態にしたいのか(意図)	生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育振興一般事務事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行(年2回) 印刷部数: 2022秋号 19,000部 2023春号 19,000部 (2) 「東郷の教育」の作製 データをホームページに掲載しました。 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 新規で10人登録がありました。 (4) ボランティア活動等主催者保険に加入しました。 加入団体: 社会教育関係団体5団体							
		5	活動指標	指標名	「ジョイフル」の発行部数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明(指標式)		令和元年度	部 36,800.00	部			
				令和2年度	部 18,600.00	部			
				令和3年度	部 36,800.00	部			
				令和4年度	部 38,000.00	部			
6	成果指標	指標名	ジョイフルのページ数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法		
				令和元年度	頁 40.00	頁 40.00	前年度実績		
				令和2年度	頁 24.00	頁 40.00			
				令和3年度	頁 40.00	頁 24.00			
				令和4年度	頁 40.00	頁 40.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	1,128,400 円		決算額	1,165,460 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 86
	直接事業費①(②+③+④)	1,128,400	1,165,460	103.3 %	1,220,000	評価の符号
	一般財源②	1,128,400	1,165,460	103.3 %	1,220,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,293,024	2,999,804	91.1 %		
	総合計(①+⑤)	4,421,424	4,165,264	94.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,421,424	4,165,264	94.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	120	110	91.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	110,536	104,132	94.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  転入者の増加に伴いジョイフル2022年秋号、2023年春号の発行部数が増えたため活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	3.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-5.8 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	生涯学習関連事業の情報を、様々な方法で容易に入手できるようにする必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	生涯学習情報は非常に多岐にわたるため、町の社会教育事業を中心として、なるべく多くの情報を提供し、見やすく参加意欲を促進できる紙面づくりを進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 87

1	事業名	各種教室開催事業	コード	01	10	04	03	04	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	① 生涯学習の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	生涯学習に興味のある町民
2	働きかける相手(対象)	生涯学習に興味のある町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	各種教室開催事業						
		(1) 英会話教室	1回開催	10回講座	参加者 13人	延べ 122人		
		ア 基礎英会話	1回開催	10回講座	参加者 11人	延べ 109人		
		イ 実用英会話	2回開催	24回講座	参加者 23人	延べ 212人		
		(2) 少年少女ミュージッククラス	1回開催	3回講座	参加者 19人	延べ 50人		
		(3) スマートフォン教室	中止					
		(4) ビー玉からくり木工おもちゃ	2回開催	5回講座	参加者 69人	延べ 94人		
		(5) 星空観察会	1回開催	2回講座	参加者 14人	延べ 27人		
(6) 親子で折り紙を楽しもう	1回開催	4回講座	参加者 14人	延べ 50人				
(7) ハートフルポップアップ								
		合計	9回開催	57回講座	参加者 163人	延べ 664人		

5	活動指標	指標名	各種教室講座数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	教室 11.00	教室	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	教室 1.00	教室	
				令和3年度	教室 9.00	教室	
				令和4年度	教室 9.00	教室	
6	成果指標	指標名	年間受講者延べ人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 706.00	人 813.00	前年度実績
				令和2年度	人 90.00	人 706.00	
				令和3年度	人 332.00	人 90.00	
				令和4年度	人 664.00	人 332.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	678,050 円	決算額	1,022,971 円		

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 87
	直接事業費①(②+③+④)	678,050	1,022,971	150.9 %	1,651,000	評価の符号
	一般財源②	499,650	711,221	142.3 %	1,651,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	178,400	311,750	174.7 %	0	
	概算人件費⑤	2,799,070	2,571,261	91.9 %		
	総合計(①+⑤)	3,477,120	3,594,232	103.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	3,298,720	3,282,482	99.5 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	366,524	364,720	99.5 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	9,936	4,943	49.7 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  講座の開催回数が増加し、受講者が増加したため、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	100.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	100.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の影響により、教室が中止となることもありましたが、延期するなど可能な限り実施しました。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	アンケートの結果を基に、多くの町民が興味のある教室・講座を開催し、生涯学習の機会を提供する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	各種講座の運営をTISに委託し、業務の効率化を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町民のニーズを把握し、幅広いジャンルの講師を招いて教室を実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	コロナ禍であっても、各種教室が開催できるよう検討し実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 88

1	事業名	公民館文化ふれあい事業	コード	01	10	04	03	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 コンサートへの誘い事業 第80回 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル (1) 開催日 令和4年12月25日(日) (2) 入場者数 409人
		2 レクチャー・ミニコンサート事業 サロン風の雰囲気の中でアーティスト自身のレクチャーと演奏によって音楽を楽しく学ぶために、レクチャーミニコンサートを4回実施しました。 (延べ入場者数213人)
		3 町民大学講座(ミニ文化講演)事業 今日的課題をテーマとして、様々な分野のエキスパートによるミニ講演会を3回実施しました。 (延べ入場者数74人)

5	活動指標	指標名	公民館文化ふれあい事業の年間開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明(指標式)	令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
		令和2年度		2.00	回		
		令和3年度		回	回		
		令和4年度		回	回		
6	成果指標	指標名	公民館文化ふれあい事業の入場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			指標の説明(指標式)	令和元年度	人	人	
		令和2年度		905.00	966.00		
		令和3年度		232.00	人		
		令和4年度		人	人		
令和4年度	400.00	232.00					
令和4年度	人	人					
令和4年度	696.00	400.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	2,313,091 円	決算額	2,405,958 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 88
	直接事業費①(②+③+④)	2,313,091	2,405,958	104.0 %	4,365,000	評価の符号
	一般財源②	1,567,091	1,328,458	84.8 %	4,365,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	746,000	1,077,500	144.4 %	0	
	概算人件費⑤	3,540,001	3,256,931	92.0 %		
	総合計(①+⑤)	5,853,092	5,662,889	96.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	5,107,092	4,585,389	89.8 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,276,773	573,174	44.9 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	12,768	6,588	51.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症による行動規制の緩和により、活動指標及び成果指標が向上しました。 事業の年間開催回数が増えましたが、入場料収入により町費投入額が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	100.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	74.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	74.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-10.2 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、座席数を制限して開催しました。 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなくなったレクチャーミニコンサートは日程変更して実施しました。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸能、文化講演などに、頻繁に触れ合う生涯学習の機会を確保するとともに、地域の芸術文化の質を向上していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	レクチャーミニコンサートは東郷町出身者を中心に演奏していただきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	優れた芸術公演を、適切な入場料で多くの住民が身近に体験できるよう実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、コンサートや町民大学講座を計画します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 89

1	事業名	町民会館管理事業	コード	01	10	04	05	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民会館を利用する人
2	働きかける相手(対象)	町民会館の施設・設備を管理する指定管理者及び町民会館利用者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民会館を安全・快適に利用できるよう適正な業務管理を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 町民会館一般事務事業 町民会館の円滑な運営を図るため文化行政ネットワーク会議に参加し、情報交換しました。
		2 町民会館一般管理事業 町民会館について指定管理者（東郷町施設サービス株式会社）による施設管理を実施しました。 町民会館用地等（1,643㎡）を賃借しました。 町民会館駐車場用地取得に伴う償還払いを実施しました。 (1) 指定管理者制度 ア 平成30年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設管理を実施しました。 (ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (イ) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで イ 令和5年度からの指定管理者を公募しました。 (ア) 評価委員会 1回開催 (イ) 候補者選定委員会 1回開催 (ウ) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (エ) 指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (2) 町民会館利用状況 ア 開館日数 305日 イ ホール利用件数 232件（利用者数 17,811人） ウ 会議室等利用件数 7,749件（利用者数 27,510人） (3) 指定管理者運営連絡会議 東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。 毎月1回年間12回開催

5	活動指標	指標名	開館日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	286.00	日	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	212.00	日		
			令和3年度	307.00	日		
			令和4年度	305.00	日		
6	成果指標	指標名	町民会館利用者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	64,998.00	人	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	16,911.00	人	64,998.00	
			令和3年度	34,150.00	人	16,911.00	
			令和4年度	45,321.00	人	34,150.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	74,321,404 円	決算額	84,507,428 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 89
	直接事業費①(②+③+④)	74,321,404	84,507,428	113.7 %	109,717,000	評価の符号
	一般財源②	74,321,404	84,507,428	113.7 %	109,717,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	4,033,954	2,314,135	57.4 %		
	総合計(①+⑤)	78,355,358	86,821,563	110.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	78,355,358	86,821,563	110.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	255,229	284,661	111.5 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,294	1,916	83.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.7 %	△
	②成果指標の実績向上度	32.7 %	
	③成果指標の目標達成度	32.7 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	10.8 %	×
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、施設利用のためのガイドラインを策定しました。 令和4年度までの指定管理者を評価し、令和5年度からの指定管理者を選定しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	指定管理者制度を導入し、軽微な修繕はその都度対応していますが、東郷町スポーツ施設等長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕を行う必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕を検討していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕を検討していきます。 町民会館ホール・ホワイエの天井改修に向け、設計業務に着手します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染対策を講じ、感染状況に応じた開館について検討します。 今年度で町民会館指定管理者の指定期間が満了するため、令和5年度からの指定管理者を選定します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 90

1	事業名	町民会館文化ふれあい事業	コード	01	10	04	05	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民及び周辺住民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。	
		(1) 影絵劇「宝島」 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。 ア 開催日 令和4年7月31日(日) (2) 竜馬四重奏 THE LIVE 2022 ア 開催日 令和4年10月2日(日) イ 入場者数 259人 (3) 奥山景布子講演会「『葵の残葉』余話～歴史小説家が語る尾張徳川家と明治維新～」 ア 開催日 令和4年10月16日(日) イ 入場者数 51人 (4) 古謝美佐子コンサート ア 開催日 令和4年10月29日(日) イ 入場者数 340人	

5	活動指標	指標名	公演開催件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	件	件	
				令和3年度	件	件	
				令和4年度	件	件	

6	成果指標	指標名	「町民会館文化ふれあい事業」入場者数	年度	実績値	目標値	前年度実績
				令和元年度	人	人	
		指標の説明 (指標式)	年間参加者数	令和2年度	982.00	2,172.00	
				令和3年度	89.00	982.00	
				令和4年度	327.00	89.00	
		令和4年度	人	人			
			650.00	327.00			

7	直接事業費計	前年度決算額	2,788,022 円	決算額	5,546,035 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 90
	直接事業費①(②+③+④)	2,788,022	5,546,035	198.9 %	4,472,000	評価の符号
	一般財源②	2,069,022	3,848,035	186.0 %	4,472,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	719,000	1,698,000	236.2 %	0	
	概算人件費⑤	2,716,744	2,314,135	85.2 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	総合計(①+⑤)	5,504,766	7,860,170	142.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,785,766	6,162,170	128.8 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,785,766	2,054,057	42.9 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	14,635	9,480	64.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 公演開催件数が増加したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	200.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	98.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	98.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	28.8 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった公演について、感染症対策を講じて実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		さまざまな芸術文化に触れていただけるよう、事業を企画する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	来場者アンケートや社会教育委員会からいただいたご意見の中から公演を実施します。 公演の運営をTIS委託します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	開催する事業内容について、町民の需要にあった企画・提案をしていきます。 また、宝くじ文化公演や各財団等の開催地募集があった場合は積極的に応募し、公演の機会を増やしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった公演を中心に実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 91

1	事業名	図書館管理運営事業	コード	01	10	04	06	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	図書館来館者
2	働きかける相手(対象)	図書館来館者、図書館施設及び備品
3	どのような状態にしたいのか(意図)	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄れ、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	図書館管理運営事業 (1) 図書館管理運営事業 ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。 (ア) 図書館協議会委員数 8名 (イ) 図書館協議会開催回数 年1回 イ 図書館の利用状況 (ア) 図書館開館日数 286日 (イ) 利用者数 29,888人 (ウ) 入館者数 78,640人 (エ) 貸出冊数 134,116冊 ウ 図書館の蔵書数 計123,448冊 (ア) 一般書 73,416冊 (イ) 児童書 38,491冊 (ウ) 参考資料 817冊 (エ) 郷土資料 4,484冊 (オ) 点字資料 339冊 (カ) 紙芝居 1,311冊 (キ) ビデオ・DVD 439冊 (ク) 雑誌 4,151冊 (2) 指定管理者制度 ア 平成30年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。 (ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (イ) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで イ 令和5年度からの指定管理者を公募しました。 (ア) 評価委員会 1回開催 (イ) 候補者選定委員会 1回開催 (ウ) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 (エ) 指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで (3) 指定管理者運営連絡会議 東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。 毎月1回開催		
---	-----------------------	---	--	--

5	活動指標	指標名	利用者総数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 31,904.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	図書の利用者総数	令和2年度	人 15,655.00	人	
				令和3年度	人 29,389.00	人	
				令和4年度	人 29,888.00	人	
6	成果指標	指標名	貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	冊 133,877.00	冊 153,722.00	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	冊 72,632.00	冊 133,877.00	
				令和3年度	冊 130,954.00	冊 72,632.00	
				令和4年度	冊 134,116.00	冊 130,954.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	36,649,000 円	決算額	37,136,443 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 91
	直接事業費①(②+③+④)	36,649,000	37,136,443	101.3 %	40,086,000	評価の符号
	一般財源②	36,649,000	36,636,443	100.0 %	40,086,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	500,000	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	658,604	599,961	91.1 %		
	総合計(①+⑤)	37,307,604	37,736,404	101.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	37,307,604	37,236,404	99.8 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,269	1,246	98.2 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	285	278	97.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	1.7 %	新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されたため、図書館利用者が増加し、活動指標及び成果指標が向上しました。
	②成果指標の実績向上度	2.4 %	
	③成果指標の目標達成度	2.4 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.2 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、施設利用のためのガイドラインを策定しました。 令和4年度までの指定管理者を評価し、令和5年度からの指定管理者を選定しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	子ども向けの企画を行い、小さなうちから図書館に親しみを持ってもらう必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	町民が利用しやすい学習室に改修します。 しかけ絵本を購入し、特色ある絵本の街を構築します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	利用者のニーズに合った利用しやすい図書館となるよう、指定管理者と情報の共有や協議等を行っていきます。 しかけ絵本を充実していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	指定管理者による指定管理期間が満了を迎えることから、令和5年度以降の指定管理者を選定します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 92

1	事業名	文化財保護事業	コード	01	10	04	04	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04 地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	① 文化財保護意識の高揚						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	文化財保護関係者、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう保存していきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化財保護事業 (1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を3回開催しました。 また、町指定文化財管理状況の視察を実施しました。 (2) 文化財講座等事業 ア 文化財めぐり 町民に町内の文化財を知っていただくため、文化財めぐりを開催しました。 期 日 令和4年10月29日(土) 講 師 野々山 和夫氏(東郷町文化財保護委員) 幅口 恒雄氏(生涯学習課職員) 場 所 祐福寺、黒笹7号窯 外 参加者 10人 イ 歴史講座 「小牧・長久手の戦いの全貌」 期 日 令和4年9月14日(水)、9月21日(水) 講 師 内貴 健太氏(岩崎城歴史記念館 学芸員) 参加者 29人 (3) 文化財保存事業 ア 町指定無形民俗文化財の保存及び伝承育成のため、活動に対し補助を行いました。 イ 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。 ウ 「諸輪の囃子太鼓」調査のまとめを作成しました。 エ 広報紙に町内城址に関する記事について掲載しました。 オ 伝統文化発表会を開催しました。
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	文化財保護委員会の年間会議開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	回	3.00	回	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回	1.00	回		
			令和3年度	回	3.00	回		
			令和4年度	回	3.00	回		
6	成果指標	指標名	指定文化財の数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度実績	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件	27.00	件		27.00
			令和2年度	件	27.00	件		27.00
			令和3年度	件	28.00	件		27.00
			令和4年度	件	28.00	件		28.00
7	直接事業費計	前年度決算額	749,066 円	決 算 額	681,886 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 92
	直接事業費①(②+③+④)	749,066	681,886	91.0 %	1,436,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	一般財源②	749,066	681,886	91.0 %	1,436,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,317,210	1,114,213	84.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	2,066,276	1,796,099	86.9 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,066,276	1,796,099	86.9 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	688,759	598,700	86.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	73,796	64,146	86.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  町指定文化財補助事業費が減額したため、町費投入額が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-13.1 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、「小牧・長久手の戦い」をテーマに歴史講座を開催しました。 また、東郷町と家康との関わりに関する記事を広報紙に掲載しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて、東郷町と家康との関わりについて町民に広く情報発信する事が重要です。 文化財を適切に管理・保管することで、後世まで文化財を残していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	<p>傍示本城の試掘調査を実施します。 新たに2件の町指定文化財を指定します。 小牧・長久手の戦い同盟に加盟し、連携して情報発信するとともに、記念切手を発売します。 歴史講座で、小牧・長久手の戦いと東郷町との関わりを学びます。 文化財保護委員を通じて、昔の東郷町の暮らしや町の様子など聞き取り調査を行います。</p>
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	<p>歴史や文化財、郷土に興味を持っていただくことは、文化財保護につながると考えられるため、文化財保護委員と協力しながら、講座の開催や聞き取り調査等を行っていきます。</p>

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	大河ドラマ「どうする家康」の放映を前に、ドラマ内で取り上げられる可能性が高い小牧・長久手の戦いについての歴史講座を開催します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 93

1	事業名	歴史民俗資料事業	コード	01	10	04	04	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04 地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	① 文化財保護意識の高揚						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	文化財保護関係者及び一般町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	歴史民俗一般管理事業	
		(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開館し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。 また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。 (2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 音貝小学校2回、諸輪小学校1回、春木中学校1回開催 合計149名が参加しました。 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明 (3) 新収蔵品 民俗資料 矢立て、懐中時計、煙管、銅製折畳式燭台、教員用図書、古写真、8mm映写機、農機具、卒業記念帳、棒の手免状(巻物)、掛軸、鏡台 (4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農機具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種 ク 古窯出土品	

5	活動指標	指標名	ガイドツアー開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 4.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 0.00	回	
				令和3年度	回 1.00	回	
				令和4年度	回 4.00	回	
6	成果指標	指標名	ガイドツアー延べ参加者数	年度	実績値	目標値	前年度実績
				令和元年度	人 263.00	人 215.00	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 0.00	人 263.00	
				令和3年度	人 79.00	人 0.00	
				令和4年度	人 149.00	人 79.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,174,518 円	決算額	1,096,157 円		

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 93
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,174,518	1,096,157	93.3 %	2,954,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	1,174,518	1,096,157	93.3 %	2,954,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	823,256	771,379	93.7 %		
	総合計(①+⑤)	1,997,774	1,867,536	93.5 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	1,997,774	1,867,536	93.5 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,997,774	466,884	23.4 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	25,288	12,534	49.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されたため、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	300.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	88.6 %		○
	③成果指標の目標達成度	88.6 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-6.5 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  ガイドツアーでは文化財保護委員も参加し、郷土資料館にある昔の道具の使い方などを説明しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	収蔵品を十分に活用するためには、資料の整理と検索性の向上が必要です。若い方にも東郷町の歴史を知って愛着を持ってもらう必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	展示してある祐福寺鬼瓦の安全対策を実施します。 常設展示の資料について、文化財保護委員と見直しを行います。 収蔵品の整理を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	収蔵品の整理を進め、広く活用していただけるようにします。 また、適宜常設展示の資料について見直しを行うとともに、企画展の実施についても検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新しく収蔵された民俗資料について、広報やホームページ等で紹介します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 94

1	事業名	文化団体育成事業	コード	01	10	04	02	05	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04 地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	③ 文化団体の活動促進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	文化団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化団体育成事業 (1) 文化協会育成推進事業 文化協会の運営活動に助言・支援を行いました。 ア 加盟部数 23団体 イ 各部の活動回数 囃子太鼓 14回 棒の手 25回 絵手紙 30回 茶華道 9回 書道 13回 舞踊 16回 フワ〜デザイン 17回 俳句 16回 陶芸 33回 古文書 24回 詩吟 4回 歌謡 2回 手芸&和紙 3回 水墨画 30回 社交ダンス 4回 箏曲 10回 写真 18回 生バンド歌謡 27回 エイサー 41回 ハワイキルト 16回 クラシックバレエ 105回 キッズカルチャー 55回 ハワイダンス 41回 (合計 553回)
		(2) 東郷音頭保存会育成事業 東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。 ア 会員数 67人 イ 自主活動回数 (ア) 練習会 9回 (イ) 伝統文化親子・子ども教室 19回 (ウ) 保育園・児童館・幼稚園・放課後子ども教室での指導 19回 (エ) 町行事(民謡講習会、伝統文化発表会) 2回 (オ) その他行事(地区盆踊り、あいち市町村フェア) 5回

5	活動指標	指標名	文化協会加盟部数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	団体 30.00	団体 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	団体 25.00	団体	
				令和3年度	団体 24.00	団体	
令和4年度	団体 23.00			団体			
6	成果指標	指標名	各部の活動回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	回 578.00	回 601.00	前年度実績
				令和2年度	回 270.00	回 578.00	
				令和3年度	回 487.00	回 270.00	
令和4年度	回 553.00			回 487.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	862,043 円	決算額	2,886,696 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 94
	直接事業費①(②+③+④)	862,043	2,886,696	334.9 %	3,235,000	評価の符号
	一般財源②	862,043	2,886,696	334.9 %	3,235,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,716,744	2,228,427	82.0 %		
	総合計(①+⑤)	3,578,787	5,115,123	142.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	3,578,787	5,115,123	142.9 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	149,116	222,397	149.1 %			
(参考) 成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,349	9,250	125.9 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-4.2 %	△
	②成果指標の実績向上度	13.6 %	
	③成果指標の目標達成度	13.6 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	42.9 %	×
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、県文連東尾張支部芸能大会を東郷町で開催しました。 LivR TOGOまちの窓口を活用し、展示を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の高まりに対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化する必要があります。 文化協会及び東郷音頭保存会は、会員の高齢化が進んでいるため、今後も活発に活動していくために、若い世代の加入を促し、後継者を育成する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	愛知県民茶会に席主として参加する文化協会茶道部や、東尾張芸能大会に参加するハワイアンダンス部の活動を支援します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	文化協会及び東郷音頭保存会は、会員の高齢化が進んでいるため、今後も活発に活動していくために、若い世代の加入を促し、後継者の育成を目指します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	文化協会20周年記念特別展示として、東郷町の大和絵作家の作品展示、特別記念講演として狂言師を招き「棒縛り」を上演します。 県文連東尾張芸能大会を東郷町で開催します。 リーブル東郷と連携して、展示やワークショップを行い、活動の場を広げます。

一般事業評価表（ 令和4年度 ）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 95

1	事業名	音楽祭開催事業	コード	01	10	04	03	03	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04 地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	③ 文化団体の活動促進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
2	働きかける相手(対象)	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくりまします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	音楽祭開催事業 新型コロナウイルス感染症拡大のため吹奏楽の部を中止し、ソロ・アンサンブルの部・合唱の部を開催しました。また、3年に1度開催している子どもミュージカルを関係者のみで開催しました。	
		(1) 子どもミュージカル「11ぴきのネコ」 ア 開催日 令和4年8月28日(日) イ 入場者数 79人 ウ 出場団体数 1団体 (2) ソロ・アンサンブルの部 ア 開催日 令和4年12月4日(日) イ 入場者数 360人 ウ 出場団体数 9団体 (3) 吹奏楽の部 新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 ア 開催日 令和4年10月23日(日) (4) 合唱の部 ア 開催日 令和5年3月19日(日) イ 入場者数 450人 ウ 出場団体数 10団体	

5	活動指標	指標名 指標の説明 (指標式)	年間開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	日 3.00	日 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	日 0.00	日	
				令和3年度	日 1.00	日	
				令和4年度	日 3.00	日	
6	成果指標	指標名 指標の説明 (指標式)	音楽祭参加個人・団体数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	団体 14.00	団体 23.00	
				令和2年度	団体 0.00	団体 14.00	
				令和3年度	団体 8.00	団体 0.00	
				令和4年度	団体 20.00	団体 8.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	25,300 円	決算額	703,935 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 95
	直接事業費①(②+③+④)	25,300	703,935	2,782.4 %	258,000	評価の符号
	一般財源②	25,300	703,935	2,782.4 %	258,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,893,488	1,114,213	58.8 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	1,918,788	1,818,148	94.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	1,918,788	1,818,148	94.8 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,918,788	606,049	31.6 %		
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	239,848	90,907	37.9 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  音楽祭では、ソロ・アンサンブルの部、合唱の部、3年に1度の子どもミュージカルを実施したため、活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	200.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	150.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	150.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-5.2 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ソロ・アンサンブルの部、合唱の部、子どもミュージカルが実施でき、演奏を楽しむ場を提供することができました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりをつくります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくる必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	部活動の時間を確保できない学校が増えたことにより、吹奏楽の部を開催することが困難になったため、吹奏楽部はソロアンサンブルの部で参加します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	今後も、町民が発表できる機会を充実させ、子どもたちをはじめ、多くの人が音楽芸術に関心を持つことができるよう、音楽祭を開催していきます。 また、ソロ・アンサンブルの部や合唱の部では、新規出演者の確保に向けて、より多くの機会でも周知していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の影響で、部活動の時間を確保できない学校が増え、参加が困難であることから、吹奏楽の部をソロ・アンサンブルに加えることを検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 96

1	事業名	国際交流活動支援事業	コード	01	02	08	01	07	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	05 多文化の人々が共生できる社会をつくる						
		施策の展開方向	② 国際交流・国際理解教育の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、在住外国人
2	働きかける相手(対象)	町民、東郷町国際交流協会、在住外国人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民、在住外国人及び外国人との交流活動により、地域における国際理解並びに国際交流を促進して、多文化共生社会を目指します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国際交流事業 (1) 在住外国人の生活利便性の向上や地域における国際理解、国際交流の推進を図るため、東郷町国際交流協会に事業を委託しました。 ア 日本語教室事業 町内外国人向けに初級の日本語教室を習熟度別の3クラスで実施しました。 (前期15回、延べ226名参加、後期15回、延べ223名参加) イ 異文化交流事業 「交流のひろばに集まろう!」と題した国際交流イベントを開催しました。 外国人へのインタビューにより日本に来て感じたことを共有しました。その他、書道やハイドロカルチャーのワークショップを行いました。 (2) 多文化共生事業 ア 広報とうごうに毎月「外国語情報コーナー」として、英語とポルトガル語の2か国語で翻訳した情報を掲載しました。 イ 日本語教室や役場の通訳などについて掲載したチラシを、生活お役立ちチラシとして町内在住外国人に郵送しました。 ウ 多言語対応の無料アプリ「カタログポケット」に、税の申告や防災マップ等の情報を掲載しました。 エ 名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学と協働で多文化子育てサロンを全7回開催しました。 (3) 在住外国人への支援 愛知県国際交流協会作成の地域で生活するために役立つ情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」の日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語版を、町ホームページに掲載しました。			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	日本語教室の参加人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人 136.00	人 128.00	前年度実績
		指標の説明 (指標式)	日本語教室に登録した外国人の人数	令和2年度	人 34.00	人 136.00	
				令和3年度	人 62.00	人 34.00	
				令和4年度	人 75.00	人 62.00	
6	成果指標	指標名	東郷町国際交流協会会員数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	人 121.00	人 114.00	
		指標の説明 (指標式)	国際交流協会の会員になっている個人及び法人・団体の会員数	令和2年度	人 113.00	人 121.00	
				令和3年度	人 120.00	人 113.00	
				令和4年度	人 119.00	人 120.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	606,000 円	決算額	773,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 96
	直接事業費①(②+③+④)	606,000	773,000	127.6 %	1,084,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	606,000	773,000	127.6 %	1,084,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,291,001	2,848,451	124.3 %		
	総合計(①+⑤)	2,897,001	3,621,451	125.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,897,001	3,621,451	125.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	46,726	48,286	103.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	24,142	30,432	126.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  補助団体の自主事業の増加及び異文化交流事業の再開により、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	21.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-0.8 %		△
	③成果指標の目標達成度	-0.8 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	25.0 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	国際交流団体を支援し、国際交流活動を推進する必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	日本語教室など在住外国人向けの事業を継続します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 97

1	事業名	防犯対策事業	コード	01	02	07	03	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	① 防犯体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、犯罪が発生しやすい場所、関係機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	防犯に関する啓発活動により、町民の防犯意識を高めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	防犯対策事業 (1) 年間事業 ア 主に毎月15日の「防犯パトロールの日」において、各地区で防犯パトロールを実施しました。 イ 年4回(春・夏・秋・年末)実施される安全なまちづくり県民運動の期間に合わせ、防犯パトロール、のぼり旗・ポスター・チラシによる啓発活動を行いました。(協力 東郷町防犯協会各支部等) ウ 青色回転灯パトロールカーによる巡回広報活動を実施しました。 (活動回数240回、走行距離1回当たり約49km) エ 白土地区防犯パトロールの広報活動を愛知警察署及び安全安心課と共同で実施しました。 オ 「地域安心メール」を使い、不審者情報の提供を行いました。 カ 高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を目的として「特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業」を実施しました。 (申請件数16件、補助金額78,500円) (2) 防犯教室 例年開催していた園児、児童を対象とした誘拐・連れ去り防止教室については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 (3) キャンペーン他 ア 東郷町防犯協会役員会を実施しました。(7月6日) イ 青色回転灯車両を活用した自主防犯パトロールに関する講習会を実施しました。 (実施日 3月26日(92名受講) 対象 青色回転灯車両所有支部 協力 愛知警察署) ウ 東郷町交通安全総点検に参加し、通学路における交通安全と防犯の点検を行いました。(兵庫小学校 8月25日)	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	防犯教室開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	各地区、保育園、学校での防犯教室の開催回数	令和元年度	回 6.00	回 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	回 0.00	回	
				令和3年度	回 0.00	回	
				令和4年度	回 0.00	回	
6	成果指標	指標名	重点罪種犯罪発生件数(侵入盗、車上ねらい、ひったくりなど8種)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度中の実績
		指標の説明 (指標式)	各年1月から12月までの発生件数	令和元年度	件 55.00	件 79.00	
				令和2年度	件 28.00	件 55.00	
				令和3年度	件 38.00	件 28.00	
				令和4年度	件 47.00	件 38.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	2,467,652 円	決算額	2,925,657 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 97
	直接事業費①(②+③+④)	2,467,652	2,925,657	118.6 %	2,753,000	評価の符号
	一般財源②	2,467,652	2,925,657	118.6 %	2,753,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,855,736	2,877,091	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	5,323,388	5,802,748	109.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	5,323,388	5,802,748	109.0 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	140,089	123,463	88.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 重点罪種犯罪のうち部品ねらい、自転車盗の発生件数が増加したため、成果指標が向上しました。 ※有効性の成果指標は「重点罪種犯罪発生件数」であるため、低下するほど良い評価となります。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	○
	②成果指標の実績向上度	23.7 %	×
	③成果指標の目標達成度	23.7 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.0 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 「特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業」のチラシを高齢者交通安全教室などで配布したことで、申請件数が増加しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	カーナビやナンバープレートを盗まれる部品ねらいの犯罪件数が増えているため、対応を検討する必要があります。 コロナ禍で中止していた防犯教室を今後、再開していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	犯罪抑止の効果が期待できる防犯カメラの設置に対する補助を行うことについて検討していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町民が主体の安全なまちづくりが行われるよう、自主防犯団体の活動を支援します。 また、防犯教室の開催などを通じて、地域の防犯に対する意識を高めるとともに、愛知警察署と連携しパトロールを行うなどして町の安全確保に努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	愛知警察署主催の老人クラブなどを対象とした交通安全教室などで「特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業」のチラシを配布するなどの啓発を行い、補助件数の増加に繋がります。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 98

1	事業名	防犯施設設置管理事業	コード	01	02	07	03	02	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	① 防犯体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	住民
2	働きかける相手(対象)	防犯灯、防犯カメラ、維持管理等補助者(区長・自治会長)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	防犯灯及び防犯カメラを整備し、安全に安心して暮らすことができる地域社会を実現します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 防犯灯維持事業 球切れ交換・修繕・移設件数 12件 内訳 ア 球切れ交換件数 2件 イ 移設件数 9件 ウ 修繕件数 1件
		2 防犯灯設置事業 夜間における路上犯罪等を抑制するため、歩行者の通行量に応じ、道路照明等が少ない場所を優先してLED防犯灯を新たに設置しました。 【防犯灯の現在数】 既存数(令和3年度末) 2,810基 令和4年度新設 133基 令和4年度撤去 0基 総設置数(令和4年度末) 2,943基

5	活動指標	指標名	防犯灯設置基数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	【東郷町防犯灯設置要綱】 設置基準については、電柱 2本につき1基設置する。 通学路にあつては電柱1 本につき1本設置すること ができる。	令和元年度	基 2,696.00	基 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	基 2,725.00	基	
				令和3年度	基 2,810.00	基	
		令和4年度	基 2,943.00	基			
6	成果指標	指標名	重点罪種犯罪発生件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	各年1月から12月までの発生件数	令和元年度	件 55.00	件 79.00	前年中の実績
				令和2年度	件 28.00	件 55.00	
				令和3年度	件 38.00	件 28.00	
令和4年度	件 47.00	件 38.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	12,401,881 円	決算額	13,125,532 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 98
	直接事業費①(②+③+④)	12,401,881	13,125,532	105.8 %	15,903,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	11,316,881	12,992,532	114.8 %	15,903,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,085,000	133,000	12.3 %	0	
	概算人件費⑤	2,692,552	2,712,687	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	15,094,433	15,838,219	104.9 %		
町費投入額(②+③+⑤)	14,009,433	15,705,219	112.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,986	5,336	107.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	368,669	334,154	90.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 重点罪種犯罪のうち部品ねらい、自転車盗の発生件数が増加したため、成果指標が向上しました。 ※有効性の成果指標は「重点罪種犯罪発生件数」であるため、低下するほど良い評価となります。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	4.7 %	○
	②成果指標の実績向上度	23.7 %	×
	③成果指標の目標達成度	23.7 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	12.1 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 夜間における路上犯罪及び交通事故を抑制するため、通学路の防犯灯整備を優先的に実施することとし、114基新たに設置しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	夜間における路上犯罪等を抑制するため、現地調査を実施し、必要箇所へ防犯灯の設置を実施する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	通学路、地区要望箇所の防犯灯設置を実施します。 また、商工会の街路灯のうち、和合ヶ丘地区について防犯に有効なものを譲り受け、防犯灯に移行していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町民の方が安全で安心して生活ができるよう、防犯灯の整備を順次、進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	夜間における路上犯罪及び交通事故を抑制するため、通学路の防犯灯整備を優先的に実施します。また、計画的に必要な箇所への防犯灯設置についての検討を進めます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 99

1	事業名	交通安全啓発事業	コード	01	02	07	02	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	② 交通安全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	歩行者、ドライバー、事業所、高齢者、園児、関係機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	交通事故の防止を図るため、地域での啓発活動により一人一人の交通安全意識を高めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	交通安全啓発事業 (1) 年間事業 ア 交通指導員9名を小学校区の通学路に配置し、登下校時の交通安全指導を行い事故防止に努めました。 イ 交通安全町民運動を季節ごとに10日間の運動期間とし、町内22か所の交差点等において街頭監視活動及び町広報車による広報活動を実施しました。(協力:町議員、区・自治会、学校、事業所等) ウ 交通事故死ゼロの日(毎月10日、20日、30日)に町広報車で交通安全啓発広報活動を実施しました。 エ ドライブレコーダーの普及促進により、町民の安全運転意識の向上並びに自動車による交通事故の抑制を図るため、「ドライブレコーダー設置促進事業」により補助金交付を行いました。(申請件数116件、補助合計費2,009,600円) オ 自転車の交通事故による被害の軽減及び地域振興の活性化を図るため、自転車を利用する児童生徒等及び高齢者が購入するヘルメットの費用について、「自転車乗車用ヘルメット着用促進事業」により補助金交付を行いました。(申請件数125件、補助合計費269,740円) (2) 交通安全教室 ア 老人クラブを対象に高齢者交通安全教室を実施しました。(7月25日部田山老人クラブ始め3地区老人クラブ参加者延べ70名) イ 保育園での園児を対象とした交通安全教室については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 (3) キャンペーン他 ア 東郷町交通安全推進協議会理事会を開催しました。(7月6日) イ 「飲酒運転しないでねキャンペーン」として、和合保育園、父母の会、交通指導員及び愛知警察署交通課等とパレマルシェ東郷店で啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。(7月13日) ウ 学校教育課主催の通学路総点検に参加しました。(8月25日 兵庫小学校) エ 和合保育園父母の会によるハンドアップ運動を実施し、登園してきた園児と保護者に交通安全を呼びかけました。(10月19日 和合保育園) オ 運転免許証自主返納支援事業として、65歳以上の自主返納者に交通安全啓発品を贈呈しました。(申請件数:16件) カ 町内で発生した交通事故を受けて、役場ロビーで愛知署と協働で交通事故防止を呼びかけました。(12月19日、2月22日)
---	-----------------------	--

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	交通安全啓発活動実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回 130.00	回 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回 131.00	回	
			令和3年度	回 131.00	回	
			令和4年度	回 129.00	回	
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	人身事故発生件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度中の実績
			令和元年度	件 168.00	件 135.00	
			令和2年度	件 121.00	件 168.00	
			令和3年度	件 125.00	件 121.00	
			令和4年度	件 112.00	件 125.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	12,493,655 円	決算額	12,008,582 円	

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 99
	直接事業費①(②+③+④)	12,493,655	12,008,582	96.1 %	12,633,000	評価の符号
	一般財源②	12,255,485	11,900,162	97.1 %	12,483,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	238,170	108,420	45.5 %	150,000	
	概算人件費⑤	3,834,846	3,863,523	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	16,328,501	15,872,105	97.2 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	16,090,331	15,763,685	98.0 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	122,827	122,199	99.5 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	128,723	140,747	109.3 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり、人身事故発生件数が減少し、成果指標が低下しました。 ※有効性の成果指標は「人身事故発生件数」であるため、低下するほど良い評価となります。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-1.5 %	△
	②成果指標の実績向上度	-10.4 %	○
	③成果指標の目標達成度	-10.4 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-2.0 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  愛知警察署と協働で役場正面玄関ロビーで来庁者に対し、啓発チラシを配布し、交通事故防止を呼びかけました。 事業所等に持参していた交通安全町民運動の案内を郵送で行い、事務の簡略化を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	歩行中の高齢者、自転車乗用中の若者の交通事故の割合が高いため、交通事故防止につながるポイントや注意事項の啓発が必要です。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	交通事故防止につながる取組の機会を増やすため、児童や高齢者が集まる機会に交通安全教室について周知を行います。 令和3年度から実施してきたドライブレコーダー設置促進事業の継続の必要性を検証します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	東郷町交通安全計画に基づき、交通安全教室等を実施し、交通安全意識の高揚を図るとともに交通死亡事故ゼロの継続を目指します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	年4回開催する交通安全町民運動の案内を年度当初は、事業所等に持参しますが、2回目以降は郵送で行い事務の簡略化を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 100

1	事業名	交通安全対策事業	コード	01	08	02	05	01	-
2	担当部課	都市建設部	維持管理課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	② 交通安全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人
2	働きかける相手(対象)	道路
3	どのような状態に したいのか(意図)	道路を利用する人及び車両の安全を確保するため、通行の円滑化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 交通安全対策一般事務事業 兵庫小学校区で交通安全総点検を実施しました。
		2 交通安全施設整備事業 交通安全施設工事を実施しました。 (1) 区画線 2,242.0m (2) 防護柵 490.3m (3) 道路反射鏡 1基 (4) 案内標識 2基 (5) カラー舗装 50.0㎡

5	活動指標	指標名	区画線、防護柵等施工延長	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	m 2,392.50	m 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	m 4,825.00	m	
				令和3年度	m 2,522.30	m	
令和4年度	m 2,732.30	m					
6	成果指標	指標名	交通安全施設整備箇所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	区画線、防護柵、反射鏡等の設置箇所数(路線・交差点)	令和元年度	箇所 88.00	箇所 82.00	
				令和2年度	箇所 189.00	箇所 105.00	
				令和3年度	箇所 46.00	箇所 119.00	
令和4年度	箇所 51.00	箇所 107.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	20,892,300 円	決算額	31,857,100 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 100
	直接事業費①(②+③+④)	20,892,300	31,857,100	152.5 %	9,524,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	20,892,300	31,857,100	152.5 %	9,524,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	4,454,576	5,607,314	125.9 %		
	総合計(①+⑤)	25,346,876	37,464,414	147.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	25,346,876	37,464,414	147.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	10,049	13,712	136.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	551,019	734,596	133.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  町内の危険箇所において交通安全施設工事を前年度より多く実施したことにより、直接事業費が増加しました。また、目標値と比較して交通安全施設整備箇所数の実績が減少したことから成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	8.3 %	○
	②成果指標の実績向上度	10.9 %	○
	③成果指標の目標達成度	-52.3 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	47.8 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	交差点内における事故を防止するため、カーブミラーや区画線を設置し、引き続き安全対策に努めていく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、区画線や防護柵等を設置し、車両や歩行者に対して安全対策を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 101

1	事業名	消費生活対策事業	コード	01	02	08	01	05	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消費者被害の未然防止及び相談体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、消費者団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	消費生活に関する啓発を進め、消費生活に関する消費者の自立、育成及び利益保護を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	消費生活対策事業 (1) 消費生活相談 ア 日進市と共同で設置している「日進・東郷消費生活センター」の東郷相談所として、毎週火曜日(午前)、金曜日(午後)に相談窓口を開設しました(相談実績 97件/年)。 イ 5市町(豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町)の連携協定による消費生活相談の相互受付を実施しました。 (2) 消費生活啓発パンフレット及びくらしの豆知識をイベントや窓口で配布しました。また、若者向け消費者パンフレットを成人式出席者に配布しました。 (3) 東郷消費者クラブに対し補助金を交付しました。 (4) 消費生活出前講座を開催しました。 ア 春木台老人クラブ(令和4年4月13日(水)実施) 講演内容:最近の悪質商法の手口・撃退法について 参加人数:18名 イ 西白土老人クラブ(令和4年12月1日(木)実施) 講演内容:振り込め詐欺等の悪質商法の被害者にならないために 参加人数:27名 ウ 和合老人クラブ(令和5年2月10日(金)実施) 講演内容:悪質商法撃退法について 参加人数:10名 エ 白鳥老人クラブ(令和5年3月20日(月)実施) 講演内容:最近の悪質商法の手口・撃退法について 参加人数:32名			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	消費生活相談実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	8.00	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明(指標式)	1月当たり実施回数	令和2年度	8.00		
				令和3年度	8.00		
			令和4年度	8.00			
6	成果指標	指標名	消費生活出前講座参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
				令和元年度	91.00	43.00	
		指標の説明(指標式)	出前講座参加者数(令和2年度開催なし)	令和2年度	0.00	91.00	
				令和3年度	224.00	0.00	
			令和4年度	87.00	224.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	494,762 円	決算額	535,500 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 101
	直接事業費①(②+③+④)	494,762	535,500	108.2 %	491,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	432,487	449,393	103.9 %	469,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	62,275	86,107	138.3 %	22,000	
	概算人件費⑤	4,029,002	4,035,306	100.2 %		
	総合計(①+⑤)	4,523,764	4,570,806	101.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,461,489	4,484,699	100.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	557,686	560,587	100.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	19,917	51,548	258.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  消費生活出前講座について、前年度は東郷高校生を対象に町事業として実施しましたが、令和4年度は県事業として実施したため、成果指標が低下しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	
	②成果指標の実績向上度	-61.2 %	×
	③成果指標の目標達成度	-61.2 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	0.5 %	△
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  文化産業まつりの東郷消費者コーナーにおいて、成年年齢引下げに関する消費生活の変化や消費者トラブル防止に関する啓発パンフレットを配布しました。 また、成人式や東郷高校生に啓発パンフレットを配布しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
	継続実施 <input type="checkbox"/>	文化産業まつり、成人式等のイベントで引き続き消費生活に関する普及、啓発を行います。 成年年齢引下げに伴い、高校生を重点的に啓発をしてきましたが、スマートフォン等所有の低年齢化により小学生時期からの啓発が必要です。	
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
	休廃止 <input type="checkbox"/>		

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	<p>広報紙や老人クラブ等を通じて消費生活出前講座の周知を行い、積極的に消費生活に関する普及、啓発を行います。</p> <p>文化産業まつり、成人式等のイベントを通じて、引き続き消費生活に関する普及、啓発を行います。</p>
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	<p>スマートフォン利用の低年齢化に対応するため、小学校高学年を対象にインターネットやSNS等の正しい利用に関する普及、啓発を行います。</p>

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	文化産業まつりの東郷消費者コーナーにおいて、主に生徒やその保護者となる年齢層を中心に、若年者向けの消費者トラブルに関する啓発パンフレットを配布します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 102

1	事業名	災害対策事業	コード	01	09	01	05	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	被災者
2	働きかける相手(対象)	町民、職員、防災資機材
3	どのような状態にしたいのか(意図)	防災計画に基づく職員非常配備体制を整えるとともに、災害時の備蓄品、災害用資機材を充実します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 災害対策職員給与関係事業 9月19日 台風14号の接近に伴い、第2非常配備を執り、事務局及び2個班を招集し、警戒に当たりました。
		2 災害対策事業 (1) 災害用備蓄品を購入し、防災倉庫において備蓄しました。 飲料水(2Lペットボトル)1,470本、飲料水(500mlペットボトル)192本、ライスクッキー2,400食、アルファ米(わかめ・山菜おこわ・田舎ごはん・梅がゆ)計4,200食、粉ミルク(アレルギー対応800g)56缶、液体ミルク(240ml)24缶 (2) 3月1日に東郷町防災会議を開催し、地域防災計画を見直しました。 (3) 災害発生時に住民支援や復旧活動を迅速に行えるよう、民間事業所と災害時における協定を締結しました。(4事業所)
		3 防災無線整備事業 全国瞬時警報システム(J-ALERT)の保守点検を実施しました。
		4 職員訓練等 (1) メール参集訓練を災害発生時の円滑な参集を目指すことを目的として実施しました。(令和4年8月25日、参加人数180名) (2) 災害発生時における職員の初動体制の確認及び課題の抽出を目的に「地震災害対策初動訓練」を5月に実施しました。(参加職員23名) (3) 災害発生時に使用するチェーンソーの取扱い技術、危険予知及び安全管理知識の向上を図るため、「チェーンソー取扱訓練」を実施しました。(年2回実施、参加職員13名)

5	活動指標	指標名	災害対策本部設置回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 1.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 1.00	回	
				令和3年度	回 0.00	回	
				令和4年度	回 1.00	回	
6	成果指標	指標名	備蓄整備計画に基づき町で確保する非常備蓄食糧数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	食 19,650.00	食 18,400.00	H27～過去地震最大モデルによる想定避難者数(1日目600人、2、3日目4,300人)×2食
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
				令和3年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
				令和4年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	14,511,662 円	決算額	16,273,467 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 102
	直接事業費①(②+③+④)	14,511,662	16,273,467	112.1 %	17,877,000	評価の符号
	一般財源②	14,511,662	16,273,467	112.1 %	17,877,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,834,434	3,855,642	100.6 %		
	総合計(①+⑤)	18,346,096	20,129,109	109.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	18,346,096	20,129,109	109.7 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	20,129,109	0.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	934	1,024	109.6 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  耐用年数経過により、防災行政無線屋外子局のバッテリー交換を実施したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	6.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.7 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  災害時の倒木による交通障害などに対応するため、チェーンソー訓練を実施しました。 業務継続計画の見直しを実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	南海トラフ巨大地震に備えるため、資機材の取扱いのほか、防災情報システムや物資輸送・調達システムの操作が必要となったときに対応できるように操作研修を実施する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	必要な資機材の整備及び備蓄に努めます。 また、防災情報システムや物資輸送・調達システム、資機材の取扱いを学ぶ機会を設けます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、資機材の取扱訓練を実施していきます。 また、発生が危惧される南海トラフ巨大地震に対する町が行うべき防災、減災対策の推進を図り、住民や自主防災組織における自助、共助の取組の支援を継続的に実施し、災害に強いまちづくりを目指します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	チェーンソー訓練など資機材の取扱訓練を実施します。 また、業務継続計画の見直しを実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 103

1	事業名	災害復旧事業	コード	01	11	01	01	01	-
2	担当部課	都市建設部	維持管理課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	被災した施設を利用する人
2	働きかける相手(対象)	被災を受けた施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	台風、大雨等により被災した施設を復旧し、早期かつ安全に利用できる状態にします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	災害復旧事業 令和4年度の実績はありません。
---	-----------------------	---------------------------

5	活動指標	指標名	事前対策準備及び応急処置の延べ委託回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	回	0.00	回	個別計画による目標値はありません。		
			令和2年度	回	0.00	回			
			令和3年度	回	0.00	回			
			令和4年度	回	0.00	回			
6	成果指標	指標名	災害復旧率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法		
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	0.00	%		100.00	完全復旧率
			令和2年度	%	0.00	%		100.00	
			令和3年度	%	0.00	%		100.00	
			令和4年度	%	0.00	%		100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 103
	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	500,000	評価の符号
	一般財源②	0	0	0.0 %	500,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	0	0	0.0 %		
	総合計(①+⑤)	0	0	0.0 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	0	0	0.0 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 特にありません。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	0.0 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		災害時には、被災した施設を早急に復旧する必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	近年の突発的な集中豪雨により予定外の修繕が予想されるため、被害の程度により、その都度迅速な対応をしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 104

1	事業名	河川等維持管理事業	コード	01	08	03	01	01	-
2	担当部課	都市建設部	維持管理課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	① 災害に強い都市基盤の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	河川及び排水路
3	どのような状態にしたいのか(意図)	河川等の施設を適正に維持することにより、通水能力の保持及び景観を良好な状態にします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	河川等維持管理事業	
		(1) 河川等の維持修繕工事及び浚渫工事を実施しました。 修繕工事 5箇所 浚渫工事 1箇所 (2) 河川の除草及び剪定を委託しました。 ア 春木川 堤防除草 9,958㎡×3回 護岸除草 4,565㎡×1回 低木剪定工 138㎡×1回 イ 西の川 堤防除草 3,058㎡×2回 ウ 小口川 堤防除草 2,771㎡×2回 7,276㎡×1回 護岸除草 4,136㎡×1回 エ 小川 堤防除草 819㎡×2回 (3) 中ノ杵地内に新設排水路を整備しました。 工事延長 L=166.4m	

5	活動指標	指標名	施設の維持管理作業の延べ面積	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	除草、剪定作業	令和元年度	35,777.00 ㎡	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	40,730.00 ㎡		
				令和3年度	47,663.00 ㎡		
令和4年度	59,285.00 ㎡						
6	成果指標	指標名	通水阻害部分の解消箇所	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	排水路浚渫箇所、排水路整備箇所	令和元年度	8.00 箇所	8.00 箇所	
				令和2年度	11.00 箇所	7.00 箇所	
				令和3年度	10.00 箇所	8.00 箇所	
令和4年度	7.00 箇所	9.00 箇所					
7	直接事業費計	前年度決算額	20,296,200 円	決算額	36,913,877 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 104
	直接事業費①(②+③+④)	20,296,200	36,913,877	181.9 %	18,844,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	20,274,740	36,892,417	182.0 %	18,825,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	21,460	21,460	100.0 %	19,000	
	概算人件費⑤	13,768,688	10,814,103	78.5 %		
	総合計(①+⑤)	34,064,888	47,727,980	140.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	34,043,428	47,706,520	140.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	714	805	112.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,404,343	6,815,217	200.2 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  中ノ杵排水路を新設したことにより、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	24.4 %		○
	②成果指標の実績向上度	-30.0 %		×
	③成果指標の目標達成度	-22.2 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	40.1 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  施設の老朽化による維持修繕に係る費用は増加傾向であるため、施工方法の精査及び極力コストを抑える工法を検討しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	施設の老朽化による維持修繕に係る費用が増加しているため、施工方法の精査やコストを抑える工法等を選定することにより、施設の延命化を図っていく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	河川の景観を維持管理するために、定期的な除草及び河川護岸等の適正な維持管理に努めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	施設の延命化を図るため、施工方法を精査し、さらにコストを抑制する工法を検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 105

1	事業名	耐震化促進事業	コード	01	08	04	01	05	-
2	担当部課	都市建設部	都市計画課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	① 災害に強い都市基盤の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民
2	働きかける相手(対象)	旧耐震基準の家屋を所有する者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	災害に強い街づくりを図るとともに、町民の安全な生活環境の確保に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	耐震化促進事業 (1) 民間木造住宅耐震診断(無料)を実施しました。(20件) (2) 民間木造住宅耐震改修費の補助を実施しました。(2件) (3) 民間木造住宅耐震除却費の補助を実施しました。(2件) (4) 民間ブロック塀等撤去費の補助を実施しました。(4件) (5) 東郷町耐震改修促進計画-2030-に基づき、諸輪地区において耐震診断ローラー作戦(旧耐震基準の木造住宅の所有者に対し、無料耐震診断を個別に案内)を実施しました。(対象133件)	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	木造住宅耐震診断の件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	件 8.00	件 25.00	過去3年間の実績値の平均
		指標の説明 (指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅 に対し町の無料耐震診断を 実施した件数	令和2年度	件 8.00	件 20.00	
				令和3年度	件 10.00	件 14.00	
				令和4年度	件 20.00	件 9.00	
6	成果指標	指標名	木造住宅耐震改修補助の件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の実績値の平均
				令和元年度	件 1.00	件 3.00	
		指標の説明 (指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅 の耐震改修工事に対して補 助金を交付した件数	令和2年度	件 2.00	件 3.00	
				令和3年度	件 2.00	件 2.00	
				令和4年度	件 2.00	件 2.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	9,261,200 円	決算額	3,657,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 105
	直接事業費①(②+③+④)	9,261,200	3,657,000	39.5 %	10,003,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	3,786,200	927,000	24.5 %	2,512,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	5,475,000	2,730,000	49.9 %	7,491,000	
	概算人件費⑤	5,484,974	5,556,292	101.3 %		
	総合計(①+⑤)	14,746,174	9,213,292	62.5 %		
町費投入額(②+③+⑤)	9,271,174	6,483,292	69.9 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	927,117	324,165	35.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,635,587	3,241,646	69.9 %		

### III. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  諸輪地区での耐震診断ローラー作戦実施による耐震診断件数の増加により、活動指標が向上しました。 令和3年度で大規模盛土造成地変動予測調査が終了したため、直接事業費が減少しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	100.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  耐震改修促進計画2030に基づき、耐震診断ローラー作戦を実施しました。 また、県の主催する耐震化に関する会議や研究のための活動に参加し、耐震化の促進について情報収集を行いました。
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-30.1 %	○
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	旧耐震基準住宅の耐震化の促進のためには、無料耐震診断の実施数の増加が必要です。重点的に耐震化を促進する地区に対する働き掛けを効果的に行い、耐震診断数及び耐震改修件数の増加を目指します。また、耐震改修件数の課題となる高額な工事価格については、低価格工法などについて研究や周知を行い、耐震改修の実績向上に努めます。町内の危険なブロック塀等については、引き続き県と連携した調査や撤去費に係る補助金を活用し、通学路を始めとする道路における災害時の安全確保に努めます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### IV. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	重点的に耐震化を進める地区として、和合地区及び傍示本地区での無料耐震診断ローラー作戦(ダイレクトメールの送付など)を実施します。また、同地区において、耐震診断の啓発のための戸別訪問を実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	耐震改修促進計画2030に基づき、耐震化率の目標の達成を目指します。また、重点的に耐震化を進める地区の耐震化の促進を計画的に進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	重点的に耐震化を進める地区として諸輪地区での耐震診断ローラー作戦(ダイレクトメールの送付など)を実施します。また、県の主催する耐震化に関する会議や研究のための活動に参加し、耐震化の促進について情報収集に努めます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 106

1	事業名	防災啓発事業	コード	01	09	01	04	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	② 地域の安全・安心の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	自主防災組織、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各自主防災組織を中心に災害時の緊急対応力を強化するとともに、町民の防災意識を高めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	防災啓発事業 自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援しました。 (1) 自主防災組織の数 18団体 (2) 自主防災組織等の活動 各地区及び自主防災組織の12団体において、年1回程度、初期消火、避難、情報伝達などの防災訓練を実施しました。 (3) 自主防災組織活動助成金 自主防災組織の活動に対する助成金を12地区に交付しました。 諸輪、白土、和合ヶ丘、御岳、北山台、押草北、押草南、西白土、兵庫、三ツ池、清水 各50,000円 傍示本 1,190円 計551,190円 (4) 賞味期限が1年未満となった備蓄食料を防災啓発品として、地区の防災訓練に利用するため、アルファ米(2,900食)、ライスクッキー(2,096食)を配布しました。 (5) 家具転倒防止器具取付事業として、65歳以上の高齢者のみの世帯等に対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。(申請世帯数14世帯) (6) 感震ブレーカー設置費補助事業として、感震ブレーカー(簡易タイプ)を設置する世帯に対し、通電火災を防止するため、購入費用の一部を補助金として交付しました。(申請世帯数6世帯) (7) 避難所開設訓練 感染症が発生している状況下において、避難所の受付方法など職員の避難所開設体制を確認し、災害発生時の円滑な避難所開設を行うことができるよう実施しました。(10月23日春木中学校、諸輪中学校で実施)(120名参加)	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	自主防災組織数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和4年度以降の自主防災組織数は18地区	令和元年度	地区 17.00	地区 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	地区 17.00	地区	
				令和3年度	地区 17.00	地区	
				令和4年度	地区 18.00	地区	
6	成果指標	指標名	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	件 17.00	件 17.00	訓練実施地区を18地区全部としました。
				令和2年度	件 10.00	件 17.00	
				令和3年度	件 9.00	件 17.00	
				令和4年度	件 12.00	件 18.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,029,054 円	決算額	1,070,233 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 106
	直接事業費①(②+③+④)	1,029,054	1,070,233	104.0 %	1,793,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	1,027,054	1,055,233	102.7 %	1,758,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	2,000	15,000	750.0 %	35,000	
	概算人件費⑤	5,140,326	5,178,765	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	6,169,380	6,248,998	101.3 %		
町費投入額(②+③+⑤)	6,167,380	6,233,998	101.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	362,787	346,333	95.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	685,264	519,500	75.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自主防災訓練を中止した地区があったことから、目標値には届きませんでした。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	5.9 %		○
	②成果指標の実績向上度	33.3 %		○
	③成果指標の目標達成度	-33.3 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	1.1 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  総合防災訓練として春木中学校と諸輪中学校にて、実動的な避難所運営訓練を実施しました。 自主防災組織と地域安心メール登録者に防災カレッジの受講案内を行い、12名が受講しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の影響で、自主防災訓練が実施できない地区がありました が、継続的に実施することにより、地区の防災力強化につながることから、今後も助成制 度を活用して自主防災組織の活動を支援する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	自主防災組織の活動に地区間で差があることから、地区間の活動レベルの統一及び地区防災力向上を図るため、自主防災組織代表者会議を開催します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、東郷町地域防災計画に基づく自主防災組織のあり方及び防災訓練の重要性について、周知し、地域全体の防災力向上に努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	自主防災組織に対し、防災・減災の知識を得る機会として、防災カレッジの受講案内を行います。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 107

1	事業名	消防団運営事業	コード	01	09	01	02	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	各種災害の被災者
2	働きかける相手(対象)	消防団員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	消防団員の資質及び機動力の向上を図るとともに、団員を確保し、地域における防災体制を整えます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 消防団運営事業 (1) 東郷町消防団の組織（令和4年4月1日現在） ア 団長 1名、副団長 2名 イ 分団員数 (ア) 諸輪分団 16名 (イ) 和合分団 13名 (ウ) 傍示本分団 17名 (エ) 祐福寺分団 13名 (オ) 部区分団 10名 (カ) 白土分団 8名 計77名（団長・副団長を含まない。） (2) 会議、研修会等 ア 正副分団長会議を年10回開催し、活動内容の確認、出勤状況及び情報交換を実施しました。 イ 例年開催していた役員県外研修については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。 (3) 各種訓練、点検活動等 ア 4月10日 基本訓練 参加団員34名 イ 6月5日 水防訓練 参加団員26名、役場職員33名 ウ 11月6日 尾三消防連絡協議会合同訓練 参加団員9名 エ 12月28日～30日 年末特別警戒（地区全域） オ 1月8日 出初式 参加団員27名 カ 2月19日 林野火災訓練（東郷消防署） 参加団員24名 キ 3月5日 町消防団入退団式 入団者3名、退団者4名 ク 毎月1回 無線試験、放水訓練及び資機材等点検 ケ 5月～7月 消防水利点検 コ 9月～11月 消防用ホース耐圧試験 (4) 火災風水害等に伴う出動 家屋火災等に伴う出動 1件 14名 災害に伴う出動（9月19日 台風14号） 1件 37名 (5) その他の活動等 各地区で開催された防災訓練、文化産業まつりに参加しました。
		2 町消防操法大会 5月22日開催の東郷町消防操法大会に6分団が出場し、諸輪分団が優勝しました。 3 消防団詰所建替事業 (1) 和合分団詰所の建替え工事を実施しました。 (2) 祐福寺分団詰所の新築及び解体詳細設計を実施しました。

5	活動指標	指標名	各種訓練実施回数（基本訓練、操法訓練、水防訓練、文化財防火訓練、林野火災訓練）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			指標の説明（指標式）	令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	4.00	回		
				令和3年度	回	回		
				令和4年度	回	回		
6	成果指標	指標名	基本訓練参加率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			指標の説明（指標式）	令和元年度	%	%		過去3年間の最高値
				令和2年度	29.03	28.38		
				令和3年度	%	%		
				令和4年度	0.00	29.03		
令和3年度	%	%						
令和4年度	26.32	29.03						
令和4年度	%	%						
令和4年度	42.50	29.03						
7	直接事業費計	前年度決算額	50,537,623 円	決算額	62,795,382 円			



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 107
	直接事業費①(②+③+④)	50,537,623	62,795,382	124.3 %	69,156,000	評価の符号
	一般財源②	47,285,623	14,309,382	30.3 %	19,463,000	
	起債③	2,300,000	46,300,000	2,013.0 %	47,800,000	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—
	その他④	952,000	2,186,000	229.6 %	1,893,000	
	概算人件費⑤	5,711,473	5,754,183	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	56,249,096	68,549,565	121.9 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	55,297,096	66,363,565	120.0 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	13,824,274	16,590,891	120.0 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,100,953	1,561,496	74.3 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 活動実績がない団員が退団し、分団員数が減少したため、成果指標の実績値が向上しました。 和合分団詰所の建替工事により、直接事業費が増加しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、水防訓練及び年末特別警戒出発式を規模縮小し、開催しました。 老朽化した和合分団詰所の解体・建替工事を実施しました。 消防団員の増員のため、ららぼ一とでの勧誘活動、地区への回覧を実施しました。
	②成果指標の実績向上度	61.5 %	
	③成果指標の目標達成度	46.4 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	20.0 %	○
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	消防団全体で団員が減少しているため、団員確保のための活動が必要となります。また、町操法大会の競技内容が実災害に即していないため、内容の見直しを検討します。 消防団の車両が購入後15年以上経過しており、緊急時の使用に支障をきたす恐れがあるため更新を検討する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	祐福寺分団詰所建替工事の施工を実施します。 消防団活動を若者や地域に向けてPRし、重要性、必要性を広く知らせ、団員を確保していきます。 操法大会の競技内容をより実践的なものに見直します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	消防団員の災害対応力を向上させるため、引き続き、実践的な訓練を検討していきます。 また、消防団の担い手である若年層が消防団加入に興味を持ってもらえる事業を検討し、消防団員の充実を図ります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	和合分団詰所の建替え工事を施工及び祐福寺分団詰所建替え工事設計を実施します。 また、減少傾向にある消防団員を増員するため、地域住民へ消防団活用をPRしていきます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 108

1	事業名	女性防災クラブ運営事業	コード	01	09	01	02	02	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	女性防災クラブ会員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	防災に関する基礎知識を身につけ、自主防災組織と連携し地域や家庭内から防災意識を向上させることで災害時に迅速、適切な対応ができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	女性防災クラブ運営事業 (1) 東郷町女性防災クラブの組織（令和4年4月1日現在） ア 会長 1名、副会長 2名 イ 支部会員数 (ア) 諸輪支部 10名 (イ) 和合支部 20名 (ウ) 傍示本支部 14名 (エ) 祐福寺支部 20名 (オ) 部田支部 15名 (カ) 白土支部 15名 (キ) 和合ヶ丘支部 15名 (ク) 春木台支部 22名 (ケ) 北山台支部 8名 (コ) 部田山支部 15名 計154名（正副会長含む。） (2) 会議、研修会等 ア 正副会長及び正副支部長の役員会を年3回開催し、活動内容の確認、情報交換等を実施しました。 イ 6月18日に役員研修会を実施しました。（研修先 尾三消防本部） (3) 訓練、講習会等 ア 5月～7月 消防水利点検（地区及び消防団と合同で実施） イ 5月～8月 普通救命講習 131名参加（受講済者7名 合計受講済者138名） ウ 6月5日 水防訓練 21名参加 エ 1月8日 消防出初観閲式 14名参加 エ 例年実施している「総合防災訓練」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模縮小としたため、女性防災クラブは不参加としました。 (4) その他の活動等 各地区で開催された防災訓練に参加協力しました。 (5) 女性防災クラブの各支部運営活動費として助成金を交付しました。 女性防災クラブは、役員会の総意により令和4年度末をもって解散となりました。
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	防災技術取得事業実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 1.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	防災技術取得事業（普通救命講習）	令和2年度	回 1.00	回	
				令和3年度	回 1.00	回	
				令和4年度	回 1.00	回	
6	成果指標	指標名	普通救命講習受講者率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 会員全員の参加を目標としました。（2年に1回受講）
				令和元年度	% 99.40	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	普通救命講習受講者数人数 ÷クラブ会員総数×100	令和2年度	% 99.00	% 100.00	
				令和3年度	% 79.27	% 100.00	
				令和4年度	% 89.61	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	552,400 円	決算額	724,905 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 108
	直接事業費①(②+③+④)	552,400	724,905	131.2 %	1,304,000	評価の符号
	一般財源②	552,400	724,905	131.2 %	1,304,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,713,442	1,726,255	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	2,265,842	2,451,160	108.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	2,265,842	2,451,160	108.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,265,842	2,451,160	108.2 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	28,584	27,354	95.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年中止となっていた一部行事を実施したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	13.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	-10.4 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	8.2 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  女性防災クラブの在り方について、実施したアンケート結果を基に、役員会の総意で解散となりました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		ジェンダーレスの時代に女性だけの組織として必要とされる機会が減少しているため、女性防災クラブを地区の自主防災組織へ統合し、地域防災力の向上を目指します。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	特にありません。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	組織の見直し等について検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 109

1	事業名	消防水利設置管理事業	コード	01	09	01	03	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	被災者
2	働きかける相手(対象)	消防水利
3	どのような状態にしたいのか(意図)	耐震性貯水槽、消火栓を整備、維持管理して消防力を強化します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 消防水利設置事業 (1) 防火水槽並びに消火栓（地下式、地上式）の新設、移設及び撤去を実施しました。 (2) 消防水利標示の塗装を実施しました。 (3) 格納箱の交換を実施しました。 (4) 防火水槽の有蓋化工事を実施しました。
		2 消火栓維持管理事業 (1) 消火栓（471基分）の維持管理負担金を愛知中部水道企業団へ支出しました。（令和3年10月時点） (2) 備品を購入しました。（防火水槽補修用セメント）
【参考】 消防水利の状況（令和5年3月末現在） 防火水槽 蓋有 119基（うち耐震性貯水槽 22基） 蓋無 7基 プール 10か所 消火栓 65ミリ地下式 289基 65ミリ地上式 7基 40ミリ地下式 2基 40ミリ地上式 176基（格納箱併設 筒先1個・40ミリホース2本・金具1個） 計 609基（所）		

5	活動指標	指標名	消防水利整備基数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	耐震性貯水槽設置数+防火水槽蓋設置数+消火栓設置数+消防水利修繕数	令和元年度	基 2.00	基 個別計画による目標値はありません。
					令和2年度	基 2.00	基
					令和3年度	基 3.00	基
					令和4年度	基 1.00	基
6	成果指標	指標名	消防水利の総数（池、河川含まず。）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	基 605.00	基 603.00	前年度末設置数
				令和2年度	基 608.00	基 605.00	
				令和3年度	基 610.00	基 608.00	
				令和4年度	基 609.00	基 610.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	3,431,637 円	決算額	6,272,762 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 109
	直接事業費①(②+③+④)	3,431,637	6,272,762	182.8 %	4,838,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	一般財源②	3,431,637	6,272,762	182.8 %	4,838,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,774,144	2,794,889	100.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	6,205,781	9,067,651	146.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	6,205,781	9,067,651	146.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,068,594	9,067,651	438.3 %		
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	10,173	14,889	146.4 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  防火水槽の有蓋化工事を実施したことにより、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-66.7 %		×
	②成果指標の実績向上度	-0.2 %		△
	③成果指標の目標達成度	-0.2 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	46.1 %		×
	②受益者負担は適切ですか。	○		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  立上り消火栓の移設・撤去、地下式消火栓の新設及び無蓋防火水槽の有蓋化工事を実施しました。 老朽化等により見えにくい箇所の標示を整備しました。 水漏れなどを起こしている防火水槽の水抜きを実施し、適正な管理を行えるようにしました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		必要に応じて見直しを実施し、消防水利台帳で適正な管理を行っていきます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	消防水利台帳を活用し、老朽化している防火水槽の更新を含めた整備について検討します。 無蓋となっている市場屋敷の防火水槽の有蓋化工事を実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	消防水利を計画的に設置するとともに、現在無蓋となっている防火水槽の有蓋化に努め、より安全な消防水利を整備します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	水漏れなど起こしている防火水槽の水抜きを実施した上で、リスト作成し、継続的に適正な管理を行えるようにします。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 110

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	04	01	02	07	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内医療機関
2	働きかける相手(対象)	町民及び町内医療機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	感染症の発生及びまん延の予防が図られるようにします。感染者にとって自宅療養期間に必要な療養品が整う支援します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 感染予防対策 (1) ホームページにて、感染症予防に関連する情報を掲載しました。 (2) 町新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを感染状況に基づき変更し、いこまい館内の感染予防対策を施設サービス(株)と協議しました。	
		2 感染者や感染症疑いの方への支援 (1) 感染症に関する相談 発熱等に関することや受診方法についての電話相談を実施しました。 410件 (2) 生活支援事業 陽性患者のうち、保健所から自宅療養を指示された者に対し、自宅療養支援品の支給、買い物支援、薬の受け取りを実施しました。 自宅療養支援品支給 797世帯(療養物品797セット 支援品3,024セット) 買い物支援 実5回 延6回 薬の受け取り 実6回 延6回	

5	活動指標	指標名	感染症に関する電話相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件	30.00	件	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	件	121.00	件	
			令和3年度	件	270.00	件	
			令和4年度	件	410.00	件	
6	成果指標	指標名	生活支援事業の実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	回	回	回	前年度実績
			令和2年度	7.00	回	0.00	
			令和3年度	286.00	回	7.00	
			令和4年度	797.00	回	286.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	2,394,285 円	決算額	5,918,646 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 110 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	2,394,285	5,918,646	247.2 %	0	
	一般財源②	2,394,285	5,918,646	247.2 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	11,801,613	10,082,168	85.4 %		
	総合計(①+⑤)	14,195,898	16,000,814	112.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	14,195,898	16,000,814	112.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	52,577	39,026	74.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	49,636	20,076	40.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	△	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、電話相談件数が増加したため、活動指標及び直接事業費が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	△		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	51.9 %		○
	②成果指標の実績向上度	178.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	178.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	12.7 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			△
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  4月から9月末まで、新型コロナウイルス感染症に罹患し自宅療養の指示を受けた人へ、生活支援を行いました。 10月から濃厚接触者の自宅待機期間等について国の方針変更に伴い、支援内容を見直しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		令和3年度より、新型コロナウイルス感染症の患者で自宅療養を指示された人とその家族に対し、生活支援を実施してきましたが、濃厚接触者の自宅待機期間の短縮等国の方針変更に伴い一定の役割を終えたと判断し、事業を廃止します。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に変更されたため事業を廃止します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	特にありません。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	生活支援開始時と比較し、濃厚接触者の自宅待機期間等の対応が変わることを踏まえ、生活支援品の配布を取りやめる等生活支援の実施体制を見直します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 111

1	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業	コード	01	04	01	02	08	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	生後6か月以上の町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の発症、重症化及びまん延の防止を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	予防接種法第6条第3項の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種を実施しました。 ※接種開始時期 第2期追加接種(4回目)令和4年5月25日から、小児第1期追加接種(3回目)9月6日から、令和4年秋開始接種(3回目以降)9月20日から、乳幼児初回接種(1~3回目)10月24日から、小児令和4年秋開始接種(3回目以降)令和5年3月8日から	
		(1) 接種者数	ア 1回目 473件(うち、小児接種 302件、乳幼児接種 28件) イ 2回目 926件(うち、小児接種 705件、乳幼児接種 27件) ウ 3回目 8,401件(うち、小児接種 276件、乳幼児接種 20件) エ 4回目 17,602件(うち、65歳以上 8,622件、小児接種 3件) オ 5回目 9,258件(うち、65歳以上 7,640件) カ (再掲) 令和4年秋開始接種 16,892件(うち、65歳以上 7,920件、小児接種 7件)
		(2) 接種率(令和5年3月31日時点)	ア 1回目 79.0%(65歳以上 94.9%、小児接種 16.8%、乳幼児接種 1.6%) イ 2回目 78.7%(65歳以上 94.6%、小児接種 16.4%、乳幼児接種 1.5%) ウ 3回目 64.6%(65歳以上 92.6%、小児接種 7.6%、乳幼児接種 1.2%) エ 4回目 40.7%(65歳以上 87.1%、小児接種 0.1%) オ 5回目 21.6%(65歳以上 77.1%) カ (再掲) 令和4年秋開始接種 39.8%(65歳以上 79.9%、小児接種 0.2%)
		(3) 接種体制の確保	ア 接種開始時に接種券がない方に対して接種券を発送しました。なお、第2期追加接種において基礎疾患を有する方及び医療従事者等に該当する方は、申請により接種券を発行しました。 イ 集団接種及び町内医療機関での接種予約を町コールセンター及び町公式LINEで受け付けました。なお、前回接種を町内接種会場で接種した65歳以上の方は、日時を指定してご案内しました。 ウ 接種を希望する方が早期に接種できるように町内の接種会場を確保しました。

5	活動指標	指標名	延べ接種回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明(指標式)		令和元年度	件	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	184.00		
				令和3年度	89,565.00		
				令和4年度	36,660.00		
6	成果指標	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 国の新型コロナウイルスワクチン接種率(令和2年度、3年度は1回目接種率、令和4年度は3回目接種率)
		指標の説明(指標式)		令和元年度	%	%	
				令和2年度	0.00	0.00	
				令和3年度	81.22	80.27	
				令和4年度	64.58	68.58	
7	直接事業費計	前年度決算額	452,970,225 円	決算額	324,737,357 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 111
	直接事業費①(②+③+④)	452,970,225	324,737,357	71.7 %	142,863,000	評価の符号
	一般財源②	0	0	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	452,970,225	324,737,357	71.7 %	142,863,000	
	概算人件費⑤	74,062,645	22,304,598	30.1 %		
	総合計(①+⑤)	527,032,870	347,041,955	65.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	74,062,645	22,304,598	30.1 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	827	608	73.5 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	911,877	345,379	37.9 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和4年度の主なワクチン接種は、追加接種であったため、活動指標、成果指標ともに低下しました。 人員削減により概算人件費が減少しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-59.1 %		×
	②成果指標の実績向上度	-20.5 %		×
	③成果指標の目標達成度	-5.8 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-69.9 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  1, 2回目接種時の予約が取りにくかったことを受け、4回目接種及び令和4年秋開始接種では、65歳以上の高齢者には、接種日指定で案内しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルスワクチンは、予防接種法に基づき特例臨時接種として実施されます。市町村が接種主体となることから、国の通知に基づき、接種希望者が接種できるよう接種体制を整備する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	本年度は、接種時期により対象者や使用ワクチン等が異なったことから、接種券に接種時期及び対象者別の案内を同封するほか、10月号広報紙と同時に案内チラシを全戸配布します。また、予約が取りやすいよう前回接種日順に接種券を発送したほか、接種希望者が増加する時期に集団接種を設定する、予約状況により集団接種を追加して実施する等の工夫をします。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	特例臨時接種は令和6年3月31日に終了し、令和6年度は任意接種又は定期接種での接種となることが予想されます。国からの情報に留意し、定期接種となった際には接種体制を整備していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 112

1	事業名	狂犬病対策事業	コード	01	04	01	05	03	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	犬の所有者、獣医
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国内で狂犬病が発生した場合に、発生拡大とまん延防止を図るとともに、無登録犬の減少と飼い主のマナーの向上を図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	狂犬病対策事業 (1) 飼い主へはがきによる予防注射案内を送付し、預託による予防注射を24病院で実施しました。 ア 犬登録頭数 3,324頭 イ 注射頭数 2,382頭  (2) 犬及び猫の適正な飼養の推進及び災害等により逸走した際の所有者早期特定を目的として、マイクロチップを装着する者に対して補助金を交付しました。(実績8件、16,000円)	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	マイクロチップ装着推進事業補助金交付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	頭	頭	
				令和2年度	頭	頭	
				令和3年度	頭	頭	
令和4年度	頭 8.00	頭					
6	成果指標	指標名	狂犬病予防注射接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。
		指標の説明 (指標式)	狂犬病予防注射接種頭数÷登録犬数×100	令和元年度	% 74.93	% 79.11	
				令和2年度	% 74.00	% 74.93	
				令和3年度	% 71.06	% 74.00	
令和4年度	% 71.66	% 71.06					
7	直接事業費計	前年度決算額	1,028,456 円	決算額	1,122,094 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 112
	直接事業費①(②+③+④)	1,028,456	1,122,094	109.1 %	1,067,000	評価の符号
	一般財源②	-1,272,884	-1,085,596	85.3 %	-1,275,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	2,301,340	2,207,690	95.9 %	2,342,000	
	概算人件費⑤	3,854,053	3,915,201	101.6 %		
	総合計(①+⑤)	4,882,509	5,037,295	103.2 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,581,169	2,829,605	109.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		353,701	%			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	36,324	39,487	108.7 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大への警戒感が薄れたことに伴い狂犬病予防注射接種頭数が増加したため、成果指標は向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	%		ー
	②成果指標の実績向上度	0.8 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.8 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.6 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  畜犬の死亡届の未提出が疑われる登録が散見されたため、実態把握を行い、畜犬登録管理の効率化と堅牢性の向上を図るため、畜犬管理システムの導入を検討しました。 また、新たにマイクロチップ装着推進事業補助金を創設し、適正な飼育の推進を図りました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	国内における狂犬病の発生は1958年以降確認されておりませんが、日本周辺国を含む多くの国では依然として発生が続いており、近年、国内で輸入狂犬病の発症も確認されていることから、今後も予防接種の啓発に努め、狂犬病のまん延防止を図ります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	畜犬登録管理の効率化と堅牢性の向上を図るため畜犬管理システムの導入を検討します。また、令和4年度の制度改革に伴う研究を進め、登録状況の整理を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	動物愛護法の改正に伴う、国、県及び県内市町村の動向を注視し、ワンストップサービスへの参加について検討を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	マイクロチップ装着推進補助金について、要綱を制定し交付等を実施します。併せて検討していた畜犬管理システムの導入については、今年度における改正狂犬病予防法の施行による影響を確認しながら検討を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 113

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	07	01	02	06	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業者
2	働きかける相手(対象)	事業者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民及び事業者を含め町が一丸となってコロナ禍以前の賑わいを取り戻し、町内の事業者が従前通り経営を継続します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業	
		(1) 町内飲食店の支援 町内でデリバリーやテイクアウトを実施している店舗を町ホームページで紹介し、町内飲食店の利用促進を支援しました。(ホームページ掲載店舗数 26店舗) (2) みんながお得!! TOGOエールチケット事業 町内消費喚起及び町民の皆様の経済的支援のため、全町民を対象に、1枚500円のチケットを次のとおり配布しました。 チケットの種類は、取扱店全店で使用可能な共通券と商工会員事業者等で使用可能な地元応援券の2種類としました。 ア 配布額: 1人当たり5,000円(共通券2枚、地元応援券8枚) イ 取扱店: 366店舗 ウ 発行額: 224,225,000円 エ 換金額: 212,294,500円(94.67%)	

5	活動指標	指標名	みんながお得!! TOGOエールチケット取扱店数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	店	店	同事業の前回実績値を上回ることを目標としました。	
			令和2年度	401.00	店		
			令和3年度	店	店		
令和4年度	366.00		店	401.00			
6	成果指標	指標名	みんながお得!! TOGOエールチケット換金率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	%	%	同事業の前回実績値を上回ることを目標としました。	
			令和2年度	91.70	%		
			令和3年度	%	%		
令和4年度	94.67		%	92.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	2,978,100 円	決算額	228,299,506 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 113
	直接事業費①(②+③+④)	2,978,100	228,299,506	7,665.9 %	249,928,000	評価の符号
	一般財源②	2,978,100	655,506	22.0 %	1,428,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	227,644,000	0.0 %	248,500,000	
	概算人件費⑤	6,936,569	8,828,665	127.3 %		
	総合計(①+⑤)	9,914,669	237,128,171	2,391.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	9,914,669	9,484,171	95.7 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		25,913	%			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)		100,181	%		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) コロナ禍により多くの方が家計の助けとして日用品などを購入するのに利用されたことに加え、事業者支援のために新しいお店などで使われた人も多くいたため、成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	%	ー
	②成果指標の実績向上度	%	ー
	③成果指標の目標達成度	2.9 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-4.3 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 利用店舗を多く確保するため、商工会と連携し町内事業者に対し商品券取扱店への協力を広く呼びかけました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症が2類から5類相当に変更され、新型コロナウイルス感染症に関わる支援制度について、町内企業の景況感などを伺い、必要な支援策について検討する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	昨年度の商品券事業を踏まえ、利用者及び商品券取扱店への案内を行い、適切に商品券を利用いただけるよう周知します。 また、町ホームページ及びSNS等を活用し、更なる利用促進を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を踏まえ、必要な施策を検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、町民の生活支援及び町内事業者の活性化を図るため、商品券配布事業を実施します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 114

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	09	01	05	02	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、職員、感染症対策資機材
3	どのような状態にしたいのか(意図)	職員を中心に感染症発生時の災害対応力を強化するとともに、災害発生時の避難所内での感染症防止対策を適切に対応できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 感染症対策資機材を購入し、庁舎内の感染防止対策を行いました。 手指消毒液、ニトリル手袋 (2) 感染症の対策を実施しました。 ア 対策本部会議 令和4年5月11日～令和5年3月7日までの間に11回の新型コロナウイルス感染症等対策本部会議を実施し、本町の感染症への対応、町民への感染症感染予防の意識啓発などを決定しました。 イ 周知啓発方法について 広報紙、地域安心メール、Twitter、町HPで町民へ向け感染症に関する啓発を行いました。	

5	活動指標	指標名	対策本部開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	回	回	個別計画による指標はありません。
				令和2年度	51.00	回	
				令和3年度	30.00	回	
				令和4年度	11.00	回	
6	成果指標	指標名	感染症対策資機材を備蓄する指定避難所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 主要な避難所である小中学校9校全てへの備蓄を目標としました。
		指標の説明 (指標式)	備蓄を行う指定避難所は主要な避難所としている小中学校	令和元年度	校	校	
				令和2年度	9.00	9.00	
				令和3年度	9.00	9.00	
				令和4年度	9.00	9.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	5,234,674 円	決算額	126,609 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 114
	直接事業費①(②+③+④)	5,234,674	126,609	2.4 %	193,000	評価の符号
	一般財源②	5,234,674	126,609	2.4 %	193,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	6,608,990	6,658,412	100.7 %		
	総合計(①+⑤)	11,843,664	6,785,021	57.3 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	11,843,664	6,785,021	57.3 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	394,789	616,820	156.2 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,315,963	753,891	57.3 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 令和2、3年度に新型コロナウイルス感染症に係る避難所備品を整備し終えたため、直接事業費が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-63.3 %		×
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-42.7 %		○
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		各種訓練等を必要に応じて感染防止対策を講じて実施します。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	今後、同様の非常事態が発生した場合に備え、これまで行った新型コロナウイルス感染症対策事業の実績や効果について取りまとめます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	感染症拡大防止策を適切に行えるよう、情報共有していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 115

1	事業名	林業一般管理事業	コード	01	06	02	01	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、木曾川流域の住民
2	働きかける相手(対象)	町民、銀河の森(2.94ha)、伐採届届出者、森林の土地の所有者届届出者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	林業が担い手不足や高齢化等の状況にある中、人工林を育てることで林業経営の安定化、森林の公益的機能(おいしい水や空気を供給する機能)の促進を図るとともに、町民の森林・林業に対する理解と協力が促進されるようにします。また、森林の適正な管理状態を維持し、水源の育成に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	林業振興一般事業 (1) 森林法による届出の受付 ア 森林法による伐採届の受付件数 7件 イ 森林法による森林の土地の所有者届の受付件数 2件 (2) 森林環境譲与税基金積立て 後年度の事業に備え、森林環境譲与税4,840,000円を全額基金に積み立てました。 (3) 里山林整備事業 あいち森と緑づくり事業交付金を活用し、諸輪御嶽神社周辺の里山林の整備を実施しました。 作業内容：神社敷地内参道の不要木の伐採、機材搬入路の確保のための伐採等			

5	活動指標	指標名	森林伐採届及び森林の土地の所有者届の受付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	4.00	件	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明(指標式)	伐採届の受付件数+森林の土地の所有者届の受付件数	令和2年度	12.00		件	
			令和3年度	13.00	件			
			令和4年度	9.00	件			
6	成果指標	指標名	銀河の森植栽面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 銀河の森植栽延べ面積	
			令和元年度	2.94	ha	2.94		
		指標の説明(指標式)	銀河の森植栽延べ面積	令和2年度	2.94	ha		2.94
			令和3年度	2.94	ha	2.94		
			令和4年度	2.94	ha	2.94		
7	直接事業費計	前年度決算額	6,830,000 円	決算額	12,613,045 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 115
	直接事業費①(②+③+④)	6,830,000	12,613,045	184.7 %	12,792,000	評価の符号
	一般財源②	10,000	10,000	100.0 %	10,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	6,820,000	12,603,045	184.8 %	12,782,000	
	概算人件費⑤	2,937,841	2,690,640	91.6 %		
	総合計(①+⑤)	9,767,841	15,303,685	156.7 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,947,841	2,700,640	91.6 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	226,757	300,071	132.3 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,002,667	918,585	91.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) あいち森と緑づくり事業を活用した里山林整備事業について、3年目を迎えたことによる事務の定例化により、概算人件費が減少したことで、町費投入額が減少しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-30.8 %	×
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.4 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 里山林整備事業において、地元の里山林保全団体の意向を十分に確認しながら事業を進めました。 また、森林環境譲与税の活用について、財政部局、関連課等と調整し、今後の活用事業を検討しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	里山林整備事業について、あいち森と緑づくり事業交付金を継続的に要望し、効果的に事業を実施していく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	里山林保全団体からの要望があれば、継続的に要望し、県費を活用した効果的な事業実施に努めます。 森林環境譲与税について、適切な時期に基金を取り崩し、事業に活用します。 銀河の森の契約期間の令和58年まで契約に基づく適切な管理を実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	森林環境譲与税の活用について、より効果の高い活用事業を財政部局と連携し全庁的な観点から検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 116

1	事業名	公園緑地等維持管理事業	コード	01	08	04	02	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	公園利用者
2	働きかける相手(対象)	公園施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公園施設を適正に維持管理することにより、町民に安全で、かつ、快適な憩いの場を提供します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 都市公園緑地維持管理事業 (1) 公園、緑地の維持管理を次のとおり実施しました。 ア 都市公園・緑地 37か所 イ 親水公園、ふれあい広場 3か所 ウ 児童遊園 8か所 エ ちびっこ広場 8か所 オ その他公園・緑地 29か所 (2) 定期的な維持管理として、除草、園内のゴミ清掃、トイレ清掃、浄化槽の保守点検、遊具の安全点検等を行いました。 (3) 電気及び上下水道の使用料、うしばさん公園を始め5公園の用地借地料を支払いました。 (4) 遊具、水のみ場等の公園施設は、老朽した部分又はいたずらによる破損箇所などの修繕を実施しました。 (5) 町LINE公式アカウント「公園等の損傷投稿」による情報提供(34件)について、修繕等を実施しました。 (6) 交通児童遊園は地元老人クラブ、涼松緑道は愛知豊川用水振興協会、ふれあい広場及び柵池親水公園は指定管理者により施設の維持管理を行いました。 (7) 公園愛護会20団体(複数の公園で活動する団体があります。)に、22か所の公園の清掃活動等を行っていたいただき、報償金を支払いました。
		2 公園緑地管理一般事務事業 県が実施する公園緑地行政研究会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面で開催(アンケート調査)しました。

5	活動指標	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	ha 28.46	ha	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	維持管理した都市公園、緑地等の面積(ha)	令和2年度	ha 28.46	ha	
			令和3年度	ha 28.76	ha	
			令和4年度	ha 28.73	ha	
			令和4年度	ha 28.73	ha	
6	成果指標	指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の実績値の平均値
			令和元年度	m <sup>2</sup> /件 4,992.00	m <sup>2</sup> /件 4,740.00	
			令和2年度	m <sup>2</sup> /件 4,185.00	m <sup>2</sup> /件 5,352.00	
			令和3年度	m <sup>2</sup> /件 4,493.00	m <sup>2</sup> /件 5,265.00	
			令和4年度	m <sup>2</sup> /件 4,560.00	m <sup>2</sup> /件 4,556.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	99,745,035 円	決算額	100,020,608 円	



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 116
	直接事業費①(②+③+④)	99,745,035	100,020,608	100.3 %	142,512,000	評価の符号
	一般財源②	99,439,797	99,693,936	100.3 %	134,168,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	305,238	326,672	107.0 %	8,344,000	
	概算人件費⑤	12,849,937	12,311,648	95.8 %		
	総合計(①+⑤)	112,594,972	112,332,256	99.8 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	112,289,734	112,005,584	99.7 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,904,372	3,898,558	99.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	24,992	24,563	98.3 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 公園の定期的な巡回により、施設の破損個所などを事前に把握するよう努め、迅速な対応を行った結果、要望・苦情の件数が減少し、成果指標が向上しました。 利用者が少なく地区での維持管理が難しくなった四ツ塚ちびっこ広場について、公園としての利用を廃止したことから、活動指標が低下しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-0.1 %	△
	②成果指標の実績向上度	1.5 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.1 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.3 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 (財)愛知豊川用水振興協会に委託していた涼松緑道の草刈り及びトイレ清掃業務をシルバー人材センターへ委託したことで、費用の削減に繋がりました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	公園の遊具や施設は、老朽化が著しく、現在行っている部分的な修繕では対応ができなくなってきています。今後は、遊具・施設の更新や大規模な改修が必要となるため、更新等に係る費用の平準化を図るために長寿命化計画を策定する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	公園の遊具や施設は、著しく老朽化が進んでおり、更新や大規模な改修を進めていく必要があります。そのため、長寿命化計画を策定するとともに補助金等を活用し、計画的に施設の更新等を進めていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	公園の遊具や施設は、著しく老朽化が進んでおり、更新や大規模な改修を進めていく必要があります。そのため、補助金等を活用しながら長寿命化計画に基づき、計画的に更新等を進めていきます。 今後、新規に整備する公園は、公園愛護活動を呼びかけ、地域力を醸成することに繋がります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	維持管理費の削減のため、現在(財)愛知豊川用水振興協会に負担している涼松緑道の維持管理費の一部をシルバー人材センターへ委託することで、負担金の削減を図ります。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 117

1	事業名	緑化振興事業	コード	01	08	04	02	03	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	④ 緑化の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民(文化産業まつり参加者、小中学校、自治会)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域における緑化の推進や一般家庭の緑化を促進することにより、町民の緑化に対する意識の向上が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 緑化振興事業 令和4年5月28日に豊山町で開催された愛知県植樹祭へ参加しました。
		2 緑化事業 (1) 緑化木配布事業として、文化産業まつりでブルーベリーの苗木を320本配布しました。また、配布と合わせて緑の募金運動を実施しました。 (2) 愛知県緑化推進委員会に会費を支出しました。 (3) 緑の募金委員会の運営 ア 春期緑の募金運動を令和4年4月1日から令和4年7月31日まで実施しました。 募金総額 256,813円 イ 自治会等15団体へ花壇整備等の緑化推進事業に対し助成金を交付しました。 (4) 都市緑化推進事業として、民有地の緑化に対し2件補助金を交付しました。

5	活動指標	指標名	緑化木配布本数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	本 320.00	本	個別計画による目標値はありません。
		令和2年度		本 0.00	本		
		令和3年度		本 0.00	本		
令和4年度	本 320.00	本					
6	成果指標	指標名	町人口100人当たりの募金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の実績値の平均
			指標の説明 (指標式) 募金総額÷人口×100人 人口=43,856人(令和4年7月末時点)	令和元年度	円 561.00	円 721.00	
		令和2年度		円 555.00	円 637.00		
		令和3年度		円 646.00	円 592.00		
令和4年度	円 586.00	円 587.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	2,020,000 円	決算額	1,553,400 円		

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 117
	直接事業費①(②+③+④)	2,020,000	1,553,400	76.9 %	3,107,000	評価の符号
	一般財源②	20,000	106,400	532.0 %	107,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	2,000,000	1,447,000	72.4 %	3,000,000	
	概算人件費⑤	4,335,869	4,765,799	109.9 %		
	総合計(①+⑤)	6,355,869	6,319,199	99.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,355,869	4,872,199	111.9 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	15,226	0.0 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,743	8,314	123.3 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  文化産業まつりで緑化木配布事業を行ったことから、職員の参加に伴い概算人件費が増加しました。 また、緑化推進事業補助金における申請額が減少したことにより、直接事業費が減少しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	○
	②成果指標の実績向上度	-9.3 %	△
	③成果指標の目標達成度	-0.2 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	11.9 %	×
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新たに文化産業まつりの緑化木配布に合わせて、まつり参加者に緑の募金を募り、緑化に対する意識の向上を図りました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	緑化推進事業補助金制度の利用促進のため、引き続き、町民へ周知していく必要があります。 今後も快適な環境づくりに欠かせない緑を守り育てるという意義や地球温暖化問題及び環境問題に対する町民の意識を向上させるため、緑の募金活動を通じ理解してもらう必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	新たに区・自治会に緑の募金活動への参加をお願いし、町民の緑化に対する意識の向上を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、緑化木配布事業を行い、町民の緑化に対する意識の向上を図ります。 平成8年度に策定した緑の基本計画について、社会情勢が変化していることや国の新たな政策、総合計画や都市計画マスタープランなどの上位計画との整合性を図る必要があります。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和4年度は2年ぶりに文化産業まつりが開催される予定であることから、緑化木配布事業を行い、町民の緑化に対する意識の向上を図ります。

一般事業評価表（ 令和4年度 ）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 118

1	事業名	地球温暖化防止活動推進事業	コード	01	04	01	05	05	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	① 地球温暖化対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	一般家庭、事業者、町職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地球温暖化の防止、低炭素社会への転換、資源の有効利用、環境負荷の低減、環境保全等について、町民、事業者、職員が自ら率先して行動できるようにするとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 東郷版ISO推進事業 東郷版ISOの普及 「東郷版ISOエコチャレンジ10」について、文化産業まつりにおいてブース出展し、積極的にPRしました。
		2 東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業 地球温暖化対策設備の設置者に対して、設置及び購入に要する費用の一部を補助することにより、エネルギーの地産地消に対する意識の高揚を図るとともに、温室効果ガスの排出を抑制することで地球温暖化防止を促進することを目的として補助金を交付しました。 (1) 家庭用燃料電池システム 補助件数 13件 補助金額 650,000円 (2) 定置用リチウムイオン蓄電システム 補助件数 26件 補助金額 1,300,000円 (3) 家庭用エネルギー管理システム 補助件数 14件 補助金額 140,000円 (4) 電気自動車等充給電設備 補助件数 3件 補助金額 150,000円 (5) 一体的導入 (住宅用太陽光発電施設+定置用リチウムイオン蓄電システム+家庭用エネルギー管理システム) 補助件数 26件 補助金額 5,200,000円 (6) ZEHの導入 補助件数 3件 補助金額 900,000円

5	活動指標	指標名	「東郷版ISOエコチャレンジ10」参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	80.00	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人	90.00	人	
			令和3年度	人	42.00	人	
			令和4年度	人	80.00	人	

6	成果指標	指標名	地球温暖化対策設備導入促進費補助金交付件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件	123.00	件		124.00
			令和2年度	件	47.00	件		123.00
			令和3年度	件	53.00	件		47.00
			令和4年度	件	85.00	件		53.00

7	直接事業費計	前年度決算額	4,702,464 円	決算額	8,369,900 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 118
	直接事業費①(②+③+④)	4,702,464	8,369,900	178.0 %	17,305,000	評価の符号
	一般財源②	3,730,464	6,630,900	177.8 %	14,697,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	972,000	1,739,000	178.9 %	2,608,000	
	概算人件費⑤	4,624,864	5,481,281	118.5 %		
	総合計(①+⑤)	9,327,328	13,851,181	148.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	8,355,328	12,112,181	145.0 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	198,936	151,402	76.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	157,648	142,496	90.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 「東郷版ISOエコチャレンジ10」の参加者が増加したため、活動指標は向上しました。 また、地球温暖化対策設備導入促進費補助金交付件数が増加したため、直接事業費が増加し、成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	90.5 %	○
	②成果指標の実績向上度	60.4 %	○
	③成果指標の目標達成度	60.4 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	45.0 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業について、補助枠を検討及び見直し、補助メニューの追加を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	国内における温室効果ガスの排出量については、2030年度までに46%の削減が求められています。 本町においても目標達成には地球温暖化対策のさらなる検討が必要であり、関連事業の見直しや新たな対応策について検討を進めていきます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	地球温暖化対策について、近年の実績、社会情勢の変化を考慮し、補助制度の拡充及び関連施策の実施を検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	国が示す2050年カーボンニュートラルを意識し、企業への脱炭素化支援などの働きかけを他課との連携をとりながら検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業について、近年の実績、社会情勢の変化を考慮し補助メニューの拡充(ZEH)及び東郷版ISOの実施方法の変更を検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 119

1	事業名	廃棄物減量推進事業	コード	01	04	02	01	02	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、廃棄物減量等推進員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民一人ひとりが、限られた資源を有効に使うことによってごみを減量させる。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	廃棄物減量推進事業 (1) 廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員事業 町内18地区に各2名(合計36名)の推進員を配置し、ごみの減量の啓発、廃棄物の適正処理の推進等を行いました。推進員の主な職務は、「廃棄物の減量に関する啓発」、「資源回収の推進」、「ごみの分別及び適正排出の推進」、「不法投棄等の監視に係る活動」、「ごみ集積場所の設置等に関する連絡調整」等があります。事業活動を理解してもらうため、説明会を開催し、資源回収ステーションや町内中間処理施設を見学しました。 (2) 生ごみの減量化 生ごみの減量対策として、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入者に補助金を交付しました。 補助実績 電動生ごみ処理機8基、生ごみ処理容器9基 (3) フードドライブの実施 家庭で廃棄される食品(食品ロス)を削減するため、食べきれない食品を町民に持ち寄ってもらい、必要とされる方に寄付する活動を年3回実施しました。 令和4年6月1日～15日 持込点数: 600点、256kg 令和4年10月3日～17日 持込点数: 444点、377kg 令和5年2月6日～20日 持込点数: 196点、240kg			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	フードドライブ参加人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	フードドライブの参加者数	令和元年度	人 11.00	人 11.00	過去3年の実施回数の中の最大値
				令和2年度	人 0.00	人 11.00	
				令和3年度	人 70.00	人 11.00	
令和4年度	人 91.00	人 70.00					
6	成果指標	指標名	生ごみ処理機の補助実績	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間における実績値の平均値
		指標の説明 (指標式)	生ごみ処理機・生ごみ処理容器の購入者に対する補助実績	令和元年度	基 13.00	基 14.00	
				令和2年度	基 13.00	基 12.00	
				令和3年度	基 17.00	基 11.00	
令和4年度	基 17.00	基 14.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	1,241,852 円	決算額	1,279,126 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 119
	直接事業費①(②+③+④)	1,241,852	1,279,126	103.0 %	1,290,000	評価の符号
	一般財源②	1,241,852	1,279,126	103.0 %	1,290,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	8,401,836	5,637,889	67.1 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	9,643,688	6,917,015	71.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	9,643,688	6,917,015	71.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	137,767	76,011	55.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	567,276	406,883	71.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  フードドライブの実施結果や集まった食料がどのように活用されているか周知を行った結果、参加者が増え、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	30.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	21.4 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-28.3 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  フードドライブの実施結果や集まった食糧がどのように活用されているか広報紙やホームページで周知しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	フードドライブに関する情報を周知した結果、参加者が増え、食品ロスを873kg減らすことができました。 ごみは、限られた資源を有効に使うことによって減量させることができることから、家庭で実施できる3R活動を推進していくことが必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	令和5年7月からプラスチック資源の回収が始まることから、地域での分別排出や資源回収活動に活かしてもらうため、廃棄物減量等推進員及び環境美化委員に対して勉強会を実施します。 また、食品ロスを削減するフードドライブの実施に合わせて、自宅不要となった学用品を回収し、団体を通じて必要な人に届ける取組を実施します。 家庭から出る生ごみの減量を推進するため、生ごみ処理機器購入費補助金交付要綱の改正を検討します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	引き続きフードドライブと学用品の回収を実施し、食品ロスの削減やリユース活動を進め、燃えるごみの減量を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	フードドライブの実施結果や集まった食糧がどのように活用されているか周知することで、参加者を増やし、食品ロスの削減を図ります。 また、クリーンアップキャンペーンに町民の方にも参加してもらい、環境美化への啓発を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 120

1	事業名	資源回収事業	コード	01	04	02	01	03	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、区・自治会、集団資源回収団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民一人ひとりがリサイクルへの意識を持ち、地域で主体的に取り組むことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	資源回収事業 (1) 資源回収ステーションでの資源回収の推進 常設の資源回収ステーション2か所(北部・中部)で資源の回収に努めました。 ア 回収品目 26品目 (新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、紙製容器包装、雑がみ、その他の紙製容器包装、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ペットボトルのキャップ、白色トレイ、蛍光管、びん、缶、廃食用油、乾電池、スプレー缶、使い捨てライター、割りばし、インクカートリッジ、水銀入り体温計、小型家電、充電式電池、ボタン電池、バッテリー) イ 回収量 705t (2) 地区における資源回収の促進 資源の分別収集を実施した区・自治会に対し、月額9,000円の奨励金を交付しました。 ア 対象品目 2品目(ペットボトル、びん) イ 回収量 44t (3) 集団資源回収の促進 集団資源回収実施団体に対し、資源回収量に応じ、奨励金を交付しました。 ア 団体数 40団体 イ 対象品目 7品目(新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、スチール缶) ウ 回収量 709t
---	-----------------------	--

5	活動指標 指標名	資源回収量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		資源回収ステーション、地区資源回収、集団資源回収で回収した資源の量	令和元年度	t 1,721.00	t 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	t 1,519.00	t	
			令和3年度	t 1,527.00	t	
令和4年度	t 1,458.00		t			
6	成果指標 指標名	資源回収率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
		資源回収量÷(資源回収量+処理しなければならないごみ量)×100	令和元年度	% 14.80	% 15.30	
			令和2年度	% 14.20	% 14.80	
			令和3年度	% 14.80	% 14.20	
令和4年度	% 14.80		% 14.80			
7	直接事業費計	前年度決算額	30,967,111 円	決算額	32,069,012 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 120
	直接事業費①(②+③+④)	30,967,111	32,069,012	103.6 %	62,188,000	評価の符号
	一般財源②	25,973,816	21,638,498	83.3 %	57,881,812	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	4,993,295	10,430,514	208.9 %	4,306,188	
	概算人件費⑤	3,931,134	5,794,497	147.4 %		
	総合計(①+⑤)	34,898,245	37,863,509	108.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	29,904,950	27,432,995	91.7 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	19,584	18,815	96.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,020,605	1,853,581	91.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども会等が実施する 集団資源回収量が減少したことから、活動指標が低下しまし た。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-4.5 %	△
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.3 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に 向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 新たに令和5年7月からプラスチック資源の計画収集を行う にあたり、地区への説明会を実施し、併せて説明会動画を町 ホームページにおいて公開するなど周知活動を行いました。 また、ペットボトルの処理について、より環境への負荷が少 ないボトルtoボトルの取組を行うため、㈱豊田通商と業務協定 を締結しました。
	②効率性向上に向けての 改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価		8 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>		プラスチック資源の計画収集を実施するにあたり、何が対象でどのようにして出すこと ができるのか、町民に正しいプラスチックの分別方法を知ってもらう必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	4月1日から、町で回収したペットボトルを㈱豊田通商へ売却し、環境負荷の少ない水平リサイクル(ボトルtoボトル)の取組を開始します。 また、7月からのプラスチック資源の計画収集に向けて、プラスチック資源の分別説明会を実施するほか、パンフレットや広報紙、町ホームページ、回覧による周知活動を行い、プラスチック資源の分別に参加する住民の増加を図ります。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	プラスチック資源の収集量の増加を図ります。また、資源回収ステーションにおいて新たに回収する品目について研究していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	プラスチックごみについて、計画収集による収集・処理を実施できるよう検討していきます。 また、ペットボトルの処理について、より環境への負荷が少ないリサイクル方法を検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 121

1	事業名	一般廃棄物処理事業	コード	01	04	02	02	01	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、事業者、一般廃棄物、尾三衛生組合
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町内から発生する一般廃棄物を、計画的、衛生的かつ効率的に収集・運搬し、適正に処理できるようにします。また、焼却施設などで処理しなければならないごみの量を抑制するようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	一般廃棄物処理事業	
		(1) 計画収集等 町内全域で、家庭系ごみは町指定ごみ袋により衛生的な収集（可燃ごみは週2回、金属類は月2回、陶磁器・ガラスは月1回）を行い、事業者ごみは許可業者による収集を行い、尾三衛生組合等に搬入し、処分しました。粗大ごみは、電話予約により受付後、毎週1回戸別有料方式で収集を行い、尾三衛生組合に搬入し、処分しました。 [尾三衛生組合へのごみ搬入量(家庭系及び事業者系の合計。直接搬入を含む。)] ア 可燃ごみ 10,511t (うち計画収集 7,394t) イ 金属類 237t (うち計画収集 237t) ウ 陶磁器・ガラス 129t (うち計画収集 129t) エ 乾電池・蛍光管 12t (うち計画収集 -t) オ 粗大ごみ 579t (うち計画収集 71t) (2) 指定ごみ袋 ごみ収集のための指定ごみ袋を印刷し指定ごみ袋の販売(ごみ処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。 委託店舗数 75店舗 (3) 尾三衛生組合負担金 ア 尾三衛生組合(本町、日進市及びみよし市で構成する一部事務組合)の運営に必要な負担金を支払いました。 イ 組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、管内担当者会議に出席しました。 (4) 令和5年7月から開始するプラスチック資源の分別回収と資源化を実施する為、専用資源袋の作成、新しいごみ出しパンフレットの作成、事業者との調整及び町民へ向けた説明会を実施しました。	

5	活動指標	指標名	処理しなければならないごみ量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明(指標式)	令和元年度	t 11,976.00	t	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	t 12,175.00	t	
				令和3年度	t 11,792.00	t	
				令和4年度	t 11,468.00	t	
6	成果指標	指標名	1人1日当たりの処理しなければならない家庭系のごみ	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			指標の説明(指標式)	令和元年度	g 565.00	g 500.00	一般廃棄物処理計画中間見直しでの目標値
				令和2年度	g 567.00	g 500.00	
				令和3年度	g 550.00	g 500.00	
				令和4年度	g 532.00	g 496.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	359,118,470 円	決算額	359,518,873 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 121
	直接事業費①(②+③+④)	359,118,470	359,518,873	100.1 %	524,571,000	評価の符号
	一般財源②	315,115,070	316,256,073	100.4 %	476,184,987	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	44,003,400	43,262,800	98.3 %	48,386,013	
	概算人件費⑤	11,099,673	7,673,792	69.1 %		
	総合計(①+⑤)	370,218,143	367,192,665	99.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	326,214,743	323,929,865	99.3 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	27,664	28,246	102.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	593,118	608,891	102.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 環境意識の高まりによるごみの減量と分別の取組の結果、ごみの排出量が減少したことから、活動指標及び成果指標が向上しました。 ※ 各指標の有効性は、「処理しなければならないごみの量」及び「処理しなければならないごみの町民1人1日当たりの量」のため、値が減少するほど良い評価となります。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-2.7 %	○
	②成果指標の実績向上度	-3.3 %	○
	③成果指標の目標達成度	7.3 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-0.7 %	○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 外国人に向けたごみの分別方法を多言語(英語・中国語・韓国語)で作成し、YouTubeで公開しました。 また、新たに令和5年7月から開始するプラスチック資源の計画収集に用いる町指定ごみ袋の作成を行い、ごみの出し方パンフレットにプラスチック資源の出し方のコツを加えて作成し、廃棄物減量やリサイクルへの意識啓発を行いました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	家庭から排出されるごみの量は減少傾向にあり、プラスチック資源の計画収集を行うことで、さらなるごみの減量が図られると考えられます。 また、尾三衛生組合の老朽化に伴う施設整備について構成市町とともに検討し、令和16年度から新施設を稼働させることとなりました。今後は新施設の整備内容について、構成市町と尾三衛生組合とで基本構想を策定する必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	ごみの出し方パンフレットにプラスチック資源の袋を同封し、住民がプラスチック資源の分別を始める足掛かりにします。 また、尾三衛生組合構成市と共に、廃棄物処理施設整備基本構想の策定委員会において、施設整備方針について検討していきます。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	プラスチック資源を計画収集することで、これまで可燃ごみとして処理されていたプラスチック類を資源化し、廃棄物の減量を図ります。また、回収されるプラスチック資源の品質保持(ペール検査A評価)を継続できるよう周知活動を行います。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	外国人へ向けのごみの分別方法について、多言語での啓発を実施します。 尾三衛生組合の老朽化に伴う施設整備について、令和16年以後の方針を構成市町と共に検討します。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 122

1	事業名	し尿処理事業	コード	01	04	02	03	01	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、日進美化センター、日進市南部浄化センター
3	どのような状態にしたいのか(意図)	生し尿を適正に収集処理することにより、清潔な生活環境を保持するようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	し尿処理事業	
		(1) し尿処理 し尿汲取券で従量制により収集し、処理施設である日進市南部浄化センターに搬入し、処理しました。 年間収集量 生し尿収集量 218,600kg (参考) 浄化槽汚泥収集量 7,092,710kg (2) し尿汲取券 し尿汲取券の販売(し尿処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。 (3) 日進美化センター・日進市南部浄化センター運営業務委託事業 し尿処理業務について、日進美化センターと日進市南部浄化センターへ運営を委託しました。 (4) 日進市南部浄化センターの施設整備に係る負担金(繰越分)を支払いました。 (5) 日進美化センター既存施設解体費負担金を支払いました。	

5	活動指標	指標名	生し尿収集量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	kg 297,230.00	kg 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	kg 223,540.00	kg	
				令和3年度	kg 225,540.00	kg	
				令和4年度	kg 218,600.00	kg	
6	成果指標	指標名	し尿収集量の処理施設搬入割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 収集したし尿の全てを処理施設へ搬入することを目標とします。
		指標の説明 (指標式)	し尿搬入量÷し尿収集量×100	令和元年度	% 100.00	% 100.00	
				令和2年度	% 100.00	% 100.00	
				令和3年度	% 100.00	% 100.00	
				令和4年度	% 100.00	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	56,574,903 円	決算額	136,284,202 円		



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 122
	直接事業費①(②+③+④)	56,574,903	136,284,202	240.9 %	166,885,000	評価の符号
	一般財源②	55,574,903	135,359,202	243.6 %	165,775,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	1,000,000	925,000	92.5 %	1,110,000	
	概算人件費⑤	924,973	1,252,864	135.4 %		
	総合計(①+⑤)	57,499,876	137,537,066	239.2 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	56,499,876	136,612,066	241.8 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	251	625	249.0 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	564,999	1,366,121	241.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  日進美化センターの解体撤去工事に伴う費用が増加したため、直接事業費が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-3.1 %	○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	141.8 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  日進美化センターについて、跡地を安全に管理できる状態に整備する必要があることから、解体撤去方法や費用について、日進市と協議を進め、令和5年度までに解体工事を実施することとしました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	し尿汲み取り量は減少しているものの、清潔な生活環境を保持するため、生し尿を適正に収集処理していく必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	解体後の日進美化センターの跡地利用について、日進市と協議を行っていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	日進美化センターについて、適正に閉鎖するとともに、跡地を安全に管理できる状態に整備する必要があることから、解体撤去方法や費用について、日進市と協議を進め決定し、解体工事実施に向けた取組を進めていきます。 また、日進市南部浄化センターにおいて、適正に処理を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 123

1	事業名	環境保全事業	コード	01	04	01	05	04	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、自然
3	どのような状態にしたいのか(意図)	緑豊かな東郷町を守り、自然の大切さを感じることができるよう、幼少期から環境に対する学習の機会を提供することで、町民自らが地域に愛着を持ち緑豊かな自然環境が保たれるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 環境保全事業 ホタル生息地の調査を行い、ホームページで公表しました。 (1) 調査回数 3回 (2) 調査場所 町内18か所
		2 環境学習推進事業 例年、環境美化と保全、ごみの減量、リサイクル等を通して、子どもたちが環境や自然について楽しみながら学習できるイベントである「こどもエコばんぱくin東郷」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から内容を縮小して開催しました。 (1) 開催日 10月30日(日) (2) 場所 イーストプラザいこまい館芝生広場 (3) 参加者 約1,000人
		3 第3次東郷町環境基本計画の策定 今後10年間における環境行政の推進を計画的かつ総合的に進めるため環境審議会及びパブリックコメントの実施を経て、令和14年度を目標年次とする第3次東郷町環境基本計画を策定しました。

5	指標名	事業開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
			令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。		
活動指標	指標の説明 (指標式)	ホタル生息地調査及びこどもエコばんぱくの開催回数	令和2年度	回	回			
			令和3年度	2.00	回			
			令和4年度	回	回			
			令和4年度	4.00	回			
6	指標名	環境保全関連事業参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。(ただし、中止等により実績値がない場合は、直近の実績値を目標値とする。)		
			令和元年度	人	2,100.00		人	2,200.00
			令和2年度	人	0.00		人	2,100.00
			令和3年度	人	0.00		人	2,100.00
			令和4年度	人	1,000.00		人	2,100.00
成果指標	指標の説明 (指標式)	こどもエコばんぱくの参加者数	令和2年度	人	人			
			令和3年度	0.00	人			
			令和4年度	人	人			
			令和4年度	0.00	人			
			令和4年度	1,000.00	人			
7	直接事業費計	前年度決算額	1,032,149 円	決算額	6,984,670 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 123
	直接事業費①(②+③+④)	1,032,149	6,984,670	676.7 %	1,121,000	評価の符号
	一般財源②	1,032,149	6,984,670	676.7 %	1,121,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	4,779,026	5,011,457	104.9 %		
	総合計(①+⑤)	5,811,175	11,996,127	206.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	5,811,175	11,996,127	206.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,905,588	2,999,032	103.2 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	11,996	0.0 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	100.0 %	第3次環境基本計画を策定したため、策定支援委託料などの費用が増加し、直接事業費が増加しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送っていた「こどもエコばんぱくin東郷」を実施したことにより、活動指標は向上しましたが、感染症対策の観点から開催形態を縮小したことにより成果指標は低下しました。
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	
	③成果指標の目標達成度	-52.4 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	106.4 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	第2次環境基本計画の計画期間終了に伴い、第2次計画の評価、分析を行い、第3次環境基本計画を策定しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	第3次環境基本計画の策定に伴い、新たに定められた各種施策の進捗を図っていく必要があります。 また、平成15年度から実施していた「こどもエコばんぱくin東郷」について、開催方法の見直しや新たな環境学習の場の提供など、より効果的な事業実施を検討していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	環境学習イベントである「こどもエコばんぱくin東郷」についてその開催方法を見直し、より効率的な形態に変更します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	環境学習イベントの開催内容、手法についてさらに見直しを加えていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和3年度に実施した東郷町環境基本計画基礎調査を基に、第3次環境基本計画を策定します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 124

1	事業名	水質浄化事業	コード	01	04	01	06	01	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	市街化調整区域の町民、子ども、町民、水質
3	どのような状態にしたいのか(意図)	河川等の水質を浄化することによって、水環境への負荷の軽減を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 合併処理浄化槽推進事業 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、市街化調整区域で単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に付替えた者に対して補助金を交付しました。(実績2件、932,000円)	
		2 水質浄化啓発事業 (1) 水質検査 ア 河川の水質汚濁状況を定期的に把握するため、11河川等12か所の水質検査を3回行いました。 イ 水環境の保全に努めるため、生活排水路4か所の水質検査を2回行いました。 (2) 水生生物調査(境川生きものウォッチング) 例年、境川河川敷(交通児童遊園前)において、町内の小学生3~6年生を対象に境川に生息する生物を採取し、その生物指標により水質階級を判定する生活排水の啓発イベントを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和3年度に続き当該年度においても中止しました。	

5	活動指標	指標名	合併処理浄化槽付替件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	基 1.00	基 個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付替件数	令和2年度	基 4.00	基	
			令和3年度	基 4.00	基	
			令和4年度	基 2.00	基	

  

6	成果指標	指標名	境川下流(四ツ塚)の水質(BOD)測定値	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	mg/l 2.73	mg/l 3.00	生活排水対策推進計画に定める目標値(生活環境の保全に関する環境基準に定める河川類型BのBOD基準値(3.0mg/l以下))	
令和2年度	mg/l 2.00	mg/l 3.00					
令和3年度	mg/l 4.57	mg/l 3.00					
令和4年度	mg/l 2.50	mg/l 3.00					

  

7	直接事業費計	前年度決算額	2,527,229 円	決算額	1,505,895 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 124
	直接事業費①(②+③+④)	2,527,229	1,505,895	59.6 %	4,596,000	評価の符号
	一般財源②	1,422,229	804,895	56.6 %	3,338,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	1,105,000	701,000	63.4 %	1,258,000	
	概算人件費⑤	1,927,027	2,349,120	121.9 %		
	総合計(①+⑤)	4,454,256	3,855,015	86.5 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	3,349,256	3,154,015	94.2 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	837,314	1,577,008	188.3 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	732,879	1,261,606	172.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 浄化槽の付替件数の減少に伴い直接事業費が減少し、活動指標が低下しました。境川下流(四ツ塚)においてBOD値が減少したため、成果指標が向上しました。 ※ 成果指標の有効性は「境川の水質測定値」のため、値が減少するほど良い評価となります。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-50.0 %	×
	②成果指標の実績向上度	-45.3 %	○
	③成果指標の目標達成度	-16.7 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-5.8 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 水質事故における対応方法について、近隣市町と合同で研修会を実施し、そこで得た情報からより適切な対応方法を整備しました。また、単独処理浄化槽の合併処理化を推進するよう広報紙により補助制度の普及・啓発を図りました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	町内にある単独処理浄化槽の合併処理化を推進するため、補助制度の啓発に努める必要があります。また、本町区域の大部分を占める境川流域において、BOD値は昨年度から改善し、環境基準を満たしたものとなっております。一方、一時的なBOD値やPH値の急騰が確認されることもあり、より安定的に水質が保全されるよう引き続き事業を継続していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	小学生向け啓発イベントである「境川生きものウォッチング」について、より学習効果を高めるため、有識者を講師として起用します。 また、水質事故に対しより適切な対応が取れる体制を整備します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	水質浄化については東郷町の視点のみでなく、流域自治体との情報交換を密にすることにより、流域全体の水質浄化を考えた啓発事業を検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	公共用水域の水質汚濁を防止するため、単独処理浄化槽の合併処理化を推進するよう広報紙等により補助制度の普及・促進を図ります。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 125

1	事業名	公害対策事業	コード	01	04	01	06	02	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	事業者、町民、土壌・騒音・振動・悪臭などの原因
3	どのような状態にしたいのか(意図)	発生した公害が早期に解決され、良好な生活環境が保全されるようにします。また、有害物質による土壌汚染や土砂の流出等による災害の発生が未然に防止されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 公害等対策事業 生活環境に悪影響を及ぼす公害を監視し、町民の生活環境を良好に保つとともに、通報に対して直ちに調査し対処しました。 (1) 公害苦情件数 5件(典型7公害等に関するもの) (2) 東郷町土質等規制条例許可申請件数 0件
		2 騒音対策事業 (1) 届出の受付 騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例(以下「愛知県条例」。)に基づく騒音・振動などの届出を受け、監視するとともに監視先に対する苦情処理を行い、快適な生活環境を守りました。 ア 特定施設の設置届出件数 0件(前年度比±0件) イ 愛知県条例に基づく悪臭関係工場等の届出件数 3件 ウ 特定建設作業実施届出件数 (ア) 騒音規制法に基づく届出 122件 (イ) 振動規制法に基づく届出 62件 (ウ) 愛知県条例に基づく届出 439件 (2) 騒音測定等 町内の幹線道路の騒音状況を把握するため、町内6路線8地点の騒音測定を実施し、町民の健康及び生活環境の保全を図りました。
		3 環境放射線対策事業 平成23年の福島第1原子力発電所の事故以降、町内の空間放射線量を監視するため測定し、公表しました。 6施設で空間放射線量を測定しました。 測定日: 令和5年1月5日
		4 自動車排出ガス濃度調査事業 愛知県の調査制度を利用し、大気環境測定車による調査を実施し、公表しました。 (1) 調査地点: 東郷町大字春木字弥計511-1 (2) 調査期間: 令和4年7月5日(火)から7月27日(水)まで

5	活動指標	指標名	公害苦情処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	件 3.00	件 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	件 8.00	件	
				令和3年度	件 8.00	件	
				令和4年度	件 5.00	件	
6	成果指標	指標名	苦情解決率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 発生した苦情は100%解決を目指します。
				令和元年度	% 100.00	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	(苦情件数-未解決件数) ÷ 苦情件数 × 100	令和2年度	% 100.00	% 100.00	
				令和3年度	% 100.00	% 100.00	
				令和4年度	% 100.00	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	901,378 円	決算額	722,857 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 125
	直接事業費①(②+③+④)	901,378	722,857	80.2 %	1,196,000	評価の符号
	一般財源②	901,378	722,857	80.2 %	1,196,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	3,237,405	3,132,161	96.7 %		
	総合計(①+⑤)	4,138,783	3,855,018	93.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	4,138,783	3,855,018	93.1 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	517,348	771,004	149.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	41,388	38,550	93.1 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×	

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 苦情解決率について増減がなかったことから、成果指標に変動はありませんでした。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-37.5 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-6.9 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 公害に係る根拠法令で様々な解釈ができるものについて、法規の内容整理、近隣市町との情報交換により、基準を明確に把握し適切な住民対応を行いました。また、悪臭公害に対して、その解決の一助とするため、新たに臭気指数の測定関連機器の整備を行いました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	本町における公害行政については、近年の急速な都市化、生活様式の変化等により多様化しています。 公害苦情の内容も、工場等からの騒音、粉塵などの比較的規模の大きいものから、隣の家からの騒音、犬のフン害など、より生活に密着したものに変化してきています。 こういった公害苦情の性質の変化に伴い、その対応もより多様化しているため、今後の事業の継続においては、常に対応方法のアップデートが求められます。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	公害に係る根拠法令は、法規文だけでは明確な解釈ができない部分が多いことから、その対応をより適切かつ明確なものとするため、顧問弁護士への相談、研修への参加、書籍の購入などを行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	公害対策を適切に行うため、愛知県や近隣自治体との事例研究を継続し、担当職員の実地研修に関する知識を増やすよう努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	典型7公害の一つである悪臭公害に対して、その解決の一助とするため、新たに臭気指数の測定関連機器の整備を行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 126

1	事業名	地域環境対策事業	コード	01	04	02	01	01	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	④ まちの環境美化と不法投棄対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、町内通行者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	ポイ捨てや不法投棄のない清潔な生活環境を保持します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 地域環境美化事業</p> <p>(1) 犬猫等動物死骸処理 公道等における交通事故等で死亡した犬猫等の死骸を処理しました。 処理件数 121件</p> <p>(2) 地域清掃活動用ごみ袋の配布 地域清掃や公共の場をボランティアで清掃される方に、専用のごみ袋を配布しました。 申請件数 105件</p> <p>2 不法投棄監視等事業 不法投棄が多い不法投棄重点監視区域を中心に、町内を監視パトロールしたほか、不法投棄物や散乱ごみを回収及び運搬しました。 (1) パトロール日数 145日 (2) 不法投棄確認件数 126件 (3) 回収した不法投棄物の重量 8,500kg</p> <p>3 クリーンアップキャンペーンの実施 廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員、一般参加者との協働により、清掃活動を行いながら廃棄物の減量について学びました。 令和4年5月29日 清掃地区：諸輪 参加者：23名 令和4年10月16日 清掃地区：白鳥・御岳 参加者：22名</p>	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	不法投棄物確認件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	件 135.00	件 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	不法投棄監視で確認した不法投棄物の件数	令和2年度	件 193.00	件	
				令和3年度	件 189.00	件	
			令和4年度	件 126.00	件		
6	成果指標	指標名	不法投棄物の年間処理量	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間における実績値の 平均値
				令和元年度	kg 8,780.00	kg 9,650.00	
		指標の説明 (指標式)	不法投棄監視で回収した不法投棄物の年間処理量	令和2年度	kg 9,740.00	kg 9,293.00	
				令和3年度	kg 9,690.00	kg 9,320.00	
			令和4年度	kg 8,500.00	kg 9,403.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	4,582,651 円	決算額	5,051,950 円		

項 目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 126
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	4,582,651	5,051,950	110.2 %	5,510,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	3,425,871	3,922,970	114.5 %	4,286,987	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,156,780	1,128,980	97.6 %	1,223,013	
	概算人件費⑤	1,310,378	1,252,864	95.6 %		
	総合計(①+⑤)	5,893,029	6,304,814	107.0 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	4,736,249	5,175,834	109.3 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	25,060	41,078	163.9 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	489	609	124.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	不法投棄監視パトロールで確認した不法投棄物の件数、不法投棄物の年間処理量が共に減少したことから、活動指標及び成果指標が向上しました。 ※ 各指標の有効性は「不法投棄物確認件数」及び「不法投棄物の年間処理量」のため、値が減少するほど良い評価となります。	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-33.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	-12.3 %		○
	③成果指標の目標達成度	-9.6 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.3 %	△	
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員と町民が協働でゴミ拾いを行うクリーンアップキャンペーンを実施し、ごみを拾いながらごみ問題について考えていただきました。予めどのようなものを拾ってほしいか等、注意点や実施のメリットを説明する時間を設け、より安全に事業ができるよう内容の充実に図りました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	清掃活動ボランティア支援制度「クリーンサポート東郷」の新規登録団体数が、令和4年度は1件であったことから、日頃から自主的に清掃活動を実施している町民へ向けて制度を周知する必要があります。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休 廃 止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本 年 度 1 (令和5年度) の改善内容	「クリーンサポート東郷」について、活動内容がわかりやすいものになるよう周知内容を変更します。また、クリーンアップキャンペーンの開催時期や募集内容を改め、より多くの町民に参加してもらえるよう検討します。
来 年 度 2 (令和6年度) 以降の方向性	自主的に地域を清掃して下さる町民を増やすため、引き続き、クリーンサポート東郷の周知・啓発を行い、登録団体数の増加を目指します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	登録団体や一般の方が集まって一緒に清掃活動が行えるような機会を設けます。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 127

1	事業名	地域公共交通事業	コード	01	02	01	09	02	-
2	担当部課	企画部	未来プロジェクト課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	01 公共交通を利用しやすくする						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	巡回バス等利用者、町民
2	働きかける相手(対象)	巡回バス等施設、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民の移動手段を確保し公共交通の利用が不便な地区を解消するとともにその利便性を高め、町内交流の促進及び町内の活性化を図ります。 町民の大規模病院へのアクセス利便性の向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 巡回バス運行事業</p> <p>(1) バスターミナルを発着とした巡回バス路線を運行しました。</p> <p>運行便数 13,907便 乗車人数 170,558人 料金収入 5,368,033円</p> <p>(2) バスターミナルと藤田医科大学病院を結ぶ東郷・藤田医大バスを運行しました。</p> <p>運行便数 1,458便 乗車人数 3,516人 料金収入 742,152円</p> <p>2 地域公共交通関係事業</p> <p>(1) 町民の生活に必要なバス等の旅客輸送を確保し利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、地域公共交通会議を開催しました。 第1回 令和4年5月23日 内容：生活交通確保維持改善計画等 第2回 令和4年12月16日 内容：地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価等</p> <p>(2) 名鉄バス星ヶ丘・豊田線（東西線）の継続的な運行に必要な補助金を支出しました。</p> <p>運行便数 4,743便 乗車人数 32,344人</p> <p>(3) 日進市、みよし市、長久手市、豊明市、東郷町の5市町の広域連携による公共交通に関する会議（尾三地区広域公共交通推進会議）を行いました。 第1回 令和5年1月17日 内容：尾三地区の公共交通利用促進グッズの作成について等 第2回 令和5年3月16日 内容：尾三地区の公共交通利用促進グッズの作成と共同イベントの実施について等</p> <p>(4) 高齢者等の移動弱者に対する支援として、デマンドタクシーの本格運行を令和4年7月から行いました。</p> <p>登録者数 1,027人 利用回数 5,665回 延べ利用者数 7,221人 ※ 上記の実績は、令和4年7月1日から令和5年3月31日までのものです。</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	巡回バスの年間走行距離	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	km 236,511.60	km 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	km 236,936.00	km
			令和3年度	km 219,934.00	km
			令和4年度	km 220,122.00	km

6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	巡回バス年間延べ利用者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	人 184,684.00	人 154,000.00	東郷町地域公共交通計画による目標値（令和2年度以前は第5次総合計画による目標値）
			令和2年度	人 143,738.00	人 154,000.00	
			令和3年度	人 150,793.00	人 150,000.00	
			令和4年度	人 170,558.00	人 150,000.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	101,232,480 円	決算額	125,060,462 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 127
	直接事業費①(②+③+④)	101,232,480	125,060,462	123.5 %	103,633,000	評価の符号
	一般財源②	100,203,680	113,682,862	113.5 %	102,288,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	1,028,800	11,377,600	1,105.9 %	1,345,000	
	概算人件費⑤	19,424,423	19,463,640	100.2 %		
	総合計(①+⑤)	120,656,903	144,524,102	119.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	119,628,103	133,146,502	111.3 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	544	605	111.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	793	781	98.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	新型コロナウイルス感染拡大に関する行動変容及び令和3年4月1日に再編した巡回バス路線の定着により、利用者数が増加したため、成果指標は向上しました。 また、老朽化した巡回バスの修理費用の増加、巡回バスの購入(車両の入替え)等により、直接事業費が増加しました。
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.1 % ○	
	②成果指標の実績向上度	13.1 % ○	
	③成果指標の目標達成度	13.7 % ○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	11.3 % ×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	△	令和2年度からの3度の実証実験の結果を踏まえ、令和4年7月からデマンドタクシーの本格運行を開始しました。 ららぽーと愛知東郷、イオン三好店の協賛により、巡回バス、東郷・藤田医大バス、名鉄バス星ヶ丘・豊田線(東西線)の利用促進イベントを実施しました。 コミュニティ助成事業助成金を活用し、巡回バス車両を1台購入しました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
	継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症に関する行動規制等の緩和により、公共交通利用者数が回復傾向にあります。公共交通の利用の増加に合わせて利用促進を行う必要があります。 デマンドタクシーの本格運行を開始しましたが、利用状況等について引き続き分析を行います。	
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
	休廃止 <input type="checkbox"/>		

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	地域公共交通計画の中間評価に伴う、公共交通の住民アンケート、利用者アンケート、乗降調査、乗継ぎ調査等を行い、町民及び公共交通利用者の移動需要を把握します。 令和6年度以降のコミュニティバスの運行事業者の選定を行います。 近隣自治体や商業施設と連携して公共交通の利用促進を行います。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	令和5年度に実施する地域公共交通計画中間評価の結果を踏まえ、次期計画策定のための町の公共交通の課題と展望を整理します。 利用者の安全で快適な輸送のため、国庫補助金を活用しながら既存の巡回バス車両の入替えを順次行います。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和4年7月1日から、デマンドタクシーの本格運行を行います。 巡回バス、東郷・藤田医大バス、名鉄バス星ヶ丘・豊田線(東西線)の利用促進のため、商業施設の協賛を得ながら、利用促進イベントを実施します。 また、利用者の安全で快適な輸送のため、既存の巡回バス車両1台に替えて、新たに巡回バスを1台購入します。



一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 128

1	事業名	道路維持管理事業	コード	01	08	02	02	01	-
2	担当部課	都市建設部	維持管理課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人
2	働きかける相手(対象)	道路
3	どのような状態に したいのか(意図)	道路の機能を適正に維持することにより、車両、歩行者等の通行の円滑化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	道路維持管理事業	
		(1) 道路維持管理用消耗品を購入しました。 草刈り機替刃、側溝蓋用敷ゴム等 (2) 道路維持作業車の法定点検、修理しました。 (3) 工事等により変更された内容を道路台帳に反映し、一般公開（町HP掲載、窓口用パソコン設置）しました。 補正 2.45km、台帳製本 1部 (4) 道路の除草及び剪定を委託しました。 愛知池線外17路線 除草 13,762㎡ 芝生刈込 417㎡ 剪定（中高木） 663本 剪定（低木） 3,182㎡ (5) 道路損傷箇所等の維持修繕を行いました。 舗装工事 2,278.3m 側溝工事 328.4m (6) 道路補修用資材を購入しました。 側溝蓋、再生砕石、常温・加熱合材、セメント等 (7) 町LINE公式アカウント「道路等の損傷投稿」による情報提供（47件）があり、修繕等を実施しました。	

5	活動指標	指標名	道路施設修繕、整備延長	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	m	m	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	2,749.00	m		
			令和3年度	m	m		
			令和4年度	2,802.00	m		
令和4年度	3,004.80	m	2,606.70				
6	成果指標	指標名	工事発注件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件数	件数	42.00	
			令和2年度	35.00	件数	39.00	
			令和3年度	件数	件数	40.00	
			令和4年度	25.00	件数	件数	
令和4年度	40.00	33.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	112,755,748 円	決算額	94,894,192 円		



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 128
	直接事業費①(②+③+④)	112,755,748	94,894,192	84.2 %	111,306,000	評価の符号
	一般財源②	81,343,131	55,194,713	67.9 %	71,737,000	
	起債③	0	0	0.0 %	11,100,000	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	31,412,617	39,699,479	126.4 %	28,469,000	
	概算人件費⑤	26,322,490	22,429,254	85.2 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	139,078,238	117,323,446	84.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	107,665,621	77,623,967	72.1 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	35,831	29,779	83.1 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,306,625	1,940,599	45.1 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  舗装等維持補修工事について、金額の少ない工事を多く発注したことに伴い、成果指標が向上しました。昨年度と比較して区画線の延長が減少したことから活動指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-13.2 %	×
	②成果指標の実績向上度	60.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	21.2 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-27.9 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  コストを抑える工法の検討や、直営にて補修対応することにより、直接事業費が減少しました。また、横断歩道橋の長寿命化修繕計画を見直し、更新しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	道路施設の老朽化が進行しています。引き続き要望箇所を精査し、限られた予算の範囲内で効果が発揮できるように工夫していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	草刈りに関する要望件数が多いため、防草対策を検討していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、交通量の多い幹線道路について、計画的に補修工事を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	道路施設の延命化を図るため、長寿命化修繕計画の内容を見直し、更新します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 129

1	事業名	橋りょう維持管理事業	コード	01	08	02	04	01	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	橋を利用する人
2	働きかける相手(対象)	橋りょう施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	橋の機能を適正に維持することにより、安全に通行できる状態を保ちます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	橋りょう維持管理事業 (1) 橋りょう定期点検業務を委託しました。 18橋(郡界橋外17橋) (2) 橋梁補修設計業務を委託しました。 1橋(申下橋)	

5	活動指標	指標名	橋りょう補修に関する事業 件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	1.00	件	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	1.00	件		
				令和3年度	0.00	件		
				令和4年度	1.00	件		
6	成果指標	指標名	点検橋りょう面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 点検を必要とする橋りょう (5,545.9m <sup>2</sup> 、86橋)を5年 に1度点検する。	
		指標の説明 (指標式)	(点検を必要とする橋りょう 面積(m <sup>2</sup> ) / 5)	令和元年度	1,018.10	m <sup>2</sup>		1,109.18
				令和2年度	1,282.00	m <sup>2</sup>		1,109.18
				令和3年度	1,336.40	m <sup>2</sup>		1,109.18
				令和4年度	1,519.00	m <sup>2</sup>		1,109.18
7	直接事業費計	前年度決算額	3,225,200 円	決算額	9,284,000 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 129
	直接事業費①(②+③+④)	3,225,200	9,284,000	287.9 %	13,178,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	2,152,200	6,468,000	300.5 %	8,878,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	1,073,000	2,816,000	262.4 %	4,300,000	
	概算人件費⑤	3,941,699	3,971,499	100.8 %		
	総合計(①+⑤)	7,166,899	13,255,499	185.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	6,093,899	10,439,499	171.3 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	10,439,499	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,560	6,873	150.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋りょう点検と修繕が必要な橋りょうの補修設計を実施したことから、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	13.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	36.9 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	71.3 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  橋りょう点検に係る事業費を抑えるため、新技術(ドローン撮影)を活用しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	道路交通の安全確保に向けて、今後も新技術を積極的に活用していくことで橋りょう点検に係るコストを縮減していくとともに、予防保全段階の橋りょうにおいて補修工事を実施することで、事業費の縮減を図っていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	橋りょう補修設計において、新技術の活用を検討し、補修工事に係るコストの縮減を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょう点検及び補修設計を進めていくことで、道路交通の安全確保に努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	橋りょう補修設計において、新技術の活用を検討し、補修工事に係るコストの縮減について検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 130

1	事業名	開発推進事業	コード	01	08	04	03	02	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	① まちの顔となる都市拠点の形成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
2	働きかける相手(対象)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
3	どのような状態に したいのか(意図)	経済動向に左右されることなく、時代の変化に合わせた実現性の高い土地利用を展開し、地区を一体的に整備することにより、快適で活気あふれるまちになるようにします。また、集約型都市構造への転換を目指し、魅力ある「まちの中心核」の形成を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 開発事業一般事務事業 (1) 愛知県土地区画整理組合連合会の研修会等へ3回参加しました。 (2) 尾東土地区画整理事務研究協議会の研修会等に3回参加しました。 (3) 公益財団法人愛知県都市整備協会の研修会等に1回参加しました。 (4) まちづくりを円滑に推進するため、県等関係機関との連絡・調整を行うとともに、まちづくりに関する相談に対応しました。 (5) 土地区画整理事業地内の建築行為に係る土地区画整理法第76条に基づく許可事務を行いました。(47件)
		2 東郷町まちづくり推進事業 (1) 土地区画整理事業への技術的支援 ア 東郷中央土地区画整理事業 (7) 組合が開催する総代会、役員会、委員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (4) 組合が発注する工事等の設計・積算等に対し指導を行いました。 (9) 組合が県に提出する第8回事業計画変更認可申請に係る県との調整等を実施しました。 イ 東郷和合知々釜土地区画整理事業 (7) 組合が開催する総会、役員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (4) 組合が県に提出する解散認可申請に係る県との調整等を実施しました。 (2) 社会資本整備総合交付金事業 ア 都市計画道路建設負担金 東郷中央土地区画整理組合が施工する都市計画道路名古屋春木線に係る補助金の一部を負担しました。 負担額 8,250,000円(町負担割合 2.5/10) イ 東郷町土地区画整理事業助成金 同要綱に基づき、東郷中央土地区画整理組合に対し助成しました。 助成額 39,067,200円 (3) 東郷町エコまちづくり計画の推進 本計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗を管理しました。

5	活動指標	指標名 東郷中央土地区画整理組合の各種会議への出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回 51.00	回 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	回 49.00	回	
			令和3年度	回 44.00	回	
			令和4年度	回 30.00	回	
6	成果指標	指標名 事業進捗率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 事業計画の年度別資金計画を目標値としました。
			令和元年度	% 77.70	% 66.99	
			令和2年度	% 86.80	% 84.03	
			令和3年度	% 93.40	% 92.05	
			令和4年度	% 97.13	% 95.26	
7	直接事業費計	前年度決算額	184,218,429 円		決算額	47,409,560 円
			184,218,429 円			
			184,218,429 円			
			184,218,429 円			
			184,218,429 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 130
	直接事業費①(②+③+④)	184,218,429	47,409,560	25.7 %	114,000	評価の符号
	一般財源②	84,996,429	2,976,560	3.5 %	114,000	
	起債③	58,700,000	24,900,000	42.4 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	40,522,000	19,533,000	48.2 %	0	
	概算人件費⑤	17,343,474	14,456,258	83.4 %		
	総合計(①+⑤)	201,561,903	61,865,818	30.7 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	161,039,903	42,332,818	26.3 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	3,659,998	1,411,094	38.6 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,724,196	435,837	25.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 事業の進捗により会議が減少したことに伴い、活動指標が低下しました。 東郷中央土地区画整理組合に対する町の助成が令和3年度繰越分のみであったことから直接事業費が減少しました。
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-31.8 %	×
	②成果指標の実績向上度	4.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	2.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-73.7 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 東郷中央土地区画整理事業の事業計画変更に向けた支援を行いました。 東郷和合知々釜土地区画整理事業の解散に向けた支援を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	東郷中央土地区画整理事業については、令和4年度(令和3年度繰越分)をもって社会资本整備総合交付金及び町の助成金が終了しましたので、事業完了に向け、引き続き事業の進捗確認及び事業費の精査等を行っていく必要があります。 東郷町エコまちづくり計画の最終年度(令和5年度)に向け、メニューごとの事業進捗に応じ、庁内、組合等と連携し、取りまとめを進める必要があります。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	東郷中央土地区画整理事業の進捗に伴い、補助事業などは終了し、令和7年度末の組合解散に向けた土地区画整理事業への支援が中心となるため、都市計画調査決定事業に統合します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	東郷町エコまちづくり計画の事業メニューについて、その実行性及び今後の対応策を庁内及び組合等と連携し、検討を進めます。 また、東郷和合知々釜土地区画整理事業については、本年度の解散に向け支援します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 131

1	事業名	都市計画調査決定事業	コード	01	08	04	01	03	-
2	担当部課	都市建設部	都市計画課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	② 秩序あるまちの形成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2	働きかける相手(対象)	関係機関職員、町都市計画審議会委員、地区まちづくり団体及び町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	健全で秩序あるまちづくりを目指し、土地利用のあり方や道路・公園の整備等について計画を策定することにより、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを誘導します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	都市計画調査決定事業 (1) 都市計画基礎調査 5年サイクルの2年目として、町で実施する調査項目として次の2項目を実施しました。 ア 建物利用現況調査 イ 地区別新築状況調査  (2) 東郷セントラル地区の都市計画の変更 ア 変更をした都市計画 (ア) 用途地域の変更 (イ) 東郷セントラル地区計画の変更 イ 変更の時期 令和5年3月24日 ウ 手続 (ア) 地区計画の変更の縦覧 令和4年11月28日から12月12日まで (イ) 都市計画の変更の縦覧 令和5年1月11日から同月25日まで (ウ) 都市計画審議会 令和5年2月7日開催  (3) 都市計画基本図修正等委託業務 ア 最新の地形などの現況を反映させるために都市計画基本図データ等の更新及び印刷をしました。 イ 都市計画を窓口等で閲覧できる都市計画支援システムを導入しました。  (4) 諸輪東部丘陵まちづくり意向調査業務 (都)日進三好線の沿線地域において、将来的な土地利用の可能性を調査しました。 ア (仮)まちづくり検討会の開催(令和4年10月29日、12月17日、令和5年2月18日、3月4日) イ 地権者まちづくり意向調査の実施(配布326票、回答数192票)			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	会議への出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	都市計画関係の会議への出席回数	令和元年度	7.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	3.00		
				令和3年度	2.00		
				令和4年度	3.00		
6	成果指標	指標名	愛知県都市計画基礎調査委託業務項目数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	愛知県都市計画基礎調査における町で実施した調査項目数	令和元年度	2.00	2.00	愛知県都市計画基礎調査における調査項目数
				令和2年度	0.00	0.00	
				令和3年度	2.00	2.00	
				令和4年度	2.00	2.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,204,600 円	決算額	17,530,814 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 131
	直接事業費①(②+③+④)	1,204,600	17,530,814	1,455.3 %	3,426,000	評価の符号
	一般財源②	1,204,600	17,530,814	1,455.3 %	3,426,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	15,671,356	15,875,119	101.3 %		
	総合計(①+⑤)	16,875,956	33,405,933	197.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	16,875,956	33,405,933	197.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	8,437,978	11,135,311	132.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	8,437,978	16,702,966	197.9 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	新型コロナウイルス感染症への対策が進み、各種会議の開催が以前よりも増加したため、活動指標が向上しました。 都市計画基本図修正等委託業務及び諸輪東部丘陵まちづくり意向調査業務の実施により、直接事業費が増加しました。
2 有効性	①活動指標の実績向上度	50.0 % ○	
	②成果指標の実績向上度	0.0 % ○	
	③成果指標の目標達成度	0.0 % ○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	97.9 % ×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	都市計画マスタープランに掲げるまちづくりの目標の実現のため、東郷中央土地区画整理事業区域内の沿道サービスゾーンについて、用途地域等の都市計画の見直しを行いました。 諸輪東部丘陵地域のまちづくりの機運を高めるため、地権者の意向調査及び地区関係者への勉強会等を開催しました。 都市計画支援システムを導入し、窓口やインターネット上で都市計画情報の提供をスタートしました。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価 コメント		
	継続実施 <input type="checkbox"/>	持続可能なまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランや立地適正化計画を基本とし、社会情勢の変化に対応したまちづくりを進める必要があります。新たな土地利用の可能性について、本町東部の諸輪東部丘陵地域においては、企業ニーズや地権者意向を踏まえたまちづくりの検討を進めるとともに、既存の市街化区域における都市計画についても必要に応じて適宜見直すなど機動的に対応することが必要です。	
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
	休廃止 <input type="checkbox"/>		

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	諸輪東部丘陵地域のまちづくり検討に係る調査結果や愛知県総合教育センター跡地利用に係る愛知県の調査結果を踏まえ、都市計画マスタープランの部分改定を行います。 また、本町東部地域の土地利用に関し、諸輪東部丘陵地域のまちづくりの機運を高めるため、検討会等を開催します。 その他都市計画法第34条第12号の開発許可に関する県条例に基づく区域指定の手続について、企業の進出意向を踏まえ、新たな区域指定の手続を行います。 都市計画支援システムの庁内向け研修を実施し、同システムの幅広い運用を図ります。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	都市計画マスタープランに掲げるまちづくりの目標の実現のため、立地適正化計画と連携した誘導施設の誘導を検討するとともに、個別のまちづくりに関する施策の推進を図ります。 引き続き諸輪東部丘陵地域のまちづくり検討を行い、将来の土地利用の方針や長期未着手の都市計画道路整備などを検討します。 また、新市街地候補地において企業の進出意向が固まった場合には、民間企業と連携し、産業系用地の確保に向けた都市計画の手続を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	都市計画マスタープランのまちづくりの目標の実現のため、東郷中央土地区画整理事業区域内の沿道サービスゾーンについて、用途地域等の都市計画の見直しを行います。 本町東部地域の土地利用に関し、地域のまちづくりの機運を高めるため、地権者の意向の把握をするとともに勉強会等を開催します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 132

1	事業名	建築指導事業	コード	01	08	04	01	04	-
2	担当部課	都市建設部	都市計画課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	04 良好な住環境をつくる						
		施策の展開方向	① 市街地の住環境の向上						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2	働きかける相手(対象)	宅地造成事業及び住宅等建設事業を施行する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	秩序あるまちづくりを図るとともに、町民の快適な生活環境の確保に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建築確認関係事業 (1) 都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法等の許認可申請の受付事務 ア 開発行為許可申請 12件 イ 建築物の新築等許可申請 24件 ウ 宅地造成に関する工事の許可申請 3件 エ 建設リサイクル届 83件 (2) 屋外広告物に関する事務 ア 許可申請 17件 イ 違反広告物の簡易除却 0件(月1回町内巡回) (3) 宅地開発、建築事業計画の指導事務 ア 「開発行為及び土地利用の調整に関する条例」に基づく事前協議を審査しました。(38件) イ 建築基準法道路の指定状況の問い合わせの際に使用する地図を更新しました。 (4) 建築指導 愛知県尾張建設事務所の担当職員と建築に関する相談、検査等を実施しました。(70件) (5) 空き家対策事務 ア 被相続人居住者家屋等確認書を交付しました。(13件) イ 空き家の疑いのある建物の所有者へ適正管理を依頼する文書を送付しました。(10件)	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	会議への出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	7.00	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	建築指導事業関係の会議への出席回数	令和2年度	8.00		
				令和3年度	8.00		
				令和4年度	7.00		
6	成果指標	指標名	許認可受付件数	年度	実績値	目標値	実績値の直近3年の平均値
				令和元年度	178.00	179.00	
		指標の説明 (指標式)	許認可申請等の受付処理件数	令和2年度	217.00	189.00	
				令和3年度	206.00	198.00	
				令和4年度	187.00	200.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,154,893 円	決算額	1,089,994 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 132
	直接事業費①(②+③+④)	1,154,893	1,089,994	94.4 %	1,203,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	626,993	861,594	137.4 %	902,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	527,900	228,400	43.3 %	301,000	
	概算人件費⑤	9,794,597	8,731,315	89.1 %		
	総合計(①+⑤)	10,949,490	9,821,309	89.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	10,421,590	9,592,909	92.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,302,699	1,370,416	105.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	50,590	51,299	101.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 社会情勢の変化に伴う経済活動の減退の影響により、開発に係る許認可や届出件数の減少に伴い、成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-12.5 %	×
	②成果指標の実績向上度	-9.2 %	△
	③成果指標の目標達成度	-6.5 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-8.0 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 開発行為及び土地利用の調整に関する条例の手続について、ホームページの充実や窓口対応マニュアル等を作成し、事務の効率化を図りました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町内の土地利用について、秩序ある土地利用の推進及び住環境の向上を図るため、開発行為及び土地利用の調整に関する条例に基づく事前協議の手続を適正に行うことが必要です。開発許可や建築許可事務は県の許可事務ではありますが、その手続の初期相談を町がスムーズに対応することで、町内の土地利用が効率的に進められるよう努めます。		
一部見直し <input type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	開発行為及び土地利用の調整に関する条例を適正に運用するため、必要な措置を検討します。また、問合せにスムーズに対応するため、引き続き建築に関する資料の整理やデータベース化等を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	開発行為及び土地利用の調整に関する条例の手続きについて、ホームページの充実や窓口対応マニュアル等を作成し課内共有することで、問合せに対して迅速に対応するとともに事務の効率化を図ります。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 134

1	事業名	農業振興一般事業	コード	01	06	01	03	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農業者、農業関係団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各種の農業施策事業を展開し、担い手農家の育成や特産品の開発・普及を進め、農業の活性化が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 農業振興一般事業 (1) 農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全活動に対して助成しました。 ・環境保全型農業直接支払交付金 428,800円（3団体） (2) 認定新規就農者に補助金を交付しました。 ・農業次世代人材投資資金（経営開始型） 3,071,936円（3経営体） (3) 軽トラ市を新型コロナウイルス感染症対策を講じて町内各所で開催し、地産地消の推進を図りました。 (4) 令和3年度に実施した基礎調査をもとに、東郷農業振興地域整備計画を策定しました。
		2 有機農業推進事業 有機農業の推進を図るため、国の有機農業産地づくり推進緊急対策事業を活用し、有機農業の生産から消費まで一貫した取組を試行的に実施しました。 農業者、事業者、消費者、専門家等の関係者で組成した会議体で、試行的な取組の検証等を基に協議を重ね、今後5か年の有機農業実施計画を策定し、令和5年3月29日に「オーガニックビレッジ」を宣言しました。 (1) 生産関連の試行的な取組 ア 有機稲作農場視察講習会 イ 有機稲作講習会（令和4年10月から毎月開催） ウ 営農支援クラウドサービスの試行導入 エ オーガニックプロデューサーによる有機農業相談会 オ 有機農業新規就農者個別相談会 カ 団地化するほ場の田畑転換 キ 農業用機器のレンタル ク 露地野菜のデータ駆動型栽培の比較検証 (2) 加工・流通関連の試行的な取組 オーガニックマルシェの開催 令和4年11月（文化産業まつり） 出店者：8戸 (3) 消費関連の試行的な取組 ア 親子有機野菜づくり体験事業 令和4年6月から令和5年3月まで 参加者：親子10世帯37人 イ 保育園での自然栽培と園児との交流 令和4年6月、7月、10月 参加者：38人 ウ 段ボールコンポスト講座 令和4年7月、8月、11月 参加者：21人 エ 有機野菜の食育料理教室 令和4年12月 参加者：12人 オ オーガニックセミナーの開催 令和5年3月 参加者：39人 カ 有機農業PR動画の作成 令和5年3月

5	活動指標 指標名 指標の説明 (指標式)	町内有機農業者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	戸	戸	
			令和2年度	戸	戸	
			令和3年度	12.00	戸	
		令和4年度	15.00	戸	東郷町有機農業実施計画の目標値 計画策定：令和4年度 計画期間：令和5年度～令和9年度 目標値（令和9年度末）：35戸	
6	成果指標 指標名 指標の説明 (指標式)	有機農業取組面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	ha	ha	東郷町有機農業実施計画の目標値
			令和2年度	ha	ha	計画策定：令和4年度 計画期間：令和5年度～令和9年度
			令和3年度	6.38	ha	目標値（令和9年度末）：28.6ha
		令和4年度	7.05	ha		
7	直接事業費計	前年度決算額	23,091,436 円	決算額	15,402,300 円	



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 134 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	23,091,436	15,402,300	66.7 %	15,132,000	
	一般財源②	5,382,720	7,335,063	136.3 %	4,258,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	17,708,716	8,067,237	45.6 %	10,874,000	
	概算人件費⑤	12,730,645	15,134,852	118.9 %		
	総合計(①+⑤)	35,822,081	30,537,153	85.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	18,113,365	22,469,916	124.1 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,509,447	1,497,994	99.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,839,085	3,187,222	112.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	農業振興地域整備計画の策定及び有機農業産地づくり緊急対策事業(国庫事業)が本格化したことで、町費投入額が増加しました。 本町で有機農業による営農を希望された農業者を迎え入れたことで、活動指標及び成果指標が向上しました。	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	25.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	10.5 %		○
	③成果指標の目標達成度	%	—	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	24.1 %	×	
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	国庫事業を活用して、有機水稲の研修会、有機農業推進のPR動画等の試行的な取組を実施しました。 有機農業者及び有機農業関係者により組成した会議体で、意見交換を重ねながら、東郷町有機農業実施計画を策定しました。 また、東郷農業振興地域整備計画について、令和3年度に実施した基礎調査に基づき、見直しを行いました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価 コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、優良農地を保全し、美しい緑と潤いある子育て環境を次代に引き継ぐため、国費事業を活用しながら有機農業を推進していきます。 また、令和5年4月1日に農業経営基盤強化促進法が改正され、地域の農業の未来を描く地域計画を令和6年度末までに策定する必要があるため、担い手を始め、農業関係者、地域住民など幅広い関係者と協議し、合意形成を図る必要があります。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	令和6年度末までに地域計画を策定する必要があるため、本町を5地区に分け、1地区をモデル地区とし、モデル地区で地域住民や担い手、農業関係者等幅広い関係者から意向を聞き、合意形成を図りながら地域計画の案を作成します。 その経験を踏まえ、令和6年度に残りの地区について、地域計画案を策定し、それらをとりまとめて、5地区で地域計画を策定します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	有機農業の推進については、引き続き国費事業を活用しながら、町内有機農家等関係者が一丸となって進めていきます。 令和6年度末までに策定する地域計画に沿って、地域の担い手への農地の集約・集積を進めていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	オーガニックビレッジ宣言に向けて、有機農業実施計画策定委員会及び有機農業推進協議会を組成し、町内有機農家のほか、有識者、消費者代表の方等の意見を汲み取りながら計画を策定します。 また、有機農業者に対して、御自身の農法への想いを尊重しながら、町の有機JAS認証取得補助制度の活用を促していきます。 なお、農業振興地域整備計画については、令和3年度に実施した基礎調査を基に計画全体の見直しを行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 135

1	事業名	ふるさと農園管理事業	コード	01	06	01	03	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	ふるさと農園利用者
2	働きかける相手(対象)	ふるさと農園利用者、町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	町民が健康的でゆとりのある日常生活の増進と農業に対する理解を深める足掛かりとして、ふるさと農園について知ってもらい、新たな利用者を増やすとともに、農園がより使いやすく親しみやすい場所として利用されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	ふるさと農園管理事業 農園の貸出し及び農園の維持管理を実施しました。	
		(1) 区画 かがやの里 52区画 (20㎡/1区画) 利用者50人 (利用率 96.2%) かがみだの里 64区画 (20㎡/1区画) 利用者64人 (利用率 100%) (2) 利用料(1区画当たり) 4,000円 (3) 維持管理事業 ア 利用者による草刈り 5月及び12月に実施(参加者 5月:55人 12月:35人) イ 事業者委託によるゴミ集積場所ゴミ運搬処分(令和4年10月)	

5	活動指標	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回数 2.00	回数	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	ふるさと農園維持管理事業数	令和2年度	回数 1.00	回数	
			令和3年度	回数 0.00	回数	
			令和4年度	回数 2.00	回数	

  

6	成果指標	指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	% 89.66	% 100.00	
	指標の説明 (指標式)	ふるさと農園利用率	令和2年度	% 92.00	% 100.00	全区画の利用
			令和3年度	% 99.14	% 100.00	
			令和4年度	% 98.28	% 100.00	

  

7	直接事業費計	前年度決算額	385,255 円	決算額	418,013 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------



8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 135
	直接事業費①(②+③+④)	385,255	418,013	108.5 %	895,000	評価の符号
	一般財源②	-81,545	-35,987	44.1 %	443,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—
	その他④	466,800	454,000	97.3 %	452,000	
	概算人件費⑤	2,284,987	2,186,144	95.7 %		
	総合計(①+⑤)	2,670,242	2,604,157	97.5 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	2,203,442	2,150,157	97.6 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	1,075,078	0.0 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	22,226	21,878	98.4 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  農園の利用率は高い水準となりましたが、令和3年度からわずかに減少したことで、成果指標の実績向上度及び目標達成度は低下しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-0.9 %		△
	③成果指標の目標達成度	-1.7 %		△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-2.4 %		○
	②受益者負担は適切ですか。	○	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>		町民の健康的でゆとりのある日常生活の増進と農業に対する理解を深める足掛かりとするために、引き続き農園を適切に運営していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	ふるさと農園の利用率を引き続き高い水準に維持するため、町ホームページや広報紙の内容を検討し、効果的にPRをしていきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、町民の皆様に使いやすく親しみやすい農園として利用されるよう適切に維持管理をしていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 136

1	事業名	農業用施設維持管理事業	コード	01	06	01	05	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者、町民
2	働きかける相手(対象)	農業用ため池の所有者又は管理者、農業用施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	農業用ため池の管理者等と協力して維持管理を行い、農業用水の安定的な供給に資するとともに自然災害等を未然に防止できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業用施設維持管理事業	
		(1) 町内にある農業用ため池を維持管理するため、5つの地区が実施した農業用ため池の管理事業（堤体の草刈り及び除去）に対し補助しました。 ア 諸輪地区 8か所 7,650㎡ 153,000円 イ 和合地区 2か所 2,238㎡ 44,000円 ウ 傍示本地区 4か所 6,831㎡ 136,000円 エ 祐福寺地区 2か所 3,456㎡ 69,000円 オ 部田地区 2か所 1,425㎡ 28,000円 合計 18か所 21,600㎡ 430,000円 (2) 愛知用水三好支線水路緊急対策事業負担金 (独)水資源機構が実施する農業用の水路改修及び三好池の耐震対策工事に伴う負担金を支払いました。 負担金額 2,136,000円 (3) 豊明北部地区水質障害対策事業維持管理費負担金 豊明市と締結している維持管理協定に基づき、維持管理費に係る負担金を支払いました。 負担金額 401,500円	

5	活動指標	指標名	農業用ため池の管理事業を実施したため池の数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	箇所 18.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
		令和2年度		箇所 18.00	箇所		
		令和3年度		箇所 18.00	箇所		
		令和4年度		箇所 18.00	箇所		
6	成果指標	指標名	農業用ため池管理事業実施面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
		令和2年度		㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00		
		令和3年度		㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00		
		令和4年度		㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	4,682,700 円	決算額	2,970,200 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 136
	直接事業費①(②+③+④)	4,682,700	2,970,200	63.4 %	1,733,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	4,682,700	2,970,200	63.4 %	1,733,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,876,954	1,933,897	103.0 %		
	総合計(①+⑤)	6,559,654	4,904,097	74.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	6,559,654	4,904,097	74.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	364,425	272,450	74.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	304	227	74.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  愛知用水三好支線水路緊急対策事業の最終年度で、主要な工事が完了したことから、直接事業費は減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-25.2 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	ため池は地域農業の維持及び発展のために欠かせない重要な施設であることから、引き続き管理者による適切な管理を支援していく必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	今後も農業用ため池を適正に維持管理し、自然災害等による被害の未然防止を図っていきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 137

1	事業名	農業土木事業	コード	01	06	01	05	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農家及び地域住民
2	働きかける相手(対象)	土地改良区域内にある道路、排水路、農水管
3	どのような状態にしたいのか(意図)	農地の保全及びその利用の高度化のため、農業基盤を整備することにより生産性の高い農業の育成並びに農業経営の合理化及び効率化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業土木事業 町道新池・春木台線整備事業に伴い、愛知用水施設等を付け替える必要があるため、当業務の受委託について愛知用水土地改良区と協定を締結し、事業費を負担しました（令和4年度：実施設計、令和5年度：工事）。 実施設計に対する負担額：3,217,000円	

5	活動指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち整備した箇所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
				令和元年度	箇所 0.00	箇所	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	箇所 0.00	箇所		
				令和3年度	箇所 1.00	箇所		
				令和4年度	箇所 0.00	箇所		

  

6	成果指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち修繕した箇所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
				令和元年度	箇所 0.00	箇所 1.00		過去3年間の平均値（整数値）
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	箇所 1.00	箇所 1.00		
				令和3年度	箇所 1.00	箇所 1.00		
				令和4年度	箇所 0.00	箇所 1.00		

  

7	直接事業費計	前年度決算額	335,500 円	決算額	3,217,000 円
---	--------	--------	-----------	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 137
	直接事業費①(②+③+④)	335,500	3,217,000	958.9 %	15,500,000	評価の符号
	一般財源②	335,500	3,217,000	958.9 %	2,000,000	
	起債③	0	0	0.0 %	13,500,000	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	244,820	588,578	240.4 %		
	総合計(①+⑤)	580,320	3,805,578	655.8 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	580,320	3,805,578	655.8 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	580,320	0	0.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	580,320	0	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 町道新池・春木台線整備事業に伴う愛知用水施設の付替事業が開始したことから、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	555.8 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 町道新池・春木台線整備事業に伴う愛知用水施設の付替事業について、施設を熟知している愛知用水土地改良区に事業を委託し、委託に係る協定を締結し、事業費を負担しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	農業用水は農業の生命線でもあるため、引き続き適切に管理していくとともに、農地への安定的な通水を絶やさないように、漏水等に対して迅速かつ的確に対応する必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	農水管の老朽化が進んでいるため、修繕が必要な箇所について迅速かつ的確に対応していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 138

1	事業名	農学校運営事業	コード	01	06	01	03	03	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	① 担い手及び新規就農者の育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農学校生徒
2	働きかける相手(対象)	農学校生徒、講師
3	どのような状態に したいのか(意図)	とうとう農学校での学習や体験の機会を提供することで、多様な農業者の育成を進めるとともに、遊休農地の解消を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農学校運営事業 農業の実践及び農業を体験することにより、農業知識の取得や農作業を通して、農業の重要性を各自が認識することができました。	
		(1) 受講者数 15名 (2) 期間 ア 春夏露地野菜コース 4月から7月まで イ 秋冬露地野菜コース 8月から11月まで (3) 実習及び講座回数 実習年 32回 講座年 8回 研修年 2回 (4) 栽培作物 ア 春夏 スイカ、カボチャ、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等 イ 秋冬 白菜、大根、キャベツ、小松菜、ブロッコリー、カブ等	

5	活動指標	指標名	実習、講座回数、研修等	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	42.00	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	23.00			
			令和3年度	44.00			
			令和4年度	42.00			
6	成果指標	指標名	農学校修了者の就農者数 (累計)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 毎年1人増加を目標とし、前年度実績値から1人増加した値とする。
				令和元年度	9.00	10.00	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	9.00	10.00		
			令和3年度	13.00	10.00		
			令和4年度	14.00	14.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	1,071,203 円	決算額	1,150,975 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 138
	直接事業費①(②+③+④)	1,071,203	1,150,975	107.4 %	1,492,000	評価の符号
	一般財源②	814,203	991,635	121.8 %	1,267,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	257,000	159,340	62.0 %	225,000	
	概算人件費⑤	3,101,054	3,195,135	103.0 %		
	総合計(①+⑤)	4,172,257	4,346,110	104.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	3,915,257	4,186,770	106.9 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	88,983	99,685	112.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	301,174	299,055	99.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	△	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和3年度の修了者が営農を開始したことで、成果指標は向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-4.5 %		△
	②成果指標の実績向上度	7.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	6.9 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  修了生へのアンケートの結果を踏まえ、有機農業推進を視野に入れた減農薬栽培の講義を取り入れました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	新規就農者の育成の効果が十分でないことに加え、講師の確保、担当職員に農業の専門性が必要となることでの業務の属人化が課題となっています。 今後の運営について、関係者を交えて慎重に検討していく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	講師の人材不足、新規就農者の育成効果の向上といった課題に対して、今後の運営手法を関係者を交えて慎重に検討していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	より効率的及び効果的な事業運営を目指して、民間委託等の手法を検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和5年度の農学校のカリキュラムについて、卒業生のアンケート結果を参考に講師等関係者と検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 139

1	事業名	水田農業構造改革対策事業	コード	01	06	01	04	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	① 担い手及び新規就農者の育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農業者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	米の需要均衡の回復と価格安定のため、需要に応じた米の計画的生産の徹底を図るとともに、担い手への支援及び育成を行い、遊休農地対策を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	水田農業構造改革対策事業 需要に応じた作物生産と良好な水田環境の保全を図りながら生産数量目標の目安の達成、水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える取組を支援しました。 (1) 担い手育成事業（土地利用集積助成金） 農業の担い手が行う農地の利用集積に対し、その面積に応じて助成しました。 8289.2a×150円/a=1,243,380円 (2) 担い手育成事業（農作業委託費助成金） 担い手に農作業の委託をした農業者に、委託料金の一部を助成しました。 助成額 1,170,012円 ≪実績≫ 耕起 108,562㎡（助成単価1.0円/㎡） 代掻き 70,018㎡（助成単価1.2円/㎡） 田植え 116,916㎡（助成単価1.1円/㎡） 刈取り 257,272㎡（助成単価3.3円/㎡） (3) 東郷町地域農業再生協議会の経営所得安定対策等に要する経費を助成しました。 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 524,000円	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	農地集積面積	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
				令和元年度	ha 88.00	ha 91.00	農業委員会で定める目標値	
		指標の説明 (指標式)	管内農地のうち、担い手に集積された農地の面積	令和2年度	ha 87.00	ha 92.00		
				令和3年度	ha 94.00	ha 101.00		
				令和4年度	ha 97.60	ha 115.00		
6	成果指標	指標名	農地集積率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
				令和元年度	% 25.50	% 25.90		農業委員会で定める目標値
		指標の説明 (指標式)	管内農地のうち、担い手に集積された農地の割合	令和2年度	% 26.50	% 26.20		
				令和3年度	% 26.80	% 28.80		
				令和4年度	% 29.00	% 32.80		
7	直接事業費計	前年度決算額	2,820,998 円	決算額	2,937,392 円			

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 139
	直接事業費①(②+③+④)	2,820,998	2,937,392	104.1 %	2,983,000	評価の符号
	一般財源②	2,296,998	2,413,392	105.1 %	2,435,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	524,000	524,000	100.0 %	548,000	
	概算人件費⑤	2,121,774	2,354,310	111.0 %		
	総合計(①+⑤)	4,942,772	5,291,702	107.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	4,418,772	4,767,702	107.9 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	47,008	48,849	103.9 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	164,880	164,404	99.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 非農業者が相続した農地などについて、農業法人等地域の担い手への集積が進み、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	3.8 %		○
	②成果指標の実績向上度	8.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	-11.6 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	7.9 %		△
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		本町においても、農業者の高齢化及び担い手不足という全国的な課題から農家は減少しており、遊休農地対策は重要な課題です。本事業は、担い手への農地の集積率を上昇させ、遊休農地対策に効果を発揮していることから継続が必要です。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	本町の持続的な農業振興に繋がるよう、担い手への農地の集積率を上昇させ、遊休農地対策を図っていきます。 また、農業者の高齢化、担い手不足という課題に対して、本町の有機農業推進策により、新たな担い手となった青年有機農業者に対して、農地の集積を含めた各種の支援を実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 140

1	事業名	商工関係事業	コード	01	07	01	02	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	商工業者、東郷町商工会及び町民
2	働きかける相手(対象)	東郷町商工会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	商工業者の経営改善等が行われ、商工業の活性化が図られるようにします。また、東郷町商工会所有の街路灯を良好な状態に保ちます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 商工会運営事業 (1) 東郷町商工会から令和4年度の事業報告がありました。 ア 一般会員数 666名 イ 事務局職員数 9名 ウ 経営指導員による指導件数 1,085件 エ 講習会等参加人数 集団指導65名 個別指導175名 オ 金融斡旋件数 13件 (2) 東郷町商工会に対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 経営改善普及事業費 49,606,724円 管理費 16,544,375円 イ 補助金額 22,982,000円
		2 商工団体育成事業 東郷町商工会に対して街路灯維持管理費補助金を交付しました。 (1) 修繕件数 2件 (2) 補助対象経費 187,000円 (3) 補助金額 93,000円

5	活動指標	指標名	経営指導員等による指導件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	経営指導員等による巡回指導、窓口指導した件数	令和元年度	1,434.00	2,000.00	東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
				令和2年度	1,837.00	2,000.00	
				令和3年度	1,251.00	2,000.00	
令和4年度	1,085.00			1,500.00			
6	成果指標	指標名	一般会員数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
		指標の説明 (指標式)	東郷町商工会に入会している会員数	令和元年度	623.00	650.00	
				令和2年度	658.00	650.00	
				令和3年度	679.00	680.00	
令和4年度	689.00			690.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	23,232,000 円	決算額	23,075,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 140
	直接事業費①(②+③+④)	23,232,000	23,075,000	99.3 %	29,790,000	評価の符号
	一般財源②	23,232,000	23,075,000	99.3 %	29,790,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,040,168	3,026,970	148.4 %		
	総合計(①+⑤)	25,272,168	26,101,970	103.3 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	25,272,168	26,101,970	103.3 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	20,202	24,057	119.1 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	37,220	37,884	101.8 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 新型コロナウイルス感染症に起因する相談件数の減少に伴い、東郷町商工会の経営指導員等による指導件数も減少し、活動指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	-13.3 %	×
	②成果指標の実績向上度	1.5 %	○
	③成果指標の目標達成度	-0.1 %	△
3 効率性	①町費投入額の伸び率	3.3 %	△
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 窓口対応や訪問等で事業者との関係性を築くとともに、事業者が抱える課題や行政への要望等の情報収集を実施しました。また、商品券事業を通じて商工会への加入の勧奨等を実施しました。街路灯については、防犯灯として再利用できるよう担当課と調整を行いました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	本事業は、商工会の支援を通して町内商工業者への支援を行うものであり、町内商工業の活性化のため、今後も継続する必要があります。商工会が継続して事業を実施できるよう、拠点となる商工会館の耐震診断費への補助を通して、事業継続を支援していきます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	商工会が所有している街路灯の管理について、商工会及び関係部署と方向性を確認し、引き続き適切な管理がされるよう調整します。 商品券事業を通じて、町内商工業者の支援と商工会への加入促進を図ります。 また、商工会館の耐震診断費への補助を実施し、町内商工業者の支援の中心となる商工会の継続的な安全性の確保を支援します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	町内商工業のPRの場の提供や商工会と連携し、商工業振興のため効果的な事業を推進していきます。 令和5年度に実施する耐震診断の結果を受け、必要に応じて耐震改修工事を実施します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	商工会が所有している街路灯の今後の維持管理について、商工会及び関係部署と方向性を検討します。 また、商品券事業を通じて、町内商工業者の支援と商工会への加入促進を図ります。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 141

1	事業名	企業立地促進事業	コード	01	07	01	02	04	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	① 町内企業の拡張						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	商工業者
2	働きかける相手(対象)	商工業者
3	どのような状態に したいのか(意図)	東郷町都市計画マスタープランの既成市街地ゾーン(工業系)及び新市街地候補ゾーン(工業系)に工場を立地させ、産業の振興と雇用の拡大を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	企業立地促進事業 (1) 愛知県産業立地推進協議会が作成する愛知県産業立地ガイドブックに本町の案内記事を掲載しました。 (2) 企業訪問等を63社に実施しました。 ア 現況聞き取り、情報交換等 59社 イ 企業立地促進条例に基づく奨励金について等 1社 ウ ふるさと納税返礼品について等 3社 (3) 企業立地促進条例に基づく奨励金を交付しました。 また、奨励金の対象となる事業者に対して、申請事務の支援等を実施しました。 ア 工場等新設促進奨励金 3社 14,800,000円 イ 工場等増設促進奨励金 1社 1,031,000円 ウ 償却資産取得奨励金 2社 4,025,000円 (4) 商業施設等立地促進条例を制定し、対象事業者の指定を行いました。 ア 商業施設等新設促進奨励金 2社 イ 償却資産取得奨励金 2社 ウ 雇用促進奨励金 2社	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標 (指標式)	指標名	訪問した企業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
			令和元年度	社	3.00	社	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明	開発の意向のある企業や条例の適用となる企業を訪問した数	令和2年度	社	14.00		社	
			令和3年度	社	34.00	社			
			令和4年度	社	63.00	社			
6	成果指標 (指標式)	指標名	新しく誘致できた企業数(累計)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法		
			令和元年度	社	7.00	社		6.00	令和2年度までは第5次総合計画による目標値(累計) 令和3年度以降は前年度実績値+1社を目標値とする。
		指標の説明	企業立地促進条例を適用した企業数(事業数の累計)	令和2年度	社	7.00	社	6.00	
			令和3年度	社	8.00	社	8.00		
			令和4年度	社	9.00	社	9.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	14,634,000 円	決算額	19,856,000 円				



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 141 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	14,634,000	19,856,000	135.7 %	14,155,000	
	一般財源②	14,634,000	19,856,000	135.7 %	14,155,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,774,628	3,783,713	136.4 %		
	総合計(①+⑤)	17,408,628	23,639,713	135.8 %		
町費投入額(②+③+⑤)	17,408,628	23,639,713	135.8 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	512,018	375,234	73.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,176,078	2,626,635	120.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  町の支援事業の周知及び企業ニーズを把握し、より効果的な支援事業を検討するため、企業訪問等を多く実施した結果、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	85.3 %		○
	②成果指標の実績向上度	12.5 %	○	
	③成果指標の目標達成度	0.0 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	35.8 %	×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  優良企業の立地情報や既存企業の拡張情報等、企業訪問等により積極的な情報収集ができるよう、ヒアリングシートを作成し、訪問時等に活用しました。 また、企業訪問時には、リーフレットにより町の支援事業の周知を行いました。 商業施設等立地促進条例を制定し、奨励措置による商業施設等の立地促進を促進しました。
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	各種制度の奨励措置を講じ、対象企業の立地促進を促しました。 今後も企業訪問などを通して、各種支援制度の周知に努め、本町の産業の振興及雇用の拡大に努めていく必要があります。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	企業誘致に関する支援制度等の情報を掲載したリーフレットを金融機関や開発事業者等の関係機関に配布し奨励措置の周知を行います。 また町内企業訪問の際に同奨励措置の周知を行い、町内企業のニーズ調査を行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	本町への企業進出や、町内企業の事業継続及び事業拡大を的確に支援できるよう、継続して企業訪問をし情報収集に努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	企業誘致に関する支援制度等の情報を掲載したリーフレットを作成し、金融機関や開発事業者等の関係機関に配布します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 142

1	事業名	小規模企業等振興事業	コード	01	07	01	02	03	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	② 中小企業等への支援						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	小規模企業者
2	働きかける相手(対象)	小規模企業者、金融機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者の方々が、事業上必要とする運転資金等の融通を円滑にし、その事業の振興を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小規模企業等振興事業 (1) 小規模企業等振興資金 ア 制度利用件数 16件 イ 貸付総額 39,350,000円 (2) 特定中小企業者及び危機関連保証の特例中小企業者の認定 ア セーフティネット4号: 57件 イ セーフティネット5号: 14件 (3) 信用保証料・利子補給補助金 ア 小規模企業等振興資金 597,000円(12件) イ 日本政策金融公庫利子補給補助金 30,000円(1件) (4) 小規模事業者持続化補助金 日本商工会議所が定める小規模事業者持続化補助金の交付を受けた商工会一般会員に対して、上乘せ補助を実施しました。 330,000円(2件)	

5	活動指標	指標名	信用保証料補助金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	円 1,597,000.00	円 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	小規模企業等振興資金及びサポート資金(セーフティネット)の信用保証料補助金	令和2年度	円 603,000.00	円	
				令和3年度	円 487,000.00	円	
				令和4年度	円 597,000.00	円	
6	成果指標	指標名	取扱金融機関による貸付金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間実績値の平均値
				令和元年度	千円 144,000.00	千円 91,693.00	
		指標の説明 (指標式)	小規模企業等振興資金融資制度に基づく貸付金額	令和2年度	千円 17,450.00	千円 122,927.00	
				令和3年度	千円 64,400.00	千円 97,346.00	
				令和4年度	千円 39,350.00	千円 40,400.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	52,204,629 円	決算額	50,957,000 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 142
	直接事業費①(②+③+④)	52,204,629	50,957,000	97.6 %	53,370,000	評価の符号
	一般財源②	2,204,629	957,000	43.4 %	3,370,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	50,000,000	50,000,000	100.0 %	50,000,000	
	概算人件費⑤	3,101,054	4,960,869	160.0 %		
	総合計(①+⑤)	55,305,683	55,917,869	101.1 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	5,305,683	5,917,869	111.5 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	11	10	90.9 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	82	150	182.9 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	22.6 %	6 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)
	②成果指標の実績向上度	-38.9 %	
	③成果指標の目標達成度	-2.6 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	11.5 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	町内金融機関及び企業を訪問し、景況感や企業の動向等について情報収集しました。 また、預託金事務手続については、チェックシートを作成し、スムーズな事務遂行に努めました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	セーフティネットは、度重なる期間延長や指定業種の変更があり、最新情報の周知及び把握に努める必要があります。 今度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響や物価の高騰が本町の事業者に与える影響の実態把握に努めながら、国や県等の動向を踏まえ、各種支援策を検討していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	小規模企業等振興資金等の事務手続について、事業者へ迅速に支援できるよう必要な手続きをまとめたチェックシートを作成します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	新型コロナウイルス感染症や原油価格の高騰等からの地域経済の回復に必要な支援策について、町内の金融機関や事業者ヒアリングし、商工会と連携しながら実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	小規模企業等振興資金の預託金事務手続について、近隣の手続きの流れ等を確認し、スムーズな事務の進め方について検討します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 143

1	事業名	シティプロモーション事業	コード	01	02	01	09	03	-
2	担当部課	企画部	未来プロジェクト課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	04 まちの魅力の発信と交流人口・定住を増やす						
		施策の展開方向	② シティプロモーションの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、将来の町民、民間企業、大学
3	どのような状態にしたいのか(意図)	先端技術の導入や民間企業等との連携を図り、新たな町の魅力を創生するとともに、町内外に発信し、東郷町が広く認知されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	シティプロモーション事業	
		<p>(1) まちづくりに関する情報や災害発生時の情報を発信することを目的として、ツイッターを運用しました。</p> <p>ア フォロワー数 1,004件 イ ツイート数 835件 (令和5年3月31日時点)</p> <p>(2) 町のPR及びブランディングに繋げることを目的として、インスタグラムを運用しました。</p> <p>ア フォロワー数 1,152件 イ 投稿数 504件 (令和5年3月31日時点)</p> <p>(3) 町の魅力発信人材を募集し、町公式SNSアンバサダーとして委嘱し、取材交渉など連携を図りました。</p> <p>委嘱したアンバサダー数 2名</p> <p>(4) ふるさと納税返礼品の登録数を増やすため、町内事業者を営業訪問し、特産品としての登録申請を促しました。</p> <p>返礼品登録品数 172品目 (令和4年度末)</p> <p>また、Webプロモーション施策として西川コミュニケーションズ(株)との協働による返礼品のバナー広告を配信し、寄付額増加に繋がりました。</p> <p>(5) ららぽーと愛知東郷内のまちのプロモーションテナント「LivR TOGO まちの窓口」(令和2年9月開業)にて、図書館機能、行政サービスの提供、民間企業との連携を通じた町の魅力や取組の発信を行いました。</p> <p>ア 来場者数 7,935人 イ 予約図書貸出冊数 427冊 ウ 図書返却冊数 1,426冊 エ 住民票受け渡し件数 15件 オ 印鑑証明書受け渡し件数 2件 カ イベント開催件数 25件 参加者数 3,545人</p> <p>主なイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪談読み聞かせ(6月)</li> <li>・昆虫トークイベント(8月)</li> <li>・お天気教室(9月)</li> <li>・ハロウィンコスプレ(10月)</li> <li>・チュウキョーくんグリーディング(12月)</li> <li>・イチゴふうせん祭り(2月)</li> </ul>	

5	活動指標	指標名	「LivR TOGO まちの窓口」でのイベント実施数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明(指標式)	「LivR TOGO まちの窓口」で実施したイベントの回数	令和2年度	回		回
			令和3年度	14.00	回		
令和4年度	回	回					
6	成果指標	指標名	「LivR TOGO まちの窓口」来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			令和元年度	人	人		
		指標の説明(指標式)	「LivR TOGO まちの窓口」に来場された方の人数	令和2年度	3,990.00	人	
			令和3年度	6,502.00	3,990.00		
令和4年度	7,935.00	6,502.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	24,541,769 円	決算額	25,405,040 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 143
	直接事業費①(②+③+④)	24,541,769	25,405,040	103.5 %	26,292,000	評価の符号
	一般財源②	24,538,769	25,405,040	103.5 %	26,292,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	3,000	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	15,539,539	19,463,640	125.3 %		
	総合計(①+⑤)	40,081,308	44,868,680	111.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	40,078,308	44,868,680	112.0 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,862,736	1,794,747	62.7 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,164	5,655	91.7 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 「LivR TOGOまちの窓口」で継続的にイベントを実施したことにより、活動指標及び成果指標が向上しました。事業に当たる人員が増加したことにより、町費投入額が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	78.6 %	○
	②成果指標の実績向上度	22.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	22.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	12.0 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 ふるさと納税事業において、寄付を通じて本町の認知度を上げることを目的としたWebプロモーションを実施し、ふるさと納税額の向上に寄与しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	SNS等の多様なメディアを活用して本町の魅力を効果的に発信することにより、周辺市町からの交流人口の増加につなげる必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	「LivR TOGOまちの窓口」でPRする町の施策等をより多くの方に知ってもらうため、これまで実施したイベントの状況を踏まえ、より集客の見込める効果的なイベントを実施します。 組織機構改革により、当事業における事業内容が複数の部署に分散したため、適正な評価が実施できるよう見直しを行います。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、プロモーションイベントの開催、ふるさと納税返礼品の開拓、各種SNS、産官学連携、民間企業のサービス活用等、長期的な視点をもって町の魅力や住みやすさ、特徴的な産物等を町内外に幅広くPRし、定住促進及び人口誘導に繋がる効果的なプロモーションを検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	「LivR TOGOまちの窓口」を活用した図書館事業、にこにこ給食、有機農業、認知症啓発、児童虐待啓発等の各事業や施策のPRを行う企画展やイベントを開催します。 また、町の魅力や住みやすさ、特徴的な産物等を町内外に幅広くPRができるシティプロモーションの側面を持つふるさと納税事業において、寄付を通じて本町の認知度を上げることを目的としたWebプロモーションに取り組みます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 144

1	事業名	移住支援事業	コード	01	07	01	02	05	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	04 まちの魅力の発信と交流人口・定住を増やす						
		施策の展開方向	③ 移住・定住の促進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業者
2	働きかける相手(対象)	町民（東京圏からの転入者）
3	どのような状態にしたいのか(意図)	人口減少の時代において、東京圏からの移住者を呼び込むことで、町が活力を維持し持続的に発展し続けることを目指します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	移住支援事業費 東郷町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、愛知県と共同して、東京圏から東郷町に移住される人を対象に、東郷町移住支援金交付要綱に基づき、支援金を支給する事業 令和4年度実績：0件	

5	活動指標	指標名	支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	0.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	移住支援金を支給した件数	令和2年度	0.00	件	
				令和3年度	0.00	件	
				令和4年度	0.00	件	

6	成果指標	指標名	支援金対象の移住件数(累計)	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度の実績値+予算措置上の件数
				令和元年度	0.00	1.00	
		指標の説明 (指標式)	移住支援金を支給した移住件数の累計	令和2年度	0.00	1.00	
				令和3年度	0.00	1.00	
				令和4年度	0.00	1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 144 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	1,000,000	
	一般財源②	0	0	0.0 %	250,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	750,000	
	概算人件費⑤	244,826	336,330	137.4 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	244,826	336,330	137.4 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	244,826	336,330	137.4 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 特にありません。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	37.4 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 県実施要領の一部改正に伴い町要綱を改正し、18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合に支援金を加算することとしました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	制度の周知と理解促進のため、町ホームページやSNS等の掲載内容を検討する必要があります。 また、町内企業に対し、東京圏からの人材確保の必要性についてヒアリングを行い、受入企業の拡大を行う必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	企業訪問時に制度の周知に加え、東京圏からの人材確保の必要性についてヒアリングを行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	人口流出が多い年代に対して更なる制度の周知を行えるよう、その手法等の検討を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 145

1	事業名	顕彰事業	コード	01	02	01	08	04	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	01 協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	東郷町行政に貢献し、各分野の進展に功績のあった者
2	働きかける相手(対象)	東郷町行政に貢献し、各分野の進展に功績のあった者、区自治会及び各部局
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町行政の発展に貢献された方々の功績を称えることで、町民の町政への参画がより一層促進されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>顕彰事業</p> <p>(1) 表彰条例功労者</p> <p>ア 区自治会及び庁内各部局から被表彰候補者の具申を受け推薦された17名の候補者を、令和4年11月7日に開催された表彰審査委員会に諮り、被表彰者を決定しました。</p> <p>(7) 地方自治の進展に貢献した者 4名</p> <p>(4) 教育、体育、学術技芸その他文化の振興に貢献した者 4名</p> <p>(7) 産業振興に貢献した者 1名</p> <p>(1) 社会事業に貢献した者 8名</p> <p>イ 令和5年1月4日開催の「東郷町表彰条例に基づく表彰式」で表彰状と記念品を贈り、功績を称えました。</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	被表彰者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 10.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	人 12.00	人	
				令和3年度	人 17.00	人	
令和4年度	人 17.00			人			
6	成果指標	指標名	年度末の町人口10,000人当 たりに占める被表彰者の人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の実績値の平均
		指標の説明 (指標式)	被表彰者/年度末町総人口 ×10,000人 【令和5年3月末43,903人】	令和元年度	人 2.27	人 2.99	
				令和2年度	人 2.73	人 2.59	
				令和3年度	人 3.89	人 2.50	
令和4年度	人 3.87			人 2.96			
7	直接事業費計	前年度決算額	231,278 円	決算額	248,797 円		

8 コストの推移  (参考)	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 145
	直接事業費①(②+③+④)	231,278	248,797	107.6 %	356,000	評価の符号
	一般財源②	231,278	248,797	107.6 %	356,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,788,489	4,598,770	164.9 %		
	総合計(①+⑤)	3,019,767	4,847,567	160.5 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	3,019,767	4,847,567	160.5 %		
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	177,633	285,151	160.5 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	776,290	1,252,601	161.4 %	その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  被表彰者数は前年度と同人数となったことから、活動指標及び成果指標は横這いでした。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-0.5 %		△
	③成果指標の目標達成度	30.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	60.5 %		×
	②受益者負担は適切ですか。		○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価		8 総合評価コメント		
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>		町表彰条例に基づく功労者表彰は、被表彰者の功績を称えるのみでなく、広く周知することでその分野の活動の活性化を図ることが期待されます。 引き続き、町内で活躍する人を適切な時期に表彰できるよう努めます。		
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町表彰条例や町政功労者礼遇条例に基づき、今後も町行政の発展に貢献された方々の功績を称え、町政への町民参画が一層促進されるよう努めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 146

1	事業名	広報広聴活動事業	コード	01	02	01	02	01	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	01 協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	② 広報の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民(将来の町民を含む)、広報の読者、ホームページ訪問者、報道機関、職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町行政の取組みや主要施策などを積極的に町民等に周知し、町政への理解を深めてもらいます。また、各種施策や各行事に対する意見等を集約し事業等に反映させることにより、事業の効率化と住民サービスの向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 広報とうごう作成事業 (1) 町の行政情報や各種情報を町民にとって分かりやすく親しみやすいものとするため、民間の専門業者のノウハウを活用して、広報とうごうを毎月発行し、全世帯に配布しました。 ア 年間発行部数 224,995部 イ 平均ページ数 35.3ページ/部 (2) 広告掲載料収入 計1,528,000円 ア 広報広告 6事業者 1,028,000円 イ ホームページバナー 10事業者 500,000円 (3) 広報配布手数料収入 596,442円(社協だより:3回) (4) 結婚や出産などの記念に愛♡広報誌を作成し、対象者に配布しました。 年間発行部数 13部
		2 広報事業 (1) 町政情報をより分かりやすく伝えるため、町ホームページをリニューアルしました。 (2) 町公式ホームページアクセス数 2,888,961件 (3) 町政情報やまちの話題を報道機関へ情報提供しました。 ア 提供した記事の数 193件 イ 新聞に掲載された記事の数 121件 (4) 町長への提案を80件処理しました。 ア ホームページ 63件 イ 投書 13件 ウ 郵便 1件 エ 窓口 3件 (5) 広報掲示板修繕等 計3基(移設:1基、修繕:2基)

5	活動指標	指標名 報道機関への情報提供件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	件 181.00	件 個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	件 176.00	件	
			令和3年度	件 143.00	件	
			令和4年度	件 193.00	件	
6	成果指標	指標名 投書等処理件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去2年の平均値
			令和元年度	件 72.00	件 61.00	
			令和2年度	件 92.00	件 72.50	
			令和3年度	件 103.00	件 82.00	
			令和4年度	件 80.00	件 97.50	
7	直接事業費計	前年度決算額	22,152,967 円	決算額	24,411,896 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 146
	直接事業費①(②+③+④)	22,152,967	24,411,896	110.2 %	36,955,000	評価の符号
	一般財源②	20,110,764	22,287,454	110.8 %	35,244,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	2,042,203	2,124,442	104.0 %	1,711,000	
	概算人件費⑤	16,730,937	11,705,961	70.0 %		
	総合計(①+⑤)	38,883,904	36,117,857	92.9 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	36,841,701	33,993,415	92.3 %			
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	257,634	176,132	68.4 %			
成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	357,686	424,918	118.8 %			

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 前年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くのイベント等が中止となっていましたが、その影響は徐々に小さくなったことで、報道機関への情報提供件数が増加し、活動指標が向上しました。 また、新型コロナウイルス感染症関連の意見や提案が減少したため、成果指標が低下しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	35.0 %	○
	②成果指標の実績向上度	-22.3 %	×
	③成果指標の目標達成度	-17.9 %	×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-7.7 %	○
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 民間事業者の専門知識やノウハウを活用することで、より読みやすく読んでもらえる広報紙を作成するため、取材等を含め3年間契約とするプロポーザルを実施しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	より読みやすく読んでもらえる広報紙を作成するため、デザインや印刷などこれまでの委託内容に加え、一部の事業やイベントについて取材及びライティングを委託することで、広報紙のクオリティの向上を図りました。 また、町ホームページについては、総ページ閲覧数が減少しています。これは、閲覧者が目的の情報にたどり着きやすく、かつ、検索機能を充実させたことによるものと考えられます。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	プロポーザルにより決定した受託事業者と調整を図りながら、広報紙のリニューアルを進めます。 また、広報紙を始め、町ホームページ、SNSなど様々な情報発信媒体を有効に活用する必要があることから、全職員が情報発信や事業PRの当事者である認識を高め、情報発信力を向上させるための説明会を開催します。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	広報紙や町ホームページ、SNS、報道機関への情報提供などを駆使し、必要な情報を必要としている人に適切な方法で届けられるようにします。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	各課における事業の情報発信力を高めるため、広報紙やホームページにおける「伝わる記事」の作成について研修を開催し、全職員が情報発信の担当者であるという意識を醸成します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 147

1	事業名	まちづくり活動支援事業	コード	01	02	08	01	06	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	01 協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	④ 町民活動の支援						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、NPO、ボランティア団体
2	働きかける相手(対象)	町民、NPO、ボランティア団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	NPOやボランティア活動の活性化を図り、マンパワーを生かした活力あるまちづくりを促進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	まちづくり活動支援事業		
		(1) NPO等団体数（令和5年3月31日現在） ア 町民活動センター登録団体数123団体（NPO法人6団体含む。） イ 主たる事務所の所在地が東郷町にあるNPO法人数 12法人 (2) 町民活動センターの登録団体に対して次のとおり実施しました。 ア 活動実態調査 67団体（123団体中54.4%） イ 施設の利用時間の変更や席数の変更の際に登録団体に通知及び町ホームページで周知しました。 (3) 「協働によるまちづくり提案事業（公募提案型事業）」の実施 ア （団体名）特定非営利活動法人ノーマCafé （企画提案名）いいとこ発見まちおこしイベント「みんな集まれ！TOGO音楽族」 イ （団体名）10and. 一てんとー （企画提案名）男女共同参画推進事業「子育て中の女性が自分らしく生きるために」 (4) 町職員が講師を務める「まちの出前講座」の開催（実績5件） ア 東郷町都市計画マスタープランについて 都市計画課 1件 イ わが家の災害対策について 安全安心課 2件 ウ 後期高齢者医療について 保険医療課 1件 エ 東郷町の文化財について 生涯学習課 1件		

5	活動指標	指標名 協働によるまちづくり提案事業応募団体数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	団体 2.00	団体 2.00	前年度実績
			令和2年度	団体 0.00	団体 2.00	
			令和3年度	団体 2.00	団体 0.00	
			令和4年度	団体 2.00	団体 2.00	
6	成果指標	指標名 町民活動センター登録団体数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
			令和元年度	団体 124.00	団体 119.00	
			令和2年度	団体 125.00	団体 124.00	
			令和3年度	団体 121.00	団体 125.00	
			令和4年度	団体 123.00	団体 121.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	300,000 円	決算額	216,580 円	



項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 147
8 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	300,000	216,580	72.2 %	478,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	300,000	216,580	72.2 %	478,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,765,001	3,164,946	114.5 %		
	総合計(①+⑤)	3,065,001	3,381,526	110.3 %		
	町費投入額(②+③+⑤)	3,065,001	3,381,526	110.3 %		
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,532,500	1,690,763	110.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	25,331	27,492	108.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  協働によるまちづくり提案事業の新規提案者が無かったため、直接事業費が減少しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	1.7 %		○
	③成果指標の目標達成度	1.7 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	10.3 %		×
	②受益者負担は適切ですか。	○		6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 特にありません。
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町民による社会参加活動が活発化するよう、活動を支援する必要があります。 町民が自ら学び、活動する拠点として、町民活動センター等の場所を提供する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	協働によるまちづくり提案事業において、提案者の事業期間を十分確保し、より利用しやすい事業とするため、契約時期をこれまでの6月上旬から4月上旬に変更します。 町民活動センターの利用団体を適正に管理するため、登録団体の実態について精査します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	今後も町民の社会参画活動の充実を図る事業の開催や開催方法を検討していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 148

1	事業名	平和祈念事業	コード	01	03	01	01	06	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	02 自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	① 平和の啓発と人権の尊重						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	戦没者遺族、一般参列者
2	働きかける相手(対象)	戦没者遺族、町遺族会、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	先の大戦において亡くなられた方々を追悼するとともに、平和意識の高揚が図られ、平和がいつまでも続くようになります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 平和祈念事業 先の大戦において亡くなられた方々を追悼し、平和がいつまでも続くことを願い、東郷町遺族会と共催で平和祈念事業を実施しました。 (1) 平和祈念式（新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小） ア 開催日 令和4年8月27日（土）午前10時30分から午前11時00分まで イ 場所 いこまい館多目的室A ウ 参加者 29人 (2) 「平和」を祈る絵はがきコンテスト2022 ア 募集 令和4年7月1日から8月22日まで イ 対象 町民 ウ 賞 最優秀賞3点、優秀賞6点 (3) 戦争に関する資料展 ア 開催日 令和4年8月22日から9月2日まで イ 場所 役場ロビー ウ 内容 戦争に関するパネルや平和を祈る絵はがき受賞作品等	
		2 社会福祉団体育成事業 町遺族会に補助金を交付しました。	

5	活動指標	指標名 平和祈念事業の数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	事業 3.00	事業	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	事業 2.00	事業	
			令和3年度	事業 2.00	事業	
令和4年度	事業 3.00	事業				
6	成果指標	指標名 平和祈念事業参加者のうち一般参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間の平均値
			令和元年度	人 174.00	人 154.67	
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	来賓、関係者以外の平和祈念式参加者及び作品応募者数 人 0.00	人 197.00	
			令和3年度	人 0.00	人 122.67	
			令和4年度	人 210.00	人 58.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	286,000 円	決算額	379,602 円	

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 148
	直接事業費①(②+③+④)	286,000	379,602	132.7 %	741,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	286,000	379,602	132.7 %	741,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,980,513	3,073,862	103.1 %		
	総合計(①+⑤)	3,266,513	3,453,464	105.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	3,266,513	3,453,464	105.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,633,256	1,151,155	70.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	16,445	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しながらも平和祈念式を開催したため、活動指標が向上しました。 また、平和を祈る絵はがきコンテストの作品募集をしたため、成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	50.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、平和祈念式の開催、戦争に関するパネル及び平和を祈る絵はがきの展示を実施しました。
	②成果指標の実績向上度	0.0 %	
	③成果指標の目標達成度	262.1 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.7 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、平和祈念式の開催、戦争に関するパネル及び平和を祈る絵はがきの展示を実施しました。
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	先の大戦で亡くなられた人を追悼するとともに、今後も町民に戦争と平和について考えもらえるよう事業を継続していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	平和祈念式の際に、東郷町遺族会の協力による当時の貴重な資料を展示します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	次世代を担う子どもたちが参加しやすいよう、事業内容を検討していきます。 また、東郷町遺族会と協力し、戦没者の遺品の展示など平和の大切さを啓発する方法を検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	戦争と平和に関する絵本の展示では、町立図書館と協力し、図書館で読むことができる絵本を紹介し、平和祈念事業のホームページに掲載します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 149

1	事業名	男女共同参画事業	コード	01	02	08	01	08	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	02 自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	② 男女共同参画の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関係なく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	男女共同参画事業 (1) 東郷町男女共同参画プラン等の推進のため東郷町男女共同参画審議会を5回開催しました。 (2) 令和4年度東郷町男女共同参画推進事業「映画会」を実施しました。 日時: 令和4年10月1日(土)午後1時30分から 場所: 町民会館ホール 第1部: 講演「多様な家族のカタチ」 第2部: 映画上映「his」 参加人数: 216名 (3) 啓発活動 ア 役場1階ロビーで男女共同参画啓発パネルを5回展示しました。 イ 役場玄関ロビーに設置している男女共同参画情報コーナーの関連図書を新たに20冊購入しました。 ウ 町立図書館に設置している男女共同参画情報コーナーの関連図書を10冊購入しました。 エ 男女共同参画の情報を幅広く町民や事業者に発信するため、東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア(第12号)」を発行し、各公共施設への設置及び町ホームページで周知を行いました。 オ 文化産業まつりで男女共同参画クイズ、意識調査アンケート及びパネル展示を実施しました。 (4) 町職員研修 LGBTに関する基礎知識及び適切な対応について、LGBT研修を町職員向けに開催しました。 令和5年3月22日(水) 役場2階大会議室 参加人数31名 (5) 東郷町男女共同参画社会に関する意識調査を実施し、第2次東郷町男女共同参画プランの中間見直しをしました。	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標	指標名	男女共同参画推進に係る講座等の開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	講演会・講座及び啓発イベントの開催数	令和元年度	4.00	回	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	1.00	回	
				令和3年度	1.00	回	
				令和4年度	2.00	回	
6	成果指標	指標名	審議会等委員の女性比率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 東郷町男女共同参画プランにおける目標値
		指標の説明 (指標式)	附属機関委員への女性の登用率	令和元年度	29.95%	35.00%	
				令和2年度	27.20%	35.00%	
				令和3年度	28.10%	35.00%	
				令和4年度	27.80%	35.00%	
7	直接事業費計	前年度決算額	459,595 円	決算額	2,371,057 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 149
	直接事業費①(②+③+④)	459,595	2,371,057	515.9 %	811,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	459,595	2,371,057	515.9 %	811,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	5,925,003	7,121,129	120.2 %		
	総合計(①+⑤)	6,384,598	9,492,186	148.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	6,384,598	9,492,186	148.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,384,598	4,746,093	74.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	227,210	341,446	150.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  第2次東郷町男女共同参画プランの中間見直しを実施したことから、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	100.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-1.1 %		△
	③成果指標の目標達成度	-20.6 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	48.7 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  第2次東郷町男女共同参画プランの中間見直しに必要な住民の意識や実態を把握するため、住民意識調査を実施しました。LGBTに関する基礎的な知識や適切な対応について学ぶため、職員研修を実施しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	第2次東郷町男女共同参画プランの中間見直しを実施したため、今後はプランのめざすべき姿の実現に向け、進捗について定期的に管理する必要があります。 愛知県が令和6年4月に制度運用開始予定としているファミリーシップ制度の導入に向けた検討を開始したことに伴い、本町においても県及び県内自治体の動向を注視するとともに、引き続き制度の研究を進める必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	第2次東郷町男女共同参画プランの実現に向け、既存事業の見直しを行い、より効果的な事業の実施に向けて準備を進めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	第2次東郷町男女共同参画プランに掲げる基本方針並びに基本施策について進捗管理等を定期的に行い、めざすべき姿の実現に向けて推進していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	第2次東郷町男女共同参画プランの中間年に当たるため、住民意識調査及び中間見直しを行います。 また、男女共同参画の推進に伴い、多様な性や生き方への理解促進が進んできていることから、パートナーシップ、ファミリーシップ宣誓制度の研究を進めていきます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 150

1	事業名	コミュニティ活動活性化事業	コード	01	02	08	01	03	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	03 地域交流を促進する						
		施策の展開方向	① コミュニティ活動の推進と活性化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	各地区コミュニティ推進協議会、駐在員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の自主的なコミュニティ活動の推進を図るとともに、各地区に駐在員1名を配置し、行政運営の円滑な推進を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 コミュニティ一般事務事業 地域コミュニティの醸成のため、地区が主体性を持って実施する活動に対して、補助金を交付することにより地域振興を図りました。</p> <p>(1) コミュニティ活性化事業補助金 各地区で企画し実施された事業に対し、1事業につき50,000円の補助金を交付しました。 コミュニティ活性化に資する事業 18地区 90事業</p> <p>(2) コミュニティ振興事業補助金 春木台地区の広報車整備事業に対し、1,000,000円の補助金を交付しました。 傍示本地区の施設整備事業に対し、964,225円の補助金を交付しました。</p> <p>(3) コミュニティ保険 各地区で実施するコミュニティ活動を安心して実施できるよう、全地区のすべての町民を対象に保険に加入しました。 保険加入期間：令和4年5月1日から令和5年5月1日までの1年間</p> <p>2 駐在員関係事業 (1) 町と地区とのパイプ役である駐在員を18名配置し、駐在員会議を年5回開催して情報提供を行い、行政運営の円滑な推進を図りました。 (2) 区・自治会長から各地区の道水路の修繕、草刈り等の要望等を受け、関係課等と調整を図って対応しました。</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	コミュニティ活性化事業の補助対象事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	コミュニティ活性化事業の補助対象事業実績数	令和元年度	事業 85.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	事業 85.00		
				令和3年度	事業 90.00		
令和4年度	事業 90.00						
6	成果指標	指標名	区・自治会加入世帯数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
		指標の説明 (指標式)	各区・自治会に加入している世帯数	令和元年度	世帯 13,100.00	世帯 13,250.00	
				令和2年度	世帯 13,032.00	世帯 13,100.00	
				令和3年度	世帯 12,880.00	世帯 13,032.00	
令和4年度	世帯 12,909.00	世帯 12,880.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	14,730,919 円	決算額	15,768,516 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 150
	直接事業費①(②+③+④)	14,730,919	15,768,516	107.0 %	16,484,000	評価の符号
	一般財源②	14,730,919	15,768,516	107.0 %	13,984,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー
	その他④	0	0	0.0 %	2,500,000	
	概算人件費⑤	7,900,004	7,912,365	100.2 %		
	総合計(①+⑤)	22,630,923	23,680,881	104.6 %		その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
町費投入額(②+③+⑤)	22,630,923	23,680,881	104.6 %			
活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	251,455	263,121	104.6 %			
(参考)	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,757	1,834	104.4 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 2 地区からの要望により、コミュニティ振興事業補助金の交付額が増額したため、直接事業費が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 令和4年8月から、町ホームページに区・自治会への加入申込フォームを追加しました。フォーム追加以後、申込者の半数以上がホームページからのものでした。
	②成果指標の実績向上度	0.2 %	
	③成果指標の目標達成度	0.2 %	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	4.6 %	△
	②受益者負担は適切ですか。	○	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の行動規制の緩和により、今後は区・自治会のイベントが増えることが想定されます。 区・自治会の役員は短い期間で交代することが多いので、事務の遺漏がないように行政がサポートできる体制を構築していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	区・自治会のイベントや運営について、駐在員会議等により事例紹介を行います。 ホームページ(限定公開)やメールを活用した資料の展開等を駐在員と行います。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	地域の課題や魅力的な活動事例を駐在員会議等で各地区に共有しながら、区・自治会運営を支援します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	町ホームページに区・自治会への加入申込フォームを追加することで、新しく加入されたい方が役場へ来庁しなくても申し込めるようにして、速やかに地区へ連絡できるようにします。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 151

1	事業名	文化産業まつり開催事業	コード	01	07	01	02	01	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	03 地域交流を促進する						
		施策の展開方向	③ 町民相互の絆を深める						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業者
2	働きかける相手(対象)	来場者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民の文化創造、町内の産業振興及び福祉の増進を図るとともに、賑わいとふれあいの場を創出します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化産業まつり開催事業
		(1) 開催日時 令和4年11月12日(土) 午前10時から午後4時まで 13日(日) 午前9時から午後3時まで (2) 会場 イーセントプラザいこまい館、町民会館、総合体育館、役場、あいち尾東農業協同組合東郷支店 (3) 来場者数 8,110人 (4) 催事 ア 12日(土) 文化部作品展示及び芸能大会、町内有機農業者によるマルシェ イ 13日(日) 商工部・農産部・福祉部等によるブース出展、文化部作品展示、ステージ発表 等 (5) 開催委員会 ア 幹事会 (ア) 令和4年3月(書面会議) (イ) 6月16日(木) (ウ) 8月1日(月) (エ) 10月5日(水) (オ) 12月1日(木) イ 役員会 (ア) 令和4年6月30日(木) (イ) 8月17日(水) (ウ) 9月(書面会議) (エ) 12月20日(火)

5	活動指標	指標名	全事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	事業 187.00	事業 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	各部催事の計	令和2年度	事業 0.00	事業
				令和3年度	事業 0.00	事業
				令和4年度	事業 168.00	事業

6	成果指標	指標名	来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
				令和元年度	人 18,000.00	人 20,000.00	令和2年度までは、第5次総合計画による目標値。
		指標の説明 (指標式)	文化産業まつりの来場者数	令和2年度	人 0.00	人 20,000.00	令和3年度はコロナにより検討当時のイベント開催時の人数上限を目標値としました。
				令和3年度	人 0.00	人 5,000.00	
				令和4年度	人 8,110.00	人 18,000.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	7,691,086 円
---	--------	--------	-----	-----	-------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 151
	直接事業費①(②+③+④)	0	7,691,086	0.0 %	9,317,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	0	7,691,086	0.0 %	9,317,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,774,628	5,465,364	197.0 %		
	総合計(①+⑤)	2,774,628	13,156,450	474.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	2,774,628	13,156,450	474.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	78,312	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	1,622	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  令和2、3年とまつりを実施していないため、活動指標・成果指標ともに大きく増加しました。 まつりを開催したため、町費投入額が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	-54.9 %		×
3 効率性	①町費投入額の伸び率	374.2 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  文化産業まつり開催委員会の役員会及び幹事会のメンバーについて、より活発に意見交換や提案等ができるよう、見直しを行い、より関わりのあるメンバーを増やしました。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、受付した来場者をリストバンドで管理しました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町民の文化創造、町内の産業振興及び福祉の増進を図り、賑わいとふれあいの場を創出するためにも事業の実施が必要です。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	出展者も、来場者も、より楽しんでいただけるまつりを開催するため、まつりのテーマを検討し、テーマを意識した出展を呼びかけます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	令和5年度の実績をもとに、引き続きまつりにテーマを持たせて実施するべきかを検討し、テーマを持たせる場合は、テーマをお知らせした上でブース出展やステージ出演の募集を行います。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	文化産業まつり開催委員会の役員会及び幹事会のメンバーについて、より活発に意見交換や提案等ができるよう、見直しを行います。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 152

1	事業名	町民納涼まつり開催事業	コード	01	10	04	02	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	03 地域交流を促進する						
		施策の展開方向	③ 町民相互の絆を深める						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民納涼まつり来場者
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	「東郷音頭」・「東郷小唄」をみんなで踊ることを通じて、地域の伝統文化が伝承されるとともに、町民相互の交流を促進します。さらに、行政主導ではなく、町民中心・民営の「まつり」へと移行していきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町民納涼まつり開催事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	

5	指標名	まつりのため活動する関係者の人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	人 20.00	人	個別計画による目標値はありません。	
活動指標	指標の説明 (指標式)	実行委員(社会教育委員、文化協会、商工会、東郷音頭保存会、JAあいち尾東、駐在員代表他)	令和2年度	人 0.00	人		
			令和3年度	人 0.00	人		
			令和4年度	人 0.00	人		
			令和4年度	人 0.00	人		
6	指標名	納涼まつり入場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法	
			令和元年度	人 13,000.00	人 9,000.00		前年度実績
	成果指標	指標の説明 (指標式)	納涼まつり開催中の会場内延べ人数	令和2年度	人 0.00	人 13,000.00	
				令和3年度	人 0.00	人 0.00	
				令和4年度	人 0.00	人 0.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	144,430 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 152 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	0	144,430	0.0 %	9,008,000	
	一般財源②	0	144,430	0.0 %	9,008,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,070,233	1,028,504	96.1 %		
	総合計(①+⑤)	1,070,233	1,172,934	109.6 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,070,233	1,172,934	109.6 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症の影響により、納涼まつりは実施できませんでしたが、準備に費用を要したため、直接事業費が増加しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	9.6 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新型コロナウイルス感染症の対策をしながら開催する方法を検討しましたが、最終的に町民納涼まつりは中止となりました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町民納涼まつりの中止に伴い、東郷音頭や地区の盆踊りの継承が危惧されますので、今後は地区の盆踊りなどの支援についても検討する必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	多くの町民に楽しんでいただけるよう、露店のほか、キッチンカーや商工会による出店を用意します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	町民納涼まつりを安全に開催するため、混雑を緩和するための会場レイアウトや熱中症予防のための対策を検討します。 また、地区の盆踊りへの支援について検討します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症対策を講じた納涼まつりの開催方法を検討します。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 153

1	事業名	議会運営事業	コード	01	01	01	01	02	-
2	担当部課	議会事務局	議会事務局						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、議員
2	働きかける相手(対象)	町民、議会及び議員、議員の議会活動
3	どのような状態にしたいのか(意図)	議会が町民により身近なものとして感じられ、関心が高まるようにします。また、議会事務が円滑に遂行されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	議会運営事業 (1) 本会議の開催 定例会4回(議会開催日数20日)、臨時会1回(議会開催日数2日) (2) 委員会等の開催 議会運営委員会15回、常任委員会43回、決算特別委員会3回、議会活性化特別委員会1回、全員協議会・全体会議18回 (3) 行政視察研修の実施 ア 委員会県外行政視察研修 (7) 総務経済委員会 11月7日～11月8日 京都府久御山町: のってこタクシーについて、バスターミナルについて 兵庫県猪名川町: 町内の公共交通について、チョイソコいながわについて (4) 文教民生委員会 1月19日～1月20日 東京都八王子市立高尾山学園: 不登校児童・生徒のための体験型学園における取組について 東京都八王子市: 八王子市立いずみの森義務教育学校の取組について、放課後児童クラブにおける長期休業中の学校給食の提供について イ 委員会県内行政視察研修 (7) 広報広聴委員会 8月9日 愛知県町村議会広報研修会 (4) 議会だよりの発行 年4回、議事録検索のHP掲載及び一般質問・閉会日・臨時会・常任委員会のインターネット配信 (5) 政務活動費の交付 13人 808,488円 (6) 議会報告会の開催 2回(8月23日配信開始: オンライン開催、2月11日: 議場にて開催) ご当地意見交換会の開催 6回(10月20日、10月21日、10月25日、2月13日、2月14日、2月16日) (7) 各種団体との意見交換会 ア 議会 区長・自治会長・駐在員との意見交換会(7月15日) イ 総務経済委員会 東郷町商工会(1月24日)、未来プロジェクト課(1月25日) ウ 文教民生委員会 民生委員児童委員協議会(5月11日) エ 広報広聴委員会 東郷高校生生徒会役員(12月20日)
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	本会議の開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
				令和元年度	日	21.00	日	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	日	22.00	日		
				令和3年度	日	22.00	日		
				令和4年度	日	22.00	日		
6	成果指標	指標名	会議録へのアクセス件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去2年間の平均値とします。		
				令和元年度	件	3,597.00		件	3,807.50
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	件	3,223.00		件	3,676.50
				令和3年度	件	3,413.00		件	3,410.00
				令和4年度	件	3,456.00		件	3,318.00
7	直接事業費計	前年度決算額	106,924,120 円	決算額	101,981,379 円				



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 153
	直接事業費①(②+③+④)	106,924,120	101,981,379	95.4 %	109,002,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	106,924,120	101,981,379	95.4 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	109,002,000	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	15,626,294	15,285,831	97.8 %		
	総合計(①+⑤)	122,550,414	117,267,210	95.7 %		
町費投入額(②+③+⑤)	122,550,414	117,267,210	95.7 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,570,473	5,330,328	95.7 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	35,907	33,931	94.5 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  会議録へのアクセス件数が増加したため、成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	1.3 %		○
	③成果指標の目標達成度	4.2 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	-4.3 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  東郷町議会個人情報保護条例に関する条例の制定を行いました。  新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたため、2年半ぶりに対面での議会報告会を本会議場で開催しました。さらに、新たに議会モニターの提案を基に議場等の見学会「町民COMING DAY」を開催し、町民にとって議会を身近なものと感じてもらい、関心を高めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、町民の代表が構成する町の意思決定機関としての議会の使命を果たすため、議員活動を支援し議会の活性化を図っていく必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	インターネットによる本会議のライブ中継や議案等の膨大な資料のペーパーレス化など、議会のICT化について検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	議会におけるICT化を推進し、その利便性を活かして議会機能の強化と議会運営の効率化を図るとともに町民への迅速かつ的確な情報提供を進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	議場等見学会を開催するほか、ホームページや議会報告会・意見交換会等で議会活動の情報を広く町民へ発信します。

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 154

1	事業名	収納事務事業	コード	01	02	02	03	02	-
2	担当部課	総務部	収納課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	納税義務者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町税の収納消込処理を始めとした収納管理事務を適正に行うとともに、納期内に納付されない者(滞納者)に対しては、納税指導や滞納処分を適切に行い、税の公平性を図り自主財源の安定的な確保に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 収納事務事業 (1) 納付の状況 ア 町県民税(普通徴収) 口座振替3,169件、コンビニ6,525件、スマートフォン873件 イ 固定資産税・都市計画税 口座振替17,562件、コンビニ10,278件、スマートフォン1,663件 ウ 軽自動車税(種別割) 口座振替1,196件、コンビニ6,963件、スマートフォン773件 (2) 滞納整理の状況 ア 督促状発送延べ件数 町県民税(普通徴収)2,811件、町県民税(特別徴収)773件、法人町民税25件、 固定資産税・都市計画税3,935件、軽自動車税950件 イ 夜間休日納税相談窓口開設 年4回(5月・7月・11月・2月)、納税催告書(相談窓口開設周知)発送延べ件数1,612件 ウ 財産等調査及び滞納処分等件数 実態調査331件、預金・給与等調査1,705件、差押え177件(預金74件、給与81件、生命保険10件、 年金4件、売掛金2件、不動産6件)、競売・破産事件に対する交付要求5件 (3) 国民健康保険税滞納繰越分の徴収事務 差押件数67件、差押えによる徴収金額5,933,961円、収納率34.20%
		2 町税還付事務 賦課更正等により過誤納となった町税の還付金を2,187件、還付加算金を14件支出しました。
		3 証明書交付事務 納税証明書 1,744件
		4 東郷町債権管理委員会の開催 効率的な債権管理のため、債権管理委員会を1回開催し一元化に向けた検討を行いました。
		5 愛知尾三地区滞納整理機構負担金 愛知尾三地区滞納整理機構の運営費として負担金を支出しました。

5	活動指標	指標名	滞納処分件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	178.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	差押件数	令和2年度	134.00	件	
				令和3年度	165.00	件	
				令和4年度	177.00	件	

6	成果指標	指標名	収納率(現年課税分と滞納繰越分の合計収納率。ただし、国民健康保険税を除く。)	年度	実績値	目標値	過去の実績収納率と近年の社会情勢を鑑み目標値を設定しました。
				令和元年度	98.59	98.40	
		指標の説明 (指標式)	収入済額/調定額	令和2年度	98.71	98.54	
				令和3年度	98.79	98.56	
				令和4年度	98.90	98.69	

7	直接事業費計	前年度決算額	24,894,824 円	決算額	42,047,331 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 154 評価の符号
	直接事業費①(②+③+④)	24,894,824	42,047,331	168.9 %	33,283,000	
	一般財源②	-21,246,649	-9,390,494	44.2 %	-16,786,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	46,141,473	51,437,825	111.5 %	50,069,000	
	概算人件費⑤	54,981,494	62,760,642	114.1 %		
	総合計(①+⑤)	79,876,318	104,807,973	131.2 %		
町費投入額(②+③+⑤)	33,734,845	53,370,148	158.2 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	204,454	301,526	147.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	341,480	539,637	158.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①) 法人町民税及び固定資産税の還付金が増加したため、直接事業費が増加しました。 効率的な財産調査により徴収困難案件の割合が増加する中、活動指標の差押件数は増加しました。また、現年課税分の収納率向上や滞納整理の成果により成果指標が向上しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	7.3 %	○
	②成果指標の実績向上度	0.1 %	○
	③成果指標の目標達成度	0.2 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	58.2 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等 愛知尾三地区滞納整理機構と連携し徴収困難案件の滞納整理を推進した結果、収納率が向上しました。 債権管理委員会で税外債権の一元化の実現について議論を進め、対象範囲の検討を行いました。 LINEを活用した税務証明のオンライン申請、共通納税システムの税目追加及びQRコードの導入、軽自動車税納付確認システムに対応し、住民の利便性が向上しました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価 コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	町税現年課税分の収納率は、早期の段階から積極的な納税催告、滞納処分を行った結果、過去最高の収納率を2年連続で更新しました。自主財源確保のためには現在の収納率を維持向上させる必要があります。納期内納税を推進するために納税者のライフスタイルの多様化に対応した納税手段の確保を図り、滞納処分を適切に行うとともに必要に応じて滞納整理機構と連携していく必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 (令和5年度) の改善内容	町の債権一元化の仕組みを構築します。 ISDN回線のサービス終了に伴い、口座振替を維持するため、新たに専用回線を利用するデータ転送手段としてADP回線への切替を行います。
来年度 (令和6年度) 以降の方向性	町の債権一元化の運用を開始し、税外債権(強制徴収公債権)の徴収業務、債権の管理業務を集約し、債権の適正管理、行政コストの効率化を進めます。 引き続き、愛知尾三地区滞納整理機構に職員を派遣するとともに、機構と連携して滞納案件の解消に取り組みます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	共通納税システムの税目追加及びQRコードの導入について遅滞なく導入できるよう準備を進めます。 税外債権の困難案件を原課と共同で徴収業務を行うとともに債権一元化について準備を進めます。 今年度設立された愛知尾三地区滞納整理機構に職員を派遣するとともに機構と連携して滞納案件の解消に取り組みます。 LINEを活用した税証明のオンライン申請について準備を進めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 155

1	事業名	選挙啓発事業	コード	01	02	04	02	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者、小・中学生、高校生
3	どのような状態にしたいのか(意図)	各選挙における投票率の向上及び明るい選挙の推進を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	選挙啓発事業 (1) 小中学生を対象に明るい選挙啓発ポスターを募集しました。 応募作品数 119点(小学校 63点、中学校 56点) ア 町選挙管理委員会入選作品 6点(小学校 3点、中学校 3点) イ 町選挙管理委員会入選作品 6点を明るい選挙啓発ポスターコンクールへの応募作品として送付しました。 ウ 参加者全員に参加賞としてクリアファイル、蛍光ペン、ミニノートを配布しました。 エ 町選挙管理委員会入選者には、参加賞以外に町選挙管理委員会からの賞状と愛知県選挙管理委員会からの記念品を贈呈しました。 (2) 若者への選挙啓発事業として、令和5年3月13日に東郷高校において、1・2年生徒全員を対象に選挙に関する出前講座を実施しました。 (3) 令和5年1月8日に開催された成人式において、新成人に啓発冊子を配布しました。
---	-----------------------	---

5	指標名	選挙啓発回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	回	2.00	回	個別計画による目標値はありません。
活動指標	指標の説明 (指標式)	選挙が行われた回数(有投票)	令和2年度	回	0.00	回	
			令和3年度	回	1.00	回	
			令和4年度	回	3.00	回	

  

6	指標名	投票率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和元年度	%	47.39	
令和2年度	%	0.00	%	0.00		
令和3年度	%	59.60	%	60.70		
令和4年度	%	47.22	%	46.89		

  

7	直接事業費計	前年度決算額	238,921 円	決算額	727,851 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 155
	直接事業費①(②+③+④)	238,921	727,851	304.6 %	672,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	20,421	271,851	1,331.2 %	444,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	218,500	456,000	208.7 %	228,000	
	概算人件費⑤	649,861	823,475	126.7 %		
	総合計(①+⑤)	888,782	1,551,326	174.5 %		
町費投入額(②+③+⑤)	670,282	1,095,326	163.4 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	670,282	365,109	54.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	11,246	23,196	206.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○	東郷町長選挙、参議院議員通常選挙、愛知県知事選挙が行われ、それぞれの選挙で啓発活動を実施し、平均投票率は前回値より高くなりました。 また、令和3年度に比べて選挙の回数が2回増えたことから、直接事業費が増加しました。	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	200.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	-20.8 %		×
	③成果指標の目標達成度	0.7 %	○	
3 効率性	①町費投入額の伸び率	63.4 %	×	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等
	②受益者負担は適切ですか。	○	4月執行の東郷町長選挙から町公式LINEや町巡回バス車内のデジタルサイネージを活用した選挙期日等の周知を行いました。	
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
	継続実施 <input type="checkbox"/>	選挙啓発について、若者を中心とした啓発事業を継続していくとともに、各選挙の際の啓発活動として明るい選挙推進協議会の委員とともに活動を行うことにより、投票率の向上を図っていきます。		
	一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
	抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
	他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
	休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	明るい選挙推進協議会委員の改選に伴い、より効果的・効率的に選挙啓発を行えるよう、委員の活動内容や啓発方法について検討します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、10代・20代の有権者を中心に選挙に対する周知・啓発等を実施します。 また、各選挙の投票率の向上及び明るい選挙の推進のため、選挙啓発を継続します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	デジタル化の進展による環境の変化等を踏まえ、SNSを活用した情報提供など、新たな啓発の手法を検討していきます。



I. 一般事業の目的体系

事業No.: 156

1	事業名	情報推進事業	コード	01	02	01	07	02	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	① 最新技術を活用した行政サービスの向上						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、職員、情報システムを利用する人
2	働きかける相手(対象)	町民、職員、情報システム
3	どのような状態にしたいのか(意図)	最新のICT(情報通信技術)を活用し、行政サービスの向上を図ります。 多様なデジタル技術を活用し、デジタルトランスフォーメーションの推進を図ります。 庁内全体で適切な情報セキュリティ対策を講じるとともに、行政事務が効率的に遂行できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>情報推進事業</p> <p>ICTを活用した電子自治体サービスの管理運営、LINEを活用した行政サービスの提供並びに効率的かつ信頼性の高い行政サービスが提供できるよう、総合住民情報システム及び行政ネットワークの管理運営を行いました。</p> <p>(1) あいち電子自治体推進協議会による共同利用型システムの企画・構築及び運営に携わり、電子自治体サービスを提供しました。</p> <p>ア 「共同利用型施設予約システム」の技術的サポートを行いました。</p> <p>イ 「あいち電子申請・届出システム」の共同運用を行いました。</p> <p>ウ 「共同セキュリティ監査」及び「標的型攻撃メール対策訓練」に参加しました。</p> <p>(2) LINE公式アカウントを活用した行政サービスを提供しました。</p> <p>提供したサービス 住民票及び税証明のオンライン申請、ワクチン接種予約、町立保育園等の欠席連絡、道路・公園等の損傷投稿、各種イベント案内</p> <p>(3) 総合住民情報システムの運用管理</p> <p>総合住民情報システムが日々安定稼働するための管理と、制度改正などへの対応を行いました。</p> <p>主な制度改正等 データレイアウト改版対応、非課税世帯への臨時特別給付金、地方税共通納税、要保護システム、マイナンバーカード管理、障害福祉サービスデータベース連携、軽JNKS連携、子ども医療助成、出産・子育て応援給付金</p> <p>(4) 行政ネットワーク運用管理</p> <p>職員のOA環境の安定化と事務効率化を図るため、行政ネットワークの運用管理を行いました。</p> <p>ア ファイルサーバやグループウェアなどのサーバ管理</p> <p>イ OA環境の適正配備</p> <p>ウ 庁内情報資産の管理</p> <p>(5) 情報セキュリティ対策</p> <p>全庁的な情報セキュリティレベルを向上させるため、職員向けセキュリティ研修を実施しました。</p> <p>ア e-ラーニングによる一般職員向けセキュリティ研修(受講:233人)</p> <p>イ 情報推進係による新規採用職員向けセキュリティ研修</p> <p>ウ あいち電子自治体協議会外部監査</p> <p>(6) 業務効率化に向けた取組</p> <p>職員間で効率的に連絡を取りあうため、チャットツールを引き続き運用しました。</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	東郷町LINE公式アカウント	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	東郷町LINE公式アカウントの登録者数	令和元年度	人	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	1,208.00		
				令和3年度	22,111.00		
令和4年度	24,784.00						
6	成果指標	指標名	オンライン申請件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
		指標の説明 (指標式)	オンライン申請で証明書等 を取得された件数	令和元年度	件	件	
				令和2年度	件	件	
				令和3年度	28.00	0.00	
令和4年度	189.00	28.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	191,840,217 円	決算額	241,357,760 円		



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 156
	直接事業費①(②+③+④)	191,840,217	241,357,760	125.8 %	212,605,000	評価の符号
	一般財源②	191,840,217	241,357,760	125.8 %	206,555,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	6,050,000	
	概算人件費⑤	21,066,725	18,413,325	87.4 %		伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:ー  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	総合計(①+⑤)	212,906,942	259,771,085	122.0 %		
町費投入額(②+③+⑤)	212,906,942	259,771,085	122.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	9,629	10,481	108.8 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,603,819	1,374,450	18.1 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  L I N Eによる保育園の欠席連絡等サービス内容を充実したことからアカウント登録者数が増加し、活動指標が向上しました。 総合住民情報システムを更新したことにより、直接事業費が増加しました。
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○	
2 有効性	①活動指標の実績向上度	12.1 %	○
	②成果指標の実績向上度	575.0 %	○
	③成果指標の目標達成度	575.0 %	○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	22.0 %	×
	②受益者負担は適切ですか。		
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  取得可能な証明書の拡充、保育園の欠席連絡及び各種教室の申込等、L I N Eサービスの拡充を図りました。 総合住民情報システムの更新に向け、関係各所と連携を図りながら、円滑に運用を開始することができました。
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
7 総合評価	8 総合評価コメント		
継続実施 <input type="checkbox"/>	多様化するニーズへの対応や技術環境の急激な変革に対応するため、最新のICT(情報通信技術)を活用して事務の効率化を図るとともに、行政サービスを向上させる必要があるとともに、適切な情報セキュリティ対策を講じる必要があります。		
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>			
抜本的見直し <input type="checkbox"/>			
他事業と統合 <input type="checkbox"/>			
休廃止 <input type="checkbox"/>			

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	東郷町L I N E公式アカウントを活用したサービスの拡充及び利活用の推進を図ります。 行政ネットワークのシステムの更新年となるため、新システムの円滑な運用開始に努めます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	最新の情報技術動向を注視し、より効率的で的確な行政サービス等が提供できるよう研究及び検討を進めます。 総合住民情報システム及び東郷町行政ネットワークシステムの更新に合わせたポリシーを適正に運用します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	国が推進する自治体デジタルトランスフォーメーションに関する各種施策を、東郷町デジタルトランスフォーメーション推進基本方針に基づき推進します。 東郷町L I N E公式アカウントを活用したサービスの拡充を図ります。 総合住民情報システムの更新年となるため、新システムの円滑な運用開始に努めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 157

1	事業名	ふるさと納税管理事業	コード	01	02	01	03	03	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、町
2	働きかける相手(対象)	町民、町外在住者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	東郷ふるさと寄付件数の増加を図り、財政基盤を強化します。 また、返礼品を充実させることで町の魅力を全国に発信します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	ふるさと納税管理事業 東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。		
		(1) 東郷ふるさと寄付実績 ア 寄付者数 2,293件 イ 寄付金額 180,170,000円 (2) 寄付金の使途 ア 東郷町の未来を担う子どもたちのために 【子育て・教育】 (686件、55,662,500円) イ 東郷町のみんなが健康で元気に暮らすために 【健康・福祉】 (90件、7,227,000円) ウ 東郷町の安全と安心を守るために 【防災・防犯】 (38件、3,768,000円) エ 東郷町の豊かな自然を守るために 【自然・環境】 (111件、9,073,500円) オ 東郷町に賑わいと交流をつくるために 【交流・ふれあい】 (15件、1,252,000円) カ 東郷町の取組全般 (1,353件、103,187,000円) (3) 返礼品 ア 提供事業者: 37事業者 イ 品数: 172品		

5	活動指標	指標名	東郷ふるさと寄付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	307.00 件	個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	1,185.00 件		
				令和3年度	1,615.00 件		
令和4年度	2,293.00 件						
6	成果指標	指標名	東郷ふるさと寄付金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 昨年度実績
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	7,130,005.00 円	4,170,000.00 円	
				令和2年度	150,200,000.00 円	7,130,005.00 円	
				令和3年度	154,609,000.00 円	150,200,000.00 円	
令和4年度	180,170,000.00 円			154,609,000.00 円			
7	直接事業費計	前年度決算額	68,013,840 円	決算額	78,980,250 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 157
	直接事業費①(②+③+④)	68,013,840	78,980,250	116.1 %	92,002,000	評価の符号
	一般財源②	68,013,840	78,980,250	116.1 %	92,002,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	2,599,443	2,552,774	98.2 %		
	総合計(①+⑤)	70,613,283	81,533,024	115.5 %		
町費投入額(②+③+⑤)	70,613,283	81,533,024	115.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	43,723	35,557	81.3 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  返礼品取扱事業者及び返礼品目が増加したことにより活動指標及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	42.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	16.5 %		○
	③成果指標の目標達成度	16.5 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	15.5 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  新たに返礼品66品目、事業者7者を加え、本町の魅力の発信に努めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	町内で活躍する事業者及び魅力的な返礼品の登録を推進することで本町の魅力を発信していきます。 なお、返礼品に関することについては、関係部署で事務を担っていることから、連携を密にし、広く情報収集をしていきます。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	関係部署における東郷ふるさと寄付事務との関わりを確認し、事務の効率化を図ります。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	本来のふるさと納税の趣旨に鑑み、引き続き総務省の指定基準を満たす適切な運用を行う中で、自主財源の確保と本町の魅力発信を実施していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	他部署における東郷ふるさと寄付事務との関わりを確認し、事務の効率化を図ります。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 158

1	事業名	いこまい館管理事業	コード	01	04	01	04	01	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	④ 町有施設の総合管理						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	施設利用者
2	働きかける相手(対象)	指定管理者、施設、施設利用者
3	どのような状態に したいのか(意図)	いこまい館を利用する人が安心して快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	いこまい館管理事業	
		(1) いこまい館施設維持管理業務 令和5年度から令和9年度までの指定管理に係る評価及び選定を行い、指定管理者として東郷町施設サービス株式会社が選定されました。 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの改訂を施設管理に反映し、適切な運営を行いました。 年間施設利用者数は、有料施設109,878人、無料施設9,948人、合計119,826人でした。	
		ア 有料施設 (109,878人)	
		(ア) トレーニングジム 40,787人	
		(イ) 水中トレーニング室 20,104人	
		(ウ) 介助浴室 37人	
		(イ) 自主活動スペース (48,950人)	
		a 多目的室A 17,934人	
		b 多目的室B 8,878人	
		c 調理室・ランチルーム 1,276人	
		d 会議室A 2,094人	
		e 会議室B 4,901人	
		f 和室(3室) 4,704人	
		g 音楽練習室 1,762人	
		h 指導会議室(2室) 7,401人	
		イ 無料施設 (9,948人)	
		(ア) 町民活動センター 4,941人	
		(イ) つどいの広場 4,797人	
		(ウ) 無料町民ギャラリー 79日間(8団体) ※利用日数のみ	
		(イ) シニアハウス 210人	
		(2) 施設整備工事	
		ア 中央監視装置交換工事 1式	

5	活動指標	指標名	管理運営会議の開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	12.00	回	
				令和3年度	12.00	回	
				令和4年度	12.00	回	

6	成果指標	指標名	有料施設の利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	人	前年度実績
				令和2年度	165,882.00	188,702.00	
				令和3年度	36,889.00	165,882.00	
				令和4年度	104,452.00	36,889.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	153,476,833 円	決算額	163,354,468 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 158
	直接事業費①(②+③+④)	153,476,833	163,354,468	106.4 %	183,522,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	151,299,380	161,618,677	106.8 %	181,325,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	2,177,453	1,735,791	79.7 %	2,197,000	
	概算人件費⑤	11,500,876	10,079,449	87.6 %		
	総合計(①+⑤)	164,977,709	173,433,917	105.1 %		
町費投入額(②+③+⑤)	162,800,256	171,698,126	105.5 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	13,566,688	14,308,177	105.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,559	1,563	100.3 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う休館等が昨年度より減少し利用人数が増加したため、成果指標は向上しました。	
	②行政関与との程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	0.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	5.2 %		○
	③成果指標の目標達成度	5.2 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	5.5 %		△
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  施設修繕を適切に行い、利用者の利便を確保しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの改訂を施設管理に反映し、適切な運営を行いました。 施設の指定管理に係る指定期間が令和4年度までであり、次期指定管理者(候補者)の選定等を進めました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、住民交流拠点施設として、住民の交流・学び・協働・健康づくり・子育て支援・高齢者の憩いの場として利用されるよう適切な管理に努める必要があります。			
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	こども未来部の事務所を集約し、手続き等で来所した人の利便性の向上に繋がります。また、預り金による施設修繕を適切に行い、利用者の利便を確保していきます。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	平成16年度の開館から19年経過しています。令和3年度に策定した長寿命化計画等に基づき、施設の修繕及び老朽化した機器等の更新を計画的に進めます。また、運動浴室の水質を向上し、利用者や環境に配慮した施設を目指します。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	施設修繕を適切に行い、利用者の利便を確保(維持)します。 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの改訂を施設管理に反映し、適切な運営を行います。 施設の指定管理に係る指定期間が令和4年度までとなっているため、次期指定管理者(候補者)の選定等を進めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 159

1	事業名	土地利用対策事業	コード	01	02	01	06	04	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	-						
		基本施策	-						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町内に土地を所有する人
2	働きかける相手(対象)	土地取引を行う者、土地利用事務に従事する職員、都市計画区域内の土地
3	どのような状態にしたいのか(意図)	土地利用に関する職員の知識を深め、今後の土地利用行政に役立てるとともに、各種の法規制や計画などに沿った適正な土地利用が行われるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地利用対策事業	
		(1) 国土利用計画法等に係る届出を受け付けました。 ア 国土利用計画法に基づく届出 8件 イ 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出・申出 1件 ウ 遊休土地対象地調査件数 0件 (2) 東郷町内における土地の合理的かつ有効適切な利用と保全を図るとともに、土地に関する諸問題について総合的に検討するため東郷町土地対策会議幹事を開催しました。 ア 総合的な土地利用計画及び各部門における土地利用計画の調整 2件 イ 国土利用計画法に基づく土地取引の届出に係る町長意見の形成 8件 ウ 町等を行う施設計画の立地調整 0件 (3) 愛知県が主催する土地に関する研修会へ参加しました。 説明会 1回(書面1回) (4) 東海ブロック地籍調査担当者研修会へ参加しました。 研修会 1回	

5	活動指標	指標名 土地利用に係る届出等	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			令和元年度	6.00	件	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	10.00	件		
			令和3年度	2.00	件		
6	成果指標	指標名 不勧告比率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 勧告がないことを目標値としました。	
			令和元年度	100.00	100.00		
			令和2年度	100.00	100.00		
			令和3年度	100.00	100.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	11,000	円	決算額	15,000	円



8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 159
	直接事業費①(②+③+④)	11,000	15,000	136.4 %	0	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	0	5,000	0.0 %	0	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	11,000	10,000	90.9 %	0	
	概算人件費⑤	1,572,143	1,567,092	99.7 %		
	総合計(①+⑤)	1,583,143	1,582,092	99.9 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,572,143	1,572,092	100.0 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	786,072	174,677	22.2 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	15,721	15,721	100.0 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  セントラル地区における国土利用計画法に基づく届出等の件数が増加したことにより、活動指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	350.0 %		○
	②成果指標の実績向上度	0.0 %		○
	③成果指標の目標達成度	0.0 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	0.0 %		○
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  組織機構改革実施に伴い、当該業務の効率化を図るため、関係各課との協議を行い、円滑に事務移管が出来るよう引継ぎを行いました。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input type="checkbox"/>	地籍調査業務及び国土利用計画法に基づく届出等の受付業務について事務の効率化を図るため、それぞれ都市整備課と都市計画課の事業に移管します。 国土利用計画法に基づく届出等の受付業務を都市計画課に移管することから、届出後に実施する土地対策会議等の円滑な開催のため、都市計画課との連携を強化する必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	事務移管により土地利用対策業務の予算が皆減になることから当該業務は廃止となるため、土地対策会議等の事務は、企画調整一般管理事業にて実施します。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	引き続き、企画調整一般管理事業にて土地対策会議等を円滑に進めます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	次期組織機構改革に向け、改めて事務移管について関係各課と協議を進めます。

一般事業評価表（令和4年度）

I. 一般事業の目的体系

事業No.: 160

1	事業名	自治体間交流事業	コード	01	02	08	01	09	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	-						
		基本施策	-						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	長野県王滝村の宿泊施設を利用する町民及び町内の事業所に勤務する人
2	働きかける相手(対象)	町民及び町内の事業所に勤務する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	愛知用水の水源の1つである牧尾ダムがある長野県王滝村を多くの町民に知ってもらうとともに、同村との地域間の交流を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	自治体間交流事業 (1) 王滝村の宿泊に要する宿泊費の一部を助成しました。年間で延べ108泊の利用がありました。 (2) 王滝村宿泊施設利用助成事業のチラシを作成し、王滝村情報コーナーに設置しました。また、広報紙で宿泊助成制度のPRを行いました。 (3) 王滝村宿泊施設利用数の向上に資するための現状把握を目的として、利用者のアンケートを実施しました。 (4) 王滝村情報コーナー 役場ロビーにおいて、王滝村のイベント情報や王滝村宿泊施設利用助成事業のPRをしました。また、王滝村の特産品の展示や観光パンフレットの設置も行い、王滝村を含む木曾エリアの情報を提供しました。			

5	活動指標	指標名	王滝村宿泊助成利用泊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	王滝村の宿泊助成を利用した延べ泊数	令和元年度	泊 47.00	泊 個別計画による目標値はありません。	
				令和2年度	泊 66.00	泊	
				令和3年度	泊 53.00	泊	
令和4年度	泊 108.00	泊					
6	成果指標	指標名	王滝村宿泊助成利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績
		指標の説明 (指標式)	王滝村の宿泊助成を利用した延べ人数	令和元年度	人 43.00	人 58.00	
				令和2年度	人 51.00	人 43.00	
				令和3年度	人 47.00	人 51.00	
令和4年度	人 82.00	人 47.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	107,833 円	決算額	217,887 円		

8 コストの推移	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	事業No.: 160
	直接事業費①(②+③+④)	107,833	217,887	202.1 %	316,000	評価の符号  伸率 向上:○ 10%未満低下:△ 10%以上低下:× 評価不能:—  その他 (問いに対して) 肯定(Yes):○ 一部否定(No):△ 否定(No):×
	一般財源②	107,833	217,887	202.1 %	316,000	
	起債③	0	0	0.0 %	0	
	その他④	0	0	0.0 %	0	
	概算人件費⑤	1,738,001	2,057,215	118.4 %		
	総合計(①+⑤)	1,845,834	2,275,102	123.3 %		
町費投入額(②+③+⑤)	1,845,834	2,275,102	123.3 %			
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	34,827	21,066	60.5 %		
	成果1単位当たりコスト(対町費投入額)	39,273	27,745	70.6 %		

### Ⅲ. (Check)一般事業の評価

1 妥当性	①事業の役割・必要性は薄れていませんか。	○	5 評価に影響を及ぼした主な要因(有効性①②③、効率性①)  新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことに伴い、宿泊助成の利用者が増加し、活動指標の実績向上度及び成果指標が向上しました。	
	②行政関与の程度・役割分担は適切ですか。	○		
2 有効性	①活動指標の実績向上度	103.8 %		○
	②成果指標の実績向上度	74.5 %		○
	③成果指標の目標達成度	74.5 %		○
3 効率性	①町費投入額の伸び率	23.3 %		×
	②受益者負担は適切ですか。			○
4 改善余地	①意図実現や成果向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	6 その他改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等  特にありません。	
	②効率性向上に向けての改善余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	③他事業との統合・連携の余地	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
7 総合評価	8 総合評価コメント			
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	王滝村との自治体間交流を推進するため、引き続き宿泊助成について広く町民に周知し、多くの方に利用してもらう機会を創出する必要があります。			
一部見直し <input type="checkbox"/>				
抜本的見直し <input type="checkbox"/>				
他事業と統合 <input type="checkbox"/>				
休廃止 <input type="checkbox"/>				

### Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

本年度 1 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
来年度 2 (令和6年度) 以降の方向性	今後も引き続き王滝村の魅力について情報発信していきます。

### 【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。